

Lenovo System x3550 M5
Type 5463



インストールおよびサービス・ガイド

Lenovo System x3550 M5
Type 5463



インストールおよびサービス・ガイド

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、661 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、665 ページの『特記事項』、「保証情報」、および *Documentation CD* に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

目次

安全について	vii
安全に関する注意書き	viii

第 1 章 Lenovo System x3550 M5 サーバー

Lenovo Documentation CD	5
ハードウェアとソフトウェアの要件	5
Documentation Browser の使用	5
関連資料	6
本書で使用する注記	8
サーバーの機能および仕様	8
サーバーが提供する機能	14
信頼性、可用性、および保守容易性	18
Systems Director	20
サーバーのコントロール、LED、および電源	21
正面図	21
オペレーター情報パネル	23
LCD 操作パネル・アセンブリー	24
背面図	26
サーバー・コンポーネント	29
サーバーのパワー・サプライ	35

第 2 章 構成

ファームウェアの更新	39
サーバーの構成	40
ServerGuide Setup and Installation CD の使用	42
Setup ユーティリティの使用	44
Boot Manager の使用	53
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始	53
UpdateXpress System Pack Installer	53
統合管理モジュールの使用	54
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	55
組み込みハイパーバイザーの使用	58
Ethernet コントローラーの構成	59
Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化	59
Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化	59
RAID アレイの構成	60
Advanced Settings ユーティリティ・プログラム	60
Systems Director の更新	61
汎用固有 ID (UUID) の更新	62
DMI/SMBIOS データの更新	65

第 3 章 トラブルシューティング

ここから開始します	69
問題の診断	69
文書化されていない問題	72
Service Bulletin	72

チェックアウト手順	72
チェックアウト手順について	72
チェックアウト手順の実行	74
診断ツール	75
Light Path 診断	77
イベント・ログ	83
POST	87
Dynamic System Analysis	87
自動サービス要求 (コール・ホーム)	91
Electronic Service Agent	91
エラー・メッセージ	91
症状別トラブルシューティング	91
CD/DVD ドライブの問題	92
一般的な問題	93
ハード・ディスクの問題	93
ハイパーバイザーの問題	96
再現性の低い問題	96
キーボード、マウス、または USB デバイスの問題	97
メモリーの問題	99
マイクロプロセッサ問題	101
モニターおよびビデオの問題	101
ネットワーク接続の問題	104
オプション装置の問題	105
電源問題	106
シリアル装置の問題	112
ServerGuide の問題	113
ソフトウェアの問題	114
USB ポートの問題	114
ビデオの問題	115
電源の問題の解決	115
イーサネット・コントローラーの問題の解決	116
未解決問題の解決	118
問題判別のヒント	118
サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)	120
インバンドの手動リカバリー方式	120
インバンドの自動ブート・リカバリー方式	122
アウト・オブ・バンド方式	122
自動ブート・リカバリー (ABR)	123
Nx 回ブート失敗	123

第 4 章 部品リスト、Lenovo System x3550 M5 Type 5463

交換可能なサーバー・コンポーネント	125
構成部品	135
電源コード	136

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換

交換 139

オプション装置の取り付け	139
取り付けのガイドライン	140
サーバー構成の更新	144
ビジネス・パートナー用の手順	144
Lenovo への DSA データの送信	144
装置またはコンポーネントの返却	145
サーバー・コンポーネントの取り外しと交換	145
消耗部品および構造部品の取り外しと交換	145
カバーの取り外し	145
カバーの交換	146
エアー・バッフルの取り外し	148
エアー・バッフルの交換	148
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し	149
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの交換	153
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し	157
RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの再取り付け	158
EIA ブラケットの取り外し	159
EIA ブラケットの交換	160
Tier 1 CRU の取り外しと交換	162
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し	162
ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換	163
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し	164
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換	165
2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットの取り外し	167
2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットの交換	170
DVD ドライブの取り外し	173
DVD ドライブの交換	176
DVD ドライブ・ケーブルの取り外し	180
DVD ドライブ・ケーブルの交換	183
メモリー・モジュールの取り外し	185
メモリー・モジュールの取り付け	186
SD アダプターの取り外し	194
SD アダプターの交換	195
PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し	196
PCI ライザー・カード・アセンブリの交換	199
アダプターの取り外し	205
アダプターの交換	208
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し	216
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換	217
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し	222
ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの交換	223
サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の取り外し	224

サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の交換	225
パワー・サプライの取り外し	227
パワー・サプライの交換	232
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し	242
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換	244
シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの取り外し	251
シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの交換	253
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し	257
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換	258
システム・バッテリーの取り外し	259
システム・バッテリーの交換	262
メディア・ケージの取り外し	264
メディア・ケージの再取り付け	267
前面 USB コネクター・アセンブリの取り外し	269
前面 USB コネクター・アセンブリの交換	271
前面ビデオ・コネクター・アセンブリの取り外し	273
前面ビデオ・コネクター・アセンブリの交換	275
オペレーター情報パネル・アセンブリの取り外し	277
オペレーター情報パネル・アセンブリの交換	280
LCD システム情報表示パネルの取り外し	282
LCD システム情報表示パネルの交換	283
COM ポート・ブラケットの取り外し	285
COM ポート・ブラケットの交換	287
セキュリティー・ベゼルの取り外し	289
セキュリティー・ベゼルの交換	290
Tier 2 の CRU の取り外しと交換	292
マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し	292
マイクロプロセッサとヒートシンクの交換	297
システム・ボードの取り外し	306
システム・ボードの交換	310

付録 A. 統合管理モジュール 2.1

(IMM2.1) エラー・メッセージ 315

自動的にサポートに通知する IMM イベント	316
----------------------------------	-----

付録 B. UEFI/POST 診断コード 573

付録 C. DSA 診断テスト結果 589

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	589
DSA Brocade テスト結果	593
DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	597
DSA CPU ストレス・テスト結果	598
DSA Emulex アダプター・テスト結果	599
DSA EXA ポート ping テスト結果	601
DSA ハード・ディスク・テスト結果	602
DSA Intel ネットワーク・テスト結果	603
DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果	606

DSA Mellanox アダプター・テスト結果	606
DSA メモリー分離テスト結果	608
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	644
DSA Nvidia GPU テスト結果	646
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	649
DSA システム管理テスト結果	651
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	658

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手 661

依頼する前に	661
資料の使用	662
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	662
DSA データの送信方法	663
個別設定したサポート Web ページの作成	663
ソフトウェアのサービスとサポート	663
ハードウェアのサービスとサポート	663
Taiwan product service	664

特記事項. 665

商標	666
重要事項	666
リサイクル情報	667
粒子汚染	667
通信規制の注記	668

電波障害自主規制特記事項	668
Federal Communications Commission (FCC) statement	668
Industry Canada Class A emission compliance statement	669
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada.	669
Australia and New Zealand Class A statement	669
European Union EMC Directive conformance statement	669
Germany Class A statement	669
VCCI クラス A 情報技術装置	670
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示	671
Korea Communications Commission (KCC) statement	671
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement	671
People's Republic of China Class A electronic emission statement	671
Taiwan Class A compliance statement.	672

電源コードの安全上の注意 673

索引 675

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

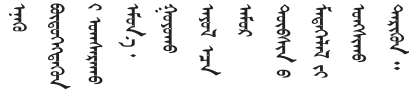
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་མེར་བཟླ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

Important:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。
この番号は、*Safety Information* 資料で、英語の Caution と Danger と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きが「Statement 11」となっている場合、「*Safety Information*」資料を見れば、その注意書きに対応した「安全 1」の翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、および モデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) 以上に加熱する
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

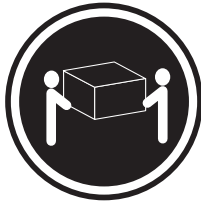
Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaitte
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4



注意:

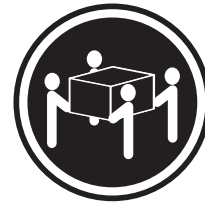
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥ 18 kg (39.7 lb)



≥ 32 kg (70.5 lb)



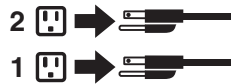
≥ 55 kg (121.2 lb)

安全に関する注記 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置に複数の電源コードが使われている場合もあります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:

もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12



注意:

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 13



危険

分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。このような危険を避けるため システムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認してください。ご使用の装置の電気仕様は装置に付属のマニュアルに記載されています。

安全 15



注意:

ラックからサーバーを引き出してもラックが転倒しないようになっていることを確認してください。

安全 17



注意:

このラベルが貼られている近くには動く部品が存在します。



安全 26



注意:

ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。



安全 27



注意:
近くに動く部品が存在します。



ラック安全情報、安全 2



危険

- ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。
- 最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。

第 1 章 Lenovo System x3550 M5 サーバー

本書には、ご使用の Lenovo System x3550 M5 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

139 ページの『オプション装置の取り付け』で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、Lenovo ビジネス・パートナーは 144 ページの『ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

Lenovo System x3550 M5 サーバーは、高さ 1U¹ のラック・モデル・サーバーで、高ボリュームのネットワーク・トランザクション処理に適しています。この高性能なマルチコア・サーバーは、高度なマイクロプロセッサ性能、柔軟性のある入出力 (I/O)、および高い管理能力を必要とするネットワーク環境に最適です。

サーバーの設計においては、パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能などが重要な考慮事項でした。これらの設計機能を用いることで、現在のニーズに応じてシステム・ハードウェアをカスタマイズしたり、将来に備えて柔軟性の高い機能拡張を準備したりすることができます。

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

サーバーには、パフォーマンスと信頼性の向上に役立つ次世代テクノロジーが搭載されています。詳しくは、14 ページの『サーバーが提供する機能』と 18 ページの『信頼性、可用性、および保守容易性』を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の Lenovo サーバー製品に関する最新の情報は、<http://www.ibm.com/systems/x> から入手できます。<http://www.ibm.com/support/mysupport/> では、目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

Lenovo クライアント・リファレンス・プログラムに参加すると、ご使用になっているテクノロジー、ベスト・プラクティス、および革新的ソリューションに関する情報を共用できるほか、業界ネットワークを構築し、お客様の業務の認知度を上げることができます。Lenovo クライアント・リファレンス・プログラムについて詳しくは、<http://www.ibm.com/ibm/clientreference/>を参照してください。

ホット・スワップ・サーバー構成には、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデル、10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデル、

1. ラックは、縦方向に 4.45 cm (1.75 インチ) 間隔で区切られています。この区切りをユニットと呼び、「U」で表します。1U の高さの装置は、4.45 cm (1.75 インチ) の高さになります。

12 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデル (2 個は背面)、または 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデルがあります。シンプル・スワップ・サーバー構成には、8 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデル、または 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルがあります。Lenovo System x3550 M5 Type 5463 サーバーは、2.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハード・ディスク、2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハード・ディスク、あるいは 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。

注:

- 本書の図は、お客様がご使用のモデルと多少異なる場合があります。
- 10 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルはサポートされません。

次の図は、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

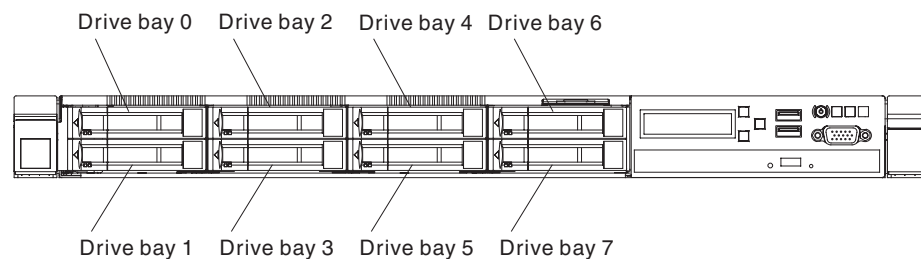


図 1. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面図

次の図は、10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

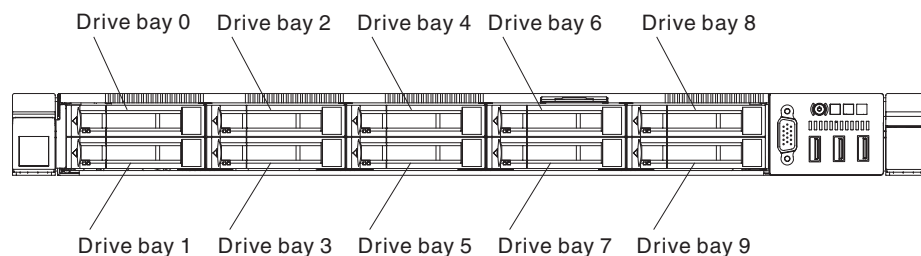


図 2. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面図

以下の図は、12 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ (2 個は背面) を備えたサーバーを示しています。

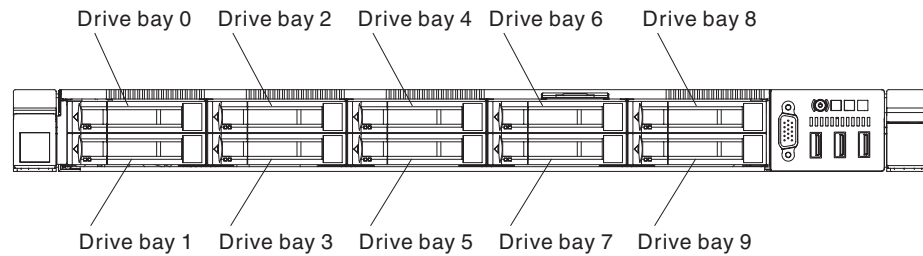


図3. 12 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面図

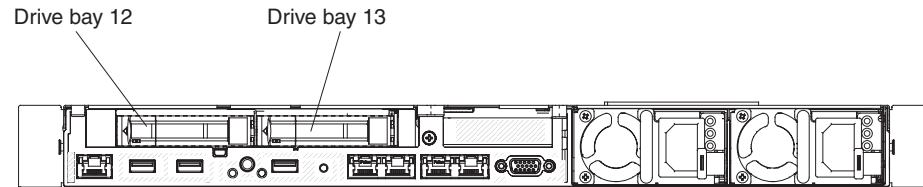


図4. 12 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデルの背面図

次の図は、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

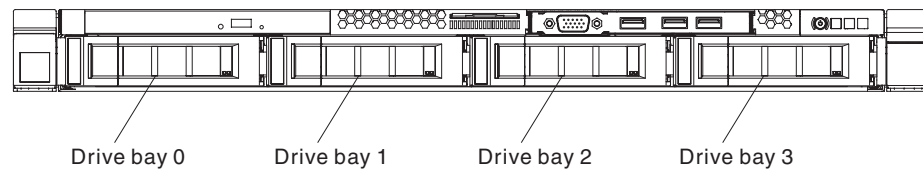


図5. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面図

次の図は、8 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

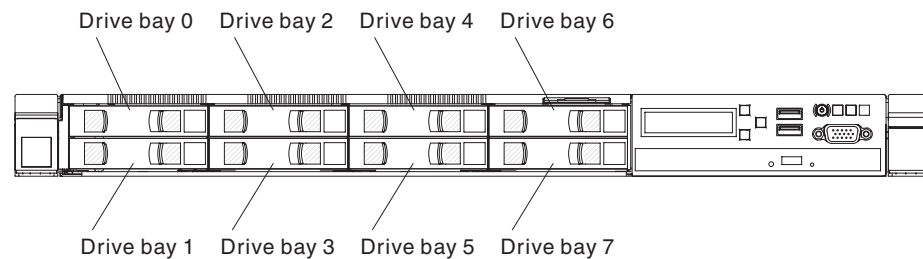


図6. 8 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面図

次の図は、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・ベイを備えたサーバーを示しています。

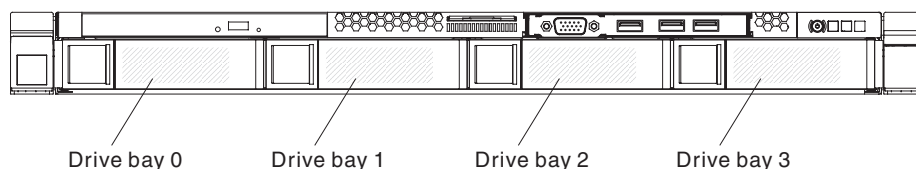


図7. 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルの前面図

ファームウェアと資料の更新情報が使用可能な場合は、Lenovo Web サイトからダウンロードできます。このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。更新を確認するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

サーバーに関するデータを次の表に記録してください。

製品名	Lenovo System x3550 M5 サーバー
マシン・タイプ	Type 5463
型式番号	_____
シリアル番号	_____

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載してあります。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

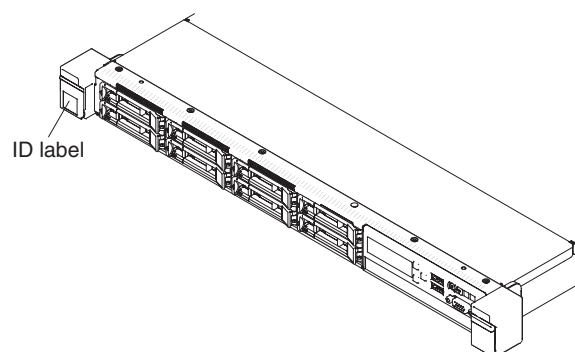


図8. ID ラベル

さらに、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルには、サービス情報にモバイル・アクセスするための QR コードもあります。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用して QR コードをスキャンし、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は QR コードを示しています (<http://ibm.co/1tugHGX>)。



図9. QR コード

ServerGuide Setup and Installation CD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

ラックへの取り付けと取り外しに関する完全な手順については、*System x Documentation CD* にある資料「ラック搭載手順」を参照してください。

Lenovo Documentation CD

Lenovo Documentation CD には、ご使用のサーバーに関する資料が PDF フォーマットで含まれているほか、迅速な情報検索に役立つ *Documentation Browser* も含まれています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

Lenovo Documentation CD には、以下の最小ハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

- Microsoft Windows XP、Windows 2000、または Red Hat Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサ
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (またはそれ以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf

Documentation Browser の使用

Documentation Browser を利用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を表示したり、あるいは Adobe Acrobat Reader または xpdf を使用して資料を表示できます。

Documentation Browser は、サーバーで使用している地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して資料を表示します (その言語が利用可能な場合)。その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。

以下の操作のいずれかを行って、*Documentation Browser* を開始できます。

- 「Autostart (自動再生)」が有効な場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入します。*Documentation Browser* は自動的に開始します。

- 自動始動が使用不可の場合、またはすべてのユーザーに対して使用可能になっていない場合は、以下のいずれかの手順に従います。

- Windows オペレーティング・システムを使用している場合は CD を CD ドライブまたは DVD ドライブに挿入し、「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前」フィールドに、

```
e:\win32.bat
```

と入力します。ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名です。「OK」をクリックします。

- Red Hat Linux を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから次のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「**Product**」メニューからサーバーを選択します。「**Available Topics**」リストに、該当のサーバーに関するすべての文書が表示されます。一部の資料は、フォルダーに入っている場合があります。プラス符号 (+) が付いているフォルダーまたは資料には、その下にさらに資料が存在します。プラス符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

文書を選択すると、その文書の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。選択した文書を Acrobat Reader または xpdf で表示するには、「**View Book**」をクリックします。複数の資料を選択した場合は、選択したすべての資料が Acrobat Reader または xpdf で開かれます。

すべての資料を検索する場合は、「**Search**」フィールドにワードまたはワード・ストリングを入力して、「**Search**」をクリックします。ワードまたはワード・ストリングが出現する資料が、出現回数の多い順にリストされます。資料をクリックして表示し、その資料内で Ctrl+F を押して Acrobat の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf の検索機能を使用します。

Documentation Browser の用法について詳しくは、「**Help**」をクリックしてください。

関連資料

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *Environmental Notices and User Guide*

この資料は、Lenovo Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、環境に関する注記が翻訳されて収録されています。

- *Lenovo 機械コードのご使用条件*

この資料は、Lenovo Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料は、ご使用の製品用の「Lenovo 機械コードのご使用条件」の翻訳版です。

- 重要事項

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。ご使用の Lenovo 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Licenses and Attributions Documents*

この資料は、Lenovo Documentation CD に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- ラック搭載手順

この印刷された資料は、サーバーをラックに取り付けるための手順を記載しており、ラック・キットに付属しています。

- *Rack Safety Information*

このマルチリンガル文書には、ラック資料に使用されている注意と危険の表記の翻訳版が記載されています。注意と危険の各表記には番号が割り当てられているため、その番号を使用して日本語の対応する表記を見つけることができます。

- *Safety Information*

この資料は、Lenovo Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険項目についての注記が記載されています。本書では「注意」と「危険」の注意書きには個々に番号が付いており、この番号を使用して、「Safety Information」資料内でご使用の言語で書かれた該当の注記を見つけることができます。

- *Safety Information* ラベル

この資料には、製品の安全ラベルの中国語 (簡体字)、モンゴル語、チベット語、ウィグル語、およびチワン語の翻訳バージョンが提供されています。

- 保証情報

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、Lenovo Web サイト上の「Lenovo 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

ご使用のサーバーのモデルによっては、Lenovo Documentation CD に追加資料が含まれている場合があります。

ToolsCenter for System x and BladeCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバ、およびオペレーティング・システムの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する情報が記載されているオンライン情報センターです。ToolsCenter for System x and BladeCenter は <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/> にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されたり、ご使用のサーバーの資料に記載されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。そのような変更は、Lenovo Web サイトから入手可能です。更新を確認するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意と危険に関する注記は、マルチリンガルの「*Safety Information*」にも記載されています。この資料は、*Lenovo System x Documentation* CD に収録されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** これらの特記事項は、重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。
- **<!--重要-->** また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。ご使用のモデルによっては、一部の機能が使用できなかったり、一部の仕様が適用されない場合があります。

マイクロプロセッサ (モデルによって異なります):

- Lenovo Xeon™ E5-2600 v3 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み)
- レベル 3 キャッシュ
- 2 つの最大速度 9.6 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク

Notes:

- マイクロプロセッサのタイプと速度を確認するには、Setup ユーティリティ・プログラムを使用します。
- サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

メモリー (モデルにより異なる):

- 最小: 4 GB
- 最大: 1.5 TB
 - 768 GB (registered DIMM (RDIMM) 使用時)
 - 1.5 TB (Load Reduction DIMM (LRDIMM) 使用時)
- タイプ:
 - PC4-12800 (DDR4-1600)、PC4-14900 (DDR4-1866)、または PC4-17000 (DDR4-2133)

- single-rank、dual-rank、または quad-rank
- Registered DIMM (RDIMM) または Load Reduced DIMM (LRDIMM)
- スロット: 24 デュアル・インライン
- サポート (モデルによって異なります):
 - 4 GB、8 GB、16 GB、および 32 GB registered DIMM
 - 32 GB および 64 GB Load Reduction DIMM

内蔵機能:

- 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) (複数の管理機能を単一のチップに統合)
- Broadcom BCM5719 4 ポート Gigabit Ethernet コントローラー (Wake on LAN サポート付き)
- 7 個または 6 個の USB ポート (モデルにより異なる)
 - 前面に 2 個の USB ポート (USB 2.0 ポートが 1 個、USB 3.0 ポートが 1 個)、または前面に 3 個の USB ポート (USB 2.0 ポートが 2 個、USB 3.0 ポートが 1 個)
 - 背面に 3 個の USB ポート (USB 2.0 ポートが 1 個、USB 3.0 ポートが 2 個)
 - 1 個の内部 USB 3.0 ポート (ハイパーバイザー USB キー用に使用)
- 4 個のネットワーク・ポート (システム上に 4 個の 1 Gb イーサネット・ポート)
- 最大 1 個のオプション ML2 ネットワーク・ドーター・カードをサポート
- システム管理 RJ-45 (システム管理ネットワークに接続するために背面に 1 つ)。このシステム管理コネクタは 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) 機能専用です。
- オプションのシリアル・ポート

ハード・ディスク拡張ベイ (モデルにより異なる):

- 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ、およびオプションでさらに 2 個の背面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイを追加可能
- 8 個の 2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップのハード・ディスク・ベイ
- 4 個の 3.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップの SATA ハード・ディスク・ベイ

重要: 原則として、512 バイトの標準ドライブと 4 KB の拡張ドライブを同一の RAID アレイで混用しないでください。このような構成にすると、パフォーマンスの問題が生じる可能性があります。

SATA 光学式ドライブ (オプション):

- DVD-ROM
- マルチバーナー

RAID コントローラー (モデルによって異なる):

- RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M5225 SAS/SATA アダプター (オプションで FoD RAID 5/50 および SED (自己暗号化ドライブ) アップグレード可能)。

- RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID N2215 SAS/SATA アダプター (オプションで FoD RAID 5/50 および SED (自己暗号化ドライブ) アップグレード可能)。
- RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M1215 SAS/SATA アダプター (オプションで FoD RAID 5/50 および SED (自己暗号化ドライブ) アップグレード可能)。
- RAID 0、1、および 10 を提供する ServeRAID M5210 SAS/SATA アダプター。オプションのアップグレード:
 - RAID 5/50 (1 GB キャッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き)
 - RAID 5/50 (1 GB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き)
 - RAID 5/50 (2 GB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き)
 - RAID 5/50 (4 GB フラッシュ) (オプションの FoD RAID 6/60 および SED アップグレード付き)
 - FoD RAID 6/60 アップグレード
 - FoD ゼロ・キャッシュ/RAID 5/50
 - FoD Performance Accelerator
 - FoD SSD Caching Enabler

ビデオ・コントローラー (統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) に内蔵):

- Matrox G200eR2

注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。

- SVGA 互換ビデオ・コントローラー
- DDR3 528 MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー
- Avocent デジタル・ビデオ圧縮
- 16 MB のビデオ・メモリー (拡張不可)

サイズ (IU):

- 高さ: 43 mm
- 奥行き: 735.4 mm (28.95 インチ)
- 幅: 434.4 mm (17.1 インチ)
- 質量: 約 19.3 kg (42.55 ポンド。構成により異なる)

PCI 拡張スロット:

PCI ライザー・カード・アセンブリの 2 つのコネクターをサポートします。

- コネクター 1 はロー・プロファイルまたは ML2 カードをサポートします。
- コネクター 2 はロー・プロファイルまたはハーフサイズ、フルハイトのカードをサポートします。

サポートされる PCI ライザー・カード・アセンブリの構成のリストについては、199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリの交換』または 208 ページの『アダプターの交換』を参照してください。

電源入力:

- 正弦波入力 (50 から 60 Hz) 必須
- 550W/750W/900W Platinum パワー・サプライの場合
 - 低電圧入力
 - 最低: 100 V AC
 - 最高: 127 V AC
 - 高電圧入力レンジ:
 - 最低: 200 V AC
 - 最高: 240 V AC
- 750W Titanium パワー・サプライの場合
 - 高電圧入力レンジ:
 - 最低: 200 V AC
 - 最高: 240 V AC
- 1500W Platinum パワー・サプライの場合
 - 高電圧入力レンジ:
 - 最低: 200 V AC
 - 最高: 240 V AC
- 900W の高効率パワー・サプライの場合
 - 高電圧入力レンジ:
 - 最低: -60 V DC
 - 最高: -48 V DC
- 入力電力 (kVA) (近似値):
 - 最小: 0.179 kVA
 - 最大: 1.188 kVA

Notes:

1. 電力消費量と発熱量は、取り付けてあるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。
2. 放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたマシンの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。すべての測定は、ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠して報告されています。特定の場所における実際の音圧レベルは、室内反響およびその他の近隣の騒音源によって、ここに示した平均値を超える場合があります。放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたシステムの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。

ホット・スワップ・ファン:

- 1 個のマイクロプロセッサ:
 - 5 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)
 - 6 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)
- 2 個のマイクロプロセッサ:
 - 7 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)
 - 8 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファン (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

パワー・サプライ:

- 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サプライ (冗長性サポート用)
 - 550 ワット AC 80 PLUS Platinum
 - 750 ワット AC 80 PLUS Platinum
 - 750 ワット AC 80 PLUS Titanium (200-240V)
 - 900 ワット AC 80 PLUS Platinum
 - 900 ワット高効率 -48 V DC
 - 1500 ワット AC 80 PLUS Platinum

注: サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。

放出音響ノイズ:

- 音響出力、アイドリング時: 最大 6.5 ベル
- 音響出力、動作時: 最大 6.5 ベル

注: このシステムでは、機能、出力、および必要とされる冷却能力がそれぞれ大きく異なる複数の PCIe オプションがサポートされます。それらのオプションで必要とされる冷却能力が高いほど、ファンの速度が上がり、音響出力レベルが高くなります。設置済み環境の実際の音圧レベルは、さまざまな要因によって異なります。これらの要因には、設置済み環境内のラックの台数、部屋のサイズ、材質、および構成、他の装置からのノイズ・レベル、部屋の周囲温度と圧力、および従業員と装置の位置関係が含まれます。

発熱量 (消費電力):

<!--概算発熱量:-->

- 最小構成: AC 135 ワット
- 最大構成: AC 1023 ワット

環境:

サーバー電源オン時:

- 温度:
 - 5°C から 40°C <!--(41°F から 104°F)-->
 - 高度: 0 から 950 m。高度が 175 m 上がるごとに、最大システム温度が 1°C 減少。
- 湿度:
 - 結露なし: -12°C の露点
 - 相対湿度: 8% から 85%
- 最大露点: 24°C
- 最大高度: 3,050 m、5°C から 28°C
- 最大温度変化率:
 - テープ・ドライブ: 5°C/時
 - ハード・ディスク: 20°C/時<!-- (68°F/時)-->

サーバー電源オフ時:

- 温度: 5°C から 45°C <!--(41°F から 113°F)-->

- 相対湿度: 8% から 85%
- 最大露点: 27°C

保管時 (非稼働時):

- 温度: 1°C から 60°C <!--(33.8°F から 140°F)-->
- 最大高度: 3,050 m
- 相対湿度: 5% から 80%
- 最大露点: 29°C

配送時 (非稼働時):

- 温度: -40°C から 60°C <!--(-40°F から 140°F)-->
- 最大高度: 10,700 m
- 相対湿度: 5% から 100%
- 最大露点: 29°C

注意:

- サポートが緩和された ASHRAE クラス A3、室温 40°C 対応の設計:
 - 性能低下を許容できないワークロード (Turbo-Off) などのクラウドをサポート。
 - どのような環境であっても、最悪のケースのワークロードと構成の組み合わせでも 40°C でシステム・シャットダウンが発生したり仕様を超えたりすることはありません。
- 特定のプロセッサがサポートする環境:
 - プロセッサ E5-2699 v3、E5-2698 v3、E5-2697 v3、E5-2690 v3、E5-2667 v3、E5-2643 v3、E5-2637 v3 は、取り付けられている背面ハード・ディスクではサポートされません。
 - プロセッサ E5-2699 v3、E5-2698 v3、E5-2697 v3、E5-2667 v3、E5-2643 v3、E5-2637 v3 は、3.5 型ハード・ディスク構成ではサポートされません。
- シャーシの電源がオンになっています。
- A3 - 950 m より上では、最大許容温度が 175 m 当たり 1°C 低下します。
- クラス A3 の最小湿度レベルは、-12 °C 露点と 8% 相対湿度のどちらか高い (湿気が多い) 方です。これらは約 25°C で交差します。この交点 (25°C) より下では、露点 (-12 °C) が最小湿気レベルを表し、これより上では相対湿度 (8%) が最小です。
- 0.5°C DP より低く、かつ -10 °C DP または相対湿度 8% を下回らない湿度レベルは、データ・センター内の人員と機器における静電気の発生を抑えるために、適切な制御手段が実装されている場合にのみ受け入れられます。適切な静電気制御システムを介して、すべての人員と可動の備品および機器を接地する必要があります。最小要件としては、次の項目が考えられます。
 - 導電性のある材料 (導電性のある床、データ・センターに立ち入る全員の導電性のある履き物、モバイル設備と機器はすべて、導電性または静電気拡散性のある材料で作られています)。

- ハードウェアの保守時に、IT 機器に接触するすべての人員が、正しく機能するリスト・ストラップを着用する必要があります。
- テープ・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 5°C、ディスク・ドライブを使用するデータ・センターの場合は時間当たり 20°C。
- シャーシがオリジナルの配送用コンテナから取り出され、設置済みだが、使用されていない状態 (例えば、修理、保守、またはアップグレード時)。
- 機器の順応期間は、配送環境から稼働環境への温度変化が 20 °C ごとに 1 時間です。
- 結露は許容されますが、雨にぬれてはなりません。

サーバーが提供する機能

このセクションでは、サーバーが使用および提供する機能とテクノロジーの概要を示します。

• Active Energy Manager

Active Energy Manager ソリューションは、サーバーの電力消費量をその発生時点で測定し、報告する Systems Director プラグインです。この機能を使用すると、特定のソフトウェア・アプリケーション・プログラムやハードウェア構成と関連させて、電力消費量をモニターすることができます。システム管理インターフェースを通じて測定値を取得し、Systems Director を使用してそれらの測定値を表示できます。Systems Director および Active Energy Manager の必要なレベルなどの詳細については、Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) または <http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html> を参照してください。

• Dynamic System Analysis (DSA)

サーバーには Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラムが備わっています。DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとしてサポート Web サイトに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

Dynamic System Analysis には、2 つのエディション (DSA Portable と DSA Preboot) が使用可能です。両方のエディションについて詳しくは、88 ページの『DSA のエディション』を参照してください。

• Features on Demand

サーバーまたはサーバー内に取り付けたオプションの装置に Features on Demand 機能が組み込まれている場合、アクティベーション・キーを注文して機能をアク

タイプ化することができます。Features on Demand について詳しくは、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> を参照してください。

- **ServerGuide Setup and Installation CD**

Web からダウンロードできる *ServerGuide Setup and Installation CD* には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。ServerGuide プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア装置を検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバを提供します。*ServerGuide Setup and Installation CD* について詳しくは、42 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **Systems Director**

Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。業界標準を使用することにより、Systems Director は複数のオペレーティング・システムおよび仮想化テクノロジーをサポートします。詳しくは、Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) および 20 ページの『Systems Director』を参照してください。

- **統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1)**

統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わされています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

IMM に固有の機能として、パフォーマンスの改善、リモート・ビデオの解像度の向上、セキュリティー・オプションの強化、ハードウェアおよびファームウェアのオプションのための Feature on Demand への対応が挙げられます。

追加情報については、54 ページの『統合管理モジュールの使用』、および「Integrated Management Module II User's Guide」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

- **Enterprise X-Architecture テクノロジー**

X-Architecture® テクノロジーは、実証済みで革新的な設計を結合して、ご使用の Intel プロセッサ・ベースのサーバーを強力で、スケーラブルで、しかも信頼性の高いものにします。

- **内蔵ネットワーク・サポート**

このサーバーには、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps のネットワークへの接続をサポートする内蔵クアッド・ポート Broadcom Gigabit Ethernet コントローラーが搭載されています。詳しくは、59 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **内蔵 Trusted Platform Module (TPM)**

この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードすることができます (ソフトウェアが利用可能な場合)。Setup ユーティリティの「**System Security**」メニュー・オプションで TPM サポートを使用可能にすることができます。

- **大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能**

このホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 12 個の 2.5 型 (2 個は背面) または 4 個の 3.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハード・ディスクあるいはホット・スワップ Serial ATA (SATA) ハード・ディスクをサポートします。シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型または 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。

ホット・スワップ機能により、サーバーの電源をオフにしなくても、ハード・ディスクの追加、取り外し、交換ができるようになります。

- **大容量のシステム・メモリー**

このサーバーは、最大 1536 GB のシステム・メモリーをサポート可能です。このサーバーは、24 個のデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) コネクタを提供します。サーバーのメモリー・コントローラーは、PC4-12800 (DDR4-1600)、PC4-14900 (DDR4-1866)、または PC4-17000 (DDR4-2133)、DDR4 (第 4 世代 double data rate)、SDRAM DIMM に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

- **Light Path 診断**

Light Path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、オペレーター情報パネルまたは LCD 操作パネル・アセンブリーを確認してください (23 ページの『オペレーター情報パネル』または 24 ページの『LCD 操作パネル・アセンブリー』を参照)。

- **Lenovo Service Information Web サイトへのモバイル・アクセス**

サーバーには、サーバーのカバーにあるシステム・サービス・ラベルに QR コードが記載されています。モバイル・デバイスの QR コード・リーダーとスキャナーを使用してこのコードをスキャンすると、Lenovo Service Information Web サイトにすぐにアクセスすることができます。Lenovo Service Information Web サイトでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポ

ートのためのエラー・コードが提供されます。QR コードについては、1 ページの『第 1 章 Lenovo System x3550 M5 サーバー』のページにある QR コード情報を参照してください。

- **マルチコア・プロセッシング**

サーバーは最大 2 個の Lenovo Xeon™ E5-2600 v3 シリーズ・マルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。サーバーには、少なくとも 1 つのマイクロプロセッサが付いています。

- **PCI アダプター機能**

サーバーには、2 つの PCI インターフェース・スロットがあります。詳しくは、208 ページの『アダプターの交換』を参照してください。

- **冗長接続**

オプションのイーサネット・アダプターを追加すると、適用可能なアプリケーションがインストールされている冗長イーサネット接続にフェイルオーバー機能が提供されます。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、オプションのイーサネット・アダプターがサーバーに取り付けられている場合、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、オプションの冗長イーサネット・アダプター接続に自動的に切り替えられます。該当するデバイス・ドライバがインストールされている場合、この切り替えによるデータ損失は発生せず、ユーザー介入も不要です。

- **冗長冷却およびオプションの電源機能**

このサーバーは、最大 2 個の 550 ワット、750 ワット、900 ワット、または 1500 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライ、および 7 個または 8 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンをサポートし、標準的な構成に対して冗長性とホット・スワップ機能を提供します。サーバー内のファンの冗長冷却により、ファンの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。このサーバーには、最小 1 個の 550 ワット、750 ワット、900 ワット、または 1500 ワットのホット・スワップ・パワー・サプライと、5 個または 6 個のファンが搭載されています。

サーバーに 2 つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合は、4 つ目と 6 つ目のファンを取り付ける必要があります。電源の冗長性を得るために、オプションで 2 個目のパワー・サプライを注文することができます。

注: サーバー内で異なるワット数のパワー・サプライを混用することはできません。

- **ServeRAID サポート**

ServeRAID アダプターは、構成を形成するためのハードウェア RAID (新磁気ディスク制御機構) サポートを提供します。標準の RAID アダプターは RAID レベル 0、1、および 10 を提供します。オプションの RAID アダプターを購入することができます。

- **SD アダプター**

SD (Secure Digital) メディアの RAID コントローラー。2 つのアップストリーム接続、サーバーのチップ・セットへの USB 接続、統合管理モジュール (IMM2.1) への MMC 接続を備えています。

- **システム管理機能**

このサーバーには、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) が付属しています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアと一緒に IMM を使用すると、サーバーの機能をローカルでもリモート側でも管理することができます。IMM は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。サーバー背面にあるシステム管理コネクタは IMM 専用です。専用のシステム管理コネクタは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup ユーティリティを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

- **UEFI 準拠サーバー・ファームウェア**

Lenovo System x Server Firmware (サーバー・ファームウェア) は、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) 2.1 準拠、Active Energy Manager テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、ならびに BIOS (基本出力システム) 互換性サポートなどの、複数の機能が備わっています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部装置間の標準インターフェースを定義します。UEFI 準拠の System x サーバーは、UEFI 準拠のオペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および UEFI 準拠のアダプターに加えて BIOS ベースのアダプターもブートすることができます。

注: このサーバーは DOS (ディスク・オペレーティング・システム) をサポートしません。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザーのフラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の内部コネクタに取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、58 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守性 (serviceability) (RAS) です。RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品に対して 3 年間、作業に対して 3 年間の限定保証 (マシン・タイプ 5463)
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー

- マスク不能割り込み (NMI) 時の自動再始動
- 電源障害後の自動再始動
- 統合管理モジュール (IMM) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、およびパワー・サプライの冗長性のための組み込みモニター
- ほとんどのコネクタに装備されているケーブルの有無の検出機能
- Chipkill メモリー保護
- x4 DRAM テクノロジー DIMM のための DDDC (Double Device Data Correction) (16 GB の DIMM でのみ使用可能)。これにより、ハード障害の後に、最大 2 つの DRAM DIMM のうち単一の x4 DRAM DIMM でデータが使用可能になります。各ランクにある 1 つの x4 DRAM DIMM は、スペース・デバイスとして予約されています。
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- エラー・コードとメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- フル・アレイ・メモリー・ミラーリング (FAMM) 冗長性
- 速度感知機能付きのホット・スワップ冷却ファン
- ホット・スワップ・ハード・ディスク
- 統合管理モジュール (IMM)
- メモリー・ミラーリングおよびメモリー・スペアリングのサポート
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティ・テスト
- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。ミラーリングされていない訂正不能エラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再始動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM は訂正不能エラーをログに記録して POST に通知します。POST は、訂正不能エラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再始動します。
- メニュー方式のセットアップ、システム構成、および RAID 構成プログラム
- マイクロプロセッサの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル・モニター、内部サーマル・トリップ・シグナル・モニター、構成検査、および Light Path 診断によるマイクロプロセッサと電圧調節モジュールの障害識別
- マスク不可能割り込み (NMI) ボタン
- SCSI バスおよび PCI-E バスと PCI バスのパリティ・チェック
- 電源管理: 拡張構成および電力インターフェース機構 (ACPI) に準拠
- パワーオン・セルフテスト (POST)
- メモリー、マイクロプロセッサ、SAS/SATA ハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブ、ファン、パワー・サプライ、および VRM の 障害予知機能 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポートのある冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ・パワー・サプライおよび冗長ホット・スワップ・ファン
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- システム・エラー LED を一時的にオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベースの診断
- ROM チェックサム

- メモリー、システム・ボード上の VPD、パワー・サプライ、およびハード・ディスクまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサとメモリー拡張トレイ、およびイーサネット・カードに関する Serial Presence Detection (SPD)
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの単一 DIMM 分離
- ソリッド・ステート・ドライブ
- システム管理機能およびモニター用待機電圧
- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) を使用した LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成
- システム・エラー・ログ (POST および IMM)
- Inter-Integrated Circuit (IC) プロトコル・バスを通したシステム管理モニター
- 訂正不能エラー (UE) の検出
- ローカルでの、または LAN 経由による、アップグレード可能 POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- マイクロプロセッサ、システム・ボード、パワー・サプライ、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハード・ディスクおよびソリッド・ステート・ドライブ) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

Systems Director

Systems Director は、異機種混合環境で物理システムと仮想システムを管理する方法を簡素化するプラットフォーム管理の基盤です。Systems Director は、業界標準を使用することによって、Lenovo および Lenovo 以外の x86 プラットフォームで複数のオペレーティング・システムと仮想化テクノロジーをサポートします。

Systems Director は、管理対象システムの表示、これらのシステム間の関連性の判別、システムの状態の識別、技術リソースとビジネス・ニーズとの関連付けを行うために、1 つのユーザー・インターフェースを使用した一貫性のあるビューを提供します。Systems Director に組み込まれた一連の共通タスクには、基本管理に必要な主要機能が多数あり、ビジネスにすぐに役立つ価値をもたらします。一般タスクには、管理対象システム、ハードウェア・ログ、電源、および Light Path の検出、インベントリー、構成、システム・ヘルス、モニター、更新、イベント通知、自動化などがあります。

Systems Director の Web インターフェースとコマンド・ライン・インターフェースは、以下の一般的なタスクと機能の実行に重点を置いた一貫性のあるインターフェースです。

- ネットワーク上のシステムを詳しいインベントリーと他のネットワーク・リソースとの関連を用いて検出、ナビゲート、および視覚化します。
- システムで発生した問題とその問題の発生元を分離する方法をユーザーに通知します。
- システムの更新が必要なときにユーザーに通知し、定期的に更新を配布してインストールします。

- システムのリアルタイム・データを分析し、新たに発生した問題を管理者に通知する重要なしきい値を設定します。
- 単一システムの設定を構成し、その設定を複数のシステムに適用できる構成プランを作成する。
- インストール済みのプラグインを更新して、新しい機能や特性を基本機能に追加します。
- 仮想リソースのライフ・サイクルを管理します。

Systems Director について詳しくは、Systems Director インフォメーション・センター (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/director/pubs/index.jsp?topic=%2Fcom.ibm.director.main.helps.doc%2Ffqm0_main.html) および Systems Management Web ページ (<http://www.ibm.com/systems/management>) を参照してください。このサイトには、Systems Management と Systems Director の概要が掲載されています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、コントロールおよび発光ダイオード (LED) と、サーバーのオン/オフ方法について説明します。

システム・ボード上のその他の LED の位置については、34 ページの『システム・ボードの LED』を参照してください。

正面図

次の図は、ご使用のサーバー・モデルの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。ホット・スワップ・モデルまたはシンプル・スワップ・モデルのいずれの場合でも同じであるため、ホット・スワップ・モデルのみを使用して関連する位置を示しています。

注: 10 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルはサポートされません。

ご使用のサーバー・モデルのコントロール、LED、およびコネクタ。

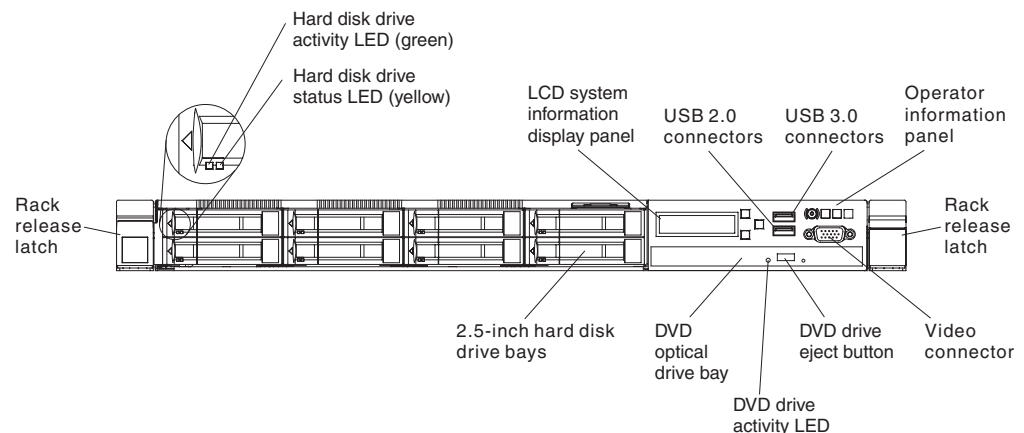


図 10. 前面図: 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ・モデル

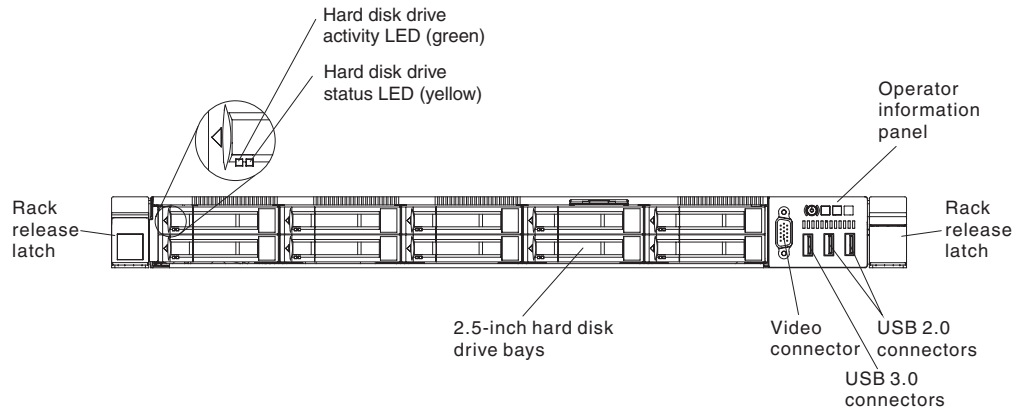


図 11. 前面図: 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ・モデル

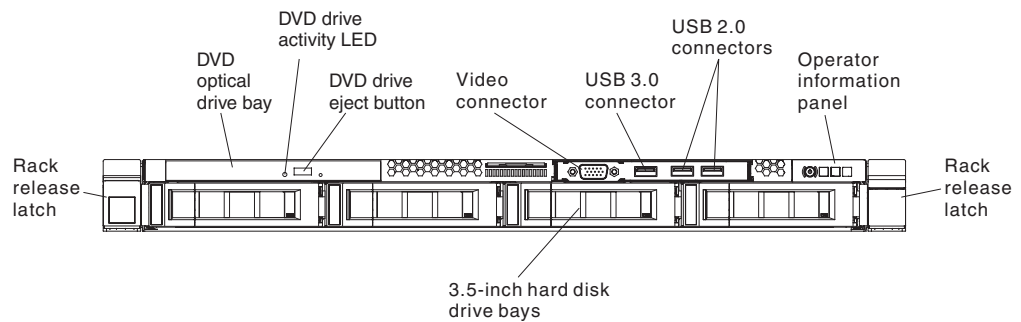


図 12. 前面図: 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・ベイ・モデル

- **ラック・リリース・ラッチ:** サーバーをラックから取り出すには、サーバー前面の両側にあるこのラッチを押します。
- **ハード・ディスク活動 LED:** この LED は、ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。
- **ハード・ディスク状況 LED:** この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。この LED が点灯したままになっているときは、ドライブに障害が発生したことを示します。オプションの ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられており、この LED が長い間隔で (1 秒に 1 回) 点滅している場合、ドライブが再構築中であることを示します。LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。
- **DVD イジェクト・ボタン:** このボタンは、DVD または CD を DVD ドライブから取り出すのに使用します。
- **DVD ドライブ活動 LED:** この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示します。
- **オペレーター情報パネル:** サーバー前面のオペレーター・パネルにあるコネクタ、LED、およびボタンの概要については、後述の情報を使用してください。

- **LCD システム情報表示パネル:** サーバーに関するさまざまなタイプの情報を表示する LCD システム情報表示パネルの概要については、後述の情報を使用してください。
- **ビデオ・コネクタ:** モニターをこのコネクタに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクタは同時に使用することができます。

注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。

- **USB コネクタ:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクタのいずれかに接続します。

オペレーター情報パネル

次の図は、オペレーター情報パネル上のコントロール・ボタンと LED を示しています。

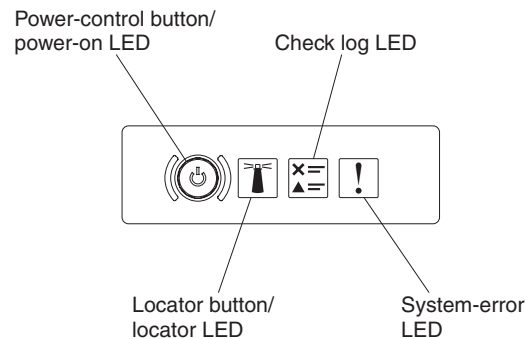


図 13. オペレーター情報パネル

- **電源制御ボタンとパワーオン LED:** サーバーの電源を手動でオンまたはオフにするには、このボタンを押します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。
 - オフ:** 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。
 - 高速で点滅 (毎秒 4 回):** サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていません。電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。
 - 低速で点滅 (1 秒間に 1 回):** サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。
 - 点灯:** サーバーの電源がオンになっています。
- **システム・ロケータ・ボタン/LED** この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。システム・ロケータ LED もサーバー背面に付いています。この LED はプレゼンス検出ボタンとしても使用されます。Systems Director または IMM Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。この LED は IMM によって制御されます。ロケータ・ボタンは、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために押します。

- **チェック・ログ LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してください。イベント・ログについての詳細は、83 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
- **システム・エラー LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・エラー LED は、サーバーの背面にもあります。オペレーター情報パネルやシステム・ボード上の LED も点灯して、エラーを切り分ける支援をします。この LED は IMM によって制御されます。

LCD 操作パネル・アセンブリー

サーバーに関するさまざまなタイプの情報を表示する LCD 操作パネル・アセンブリーの概要については、以下の情報を使用してください。

LCD 操作パネル・アセンブリーは、サーバーの前面にあります。この操作パネルを使用すると、システム状況、ファームウェア、ネットワーク、およびヘルスに関する情報に簡単にアクセスすることができます。次の図は、LCD 操作パネル・アセンブリーのコントロール部を示しています。

注: LCD 操作パネル・アセンブリーは、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・サーバー構成にのみ取り付けられます。

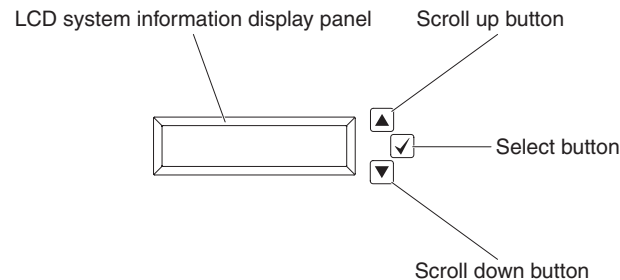


図 14. LCD 操作パネル・アセンブリー

- **スクロールアップ・ボタン:** メインメニューで上にスクロールするか、左にスクロールして、表示したいシステム情報を見つけて選択するには、このボタンを押します。
- **選択ボタン:** メニュー・オプションの中から選択するには、このボタンを押します。
- **スクロールダウン・ボタン:** メインメニューで下にスクロールするか、右にスクロールして、表示したいシステム情報を見つけて選択するには、このボタンを押します。

次の図は、LCD 操作パネル・アセンブリーのメニュー・オプション・フローを示しています。

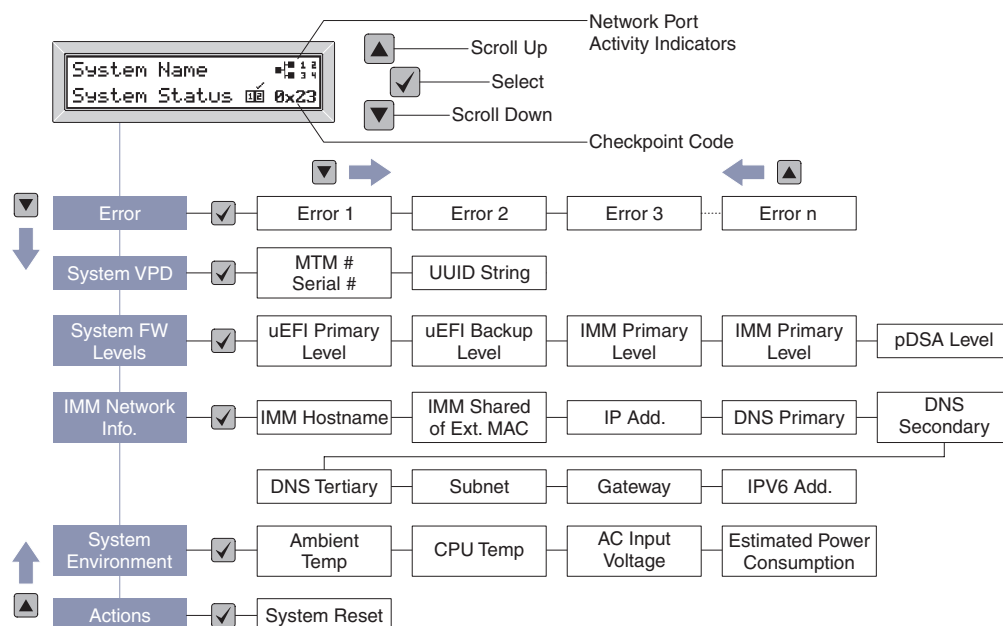


図 15. LCD 操作パネル・アセンブリのメニュー・オプション・フロー

表示パネルに表示される情報の例は次のとおりです。この例は、デバッグ機能が使用可能であるときにメインメニュー内の情報のレイアウトを示しています。

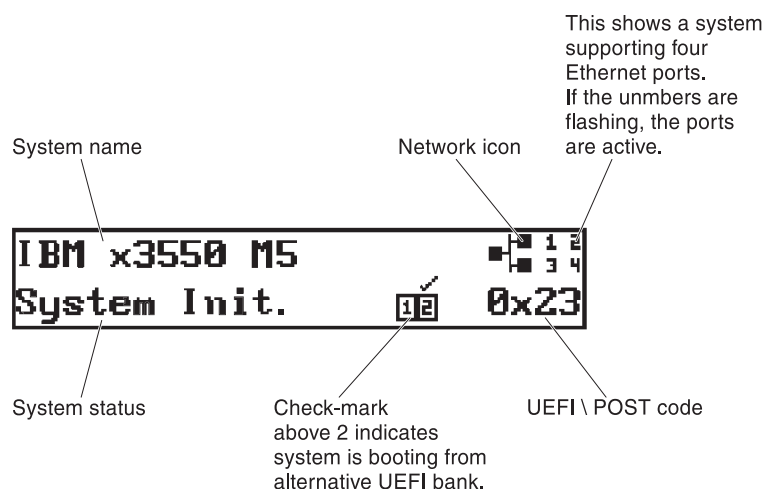


図 16. メインメニュー

LCD 操作パネル・アセンブリ上のメニュー・オプションの階層をナビゲートすると、表示パネルにはそのオプションの情報が表示され、表示パネルの側面に上矢印と下矢印が表示されます。メニュー・オプションの階層の一番下に達すると、上矢印のみが選択可能です。メニュー・オプションの階層の一番上に達すると、下矢印のみが選択可能です。

エラー・サブメニュー・セットの場合、1 つのみのエラーが生じると、LCD 表示パネルにそのエラーが表示されます。複数のエラーが生じると、LCD 表示パネルには、発生したエラー数が表示されます。エラーが生じない場合、ナビゲーションでエラー・メニューは選択できません。

メニュー・オプション内で移動するには、スクロールアップ・ボタンまたはスクロールダウン・ボタンを使用してから、選択ボタンを使用してサブメニュー・セットを入力します。

LCD 操作パネル・アセンブリーは、サーバーに関する以下のタイプの情報を表示します。

- IMM システム・エラー・ログ (SEL)

注: このメニュー・オプションに対してスクロールダウン・ボタンが機能するのは、エラーが発生した場合のみです。システムによって報告された現在のエラーのリストが表示されます。システム・エラー・ログ (SEL) を確認し、エラーの完全なリストを入手するには、IMM Web ページに進んでください (57 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照)。

- システム VPD 情報:

- マシン・タイプおよびシリアル番号
- 汎用固有 ID (UUID) スtring

- システム・ファームウェア・レベル:

- UEFI コード・レベル
- IMM コード・レベル
- pDSA コード・レベル

- IMM ネットワーク情報:

- IMM のホスト名
- IMM 専用 MAC アドレス

注: 現在使用中の MAC アドレスのみが表示されます (専用または共用)

- IMM 共用 MAC アドレス
- IP v4 情報
- IP v6 アドレス

- システム環境情報:

- 周辺温度
- CPU 温度
- AC 入力電圧
- 推定電力使用量

背面図

次の図は、サーバー背面にあるコネクタを示しています。

サーバー構成は、以下の 3 つのいずれかになります。

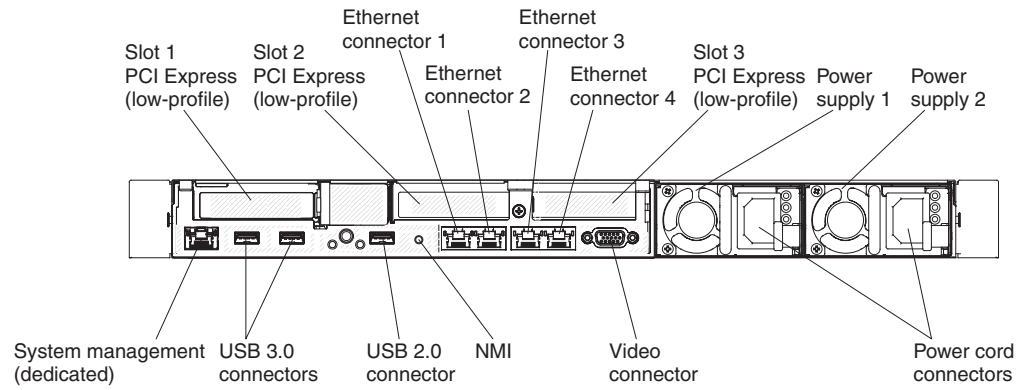


図 17. 3 個のロー・プロファイル PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付ける場合の背面のコネクターの図

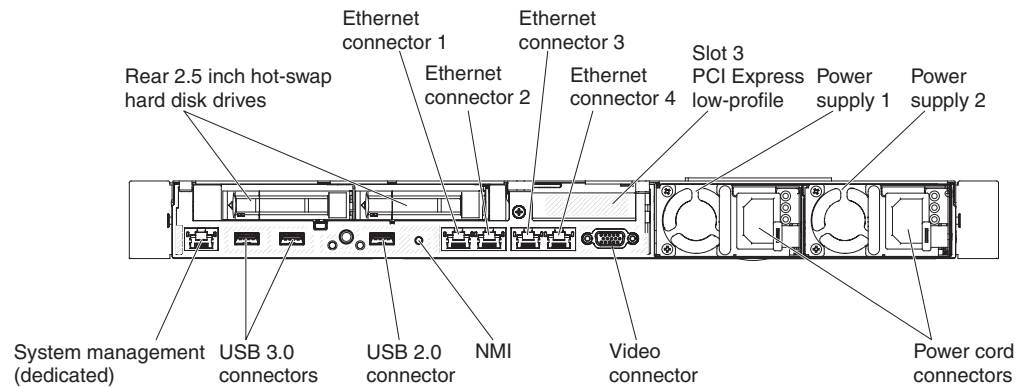


図 18. サーバーに追加の背面 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクが 2 個取り付けられている場合の背面のコネクターの図。このサーバー構成の PCI ライザー・カード・アセンブリーはロー・プロファイルです。

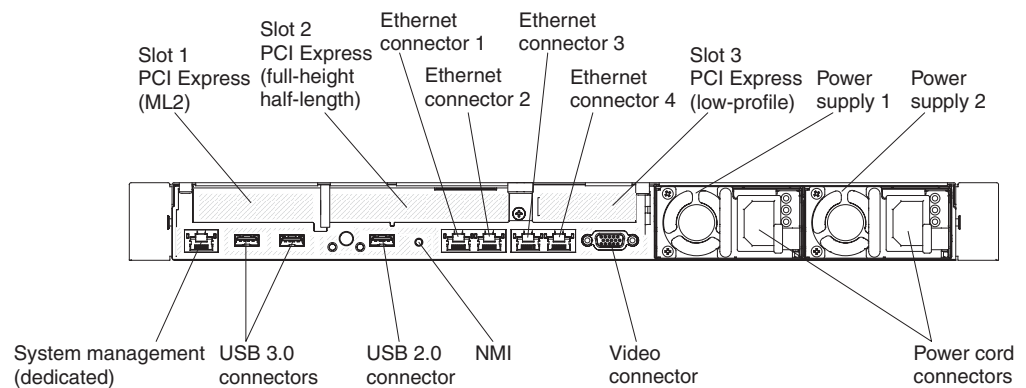


図 19. サーバーに ML2 が 1 個、フルハイト、ハーフサイズが 1 個、およびロー・プロファイル PCI ライザー・カード・アセンブリーが 1 個取り付けられている場合の背面のコネクターの図。

- **PCI スロット 1:** サーバー構成に応じて、このスロットにはロー・プロファイル PCI Express アダプターまたは ML2 アダプターを挿入します。

- **PCI スロット 2:** サーバー構成に応じて、このスロットにはハーフサイズ、ハーフハイトの PCI Express アダプターまたはロー・プロファイル PCI Express アダプターを挿入します。
- **PCI スロット 3:** このスロットには、ロー・プロファイル PCI Express を挿入します。
- **イーサネット・コネクタ:** これらのコネクタはどちらも、サーバーをネットワークに接続するのに使用します。
- **システム管理イーサネット・コネクタ:** サーバーをネットワークに接続してシステム管理情報を完全に制御するには、このコネクタを使用します。このコネクタは統合管理モジュール (IMM2.1) のみで使用されます。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup ユーティリティを使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。
- **USB コネクタ:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクタのいずれかに接続します。
- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。これにより、サーバーをブルー・スクリーンにして、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンを使用するのは、Lenovo サービス・サポートに指示された場合のみにしてください)。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。NMI ボタンは、サーバー背面の左下隅にあります。
- **ビデオ・コネクタ:** モニターをこのコネクタに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクタは同時に使用することができます。

注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。

- **電源コード・コネクタ:** このコネクタには電源コードを接続します。

注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。

次の図は、サーバー背面にある LED を示しています。

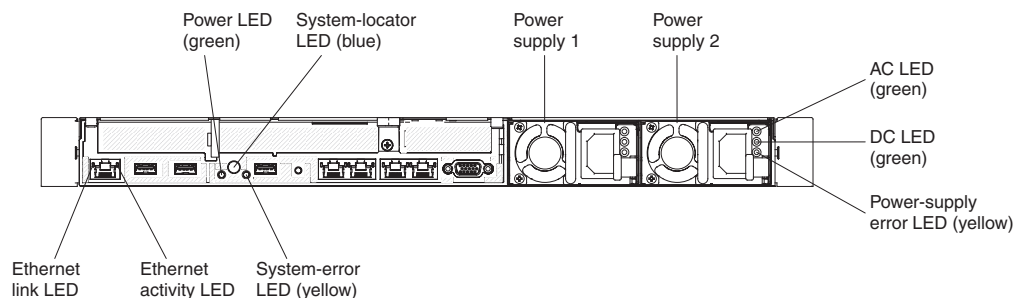


図 20. 背面図 LED

- **イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。

- **イーサネット活動 LED:** この LED が点灯している場合、サーバーが、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号の送受信を行っていることを示します。
- **パワーオン LED:** この LED が点灯しており、点滅していない場合は、サーバーがオンになっていることを示します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。

オフ: 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。

高速で点滅 (毎秒 4 回): サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていません。電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 5 秒から 10 秒続きます。

低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

点灯: サーバーの電源がオンになっています。

- **システム・ロケーター LED:** この LED は、他のサーバーの中からご使用のサーバーを視覚的に確認するのに使用します。IBM Systems Director または IMM2.1 Web インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。
- **システム・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、システム・エラーが起こったことを示します。エラーの切り分けに役立つように、オペレーター情報パネル上の LED も点灯します。
- **DC 電源 LED:** 各ホット・スワップ AC パワー・サプライには DC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。その他の LED の組み合わせについては、79 ページの『AC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **AC 電源 LED:** 各ホット・スワップ AC パワー・サプライには AC 電源 LED があります。AC 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。通常の動作時には、AC 電源 LED が点灯します。その他の LED の組み合わせについては、79 ページの『AC パワー・サプライ LED』を参照してください。
- **パワー・サプライ・エラー LED:** パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生したことを示します。

注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。

サーバー・コンポーネント

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

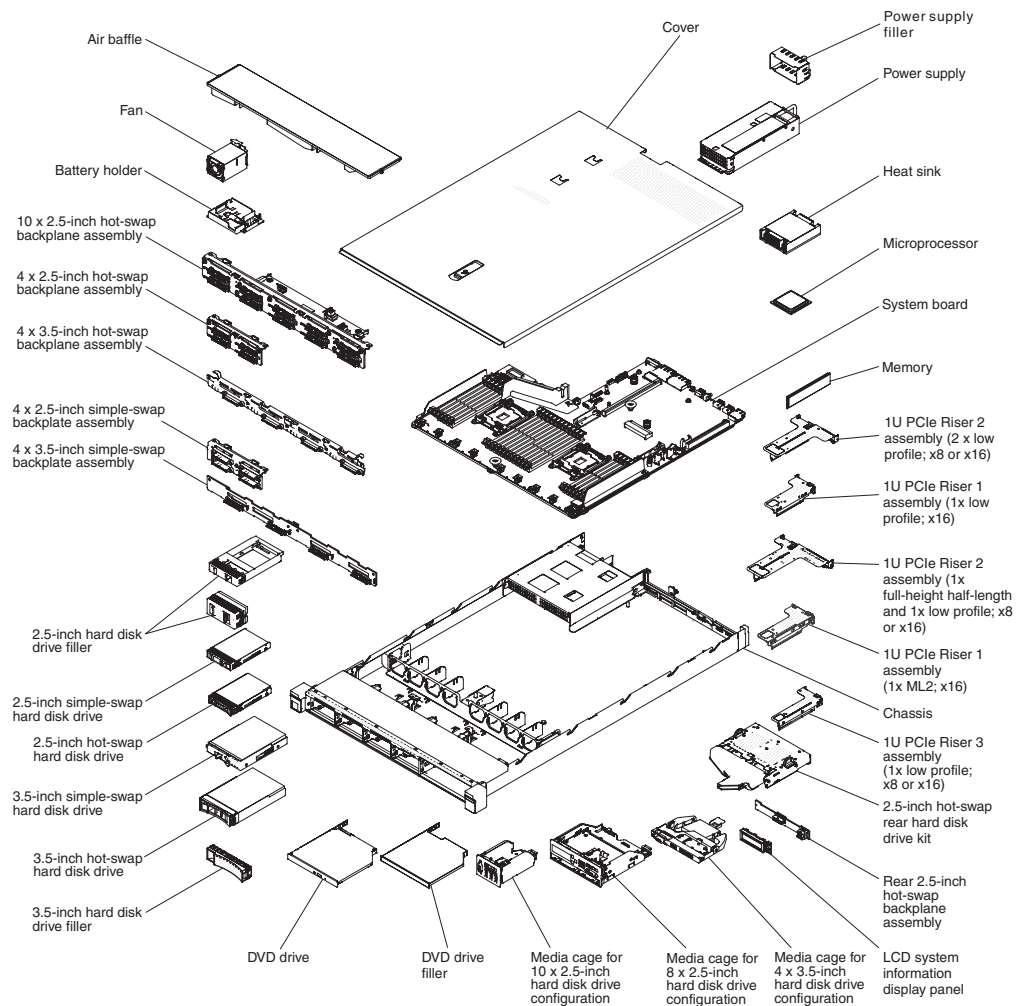


図 21. サーバー・コンポーネント

コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいは ラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。

コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできることを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。(オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。)特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

システム・ボードの内部コネクタ

次の図で、システム・ボード上の内部コネクタを示します。

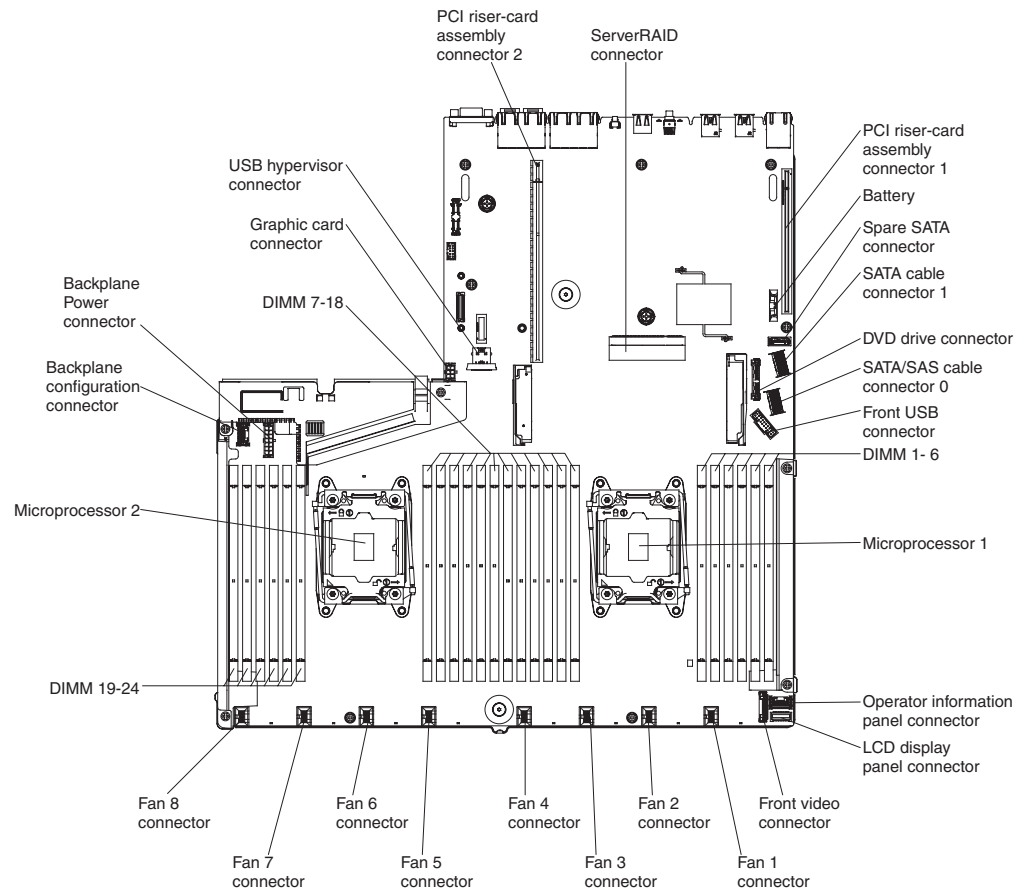


図 22. システム・ボードの内部コネクタ

システム・ボードの外部コネクタ

次の図に、システム・ボード上の外部コネクタを示します。

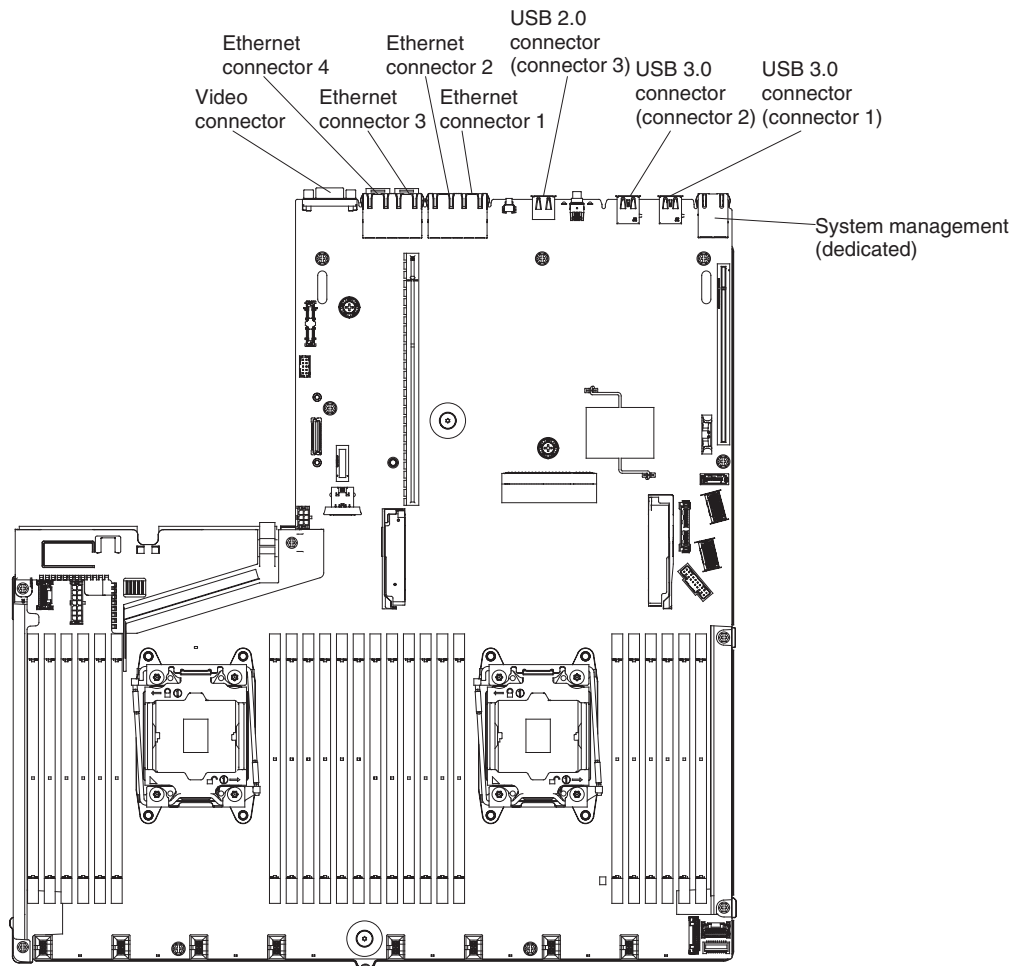


図 23. システム・ボードの外部コネクタ

システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

次の図は、サーバー上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置を示しています。

重要:

1. スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』、140 ページの『取り付けのガイドライン』、143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 36 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. システム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。
3. スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

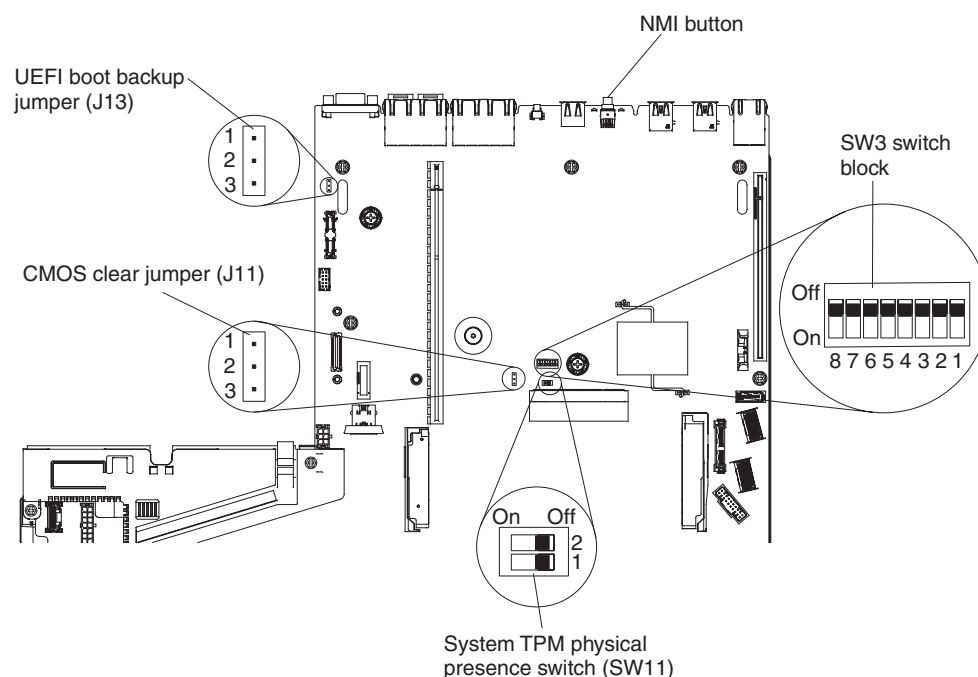


図 24. システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

以下の表は、システム・ボード上のジャンパーについて説明しています。

表 1. システム・ボードのジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
JP11	CMOS クリア・ジャンパー	- ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。 - ピン 2 と 3: リアルタイム・クロック (RTC) レジストリーをクリアします。
JP13	UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー	- ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。プライマリー・サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。 - ピン 2 と 3: セカンダリー (バックアップ) サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。
Notes: - ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。 - サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13)の位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。		

以下の表は、システム・ボード上にある SW3 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 2. システム・ボードの SW3 スイッチ・ブロック定義

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
1	オフ	予約済み
2	オフ	始動パスワードのオーバーライド。このスイッチの位置を変更すると、次回にサーバーの電源を入れたときに始動パスワード検査をバイパスして、Setup ユーティリティーを開始するため、始動パスワードを変更または削除できるようになります。始動パスワードが変更された後に、スイッチをデフォルト位置に戻す必要はありません。 管理者パスワードが設定されている場合、このスイッチの位置を変更しても管理者パスワード検査に影響を及ぼすことはありません。 パスワードに関する追加情報については、50 ページの『パスワード』を参照してください。
3	オフ	予約済み
4	オフ	予約済み

以下の表は、システム・ボード上にある SW11 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 3. システム・ボードの SW11 スイッチ・ブロック定義

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
1	オフ	システム TPM に対して物理プレゼンスを示します。
2	オフ	予約済み

次の表は、システム・ボード上にあるボタンの機能について説明しています。

表 4. サーバー上のボタン

ボタン名	機能
NMI 強制ボタン	このボタンはサーバーの背面にあります。このボタンを押すと、マイクロプロセッサにマスク不能割り込みを強制します。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。また、このボタンを使用して、ブルー・スクリーン・メモリー・ダンブを強制することも可能です (このボタンは、Lenovo サポートから指示があった場合にのみ使用してください)。

システム・ボードの LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

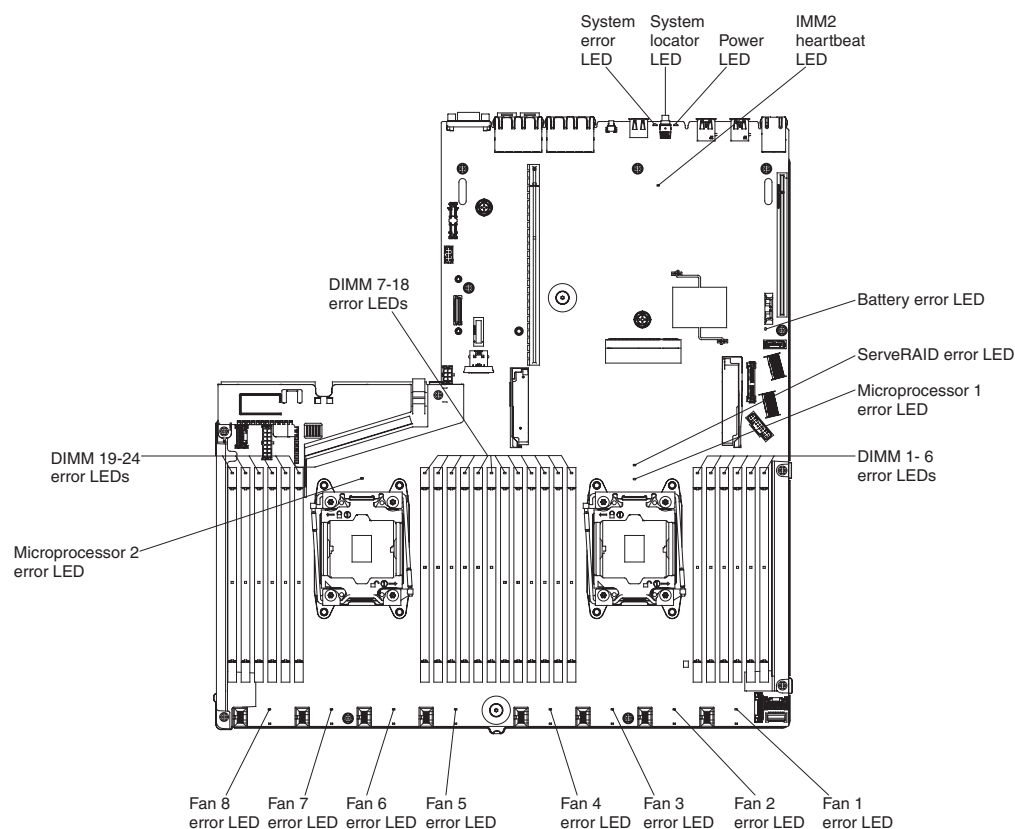


図 25. システム・ボードの LED

サーバーのパワー・サプライ

サーバーを AC 給電部に接続しても、電源をオンにしない場合は、オペレーティング・システムは実行されず、統合管理モジュールを以外のすべてのコア・ロジックはシャットダウンされます。

ただし、サーバーは IMM からの要求 (例えば、サーバーをオンにするリモート要求) に応答できます。パワーオン LED が点滅している場合、サーバーは AC 電源に接続されているが、電源がオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

サーバーの電源をオンにするには、この情報を使用します。

サーバーを電源に接続してから約 5 秒後に 1 つ以上のファンが稼働を開始し、サーバーが電源に接続されている間、冷却機能を提供します。また、パワーオン・ボタン LED が高速で点滅します。サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになり (パワーオン LED がゆっくりと点滅)、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行います。電源制御ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

また、サーバーの電源は、次のいずれの方法でオンにすることもできます。

- サーバーの電源がオンのときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
- ご使用のオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートする場合は、Wake on LAN 機能が、サーバーの電源をオンにすることができます。

Notes:

1. 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に 予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。
2. イーサネット 1 コネクタは、Wake on LAN 機能をサポートします。
3. グラフィック・アダプターが取り付けられたサーバーの電源をオンにすると、約 3 分後に Lenovo ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。

サーバーの電源をオフにする

サーバーの電源をオフにするには、この情報を使用します。

サーバーの電源をオフにしても、電源を接続したままにしておくと、サービス・プロセッサへサーバーの電源をオンにするリモート要求などがあれば、サーバーはこれに応答できます。サーバーを電源に接続したままにしていると、1 つ以上のファンが動作を続ける場合があります。サーバーから すべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

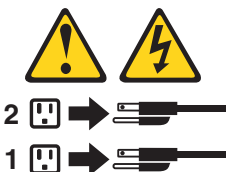
オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に正常シャットダウンが必要な場合があります。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

安全に関する注記 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置に複数の電源コードが使われている場合もあります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



サーバーは、次のいずれかの方法でオフにすることができます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始し、サーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。

注: どの PCI アダプターを取り付ける場合も、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、給電部から電源コードを切り離す必要があります。これを行わない場合、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。

- 統合管理モジュール II (IMM2) は、クリティカルなシステム障害に対する自動応答としてサーバーをオフにできます。

第 2 章 構成

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

以下の情報を使用して、ファームウェアを更新します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。UpdateXpress システム・パック・インストーラーを使用して、UpdateXpress システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnvco=LNVO-CENTER>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されており、Lenovo の Web サイトからダウンロードすることができます。UEFI ファームウェア、デバイス・ドライバ、および統合管理モジュール (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM2.1 ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーおよびシステム・ボード上の ROM に保管されています。
- ServeRAID ファームウェアは、システム・ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

- **Setup ユーティリティ**

Setup ユーティリティは、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、44 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

- **ブート・マネージャー・プログラム**

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの最初の装置を一時的に割り当てます。このプログラムの使用については、53 ページの『Boot Manager の使用』を参照してください。

- **ServerGuide Setup and Installation CD**

ServerGuide プログラムは、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、42 ページの『ServerGuide Setup and Installation CD の使用』を参照してください。

- **FastSetup**

FastSetup は、選択された BladeCenter シャーシ、サーバー、およびコンポーネントの保守および実装を単純化するのに役立つ、無料のソフトウェア・ツールです。直観的に使用できるグラフィカル・インターフェースが、ディスカバリー、アップデート、および構成を含むサーバー・セットアップのすべてのフェーズを初期設定します。機能には、複数のサーバーへの設定の複写および実践の時間とユーザー・エラーを減らす自動化を可能にする、テンプレートが含まれています。ウィザードおよびその他のデフォルトの設定値により、カスタマイズ機能が使用可能になります。操作回数が少なく、1 回の設定で済み、あとは気にせず済む機能によって、何日もかかっていたサーバー・セットアップの実践時間が分単位に短縮され、特に大規模な実装では効果が大きくなります。このツールについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-FASTSET> を参照してください。

• 統合管理モジュール

統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM の使用については、54 ページの『統合管理モジュールの使用』および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

• VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタ 3 および 4 に取り付けすることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、58 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

• リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャ

一機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。詳しくは、55 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラーの構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、59 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、59 ページの『Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。RAID 用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、59 ページの『Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化』を参照してください。

- **Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラム**

このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup ユーティリティの代替手段として使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup ユーティリティを実行するためにサーバーを再始動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用については、60 ページの『Advanced Settings ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

RAID アレイの構成については、60 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。

ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバーを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide Setup and Installation CD のイメージを <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE> から無料でダウンロードすることができます。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* CD を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、以下の特長を備えています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム
- サーバーのモデルと検出されたハードウェア用のデバイス・ドライバの提供
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

ServerGuide プログラムの機能は次のとおりです。

- システム日付と時刻の設定
- RAID アダプターまたはコントローラーの検出、および SAS/SATA RAID 構成プログラムの実行
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) のレベルの確認、および、もっと新しいレベルが CD から入手可能かどうかの判別
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成の概要

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスクは必要ありません。この CD を使用して、サポートされている Lenovo サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。

注: ServerGuide プログラムのバージョンにより特長と機能が若干異なる場合があります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide 標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、標準的な ServerGuide オペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハード・ディスク・コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、選択されたオペレーティング・システムとインストール済みハード・ディスクに基づき、オペレーティング・システム区画のオプションを表示します。
4. ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するようにプロンプトを出します。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<http://www.lenovo.com/support> からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

以下の作業を実行するには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) Setup ユーティリティー・プログラムを使用します。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更

- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

Setup ユーティリティーを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティー・メニューが限定されます。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティーのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティー・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティーのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

• システム情報

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup ユーティリティーの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全メニューにのみ表示されます。

– System Summary

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティーの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

– Product Data

システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Adapters and UEFI Drivers**

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

- **Processors**

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Memory**

この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

- **デバイスおよび I/O ポート**

この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、SATA 光ディスク・ドライブ・チャンネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同等です)。

- **Power**

消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するためにパワー・キャッピングを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **動作モード**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

- **Legacy Support**

この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

- **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

- **Rehook INT 19h**

装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「Disable」です。

- **Legacy Thunk Support**

UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Infinite Boot Retry**

UEFI によるレガシー・ブート順序の無限再試行を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

- **BBS Boot**

BBS 方法のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

- **統合管理モジュール**

Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Power Restore Policy**

電源の切断後に動作のモードを設定するには、この項目を選択します。

- **Commands on USB Interface**

この選択項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に選択します。デフォルトは「**Enable**」です。

- **Network Configuration**

この選択項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。静的 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM2.1 IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

IMM をリセットするには、この項目を選択します。

- **リカバリー**

この選択項目を選択し、システム・リカバリー・パラメーターを表示あるいは変更します。

- **POST Attempts**

POST に対する試行の回数値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **POST Attempts Limit**

Nx 回ブート失敗パラメーターを表示または変更するには、この項目を選択します。

- **System Recovery**

システム・リカバリー設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **POST Watchdog Timer**

この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

- **POST Watchdog Timer Value**

この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

- **Reboot System on NMI**

この選択項目を選択し、マスク不可割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動させる機能を使用可能または使用不可にします。**Enable** (使用可能) がデフォルトです。

- **Halt on Severe Error**

重大エラーが検出されるたびにシステムが OS にブートして POST イベント・ビューアーを表示することを使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。**Disable** (使用不可) がデフォルトです。

- **Storage**

この選択項目を選択し、ストレージ・デバイス設定を表示あるいは変更します。

- **Network**

この選択項目を選択し、ネットワーク・デバイス・オプション (iSCSI など) を表示あるいは変更します。

- **Drive Health**

ブレード・サーバーに取り付けられているコントローラーの状況を表示するには、この項目を選択します。

- **日付と時刻**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

- **Start Options**

始動シーケンス、キーボードの NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイスのブート優先順位を含めた始動オプションを表示または変更する場合、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーに Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアがあり、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合には、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクを検査し、次にハード・ディスクを検査し、その次にネットワーク・アダプターを検査するというような始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

- **Boot Manager**

この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

この選択項目は、POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログをクリアしてください。また、エラーの修復または修正が完了したら、システム・イベント・ログをクリアしてサーバー前面にあるシステム・エラー LED をオフにしてください。

- **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

- **System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

- **Clear System Event Log**

この選択項目は、システム・イベント・ログを消去する場合に選択します。

- **User Security**

この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全および限定メニューに表示されます。

– **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。詳しくは、51 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、51 ページの『始動パスワード』を参照してください。

– **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するもので、これによって Setup ユーティリティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードが設定されている場合、Setup ユーティリティの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。詳しくは、52 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– **Clear Administrator Password**

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、52 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

• **Save Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。

• **Restore Settings**

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。<!--をリストアします。-->

• **Load Default Settings**

変更した設定を取り消して、工場出荷時の設定をリストアするには、この項目を選択します。

• **Exit Setup**

この選択項目を選択し、Setup ユーティリティを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「**User Security**」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「**User Security**」選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみあります。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのもので、これによって Setup ユーティリティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザー用に始動パスワードを設定し、システム管理者用に管理者パスワードを設定している場合は、いずれかのパスワードを入力することによりシステムの始動を完了できます。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティを開始して、始動パスワードをリセットします。
- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW3) の始動パスワード・スイッチ (スイッチ 4) の位置を変更して、始動パスワード検査をバイパスします (詳しくは、34 ページの表 2 を参照)。

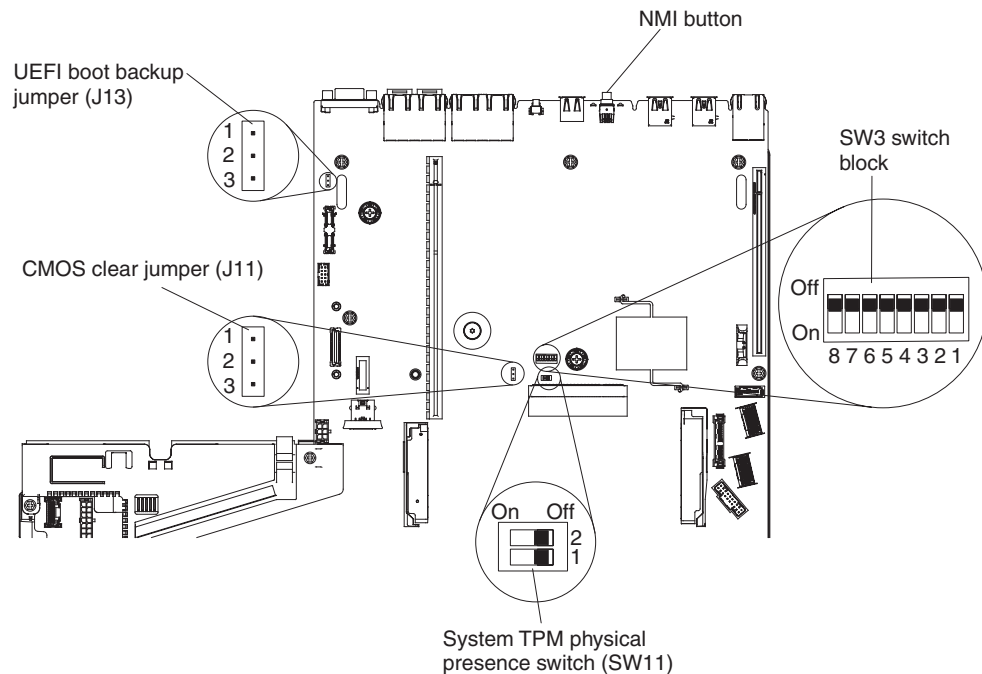


図 26. システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

サーバーの電源がオフの間に、システム・ボードのスイッチ・ブロック (SW3) の始動パスワード・スイッチ (スイッチ 4) をオン位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。次に Setup ユーティリティを開始し、始動パスワードを再設定することができます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには 影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager の使用

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup ユーティリティーの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 キーを押します。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティーに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

バックアップ・コピーからサーバーを強制的に始動するには、サーバーの電源をオフにし、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13) をバックアップの位置 (ピン 2 および 3) に配置します。UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13) の位置については、32 ページの『システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン』を参照してください。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまで、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされたら、サーバーの電源をオフにし、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13) を 1 次の位置に戻します (ピン 1 および 2)。

UpdateXpress System Pack Installer

UpdateXpress System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolstr/v1r0/>) にアクセスし、「UpdateXpress System Pack Installer」をクリックします。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートします。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 2 個のマイクロプロセッサ構成で 1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の障害時の自動マイクロプロセッサ使用不可および再始動。1 個のマイクロプロセッサが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサを使用不可にし、もう 1 個のマイクロプロセッサを使用して再始動します。
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は、管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンブのために、NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) により POST 中に検出された障害のある DIMM が使用不可になり、IMM により関連システム・エラー LED と障害のある DIMM のエラー LED が点灯します。
- 温度、電圧、ファン障害、パワー・サプライ障害、およびパワー・バックプレーン障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告

- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ

IMM2.1 は、IPMITool、管理ユーティリティ・プログラムを介して以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

• コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)

コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

• Serial over LAN

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれも SOL 接続にアクセスできます。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module II User's Guide*」

(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5089484

&brandind=5000008) を参照してください。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) に組み込まれた機能です。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。

- ディスケット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

IMM ホスト名の取得

以下の情報を使用して、IMM ホスト名を取得します。

このタスクについて

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は『IMM-』(IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加)です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にあるパワー・サプライについている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にあるパワー・サプライの IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

手順

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (例えば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (例えば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に『FF』と『FE』を追加します (例えば、5C F3 FC FF FE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (例えば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FF FE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FF FE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数に戻します (例えば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティを使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。

このタスクについて

サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。)始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティを終了します。

Web インターフェースへのログオン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログオンします。

このタスクについて

IMM Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

手順

1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「アドレス」または「URL」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注: インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注: IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。

3. 「**Log in**」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

タスクの結果

注: IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「**System Status**」 > 「**System State**」でメッセージ **Booting OS or in unsupported OS** が表示される場合は、Windows 2008 または 2012 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 または 2012 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は『OS booted』 状況に変わります。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクタに取り付けることができます (これらのコネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティの始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 5 秒から 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」を選択し、次に「**Generic Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」 > 「**Change the order**」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Embedded Hypervisor**」を選択し、プラス(+) キーとマイナス (-) キーを使用して、ブート順序内で「**Embedded Hypervisor**」を移動します。「**Embedded Hypervisor**」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「**Commit Changes**」を選択して Enter キーを押します。

6. 「Save Settings」を選択し、次に「Exit Setup」を選択します。

タスクの結果

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、<http://www-03.ibm.com/systems/x/os/vmware/esxi/>からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere 4.1 Documentation」(http://www.vmware.com/support/pubs/vs_pages/vsp_pubs_esxi41_e_vc41.html) または「VMware vSphere Installation and Setup Guide」(<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-50-installation-setup-guide.pdf>)を参照してください。

Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。このコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps ネットワークへの接続インターフェースと、ネットワーク上でデータの送受信を同時に行うことができる全二重 (FDX) 機能を提供します。

サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

Features on Demand Ethernet ソフトウェアの使用可能化

統合管理モジュールに組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。

Features on Demand Ethernet ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「Help」をクリックしてください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化

統合管理モジュールに組み込まれている RAID 用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。

Features on Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*Features on Demand User's Guide*」を参照してください。この

資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

Setup ユーティリティから、RAID を構成するためのユーティリティにアクセスできます。

このタスクについて

アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。RAID コントローラーのユーティリティにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 10 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードを設定してある場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、使用可能な Setup ユーティリティ・メニューが限定されます。
3. 「**System Settings**」 > 「**Storage**」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

Advanced Settings ユーティリティ・プログラム

Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM2.1 設定を構成できます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムを使用すると、コマンド・ライン・インターフェースから IMM LAN over USB インターフェースを構成することもできます。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-ASU> にアクセスしてください。

Systems Director の更新

サーバーの管理に Systems Director を使用する予定がある場合は、Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

このタスクについて

注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. Systems Director の最新バージョンを確認します。
 - a. <http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html> に進みます。
 - b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**View updates**」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで「**Manage**」タブをクリックし、「**Update Manager**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用の バージョンをダウンロードしたことを確認してください。ASU は、Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-ASU> で Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。
 - ・ ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ・ ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ・ ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)

3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。

- Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:

- ibm_rndis_server_os.inf
- device.cat

- Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:

- cdc_interface.sh

4. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]

ここで、

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳しくは、「*Advanced Settings Utility User's Guide*」を参照してください。「*Advanced Settings Utility User's Guide*」を <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-ASU> でダウンロードできます。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```


- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「ToolsCenter」ページをスクロールダウンして該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。

このタスクについて

ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。ASU は、Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、以下のステップを実行してください。

注: Web サイトは定期的に更新されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

手順

1. <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-ASU> で Advanced Settings ユーティリティ (ASU) をダウンロードします。
2. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
3. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - ibm_rndis_server_os.inf
 - device.cat
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - cdc_interface.sh
4. ASU をインストールした後で、以下のコマンドを入力して DMI を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>

サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。mtm xxxxyyy と入力してください。ここで、xxx はマシン・タイプ、yyy はサーバーの型式番号です。

<s/n>

サーバーのシリアル番号。sn zzzzzzz と入力します。ここで、zzzzzz はシリアル番号です。

<asset_method>

サーバーの資産タグ番号。asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa と入力します。ここで、aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa は資産タグ番号です。

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。「*Advanced Settings Utility User's Guide*」を <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-ASU> でダウンロードできます。

- 以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

host <*imm_external_ip*> [*user* <*imm_user_id*>][*password* <*imm_password*>]

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

ToolsCenter Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用してブート可能メディアを作成することもできます。「**ToolsCenter**」ページをスクロールダウンして該当するツールを見つけてください。

5. サーバーを再始動します。

第 3 章 トラブルシューティング

このセクションでは、サーバーで発生する場合のある問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報をを使用して問題の診断および修正ができない場合は、661 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』で詳細を確認してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
 - ハードウェア・コンポーネント
 - デバイス・ドライバおよびファームウェア
 - システム・ソフトウェア
 - UEFI ファームウェア
 - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
 - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、77 ページの『Light Path 診断』を参照してください。
 - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、83 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
 - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA)** を実行して、システム・データを収集します。ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。・サーバー用で使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

Attention: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

Important: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-XPRESS> および 39 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=LNVO-BOMC>を参照してください。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

- b. **手動のシステム更新をインストールします。**
 - 1) 既存のコード・レベルを判別します。

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

- 2) 最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、
<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていないくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. 構成の誤りを確認して、訂正します。サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。
 - a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。 <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。
 - b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、72 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、39 ページの『第 2 章 構成』を参照してください。
6. コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システム、IBM ソフトウェア、デバイスに関する問題については、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

7. トラブルシューティング手順および **RETAIN** のヒントを確認します。トラブルシューティング手順および **RETAIN** のヒントには、既知の問題および推奨さ

れる解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスしてください。

8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、91 ページの『症状別トラブルシューティング』を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が残る場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を得てください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに Lenovo によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

Lenovo では、Lenovo System x3550 M5 サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法によって、サポートの Web サイトを常時更新しています。

Lenovo System x3550 M5 サーバーに使用可能な Service Bulletin を検索するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスして、Type 5463 と retain を検索してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。

- Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

Exception: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマикроプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサ問題の診断については、101 ページの『マイクロプロセッサ問題』を参照してください。

- DSA を実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判断する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合は、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。『クイック』テストや『通常』テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は 573 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、91 ページの『症状別トラブルシューティング』および 118 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- パワー・サプライの問題については、115 ページの『電源の問題の解決』、106 ページの『電源問題』、および 79 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、83 ページの『イベント・ログ』および 589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
 - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
 - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。ステップ 2 に進みます。
2. 以下のステップを実行します。
 - a. パワー・サプライ LED を検査します (79 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
 - b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
 - c. すべての内蔵装置および外付け装置の互換性を <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> でチェックします。
 - d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
 - e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
 - f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
 - g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、91 ページの『症状別トラブルシューティング』を参照してください。
 - h. オペレーター情報パネルまたは LCD 操作パネル・アセンブリー上のシステム・エラー LED を確認します (23 ページの『オペレーター情報パネル』または 24 ページの『LCD 操作パネル・アセンブリー』を参照)。
 - i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳しくは、87 ページの『POST』を参照)
 - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)
3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。
 - **いいえ:** 91 ページの『症状別トラブルシューティング』で障害の徴候を見つけ出します。必要があれば、118 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
 - **はい:** DSA を実行します (89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。
 - DSA がエラーを報告する場合は、589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』の指示に従ってください。
 - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、118 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

診断ツール

このセクションでは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立つツールについて説明しています。

• Light Path 診断

Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、77 ページの『Light Path 診断』を参照してください。

• イベント・ログ

イベント・ログには、サブシステム IMM2.1、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳しくは、83 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

• 統合管理モジュール II

統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が 1 つのチップに組み合わされています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、モニター、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) についての詳細は、54 ページの『統合管理モジュールの使用』、315 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) エラー・メッセージ』、および「*Integrated Management Module II User's Guide*」(www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=MIGR-5089484&brandind=5000008) を参照してください。

• Dynamic System Analysis

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

– DSA Portable

DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ

- IMM2.1 構成情報
- IMM2.1 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
- カーネル・モジュール
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサー (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして Lenovo サポートに送信する (Lenovo サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注: 最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。DSA の資料とダウンロード情報については、<http://www.ibm.com/systems/management> を参照してください。

追加情報については、87 ページの『Dynamic System Analysis』と 589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

- DSA Preboot

DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する以下の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサーのイベント・ログ
- IMM2.1 構成情報
- IMM2.1 環境情報
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light Path 診断の状況
- マイクロプロセッサー、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- オプション・カード・ドライバおよびファームウェアの情報
- RAID コントローラー構成

- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. メモリー・モジュール
4. マイクロプロセッサ
5. 光ディスク装置 (CD または DVD)
6. SAS または SATA ドライブ
7. LSI コントローラー
8. Broadcom ネットワーク・アダプター
9. FusionIO ストレージ
10. Intel GPU
11. Nvidia GPU

DSA Preboot プログラムをサーバーで実行する場合の詳細については、89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。

• 症状別トラブルシューティング

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、91 ページの『症状別トラブルシューティング』を参照してください。

Light Path 診断

Light Path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。エラーが発生すると、サーバーの前面にあるオペレーター情報パネルで LED が点灯し、次に障害が起こったコンポーネント上で点灯します。多くの場合、LED を所定の順序で見えていくことによりエラーの原因を突き止めることができます。

エラーを示す LED は、サーバーの電源をオフにしても、サーバーがまだ電源に接続されており、パワー・サプライが正常に作動していれば、点灯したままになっています。

サーバーの内部の Light Path 診断 LED を確認する前に、『安全について』(vii ページの『安全について』) および 143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

エラーが発生した場合、次のように続行してください。

1. サーバー前面のオペレーター情報パネルを見ます (23 ページの『オペレーター情報パネル』を参照)。

- ・ チェック・ログ LED が点灯している場合、サーバーの分離されていない障害状態に関する情報が IMM イベント・ログまたはシステム・イベント・ログで入手可能であることを示しています。
 - ・ システム・エラー LED が点灯している場合は、エラーが発生したことを示します。
2. サーバーのカバーを取り外し、サーバーの内部を見て、点灯している LED がないかどうかを確認します。サーバー内のいくつかのコンポーネントには LED があり、点灯して問題の場所を示します。

サーバー・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルには、オペレーター情報パネルまたは LCD 操作パネル・アセンブリーが示すエラーに対応する、内部コンポーネントの概要が示されています (23 ページの『オペレーター情報パネル』または 24 ページの『LCD 操作パネル・アセンブリー』を参照)。通常、この情報により、エラーを診断できるだけの十分な情報が得られます。

注: ハード・ディスクおよびパワー・サプライ上の LED を見るには、サーバーのカバーを取り外す必要はありません。

下図は、システム・ボード上の LED を示しています。

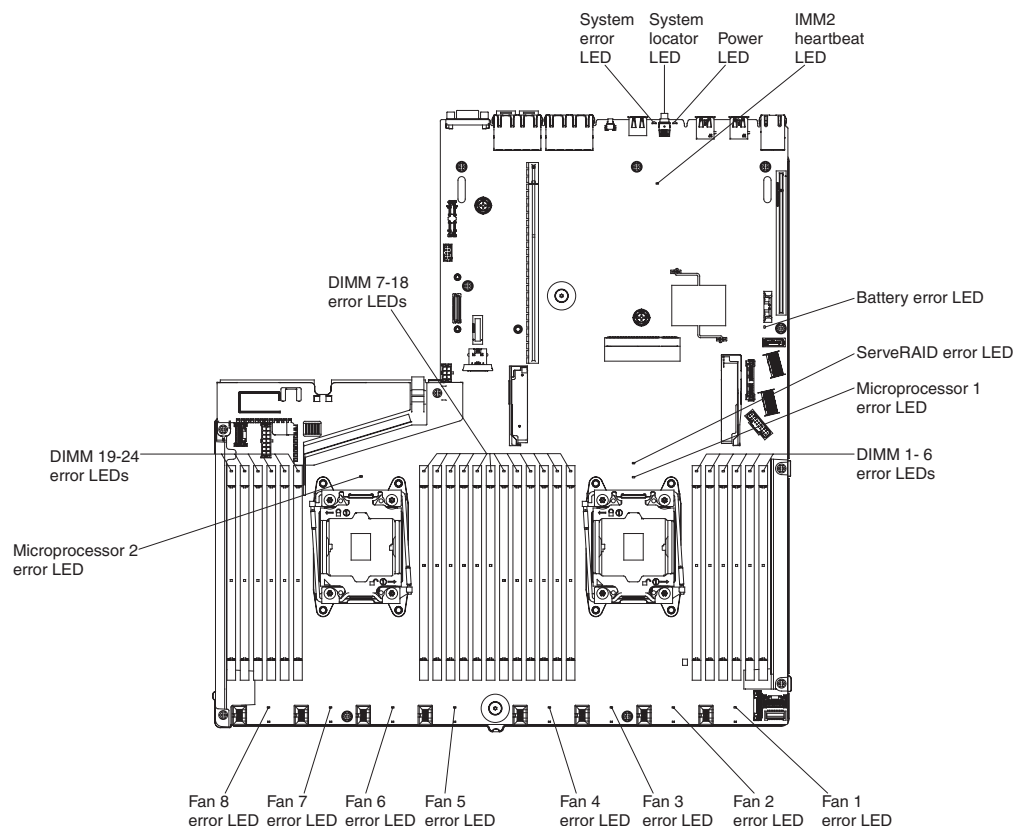


図 27. システム・ボード・エラー LED

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・サーバー構成の場合、LCD 操作パネル・アセンブリーも付属しており、システムによって報告されたエラーの現在のリストなどの情報を表示します。LCD 操作パネル・アセンブリーの詳細については、24 ページの『LCD 操作パネル・アセンブリー』を参照してください。

注: LCD 操作パネル・アセンブリーは、8 個の 2.5 型ホット・スワップ・サーバー構成にのみ取り付けられます。

パワー・サプライ LED

以下の情報を使用して、パワー・サプライ LED を確認します。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- マイクロプロセッサー・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサー
- システム・ボード上に 1 個の 4 GB DIMM
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 冷却ファン 6 個 (ファン 1、2、3、4、5、および 7)

AC パワー・サプライ LED:

以下の情報を使用して、AC パワー・サプライ LED を確認します。

パワー・サプライの DC LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- パワー・サプライ
- 電源コード

注: パワー・サプライ上の DC LED が点灯するには、サーバーの電源がオンになっている必要があります。

次の図は、AC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

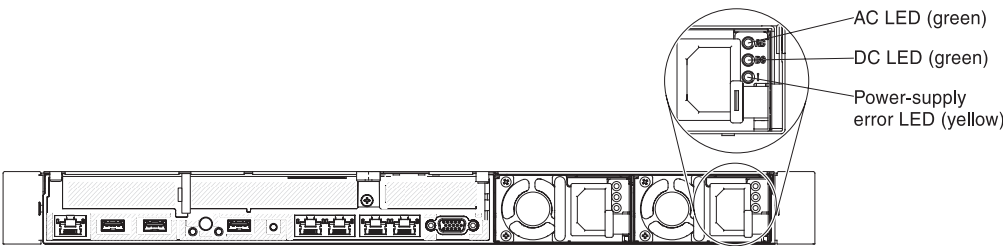


図 28. AC パワー・サプライ LED

次の表は、AC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

AC パワー・サプライ LED			説明	アクション	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オン / 点滅	オフ	正常動作。		

AC パワー・サプライ LED			説明	アクション	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	点滅	オフ	ゼロ出力モード		ゼロ出力モードは、ホスト・システムでパワー・サプライの動作を標準の冗長モードまたはゼロ出力モードとして構成するために使用されます。パワー・サプライがこのモードに構成されている場合は、電力使用量が最小限に保たれます。同時に、パワー・サプライのファンは回転し続け、PSU の LED は 1Hz で点滅します。
オフ	オフ	オフ	サーバーへの AC 電源供給がないか、AC 給電部の問題。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. 問題が解決しない場合は、パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	パワー・サプライに障害が起きている。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン / 点滅	オフ	パワー・サプライに障害が起きている。	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン / 点滅	オン	パワー・サプライに障害が起きている。	パワー・サプライを交換してください。	

AC パワー・サブライ LED			説明	アクション	注
AC	DC	エラー (!)			
オン	オフ	オフ	パワー・サブライが完全に装着されていないか、システム・ボードに障害があるか、あるいはパワー・サブライに障害が発生しています。	1. パワー・サブライを取り付け直します。 2. 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。ユーティリティーの詳細な説明とダウンロードについては、 http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html にアクセスしてください。	一般的には、パワー・サブライが完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	パワー・サブライに障害が起こっている。	パワー・サブライを交換してください。	
オン	オン / 点滅	オン	パワー・サブライに障害が起こっている。	パワー・サブライを交換してください。	

注: DC LED が 1Hz で点滅している場合、PSU はスタンバイ・モードであり、DC 電力出力がない状態です。

システム・パルス LED

システム・パルス LED によって示される、起こり得るエラーを診断するには、この情報を使用します。

以下の LED はシステム・ボード上にあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行をモニターするのに役立ちます (これらの LED の位置については、34 ページの『システム・ボードの LED』を参照)。

表 5. システム・パルス LED

LED	説明	アクション
FPGA ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 5. システム・パルス LED (続き)

LED	説明	アクション
IMM ハートビート	IMM2.1 ハートビート・ブート・プロセス。	IMM2.1 ハートビート順序付けプロセスのさまざまなステージを以下のステップで説明します。 1. この LED が高速 (約 4 Hz) で点滅している場合、IMM2.1 コードがロード・プロセス中であることを示します。 2. この LED が一時的にオフになると、IMM2.1 コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになった後に低速 (約 1 Hz) で点滅を開始すると、IMM2.1 が完全に作動可能であることを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. 給電部をサーバーに接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅しない場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI ライザー・カード LED

PCI ライザー・カード LED を確認するには、この情報を使用します。

次の図は、PCI ライザー・カード LED の位置を示しています。

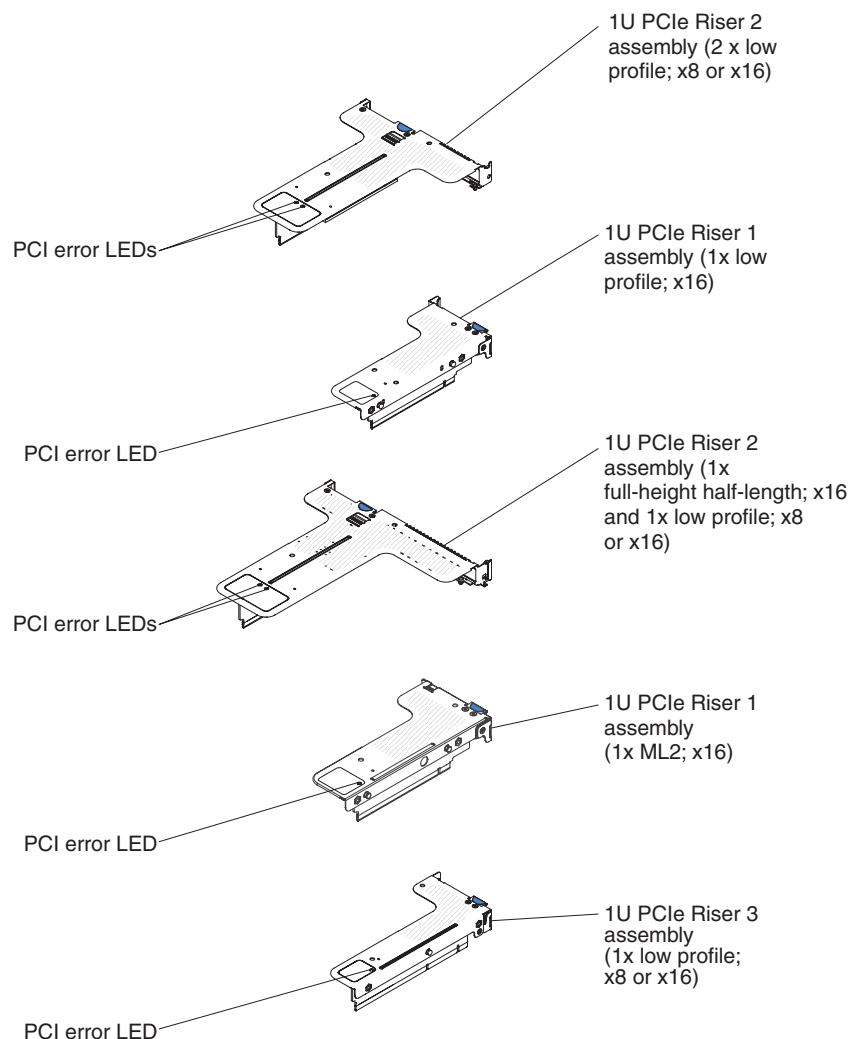


図 29. PCI ライザー・カード LED

イベント・ログ

POST イベント・ログ、システム・イベント・ログ、統合管理モジュール (IMM2.1) イベント・ログ、および DSA イベント・ログに表示されるエラー・コードとメッセージ。

- POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティから表示できます (45 ページの『Setup ユーティリティの開始』を参照)。POST エラー・コードについて詳しくは、573 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。
- システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。

システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリティを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保管してからクリアする必要がある場合があります。システム・イベント・ログについて詳しくは、315 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) エラー・メッセージ』を参照してください。

メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

一部の IMM センサーは、それぞれの設定値に達するとログされる表明イベントを発生させる場合があります。設定値の状態が存続しない場合は、対応する表明解除イベントがログされます。ただし、すべてのイベントが表明型のイベントであるわけではありません。

- **統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1.1) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。詳しくは、57 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM エラー・メッセージについて詳しくは、315 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) エラー・メッセージ』を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (85 ページの『サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する』を参照)。DSA および DSA メッセージについて詳しくは、87 ページの『Dynamic System Analysis』および 589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

Setup ユーティリティからのイベント・ログの表示

この情報を使用して、Setup ユーティリティからイベント・ログを表示します。

このタスクについて

POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源を入れます。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「System Event Logs」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。

- POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewers**」を選択します。
- システム・イベント・ログを表示するには、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再始動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方法があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

IPMITool がサーバーにインストール済みの場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMITool が付属しています。IPMI の概要については、<http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/> にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on Linux platforms**」をクリックします。

IMM イベント・ログは、統合管理モジュール II (IMM2.1) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、57 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 6. イベント・ログを表示する方法

状態	アクション
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。

表 6. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	アクション
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	• DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、または Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール II (IMM2.1) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM2.1 の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。詳しくは、56 ページの『IMM ホスト名の取得』、および 57 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動し、F2 を押して DSA Preboot を開始し、イベント・ログを表示します (詳しくは、89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 • または、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを始動して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することができます。詳しくは、84 ページの『Setup ユーティリティーからのイベント・ログの表示』を参照してください。

イベント・ログの消去

イベント・ログを消去するには、この情報を使用します。

このタスクについて

イベント・ログを消去するには、次のステップを実行してください。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源を入れます。
2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「システム・イベント・ログ」 > 「システム・イベント・ログの消去」を選択してから、Enter キーを 2 回押します。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

注: このサーバーは、サーバー状況に関してビープ・コードを使用しません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、(プロンプトに従って) パスワードを入力し、Enter キーを押す必要があります。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが表示されます。詳しくは、573 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、83 ページの『イベント・ログ』を参照してください。

Dynamic System Analysis

Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの問題の診断に役立つシステム情報を収集し、分析します。

DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリー情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light Path 診断の状況
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報
- IMM 構成情報
- IMM 環境情報
- オプション・カード・ドライバーおよびファームウェアの情報

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、118 ページの『未解決問題の解決』を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注: DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を入手するには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

DSA のエディション

Dynamic System Analysis のエディションは、DSA Portable と DSA Preboot です。

• DSA Portable

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再始動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

• DSA Preboot

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再始動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳細については、BoMC の「ユーザー・ガイド」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=LNVO-BOMC>) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- Emulex ネットワーク・アダプター
- 光ディスク装置 (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー
- マイクロプロセッサ
- チェックポイント・パネル
- I2C バス

- SAS ドライブおよび SATA ドライブ
- LSI コントローラー
- Broadcom ネットワーク・アダプター
- Fusion I/O アダプター
- Intel GPU
- Nvidia GPU

サーバーを再始動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

ユーティリティの詳しい説明とダウンロードについては、
<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA>に進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

DSA プリブート診断プログラムを実行するには、次のステップを実行してください。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. プrompt「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

4. オプションとして、「Quit to DSA」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。

5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再始動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed (パス): テストはエラーなしに完了しました。

Failed (失敗): テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

テスト・ログ結果を表示し、DSA コレクションを転送するには、この情報を使用します。

このタスクについて

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「**Success**」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は **:x** と入力して「Execute Tests」メニューを終了する、あるいはグラフィカル・ユーザー・インターフェースの「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで **copy** コマンドを入力します。

手順

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「**Success**」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、**:x** と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「**completed tests**」を選択して結果を表示します。

タスクの結果

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログをサポート Web サイトに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

Lenovo は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に Lenovo サポートをコールできるツールを提供しています。これらのツールは、Lenovo サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。

以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

Electronic Service Agent

Electronic Service Agent は、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリ情報のモニター、追跡、取り込みを行い、保守可能な問題を Lenovo サポートに直接報告します。

データを手動で収集するように選択することもできます。これは最小のシステム・リソースしか使用せず、Lenovo の Web サイトからダウンロードすることができます。Electronic Service Agent の詳しい説明とダウンロードについては、<http://www-01.ibm.com/support/esa/> に アクセスしてください。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題が検出されたときに生成される、UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、315 ページの『付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) エラー・メッセージ』、573 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』、および 589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。

症状別トラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状がある問題の解決策を見つけます。

このタスクについて

これらの表の中に該当の問題に対する解決策が見つからない場合、サーバーのテストについては 589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を、DSA Preboot プログラムの実行に関する追加情報は 89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、69 ページの『ここから開始します』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します (23 ページの『オペレーター情報パネル』を参照)。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
3. Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用法については、589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

タスクの結果

CD/DVD ドライブの問題

CD/DVD ドライブの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 7. CD/DVD ドライブの現象と処置

• 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 • 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 • サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
DVD ドライブが認識されない。	1. 次の点を確認します。 • DVD ドライブが接続されている (1 次または 2 次) SATA コネクタが、Setup ユーティリティで使用可能にされている。 • ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 • DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 3. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DVD ドライブ b. DVD ドライブ・ケーブル 4. ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動しない。	1. CD または DVD をクリーニングします。 2. CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 3. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 4. DVD ドライブを取り付け直します。 5. DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	1. サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 2. まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 3. DVD ドライブを取り付け直します。 4. DVD ドライブを交換します。

一般的な問題

一般的な問題を解決するには、この情報を使用します。

表 8. 一般的な現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品がマイクロプロセッサまたはシステム・ボードの場合は、トレーニングを受けた技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティを開始できない。	- 詳しくは、123 ページの『Nx 回ブート失敗』を参照してください。 - 詳しくは、120 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

ハード・ディスクの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 9. ハード・ディスクの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
ハード・ディスクの障害が発生し、関連した黄色のハード・ディスク状況 LED が点灯している。	障害のあるハード・ディスクを交換します (162 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』 および 163 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。

表 9. ハード・ディスクの現象と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
新たに取り付けしたハード・ディスクが認識されない。	- 取り付けしたハード・ディスクまたは ServeRAID アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプションのデバイスのリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照してください。 - 関連した黄色のハード・ディスク状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 - LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 - 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED および黄色の状況 LED を確認します。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA 診断プログラムを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 - いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 5 に進む)。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、黄色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。LED の活動状況が変わらない場合、ステップ 5 に進んでください。LED の活動に変化がある場合は、ステップ 2 に戻ります。 - ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができません。 - バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 - バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 - バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 - サーバーに 8 つのホット・スワップ・ベイがある場合: - 対象のバックプレーン信号ケーブルを交換します。 - 対象のバックプレーンを交換します。 118 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

表 9. ハード・ディスクの現象と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
複数のハード・ディスクに障害が起きました。	ハード・ディスク、SAS/SATA アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバーとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	- ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 118 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	- ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 - SAS/SATA アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA プリブート診断プログラムを実行して、エラー・ログを収集します (89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 - ハード・ディスク・エラー・ログがある場合は、該当するハード・ディスクを交換します。 - ハード・ディスク・エラー・ログがない場合は、該当するバックプレーンを交換します。
黄色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	- 黄色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 - サーバーの電源をオフにします。 - SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 - バックプレーンの信号ケーブルおよびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 - ハード・ディスクを取り付け直します。 - サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 118 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 10. ハイパーバイザーの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	- オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの「<F12> Select Boot Device」で選択されていることを確認します。 - 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します (257 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』および 258 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換』を参照)。 - オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

表 11. 再現性の低い問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	- 次の点を確認します。 - すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 - サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 - システム・エラー・ログまたは IMM イベント・ログを検査します (83 ページの『イベント・ログ』を参照)。

表 11. 再現性の低い問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
サーバーが時々リセット (再始動) される。	- POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (POST ウォッチドッグ設定を参照するには、Setup ユーティリティで「System Settings (システム設定)」 > 「Recovery (リカバリー)」 > 「System Recovery (システム・リカバリー)」 > 「POST Watchdog Timer (POST ウォッチドッグ・タイマー)」をクリックします)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「POST Watchdog Timer (POST ウォッチドッグ・タイマー)」) に十分な時間が使用可能になっていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、573 ページの『付録 B. UEFI/POST 診断コード』および 589 ページの『付録 C. DSA 診断テスト結果』を参照してください。 - どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (83 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題

キーボード、マウス、または USB デバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 12. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	- 次の点を確認します。 - キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティを実行して、操作を使用可能にします。 - USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - キーボードを交換します。

表 12. キーボード、マウス、または USB デバイスの現象と処置 (続き)

• 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 • 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 • サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
マウスまたは USB デバイスが機能しない。	1. 次の点を確認します。 • マウスまたは USB デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されているか。 • マウスまたは USB デバイスのドライバーが正しくインストールされているか。 • サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 • マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている。 2. USB マウスまたは USB デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたは USB デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 3. マウスまたは USB デバイスを交換します。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 13. メモリーの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けられたメモリーの容量より少ない。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 - 次の点を確認します。 - オペレーター情報パネルのエラー LED が何も点灯していない。 - システム・ボードの DIMM エラー LED が何も点灯していない。 - メモリー・ミラーリング・チャンネルが不一致の原因ではない。 - メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 - 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 - メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティでメモリー構成を更新した。 - メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 - サーバーを最小メモリー構成にしたときに、メモリー・ミスマッチがありません。 - DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 - POST エラー・ログを確認します。 - DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 - DIMM がユーザーまたは POST によって使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直します。その後、Setup ユーティリティを実行して、DIMM を使用可能にします。 - Setup ユーティリティですべての DIMM が初期化されていることを確認し、次にメモリー診断を実行します (89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 - Setup ユーティリティを使用してすべての DIMM を再度使用可能にし、サーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクタ (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクタに関するものでないことを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

表 13. メモリーの問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
1 つのチャネル内の複数の DIMM で障害の発生が確認された。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. 識別された中から最も大きい番号の DIMM を取り外し、同一で良品と判明している DIMM と取り替えて、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクタに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を、同一で正常と判明している DIMM と交換し、各 DIMM を交換するごとにサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM のテストが完了するまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. 確認された DIMM のうち、最も数字の大きいものを交換し、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のある DIMM を、マイクロプロセッサ 2 の DIMM コネクタ (取り付けられている場合) に取り付け、問題がマイクロプロセッサに関するものでないこと、あるいは DIMM コネクタに関するものでないことを確認します。 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサ問題

マイクロプロセッサの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 14. マイクロプロセッサの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	- オペレーター情報パネルまたは LCD 操作パネル・アセンブリーで示されたエラーをすべて解決します (23 ページの『オペレーター情報パネル』または 24 ページの『LCD 操作パネル・アセンブリー』を参照)。 - サーバーがすべてのマイクロプロセッサをサポートし、マイクロプロセッサの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサ情報を表示するには、Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

モニターおよびビデオの問題を解決するには、この情報を使用してください。

Lenovo モニターの中には、セルフテスト機能を備えているものがあります。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属の説明書を参照してモニターのテストおよび調整を行ってください。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 15. モニターおよびビデオの現象と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
モニターのテスト。	- モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 - サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 - 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバに問題があることが考えられます。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	- サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。 - オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM2.1 リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。IMM2.1 リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 - サーバーの電源をオンにしたときにサーバーにグラフィック・アダプターが取り付けられている場合、約 3 分後に Lenovo ロゴが画面上に表示されます。これは、システム・ロード中の正常な動作です。 - 次の点を確認します。 - サーバーの電源がオンになっている。サーバーの電源がオフの場合は、106 ページの『電源問題』を参照してください。 - モニターのケーブルが正しく接続されている。 - モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 - モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 - 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。39 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - モニター - ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。 118 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

表 15. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブルクになる。	- 次の点を確認します。 - アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 - アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 - ビデオ診断を実行します (89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』を参照)。 - サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。118 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	- モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、 および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読 不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 重要: 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 Notes: - ディスクレット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスクレット・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 - Lenovo 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 - モニター・ケーブルを取り付け直します。 - ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 - モニター・ケーブル - ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

表 15. モニターおよびビデオの現象と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
画面に誤った文字が表示される。	- 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (39 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 - モニター・ケーブルを取り付け直します。 - ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 - モニター・ケーブル - ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) - モニター (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボード。

ネットワーク接続の問題

ネットワーク接続の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 16. ネットワーク接続の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
サーバーがネットワークに接続しない。	- ネットワーク・アダプターが新たに取り付けられた場合は、そのアダプターがサーバーでサポートされていることを確認します (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us を参照)。 - ネットワーク・アダプター・スロットの電源状態と構成を確認します (44 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。 - サーバーがネットワークに正しく接続されていること、およびネットワーク・ケーブルに損傷がないことを確認します。 - ファームウェアのデバイス・ドライバーを確認します。 - サポート Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal) で RETAIN のヒントを参照して、関連する問題がないか確認します。
サーバーが断続的に接続不良になる。	- ネットワーク・ルーターまたはスイッチが正しく動作していることを確認します。 - サーバーがネットワークに正しく接続されていることを確認します。 - ファームウェアのデバイス・ドライバーを確認します。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で RETAIN のヒントを参照して、関連する問題がないか確認します。

オプション装置の問題

オプション装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 17. オプション装置の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
取り付けただけのオプション装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - 装置がサーバー用に設計されている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/usを参照)。 - 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 - 取り付けした他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 - Setup ユーティリティで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 - 取り付けただけの装置を取り付け直します。 - 取り付けただけの装置を交換します。
前に動作していたオプション装置が動作しなくなった。	- 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 - 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 - 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 - すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 - 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 - 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 - 障害のある装置を取り付け直します。 - 障害のある装置を交換します。

電源問題

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 18. 電源の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	アクション
電源制御ボタンが作動せず、リセット・ボタンも作動しない (サーバーは始動しない)。 注: 電源制御ボタンは、サーバーが電源に接続された後、約 5 秒から 10 秒経過するまで機能しません。	- 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 1a および 1b を繰り返します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (32 ページの『システム・ボードのスイッチ、ジャンパー、およびボタン』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) オペレーター情報パネル・ケーブルを取り付け直してから、ステップ 2a および 2b を繰り返します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - サーバーが始動しない場合は、ステップ 3 に進みます。 - サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。サーバー内で定格が異なるパワー・サプライを混用すると、システム・エラーの原因となります (LCD システム情報表示パネルに CONFIG アイコンが表示されます)。 - 次の点を確認します。 - 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 - 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 - DIMM が完全に差し込まれている。 - パワー・サプライ上の LED が問題があることを示していない。 - マイクロプロセッサが正しい順序で取り付けられている。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - オペレーター情報パネル・コネクタ - 電源機構 - ステップ 5 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 - オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サプライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。

表 18. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
システム・イベント・ログに Pwr rail 1 エラーが記録されている。	- サーバーの電源コードを切り離します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・イベント・ログに Pwr rail 1 エラーが記録されている場合は、マイクロプロセッサ 1 を取り外します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (306 ページの『システム・ボードの取り外し』および 310 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 - コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr rail 1 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 (292 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および 297 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。
システム・イベント・ログに Pwr rail 2 エラーが記録されている。	- サーバーの電源コードを切り離します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・イベント・ログに Pwr rail 2 エラーが記録されている場合は、マイクロプロセッサ 2 を取り外します。 - サーバーを再始動します。IMM イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (306 ページの『システム・ボードの取り外し』および 310 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 - コンポーネントを再取り付けし、サーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr Rail 2 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 (292 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および 297 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。

表 18. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
システム・イベント・ログに Pwr rail 3 エラーが記録されている。	- サーバーの電源コードを切り離します。 - システム・イベント・ログに Pwr rail 3 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 - DIMM 1 から 12 - ファン 3 - ファン 4 - サーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr rail 3 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (306 ページの『システム・ボードの取り外し』および 310 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 - コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr rail 3 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 - DIMM 1 から 12 (185 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 186 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 - ファン 3 (224 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の取り外し』および 225 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の交換』を参照)。 - ファン 4

表 18. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
システム・イベント・ログに Pwr rail 4 エラーが記録されている。	- サーバーの電源コードを切り離します。 - システム・イベント・ログに Pwr rail 4 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 - ファン 5 - ファン 6 - DIMM 13 から 24 - サーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr rail 4 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (306 ページの『システム・ボードの取り外し』および 310 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 - コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr Rail 4 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 - DIMM 13 から 24 (185 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』および 186 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 - ファン 5 (224 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の取り外し』および 225 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の交換』を参照)。 - ファン 6

表 18. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
システム・イベント・ログに Pwr rail 5 エラーが記録されている。	- サーバーの電源コードを切り離します。 - システム・イベント・ログに Pwr rail 5 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 - ファン 7 - ファン 8 - SAS/SATA ハード・ディスクおよび USB - サーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr rail 5 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (306 ページの『システム・ボードの取り外し』および 310 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 - コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr Rail 5 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 - ハード・ディスクおよび USB - ファン 7 (224 ページの『サマール・キット (ホット・スワップ・ファン) の取り外し』および 186 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。 - ファン 8
システム・イベント・ログに Pwr rail 6 エラーが記録されている。	- サーバーの電源コードを切り離します。 - システム・イベント・ログに Pwr rail 6 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 - オプションの VGA 外部電源用ケーブル - PCI-E x8 および x16 (最大拡張は 4 枚のアダプター・カード) - PCI-E ハード・ディスク - サーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr rail 6 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (306 ページの『システム・ボードの取り外し』および 310 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 - コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr Rail 6 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 - オプションの VGA 外部電源用ケーブル - PCI ライザー・カード・アセンブリー (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』および 199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。 - ハード・ディスク

表 18. 電源の問題と処置 (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
システム・イベント・ログに Pwr rail 7 エラーが記録されている。	- サーバーの電源コードを切り離します。 - システム・イベント・ログに Pwr rail 7 エラーが記録されている場合は、以下のコンポーネントを取り外します。 - ファン 1 - ファン 2 - サーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr rail 6 エラーが再度記録された場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (306 ページの『システム・ボードの取り外し』および 310 ページの『システム・ボードの交換』を参照)。 - コンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを再始動します。システム・イベント・ログに Pwr Rail 6 エラーが再度記録された場合は、再取り付けしたばかりのコンポーネントに障害があります。その障害のあるコンポーネントを交換してください。 - ファン 1 (224 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の取り外し』および 225 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の交換』を参照)。 - ファン 2
サーバーの電源がオフにならない。	- ACPI オペレーティング・システム または非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 - Ctrl+Alt+Delete を押します。 - 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 - サーバーを再始動します。 - もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 20 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 - それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性もあります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	118 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル装置の問題

シリアル装置の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 19. シリアル装置の問題とアクション

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	- 次の点を確認します。 - Setup ユーティリティで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 - シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 - シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 - シリアル・ポート・アダプターを交換します。
シリアル装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - その装置がサーバーと互換性があるか。 - シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 - 装置は適切なコネクタに接続されている (30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - 障害を起こしているシリアル装置 - シリアル・ケーブル - ステップ 2 にリストされたコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

ServerGuide の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 20. ServerGuide の問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートし、始動可能 (ブート可能) な CD または DVD ドライブが装備されていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定を変更した場合は、CD または DVD ドライブが始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の CD または DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして設定してあるドライブが 1 つだけであることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上でさらに多くのスペースを使用可能にしてください。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-GUIDE にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョン用のリンクをクリックして、サポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンします。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 21. ソフトウェアの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
ソフトウェアが原因と思われる問題	- その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 - サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 - そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 - このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 - ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 - ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

以下の情報を使用して、USB ポートの問題を解決します。

表 22. USB ポートの問題と処置

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と記載されている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	アクション
USB 装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 - オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 - USB 構成のオプションがセットアップ・ユーティリティで正しく設定されていることを確認します (詳細については、44 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。 - USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

ビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

101 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切り離します。
2. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか（例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか）を調べます。
3. オペレーター情報パネルまたは LCD 操作パネル・アセンブリーで示されたエラーがないかを確認します（23 ページの『オペレーター情報パネル』または 24 ページの『LCD 操作パネル・アセンブリー』を参照）。
4. オペレーター情報パネル上のチェック・ログ LED が点灯している場合は、IMM イベント・ログで Pwr rail の障害がないかを確認し、以下のステップを実行します。表 23 は、各 Pwr rail に関連付けられているコンポーネントと、それらのコンポーネントのトラブルシューティングを行う順序を示しています。
 - a. すべての内部装置および外部装置に接続されているケーブルおよび電源コードを切り離します。パワー・サプライのコードは接続したままにしておいてください。
 - b. Pwr Rail 1 エラーの場合、以下のステップを実行します。
 - 1) (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
 - 2) (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
 - c. その他の rail エラーの場合 (Pwr rail 1 エラーについては、ステップ 4b を参照)、過電流条件の原因が判明するまで、障害のある Pwr rail に関連付けられた各コンポーネントを、表 23 に示されている順序で一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。

表 23. Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント

IMM イベント・ログ内の Pwr Rail エラー	コンポーネント
Pwr Rail 1 エラー	• マイクロプロセッサ 1
Pwr Rail 2 エラー	• マイクロプロセッサ 2

表 23. Pwr Rail エラーに関連付けられたコンポーネント (続き)

IMM イベント・ログ内の Pwr Rail エラー	コンポーネント
Pwr Rail 3 エラー	• DIMM 1 から 12 • ファン 3 • ファン 4
Pwr Rail 4 エラー	• ファン 5 • ファン 6 • DIMM 13 から 24
Pwr Rail 5 エラー	• ファン 7 • ファン 8 • SAS/SATA ハード・ディスクおよび USB
Pwr Rail 6 エラー	• オプションの VGA 外部電源用ケーブル • PCI-E および x16 (最大拡張は 4 枚のアダプター・カード) • PCI-E ハード・ディスク
Pwr Rail 7 エラー	• ファン 1 • ファン 2

- d. 識別したコンポーネントを交換します。
5. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、79 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
6. すべての電源コードを再接続し、サーバーの電源を入れます。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

タスクの結果

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、79 ページの『パワー・サプライ LED』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバの README ファイルを参照してください。

このタスクについて

以下の手順を試してみてください。

手順

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
 - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されている必要があります。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
 - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するように設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
 - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
 - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバがインストールされていることを確認してください。
- サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックします。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバが同じプロトコルを使用していることを確認します。

タスクの結果

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

このタスクについて

ソフトウェア問題が障害（連続的または断続的）の原因であると思われる場合は、114 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの破損またはサーバー・ファームウェアの破損が、未解決問題の原因となる場合があります。CMOS データをリセットするには、CMOS ジャンパーを使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。詳しくは、33 ページの表 1 を参照してください。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、120 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
 - 外付け装置
 - サージ抑制装置 (サーバー上)
 - プリンター、マウス、および Lenovo 以外の装置。
 - 各アダプター
 - ハード・ディスク
 - メモリー・モジュール。必要な最小構成は、スロット 1 に 2 GB DIMM です。
4. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、Lenovo に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

モデル名とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載されています。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

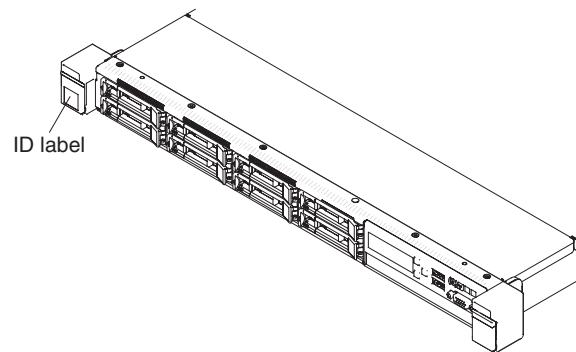


図 30. ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか?
 - 起こったことは何ですか? いつ? どこで?
 - 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
 - その障害は再現可能か。
 - これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
 - その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
 - この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル

- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

Lenovo に保守を依頼する方法については、661 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)

サーバー・ファームウェアをリカバリーするには、この情報を使用します。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注: サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM® サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13)でバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上で UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13) を見つけます。

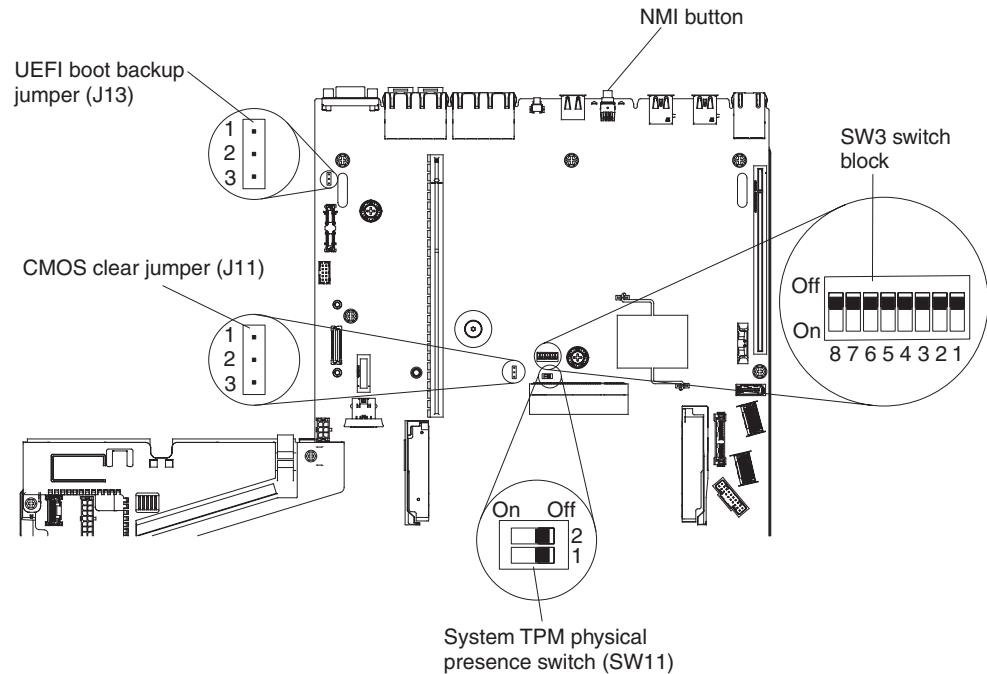


図 31. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13) の位置

5. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13) をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動させ、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
6. サーバーのカバーを取り付け直し、電源コードをすべて再接続します。
7. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
9. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのカバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
11. UEFI ブート・バックアップ・ジャンパー(JP13) をピン 2 と 3 から基本位置 (ピン 1 と 2) に戻します。
12. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

14. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
15. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
16. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (259 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
17. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
18. システム・バッテリーを再取り付けします (262 ページの『システム・バッテリーの交換』を参照)。
19. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
20. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
21. サーバーを再始動します。システムはパワーオン・セルフテスト (POST) を開始します。
22. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、Lenovo サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: BOARD LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または Booting Backup Image がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、この情報を使用します。

www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5089484&brandind=5000008にある IMM2.1 の資料 (「統合管理モジュール II ユーザーズ・ガイド」) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を与えます。

このタスクについて

UEFI ファームウェアを回復する指示については、120 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー (UEFI 更新の失敗)』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx 回ブート失敗

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。

これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup ユーティリティが開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再始動できるようにします。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティで、「System Settings」 > 「Recovery」 > 「POST Attempts」 > 「POST Attempts Limit」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

第 4 章 部品リスト、Lenovo System x3550 M5 Type 5463

Lenovo System x3550 M5 Type 5463 サーバーでは、以下の交換可能コンポーネントが使用可能です。

更新された部品リストについては、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

交換可能なコンポーネントは、消耗部品、構造部品、および現場交換可能ユニット (FRU) から構成されています。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。構成部品のリストについては、135 ページの『構成部品』を参照してください。
- **Tier 1 CRU (お客様による交換が可能な部品):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の「保証情報」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法について詳しくは、661 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。構造部品のリストについては、135 ページの『構成部品』を参照してください。

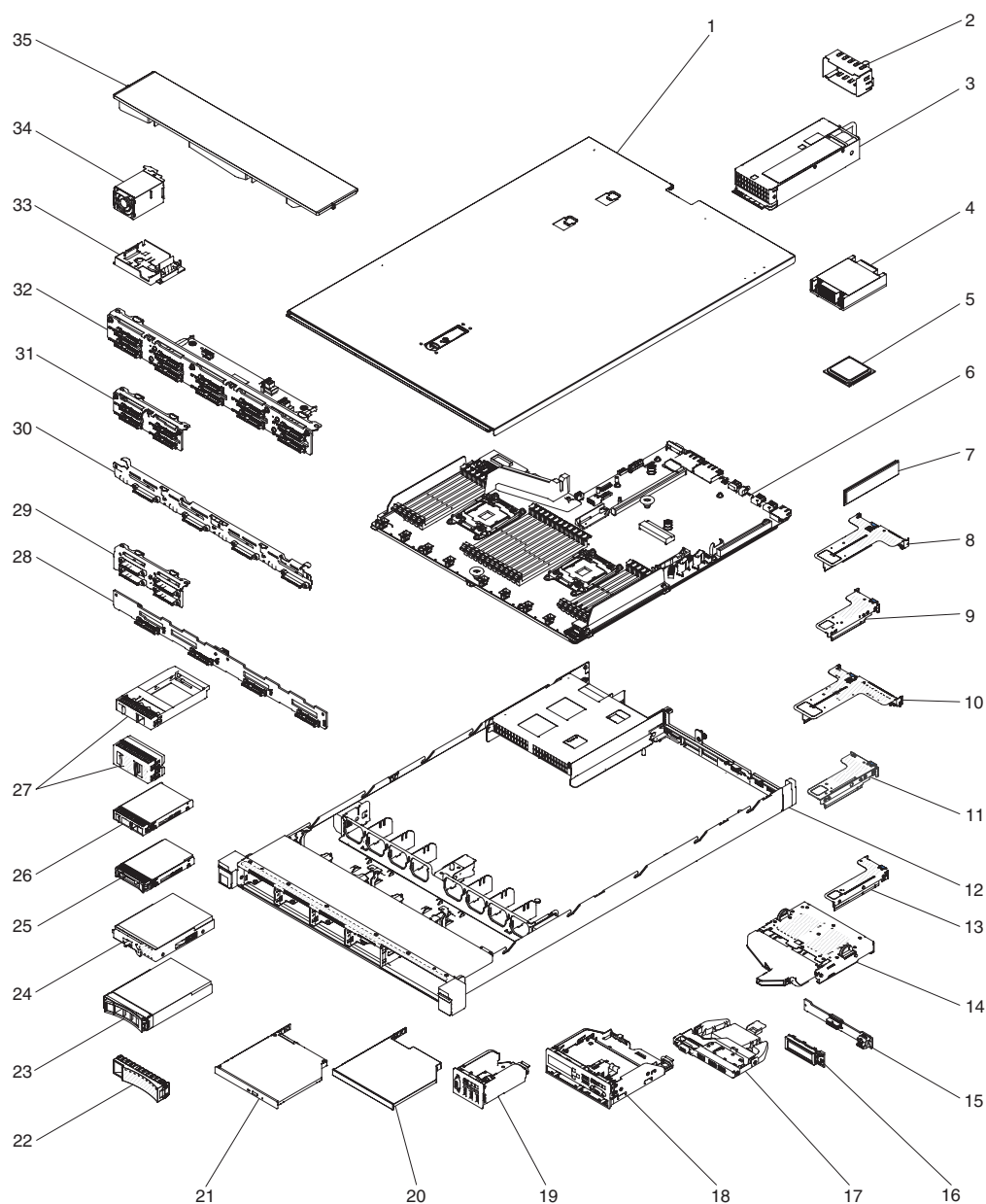


図 32. サーバー・コンポーネント

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
3	パワー・サプライ、550 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8137	
3	パワー・サプライ、550 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8139	
3	パワー・サプライ、550 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8173	
3	パワー・サプライ、750 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8144	
3	パワー・サプライ、750 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8142	
3	パワー・サプライ、750 ワット、高効率、Titanium、AC (200-240V)	94Y8150	
3	パワー・サプライ、750 ワット、高効率、Titanium、AC (200-240V)	94Y8152	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
3	パワー・サプライ、900 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8148	
3	パワー・サプライ、900 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8146	
3	パワー・サプライ、900 ワット、高効率、-48V、DC	94Y8167	
3	パワー・サプライ、1500 ワット、高効率、Platinum、AC	94Y8181	
4	ヒートシンク		00KC912
4	ヒートシンク、低 T の場合		00KC911
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2690 v3、2.6 GHz、30 MB、2133 MHz、135 W (12 コア)		00AE682
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2670 v3、2.3 GHz、30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00AE684
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2640 v3、2.6 GHz、20 MB、1866 MHz、90 W (8 コア)		00AE688
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2630 v3、2.4 GHz、20 MB、1866 MHz、85 W (8 コア)		00AE689
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2630L v3、1.8 GHz、20 MB、1866 MHz、55 W (8 コア)		00AE691
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2609 v3、1.9 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00AE692
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2603 v3、1.6 GHz、15 MB、1600 MHz、85 W (6 コア)		00KC788
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2699 v3、2.3 GHz、45 MB、2133 MHz、145 W (18 コア)		00KC789
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2697 v3、2.6 GHz、35 MB、2133 MHz、145 W (14 コア)		00AE680
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2695 v3、2.3 GHz、35 MB、2133 MHz、120 W (14 コア)		00AE681
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2660 v3、2.6 GHz、25 MB、2133 MHz、105 W (10 コア)		00AE685
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2650L v3、1.8 GHz、30 MB、2133 MHz、65 W (12 コア)		00AE687
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2667 v3、3.2 GHz、20 MB、2133 MHz、135 W (8 コア)		00AE694
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2643 v3、3.4 GHz、20 MB、2133 MHz、135 W (6 コア)		00AE695
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2637 v3、3.5 GHz、15 MB、2133 MHz、135 W (4 コア)		00AE696
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2683 v3、2.0 GHz、35 MB、2133 MHz、120 W (14 コア)		00KG110
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2698 v3、2.3 GHz、40 MB、2133 MHz、135 W (16 コア)		00KJ035
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2685 v3、2.6 GHz、30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00KJ036

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2623 v3、3.0 GHz、10 MB、1866 MHz、105 W (4 コア)		00KJ038
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2658 v3、2.2 GHz、30 MB、2133 MHz、105 W (12 コア)		00KJ034
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2648L v3、1.8 GHz、30 MB、2133 MHz、75 W (12 コア)		00KJ039
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2628L v3、2.0 GHz、25 MB、1866 MHz、75 W (10 コア)		00KJ040
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2618L v3、2.3 GHz、20 MB、1866 MHz、75 W (8 コア)		00KJ041
5	マイクロプロセッサ、Intel EP E5-2608L v3、2.0 GHz、15 MB、1600 MHz、52 W (6 コア)		00KJ042
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2680 v3、2.5 GHz、30 MB、2133 MHz、120 W (12 コア)		00AE683
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2650 v3、2.3 GHz、25 MB、2133 MHz、105 W (10 コア)		00AE686
5	マイクロプロセッサ、Intel E5-2620 v3、2.4 GHz、15 MB、1866 MHz、85 W (6 コア)		00AE690
6	システム・ボード		00KF629
6	システム・ボード		00MV248
7	メモリー、8 GB、1Rx4、1.2 V、DDR4、2133MHz、RDIMM	46W0790	
7	メモリー、16 GB、2Rx4、1.2 V、DDR4、2133MHz、RDIMM	46W0798	
7	メモリー、4 GB、1Rx8、1.2 V、DDR4、2133MHz、RDIMM	46W0786	
7	メモリー、8 GB、2Rx8、1.2 V、DDR4、2133MHz、RDIMM	46W0794	
7	メモリー、32 GB、2Rx4、1.2 V、DDR4、2133MHz、RDIMM	95Y4810	
7	メモリー、64 GB、4Rx4、1.2 V、DDR4、2133MHz、LP LRDIMM	95Y4814	
8	PCIe ライザー 2 アセンブリー (2 x ロー・プロファイル、x8)	00KF626	
8	PCIe ライザー 2 アセンブリー (2 x ロー・プロファイル、x16)	00KF627	
9	PCIe ライザー 1 アセンブリー (1 x ロー・プロファイル、x16)	00KF624	
11	PCIe ライザー 1 アセンブリー (ML2 x16)	00KF625	
13	PCIe ライザー 3 アセンブリー (1 x ロー・プロファイル、x16)	00KF628	
14	2.5 型ホット・スワップ 後部ハード・ディスク・キット	00KC966	
15	バックプレーン、2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キット	00FJ718	
16	LCD システム情報表示パネル	00D0464	
17	メディア・ケージ、4 個の 3.5 型ハード・ディスク	00KF668	
18	メディア・ケージ、8 個の 2.5 型ハード・ディスク	00KF670	
21	Ultraslim エンハンスド SATA DVD-ROM	00FL352	
21	Ultraslim エンハンスド SATA マルチ・バーナー	00FL353	
23	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、120 GB	00AJ436	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
23	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	00AJ441	
23	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00AJ446	
23	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00AJ451	
23	エンタープライズ・ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、200 GB	00AJ481	
23	エンタープライズ・ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、400 GB	00AJ486	
23	エンタープライズ・ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00AJ491	
23	エントリー・ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	00FN353	
23	エントリー・ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00FN358	
23	エントリー・ソリッド・ステート・ドライブ、3.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	00FN363	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、2 TB、7.2 K	00FN114	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、3 TB、7.2 K	00FN129	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、4 TB、7.2 K	00FN144	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、5 TB、7.2 K	00FN159	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、6 TB、7.2 K	00FN174	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SAS、2 TB、7.2 K	00FN189	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SAS、4 TB、7.2 K	00FN209	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SAS、6 TB、7.2 K	00FN229	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、4 TB、7.2 K	49Y6003	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、2 TB、7.2 K	81Y9795	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、3 TB、7.2 K	81Y9799	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SAS、2 TB、7.2 K	90Y8573	
23	ハード・ディスク、3.5 型ホット・スワップ、ニアライン SAS、3 TB、7.2 K	90Y8578	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
23	自己暗号化ディスク・ドライブ、3.5 型 512e ニアライン SAS、ホット・スワップ、2 TB 7.2K 12 Gbps	00FN239	
23	自己暗号化ディスク・ドライブ、3.5 型 512e ニアライン SAS、ホット・スワップ、4 TB 7.2K 12 Gbps	00FN249	
23	自己暗号化ディスク・ドライブ、3.5 型 512e ニアライン SAS、ホット・スワップ、6 TB 7.2K 12 Gbps	00FN259	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、2 TB、7.2 K	00FN119	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、3 TB、7.2 K	00FN134	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、4 TB、7.2 K	00FN149	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、5 TB、7.2 K	00FN164	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、6 TB、7.2 K	00FN179	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、4 TB、7.2 K	49Y6013	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、2 TB、7.2 K	81Y9811	
24	ハード・ディスク、3.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、3 TB、7.2 K	81Y9815	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1.2 TB、10 K	46W6819	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、SAS、900 GB、10 K	00AJ072	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、15 K	00AJ082	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、ニアライン SAS、1 TB、7.2 K	00AJ087	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、10 K	00AJ092	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、SAS、300 GB、10 K	00AJ097	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、ニアライン SAS、500 GB、7.2 K	00AJ122	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、SAS、600 GB、15 K	00AJ127	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、500 GB、7.2 K	00AJ137	
25	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、ニアライン SATA、1 TB、7.2 K	00AJ142	
25	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、400 GB	00AJ162	
25	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、800 GB	00AJ218	
25	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00AJ406	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
25	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、960 GB	00FN348	
25	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、200 GB	00AJ157	
25	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00AJ167	
25	エンタープライズ・ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、200 GB	00AJ208	
25	エンタープライズ・ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、400 GB	00AJ213	
25	エンタープライズ・ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SAS、1.6 TB	00AJ223	
25	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、120 GB	00AJ396	
25	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	00AJ401	
25	エンタープライズ値ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、800 GB	00AJ411	
25	エントリー・ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、240 GB	00FN338	
25	エントリー・ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ、SATA、480 GB	00FN343	
26	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ、SATA、960 GB	00FN476	
26	ハード・ディスク、2.5 型シンプル・スワップ、ニアライン SATA、500 GB、7.2 K	41Y8378	
28	バックプレート、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク	00KC956	
28	バックプレート、4 個の 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク、12G	00KC967	
29	バックプレート、4 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク	00KC955	
29	バックプレート、4 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク、12G	00KC968	
30	バックプレーン、4 個の 3.5 型ハード・ディスク	00FJ752	
31	バックプレーン、4 個の 2.5 型ハード・ディスク	00FJ755	
32	バックプレーン、10 個の 2.5 型ハード・ディスク	00FJ758	
34	サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン)	00KC909	
	前面 USB アセンブリー、4 個の 3.5 型ハード・ディスク	00KF669	
	前面 USB アセンブリー、8 個の 2.5 型ハード・ディスク	00KF674	
	ServeRAID M5200 シリーズ 4 GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8669	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB キャッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8657	
	ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー	46C9111	
	ServeRAID M1215 SAS/SATA コントローラー	46C9115	
	ServeRAID M5225 SAS/SATA コントローラー	00AE939	
	ServeRAID M5200 シリーズ 1 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8661	
	ServeRAID M5200 シリーズ 2 GB フラッシュ (RAID 5 アップグレード)	47C8665	
	ServeRAID M5100 シリーズ・フラッシュ電源モジュール	00JY023	
	Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート・アダプター	00AD918	
	Emulex VFA5 2x10 GbE SFP+ PCIe アダプター	00JY823	
	Emulex 16Gb FC シングル・ポート HBA	00D8546	
	Emulex 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00D8548	
	QLogic 16Gb FC シングル・ポート HBA	00Y3340	
	QLogic 16Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y3344	
	QLogic 8Gb FC シングル・ポート HBA	00Y5628	
	QLogic 8Gb FC デュアル・ポート HBA	00Y5629	
	Emulex 8Gb FC シングル・ポート HBA	42D0491	
	Emulex 8Gb FC デュアル・ポート HBA	42D0500	
	Brocade 8Gb FC シングル・ポート HBA	46M6061	
	Brocade 8Gb FC デュアル・ポート HBA	46M6062	
	Brocade 16Gb FC シングル・ポート HBA	81Y1671	
	Brocade 16Gb FC デュアル・ポート HBA	81Y1678	
	N2215 SAS/SATA HBA	47C8676	
	Mellanox ConnectX-3 FDR VPI IB/E アダプター	00D9552	
	Mellanox ConnectX-3 Pro ML2 2x40GbE/FDR VPI アダプター	00FP652	
	Endeavor Basic 10Gb BE3-R アダプター	00D8543	
	Broadcom NetXtreme 2x10GbE BaseT アダプター	00E2714	
	Intel X540 ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	47C8152	
	Intel I350-T4 ML2 クワッド・ポート GbE アダプター	47C8210	
	QLogic 8200 デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA アダプター	90Y4605	
	Broadcom NetXtreme I クワッド・ポート GbE アダプター	90Y9355	
	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター	90Y9373	
	Intel イーサネット・デュアル・ポート・サーバー I340-T2 アダプター	94Y5166	
	Intel イーサネット・クワッド・ポート・サーバー I340-T4 アダプター	94Y5167	
	Intel X710 2x10GbE SFP+ アダプター	81Y3522	
	Intel X710 ML2 4x10GbE SFP+ アダプター	94Y5203	
	Intel X540-T2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	49Y7972	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	Broadcom NetXtreme デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	94Y5182	
	Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター	94Y5231	
	Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	94Y5233	
	Broadcom NetXtreme 2xGbE BaseT アダプター	49Y7947	
	Solarflare SFN7122F 2x10GbE SFP+ Flareon Ultra	47C9980	
	Solarflare SFN5162F 2x10GbE SFP+ Performance アダプター	47C9955	
	N2225 SAS/SATA HBA	00AE914	
	N2226 SAS/SATA HBA	00AE918	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K600	90Y2383	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K420	90Y2436	
	ビデオ・アダプター、NVIDIA Quadro K620	90Y2440	
	PCI ブラケット 1	00KF686	
	PCI ブラケット 2	00KF689	
	背面ハード・ディスク・ケージ	00KF690	
	PCIe ライザー 3 アセンブリー・ケージ	00KF691	
	ケーブル、GPU 電源	00KC964	
	ケーブル、電源	00KC957	
	ケーブル、フラッシュ電源モジュール	46C9793	
	ケーブル、UMIQ-V2	00AK143	
	ケーブル、SAS 750 mm	00KC952	
	ケーブル、SAS 600 mm	00KC953	
	ケーブル、SAS 550 mm	00KC954	
	ケーブル、mini SAS 0.6 m	00D2142	
	ケーブル、mini SAS 1.5 m	00D2144	
	ケーブル、mini SAS 3 m	00D2148	
	ケーブル、mini SAS 1 m	39R6530	
	ケーブル、mini SAS 3 m	39R6532	
	ケーブル、mini SAS 6 m	44X3322	
	ケーブル、DVD 480 mm	00KC958	
	ケーブル、DVD 790 mm	00KC959	
	ケーブル、バックプレーン、4 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク	00KC960	
	ケーブル、バックプレーン、10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク	00KC961	
	ケーブル、バックプレーン、4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク	00KC962	
	ケーブル、ビデオ	00KC963	
	ケーブル、ビデオ 2.5 型	00KG408	
	ケーブル、LCD システム情報表示パネル	00MU415	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	ケーブル、USB 変換	39M2909	
	ケーブル、USB 3 m	44E8891	
	ケーブル、USB 1 m	44E8893	
	ケーブル、USB ドングル	44E8894	
	ケーブル、USB 3.0	46C2598	
	ケーブル、USB	46M6475	
	ケーブル、USB	46M6477	
	ケーブル、USB	81Y3643	
	SAS Y ケーブル	49Y9901	
	コード、電源コード	39M5377	
	コード、電源コード	39M5509	
	オペレーター情報パネル、3.5 型ハード・ディスク・ベイ	00KC940	
	オペレーター情報パネル、2.5 型ハード・ディスク・ベイ	00KF673	
	PCIe ライザー 1、ロー・プロファイル・ブラケット	00KF687	
	PCIe ライザー 2、2 x ロー・プロファイル・ブラケット	00KF688	
	各種部品キット	00KF685	
	バッテリー、3.0 V	33F8354	
	熱伝導グリース・キット		41Y9292
	アルコール・ワイプ		59P4739
	マイクロプロセッサ取り付けツール		00AE535
	CMA キット、1U	00KA595	
	CMA キット	49Y4817	
	COM ポート・ブラケット	00KC965	
	アダプター、DVI から VGA への変換アダプター	25R9043	
	ハーフハイト LTO Gen 6 SAS テープ・ドライブ	35P1049	
	USB 光学式ホイール・マウス	39Y9875	
	QLogic 10Gb 仮想ファブリックおよび SR 光トランシーバー	42C1816	
	Brocade 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297	
	USB バックプレート	44E8877	
	内部 RDX USB 3.0 ドライブ・ドック	46C2346	
	外部 RDX USB 3.0 ドライブ・ドック	46C2347	
	10Gb SFP + SR トランシーバー	46C3449	
	RDX 320 GB カートリッジ	46C5394	
	RDX 500 GB カートリッジ	46C5395	
	外部 RDX 電源アダプター	81Y8905	
	UltraNav キーボード USB	94Y6108	
	US E 103P-RoHS キーボード	94Y6050	
	ラベル、システム・サービス	00KF684	
	前面 USB アセンブリー、10 個の 2.5 型ハード・ディスク	00KF694	
	SD Media Adapter for System x (オプション)	00JY064	

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)
	32 GB SD フラッシュ・メモリー・カード	00ML701	

構成部品

構造部品は、Lenovo 保証の内容と制限ではカバーされません。以下の構成部品は、小売店で購入できます。

表 24. 構造部品、Type Type 5463

索引	説明	部品番号
1	トップ・カバー	00KF667
2	パワー・サプライ・ベイ・フィラー	94Y7610
12	シャーシ、4 個の 3.5 型ハード・ディスク	00KF662
12	シャーシ、8 個の 2.5 型ハード・ディスク	00KF663
12	シャーシ、10 個の 2.5 型ハード・ディスク	00KF664
19	メディア・ケージ、10 個の 2.5 型ハード・ディスク	00KF678
20	フィラー、DVD ドライブ	00KF416
22	フィラー、3.5 型ホット・スワップ ハード・ディスク	69Y5364
22	フィラー、3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク	69Y5368
27	フィラー、2.5 型ハード・ディスク・ベイ	00FW856
27	フィラー、2.5 型ハード・ディスク・ベイ (背面)	00KF683
33	バッテリー・ホルダー	00KF677
35	エアー・バッフル、3.5 型ハード・ディスク・ベイ	00KF665
35	エアー・バッフル、2.5 型ハード・ディスク・ベイ	00KF666
	ベゼル、8 個の 2.5 型ハード・ディスク (LCD システム情報表示パネルなし)	00KF672
	ベゼル、10 個の 2.5 型ハード・ディスク	00KF679
	ブラケット、左側の EIA	00KF675
	ブラケット、右側の EIA	00KF676
	ブラケット、Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GBaseT 用 ML2	00KF696
	ブラケット、Intel X540 ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター用 ML2	00KF697
	ブラケット、Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプター用 ML2	00KF698
	ブラケット、Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10GbE SFP+ 用 ML2	00KF699
	ブラケット、Intel I350-T4 ML2 クワッド・ポート GbE アダプター用 ML2	00KG300
	ブラケット、4 個の 2.5 型バックプレーン	00KF692
	ブラケット、10 個の 2.5 型バックプレーン	00KF693

表 24. 構造部品、Type Type 5463 (続き)

索引	説明	部品番号
	フィラー、サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン)	00KF682
	スライド・レール・キット、汎用、Gen-II	00KA593
	セキュリティー・ベゼル	00KF695
	スライド・キット G4	00KA592

構成部品は、以下の手順で注文してください。

1. <http://www.ibm.com> に進みます。
2. 「製品 (Products)」メニューから、「アップグレード、アクセサリ、および部品 (Upgrades, accessories & parts)」を選択します。
3. 「Obtain maintenance parts」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注: Lenovo Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの Lenovo 担当員にお問い合わせください。

電源コード

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地された コンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される本製品の電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) によってリストされており、Canadian Standards Association (CSA) の認証を受けています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。システムの入力定格が 10 A 以下の場合は最小 18 AWG で 10 A 以上の場合は 16 AWG、Type SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定 の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、Type SVT または SJT、3 線 コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ブレード型、15 アンペア 250 ボルト 定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全につい ての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお 求めいただけます。

電源コードの <?linebreak?>部品番号	説明
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	Afghanistan, Albania, Algeria, Andorra, Angola, Armenia, Austria, Azerbaijan, Belarus, Belgium, Benin, Bosnia and Herzegovina, Bulgaria, Burkina Faso, Burundi, Cambodia, Cameroon, Cape Verde, Central African Republic, Chad, Comoros, Congo (Democratic Republic of), Congo (Republic of), Cote D'Ivoire (Ivory Coast), Croatia (Republic of), Czech Republic, Dahomey, Djibouti, Egypt, Equatorial Guinea, Eritrea, Estonia, Ethiopia, Finland, France, French Guyana, French Polynesia, Germany, Greece, Guadeloupe, Guinea, Guinea Bissau, Hungary, Iceland, Indonesia, Iran, Kazakhstan, Kyrgyzstan, Laos (People's Democratic Republic of), Latvia, Lebanon, Lithuania, Luxembourg, Macedonia (former Yugoslav Republic of), Madagascar, Mali, Martinique, Mauritania, Mauritius, Mayotte, Moldova (Republic of), Monaco, Mongolia, Morocco, Mozambique, Netherlands, New Caledonia, Niger, Norway, Poland, Portugal, Reunion, Romania, Russian Federation, Rwanda, Sao Tome and Principe, Saudi Arabia, Senegal, Serbia, Slovakia, Slovenia (Republic of), Somalia, Spain, Suriname, Sweden, Syrian Arab Republic, Tajikistan, Tahiti, Togo, Tunisia, Turkey, Turkmenistan, Ukraine, Upper Volta, Uzbekistan, Vanuatu, Vietnam, Wallis and Futuna, Yugoslavia (Federal Republic of), Zaire
39M5130	Denmark
39M5144	Bangladesh, Lesotho, Macao, Maldives, Namibia, Nepal, Pakistan, Samoa, South Africa, Sri Lanka, Swaziland, Uganda
39M5151	Abu Dhabi, Bahrain, Botswana, Brunei Darussalam, Channel Islands, China (Hong Kong S.A.R.), Cyprus, Dominica, Gambia, Ghana, Grenada, Iraq, Ireland, Jordan, Kenya, Kuwait, Liberia, Malawi, Malaysia, Malta, Myanmar (Burma), Nigeria, Oman, Polynesia, Qatar, Saint Kitts and Nevis, Saint Lucia, Saint Vincent and the Grenadines, Seychelles, Sierra Leone, Singapore, Sudan, Tanzania (United Republic of), Trinidad and Tobago, United Arab Emirates (Dubai), United Kingdom, Yemen, Zambia, Zimbabwe
39M5158	Liechtenstein, Switzerland
39M5165	Chile, Italy, Libyan Arab Jamahiriya
39M5172	Israel
39M5095	220 - 240 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela

電源コードの <?linebreak?>部品番号	説明
39M5081	110 - 120 V Antigua and Barbuda, Aruba, Bahamas, Barbados, Belize, Bermuda, Bolivia, Caicos Islands, Canada, Cayman Islands, Colombia, Costa Rica, Cuba, Dominican Republic, Ecuador, El Salvador, Guam, Guatemala, Haiti, Honduras, Jamaica, Mexico, Micronesia (Federal States of), Netherlands Antilles, Nicaragua, Panama, Peru, Philippines, Saudi Arabia, Thailand, Taiwan, United States of America, Venezuela
39M5219	Korea (Democratic People's Republic of), Korea (Republic of)
39M5199	日本
39M5068	Argentina, Paraguay, Uruguay
39M5226	India
39M5240	Brazil

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換

交換可能コンポーネントには 3 つのタイプがあります。

- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、上部カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が構成部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 CRU (お客様による交換が可能な部品):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様による交換が可能な部品 (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付け作業を依頼することもできます。

コンポーネントが、構造部品であるか、Tier 1 CRU であるか、Tier 2 CRU であるかを判別するには、125 ページの『第 4 章 部品リスト、Lenovo System x3550 M5 Type 5463』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、661 ページの『付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

オプション装置の取り付け

このセクションでは、オプションのハードウェア装置をサーバーに取り付ける手順を詳しく説明しています。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、ビジネス・パートナーは 144 ページの『ビジネス・パートナー用の手順』の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

1. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、システム・ボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、39 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。

2. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を適用します。『System x Firmware Update Best Practices』 資料をダウンロードするには、www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=MIGR-5082923&brandind=5000008 にアクセスしてください。追加のヒントは、以下のサイトから入手可能です。
 - サポート Web サイト: <http://www.lenovo.com/support>
 - System x 構成ツール: <http://www.ibm.com/systems/x/hardware/configtools.html>
3. オプションのハードウェア装置を取り付ける前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合は、89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
4. この章の取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクタのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

取り付けのガイドライン

取り付けについて、以下の情報を使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、143 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 取り付ける装置がサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us>を参照してください。
- 新規サーバーをインストールする場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし適用してください。この手順は、既知の問題に対処し、ご使用のサーバーを最高レベルの性能で作動可能にするために役立ちます。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。

Important: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの

一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/>) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正常に作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合は、89 ページの『DSA Preboot 診断プログラムの実行』に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小型のマイナス・ドライバー、小型のプラス・ドライバー、および T8 TORX ドライバーを用意します。
- システム・ボードおよび内部コンポーネントのエラー LED を表示するには、サーバーを電源に接続しておく必要があります。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。
- コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいは ラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。
- コンポーネントに付けられたオレンジ色またはコンポーネント上かその近くに付けられたオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントをホット・スワップできる

ことを示しています。つまり、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合は、サーバーの稼働中でも、そのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。(オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。)特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライまたはフィラーが取り付けられている。
- サーバーに冗長電源がある場合、それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられている。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。サーバーのカバーを取り外して長時間 (30 分以上) サーバーを操作すると、サーバーのコンポーネントが損傷を受けることがあります。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換してある。
- ホット・スワップ・ファンは、取り外してから 30 秒以内に元どおりに取り付けること。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に再取り付けを行う。
- 障害のあるホット・スワップ・パワー・サプライは、取り外してから 2 分以内に取り替えること。
- エアー・バッフルを取り付けないままサーバーを動作させないでください。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサがオーバーヒートする原因となる場合があります。
- マイクロプロセッサのソケット 2 にソケット・カバーまたはマイクロプロセッサとヒートシンクが常にある。
- 2 つ目のマイクロプロセッサ・オプションを取り付けた場合、4 つ目および 6 つ目のファンが取り付け済みであること。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、この情報を使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

Light Path 診断 LED を覗くか、ホット・スワップ・コンポーネントを交換するために、カバーが外れているときにサーバーの電源をオンにしておく必要がある場合があります。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- プレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- クリップや、ヘアピン、ねじなどの金属製品がサーバー内部に落ちないように注意してください。

静電気に弱い装置の取り扱い

静電気に弱い装置を取り扱うには、この情報を使用します。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。損傷を避けるために、静電気に弱い装置は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。

- 部品をパッケージから取り出して、下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに 戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

サーバー構成の更新

装置を追加または取り外した後で初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを伝えるメッセージが表示される場合があります。このとき新しい構成設定値を保存できるように、Setup ユーティリティが自動的に開始します。

オプション装置の中には、デバイス・ドライバをインストールしなければならないものがあります。デバイス・ドライバのインストールについては、その装置に付属の資料を参照してください。

サーバーにオプションの RAID アダプターが装備されていて、ハード・ディスクの取り付けまたは取り外しを行った場合は、RAID アダプターに付属の資料を参照して、ディスク・アレイの再構成に関する説明を確認してください。

内蔵 Gigabit Ethernet コントローラーの構成については、59 ページの『Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

ビジネス・パートナー用の手順

このセクションには、ビジネス・パートナー用の手順が記載されています。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。DSA の使用については、87 ページの『Dynamic System Analysis』を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再始動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けた装置が正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを Lenovo に送信します。データおよびログの転送については、663 ページの『DSA データの送信方法』を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、Lenovo の配送手順に従ってください。

ビジネス・パートナー用のサポート情報は、<http://www.ibm.com/partnerworld> で入手できます。

Lenovo への DSA データの送信

Lenovo に DSA データを送信するには、標準アップロード、システムのシリアル番号を使用した標準アップロード、セキュア・アップロード、およびシステムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロードを使用できます。

始める前に

診断データを Lenovo に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

手順

以下のいずれかの方式を使用して、診断データを Lenovo に送信することができます。

- 標準アップロード:
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:
- セキュア・アップロード:
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このセクションでは、サーバー内のコンポーネントの取り外しと交換について説明します。

消耗部品および構造部品の取り外しと交換

消耗部品および構造部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が消耗部品および構造部品の取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

注: システム・ボードまたは前面パネル上の LED を見る必要がある場合は、電源を切断する前に行ってください。

3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーをスライドさせて、ラック格納装置から出します。
4. カバーがロックされているかどうか必ず確認してください。ロックされている場合は、最初にカバーのロックを解除します。

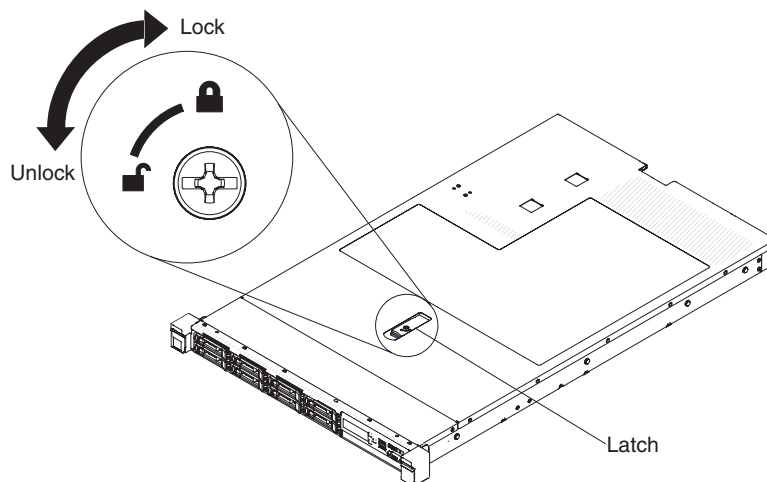


図 33. カバーのロック解除

5. カバー・リリース・ラッチの青いタブを押し、カバー・リリース・ラッチを持ち上げます (カバーが後方にスライドします)。

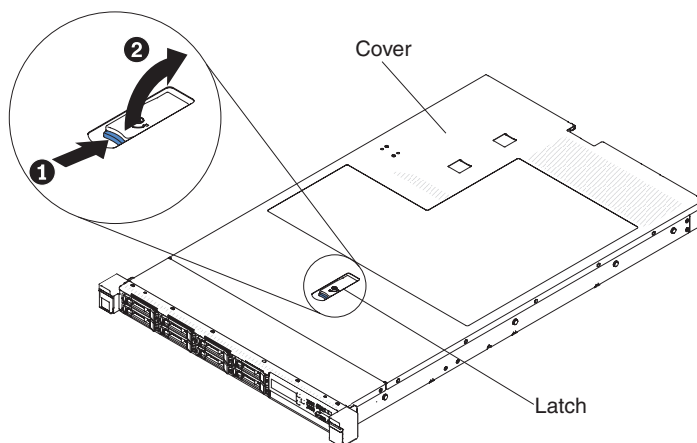


図 34. カバーの取り外し

6. サーバー・カバーを持ち上げてサーバーから外し、横に置きます。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

カバーの交換

カバーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバー・カバーを再取り付けするには、次のステップを実行してください。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

Important: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前面、背面、および側面のすべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていることを確認します。すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていないと、後でカバーを取り外すのが非常に困難になります。

2. カバーをサーバー上部に置きます。
3. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。
4. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
5. カバー上部 (サーバー前面の中央) にある青色のラッチを押し下げます。

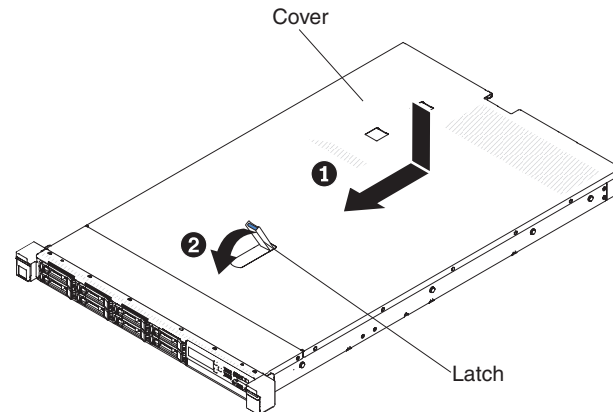


図 35. カバーの取り付け

6. 必要であればカバーをロックします。

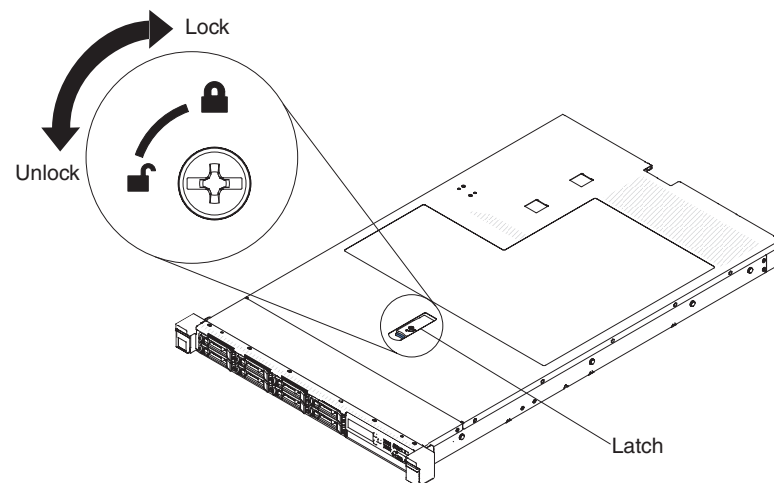


図 36. カバーのロック

7. サーバーを後方にスライドさせて、ラッチで固定されるまでラックに挿入します。
8. 外部ケーブルおよび電源コードを再接続します。

エアー・バッフルの取り外し

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを取り外します。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードおよびすべての外部ケーブルを切り離します (36 ページの『サーバーの電源をオフにする』を参照)。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルをつかみ、ピン穴からピンを外し、エアー・バッフルを持ち上げて横に置きます。

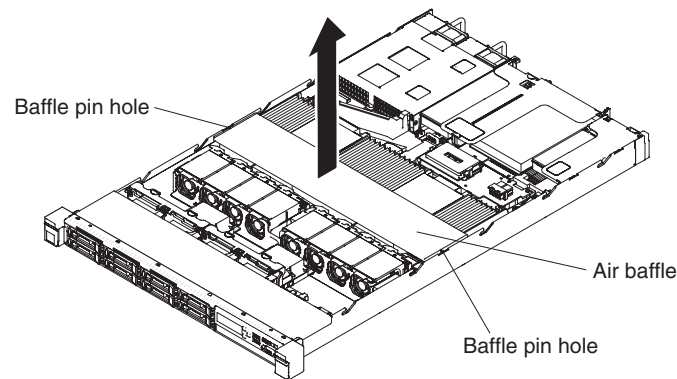


図 37. エアー・バッフルの取り外し

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エアー・バッフルを取り外した状態でサーバーを作動させると、サーバー・コンポーネントが損傷する可能性があります。

エアー・バッフルの交換

以下の情報を使用して、エアー・バッフルを交換します。

このタスクについて

このエアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフル・ピンをシャーシ両側のバッフル・ピン・ホールに位置合わせし、エアー・バッフルをサーバー内に下ろします。エアー・バッフルを下に押し、しっかりと収まった状態にします。

注: 適切な冷却を確保するために、エアー・バッフルを取り付ける前に DIMM コネクターの両端の保持クリップを閉じます。

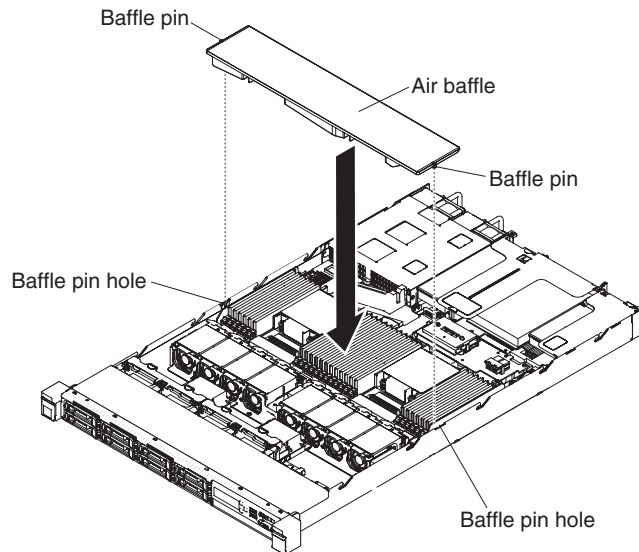


図 38. エアー・バッフルの取り付け

5. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

リモートに取り付けられた RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外すには、以下の手順を実行します。

注: 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルは最大 2 個の RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサポートするのに対し、3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルでサポートされる RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは 1 個のみです。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. バッテリーまたは電源モジュールのコネクターからケーブルを取り外します。

注: 2.5 型と 3.5 型のハード・ディスク・サーバー・モデルでは、ケーブル配線が異なります。

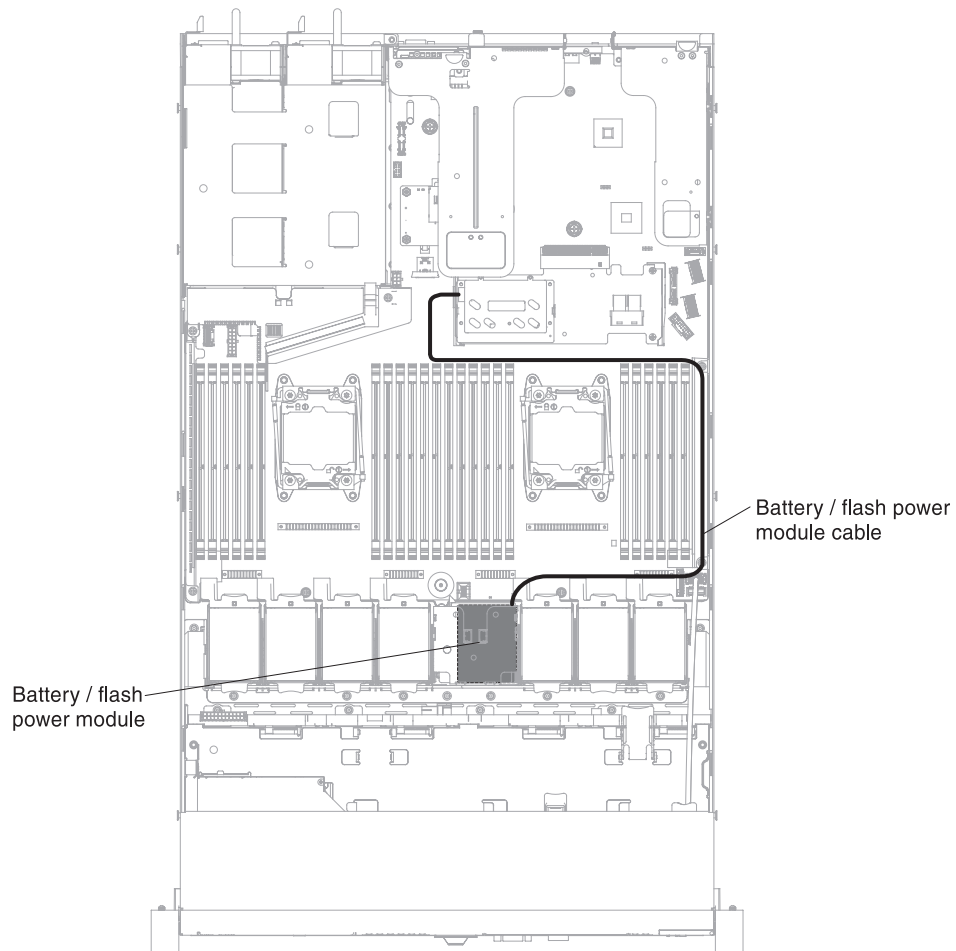


図 39. 3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル配線

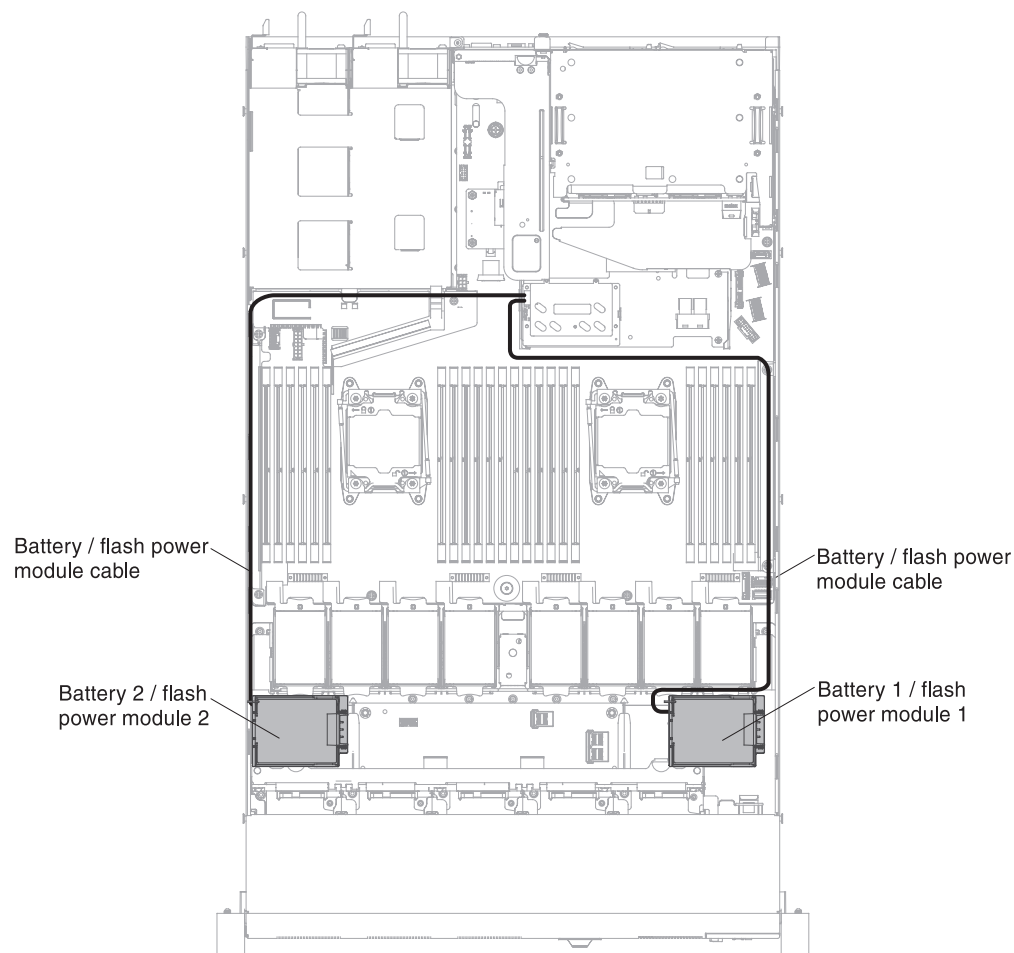


図 40. 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル配線

5. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをシャーシから取り外します。

2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し手順

- a. 保持クリップを開いてバッテリーまたは電源モジュールを取り外します。

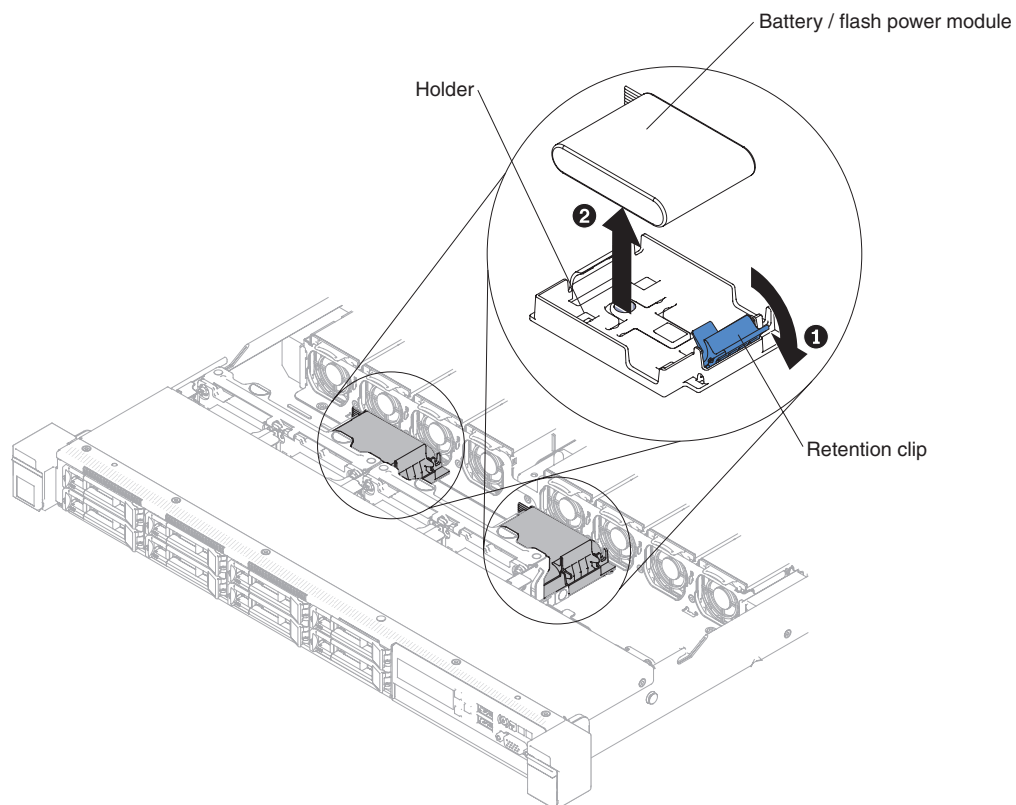


図 41. 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し手順

- a. 青色のリリース・タブを押して、バッテリーまたは電源モジュール・ホルダーを上方向に回転させます。
- b. 保持クリップを外側に少し押して、バッテリーまたは電源モジュールを取り外します。

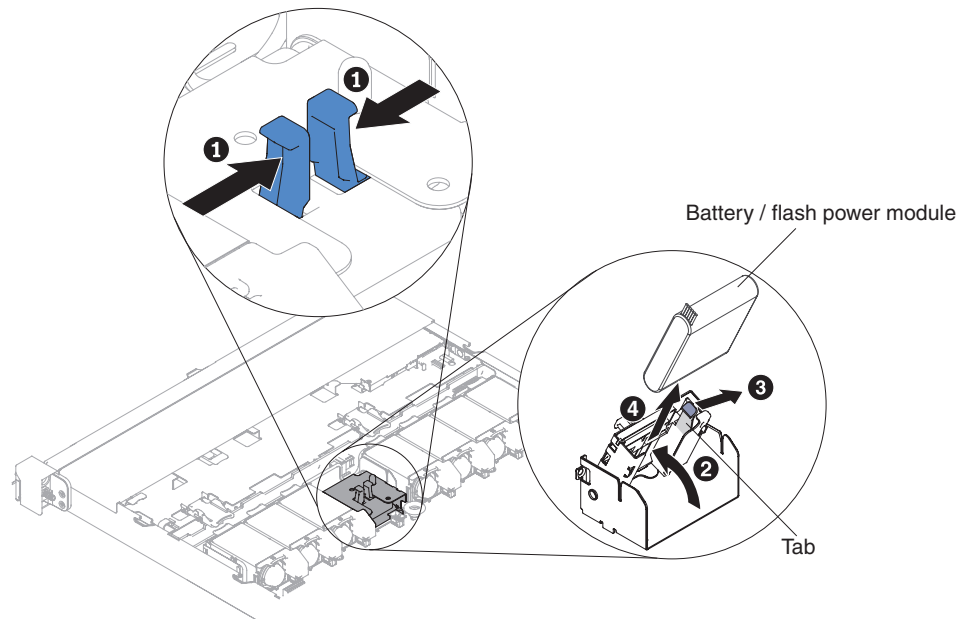


図 42. 3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し

タスクの結果

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの交換

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが付属している RAID アダプターを取り付ける場合、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールがオーバーヒートするのを防ぐために、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサーバー内の別の場所に取り付ける必要がある場合があります。ご使用のサーバー・モデルによっては、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールはリモート側で光学式ドライブ・ケージまたはバックプレーンの近くに取り付ける必要があります。

RAID アダプター・バッテリーをサーバーに取り付けるには、以下のステップを実行します。

注: 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルは最大 2 個の RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをサポートするのに対し、3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルでサポートされる RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは 1 個のみです。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、すべての電源コードと外部装置を切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上に ServeRAID アダプターを取り付けるか (217 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換』を参照)、ライザー・カード上に ServeRAID アダプターを取り付け、ライザー・カード・アセンブリーをサーバーに取り付けます (208 ページの『アダプターの交換』および 199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
5. ケーブルの一方の端を RAID アダプター・メモリー・モジュールに接続します。
6. ケーブルをシャーシに沿って配線します。

注: 2.5 型と 3.5 型のハード・ディスク・サーバー・モデルでは、ケーブル配線が異なります。

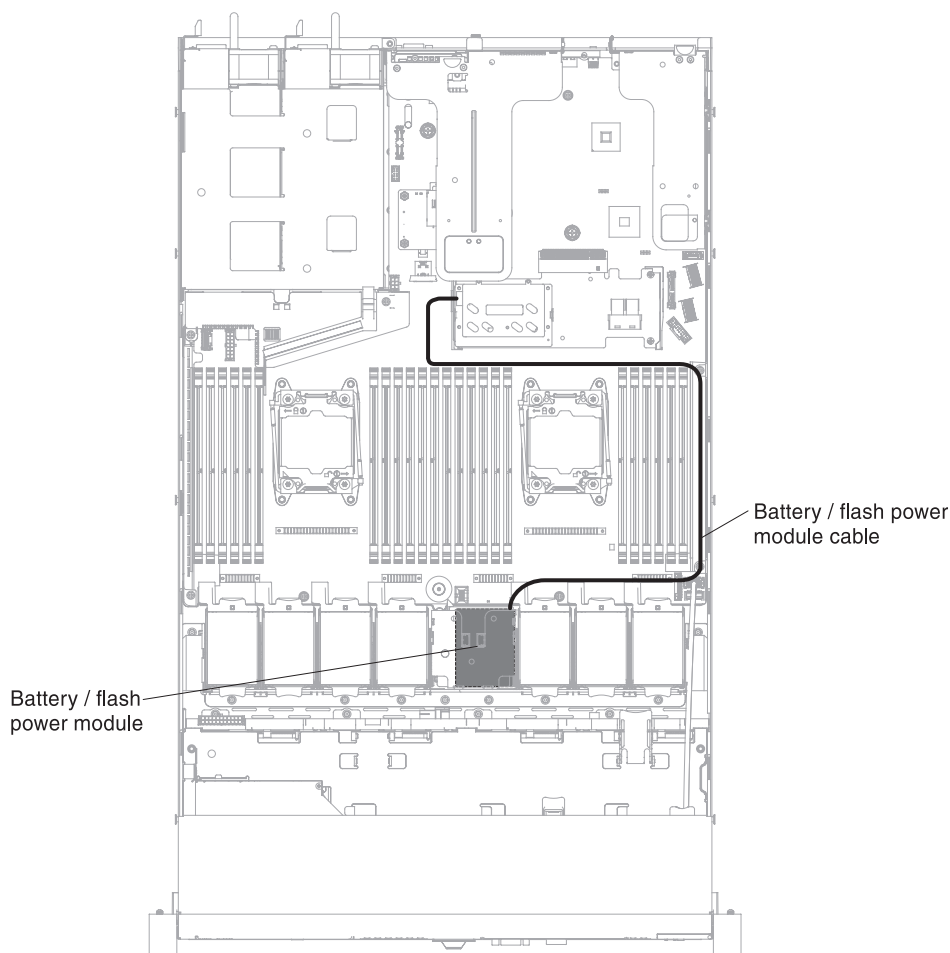


図 43. 3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル接続

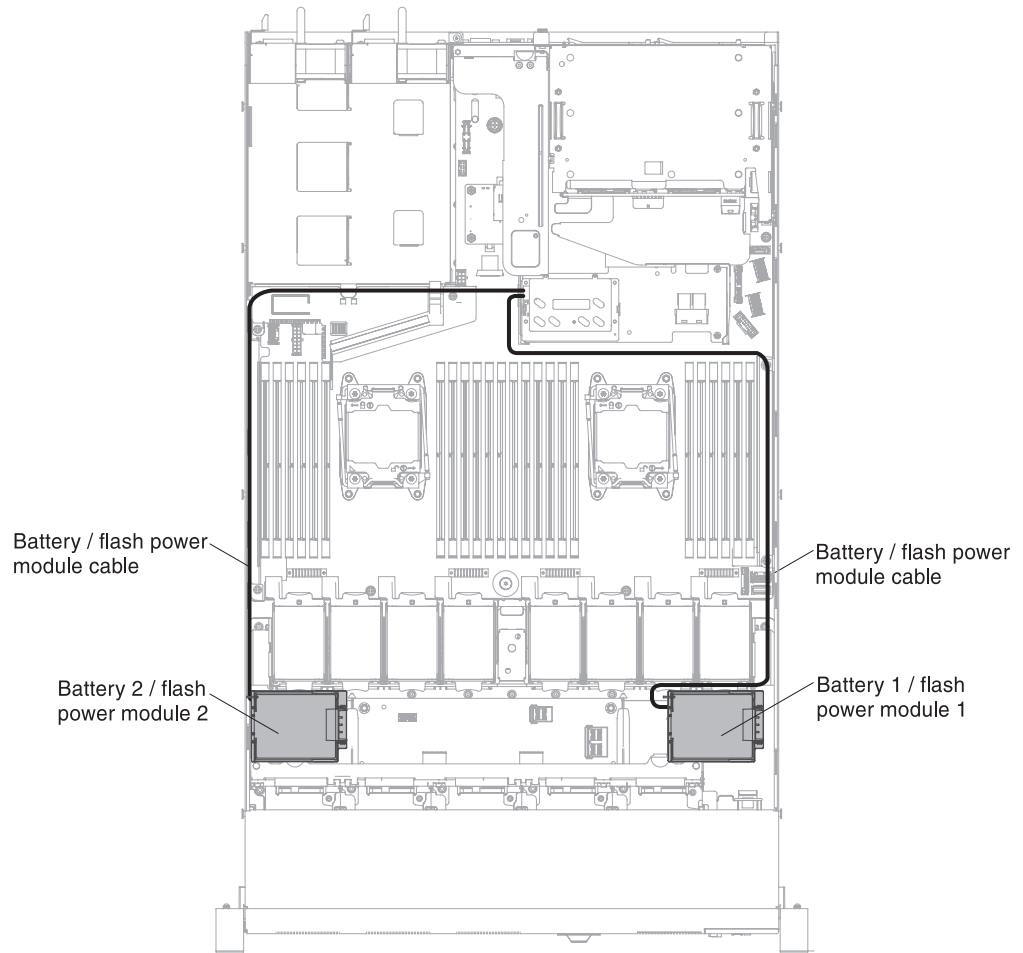


図 44. 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのケーブル接続

重要: ケーブルが挟まっていないこと、コネクタを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

7. ホルダーを開く前に、ホルダーを覆っているケーブルや障害になるケーブルを取り外します。
8. バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り付けます。

2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け手順

- a. 保持クリップを開いた位置に解放します。
- b. ケーブル・コネクタをホルダー上のスロットに位置合わせします。バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをホルダー内に配置し、ホルダーがバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。

注: バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの位置は、取り付けるバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールのタイプによって異なります。

- c. ケーブルのもう一方の端を、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールに接続します。
- d. 保持クリップがカチッと音がして所定の位置に収まり、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールが所定の位置にしっかりと保持されるまで、保持クリップを押し下げます。

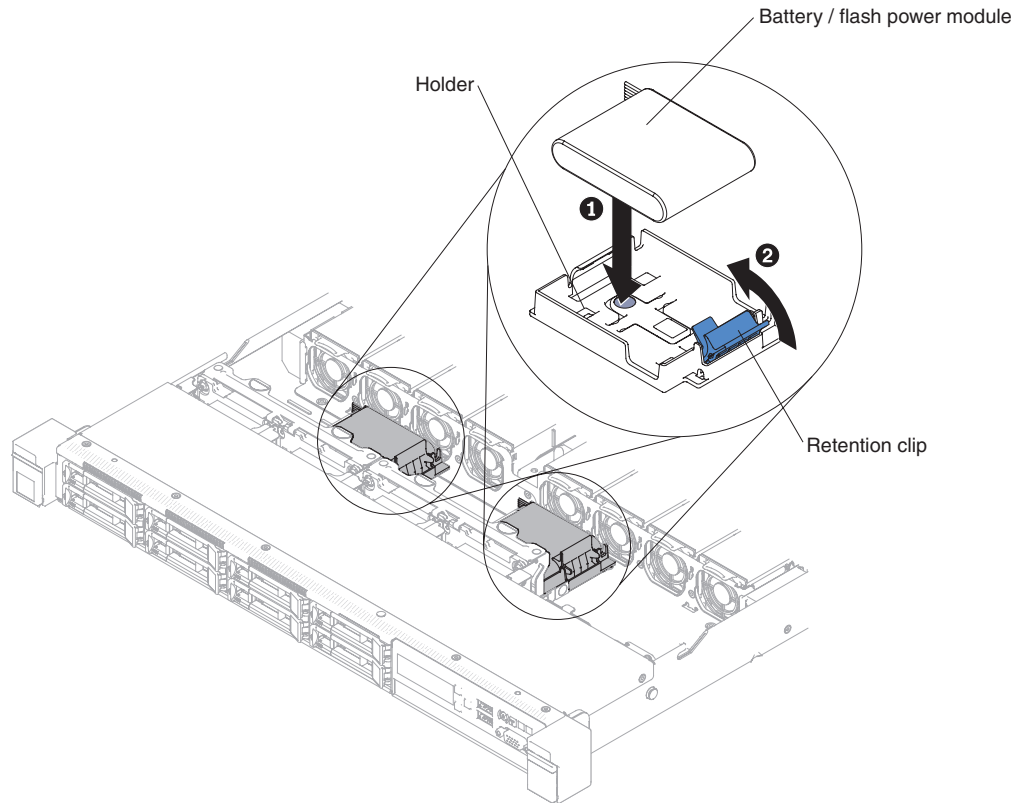


図 45. 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け手順

- a. 青色のリリース・タブを押して、バッテリーまたは電源モジュール・ホルダーを持ち上げます。
- b. ケーブル・コネクターをホルダー上のスロットに位置合わせします。バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをホルダー内に配置し、ホルダーがバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールをしっかりと固定していることを確認します。
- c. ケーブルのもう一方の端を、バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールに接続します。
- d. 青色のリリース・タブを押して、バッテリーまたは電源モジュール・ホルダーを下げてシャーシに差し込みます。

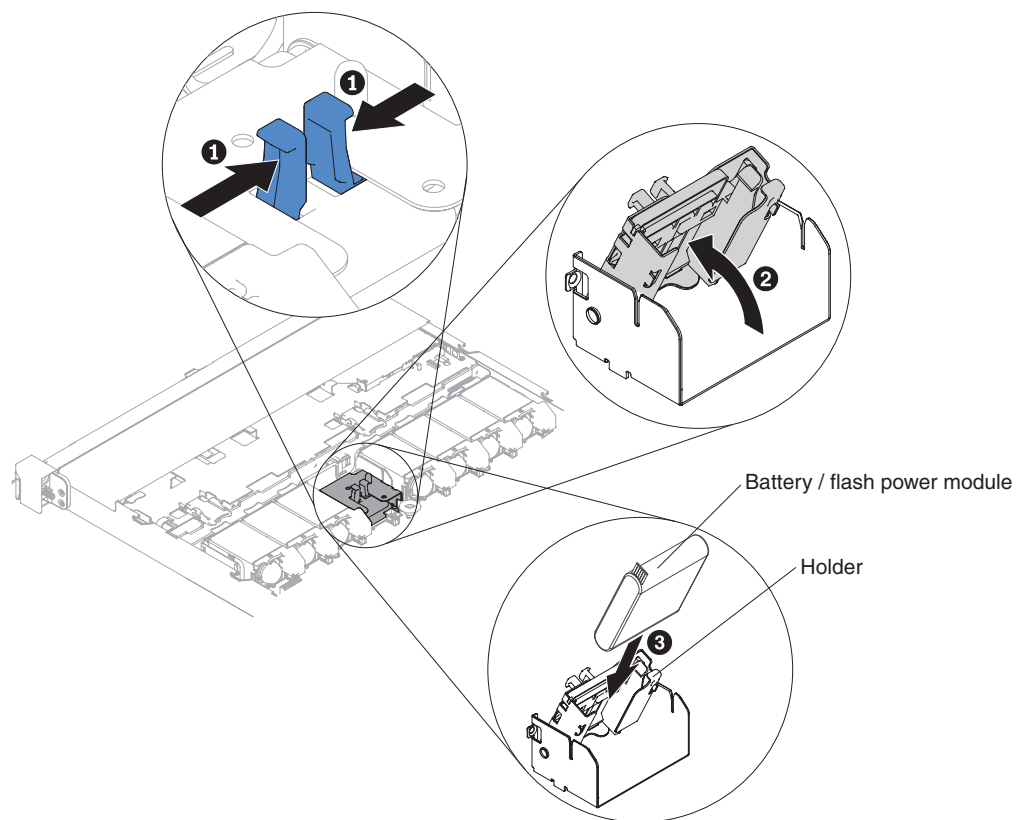


図 46. 3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り付け

9. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り外すには、以下の手順を実行します。

注: 以下の手順は、2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルのみに適用されます。RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーは、3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルでは取り外すことはできません。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールを取り外します (149 ページの『RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールの取り外し』を参照)。
4. ホルダーを取り外すには、青色のリリース・タブを押してから、ホルダーをスライドさせてシャーシから引き抜きます。

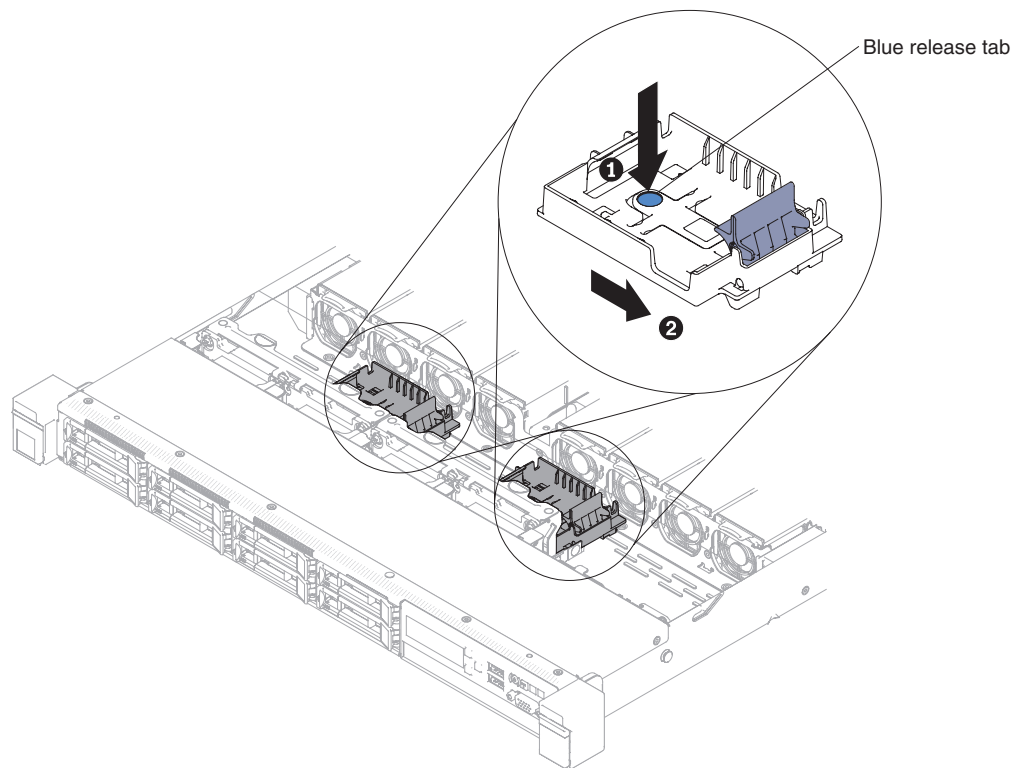


図 47. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り外し

タスクの結果

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを返却するよう指示された場合、すべての梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの再取り付け

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

注: 以下の手順は、2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルのみに適用されます。RAID アダプター・バッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーは、3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルでは取り外すことはできません。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部装置を切り離してから、カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. シャーシの所定の位置に固定されるまでトレイをスライドさせます。

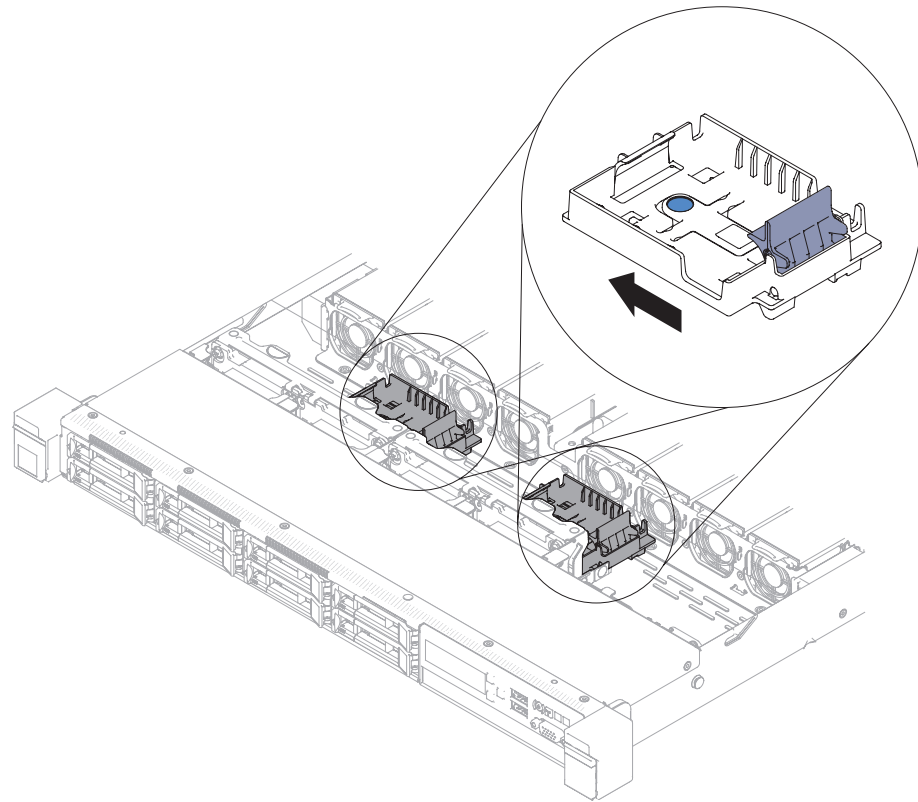


図 48. RAID アダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュール・ホルダーの取り付け

4. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
5. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
6. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

EIA ブラケットの取り外し

EIA ブラケットを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

EIA ブラケットを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 必要に応じてサーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーをスライドさせて、ラック格納装置から出します。
4. EIA ブラケットからねじを取り外します。

注: T8 TORX レンチを使用してねじを取り外します。

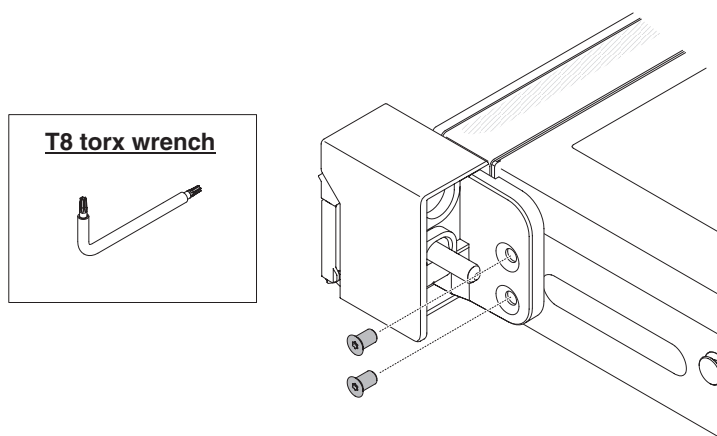


図 49. ねじの取り外し

5. EIA ブラケットを右に少しスライドさせて、シャーシから取り外します。

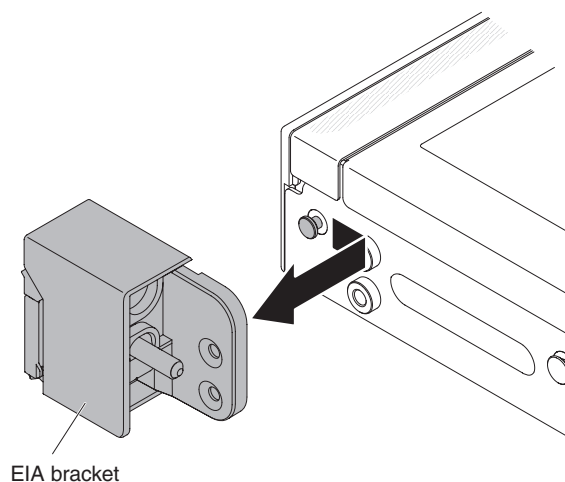


図 50. EIA ブラケットの取り外し

EIA ブラケットの交換

EIA ブラケットを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

EIA ブラケットを交換するには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. EIA ブラケットをシャーシ上のピンに合わせます。ブラケットをシャーシに押し、左側に少しスライドさせます。

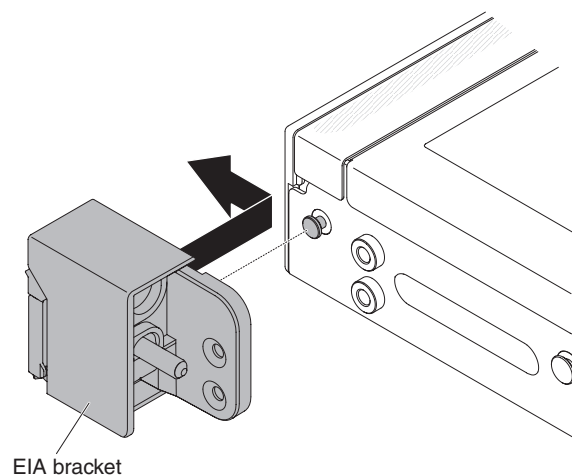


図 51. EIA ブラケットの取り付け

3. EIA ブラケットをシャーシに固定するねじを取り付けます。

注: T8 TORX レンチを使用してねじを取り付けます。

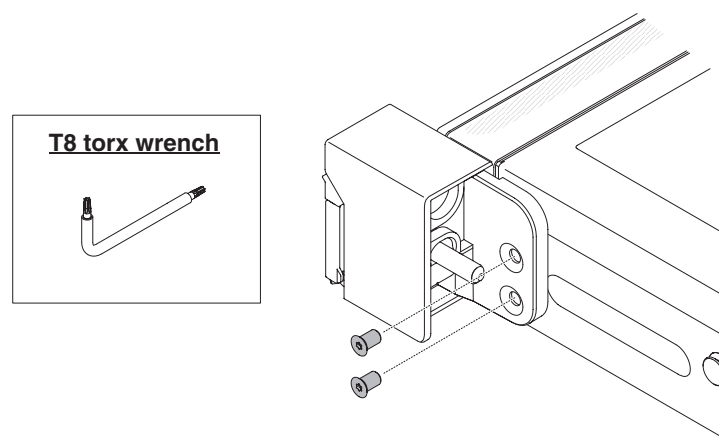


図 52. ねじの取り付け

4. サーバーを後方にスライドさせて、ラッチで固定されるまでラックに挿入します。
5. 必要に応じて、外部ケーブルおよび電源コードを再接続します。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 の CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

- ハード・ディスク・コネクタを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。
- ディスク・ドライブ、ディスク・ドライブ・コントローラー (システム・ボードに組み込まれたコントローラーを含む)、ディスク・ドライブ・バックプレーン、またはディスク・ドライブ・ケーブルを変更する前に、ハード・ディスクに保管されているすべての重要なデータをバックアップしてください。
- RAID アレイのいずれかのコンポーネントを取り外す前には、すべての RAID 構成情報をバックアップしてください。

ホット・スワップ ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. ドライブをサーバーから取り外す前に、特に RAID アレイの一部である場合は、必ずドライブ上のデータを保管したことを確認します。
3. リリース・ラッチ (オレンジ色) を左方にゆっくりとスライドさせて、ドライブ・ハンドルのロックを解除します。

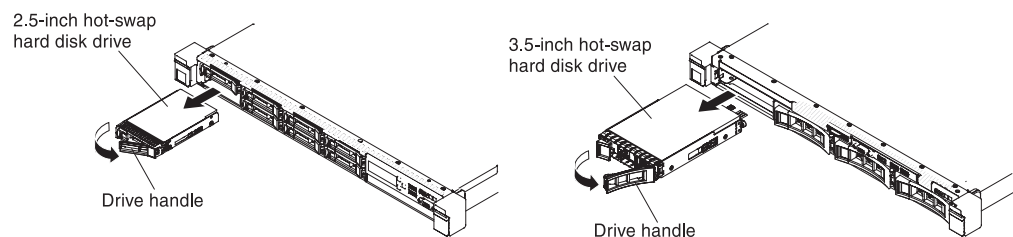


図 53. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. ハンドルをつかんで、ドライブをドライブ・ベイから引き出します。

5. ドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再び取り付けます。
6. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換

ホット・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。サポートされているハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判別してください。SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けている場合、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- ホット・スワップ・サーバー・モデルは、最大 8 個の 2.5 型または 3 個の 3.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクをサポートします。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

注: ハード・ディスクが 1 つのみの場合は、ベイ 0 (左上) に取り付ける必要があります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。フィラー・パネルは安全な場所に保管してください。

3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. 次のようにして、ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
 - a. 必ず、トレイ・ハンドルを「開 (ロック解除)」位置にします。
 - b. ドライブをベイ内のガイド・レールと位置合わせします。

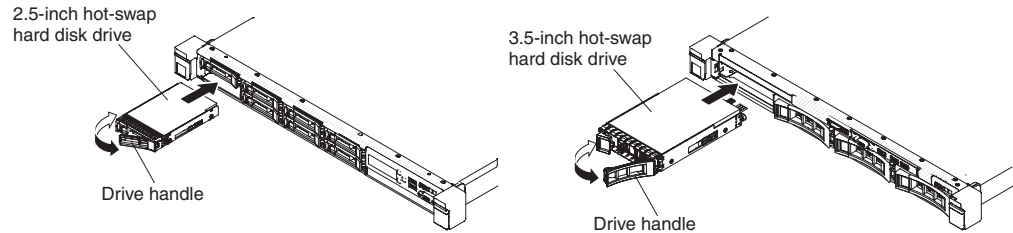


図 54. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

- c. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
- d. トレイ・ハンドルを「閉」位置 (ロック位置) に回転させます。
- e. ハード・ディスク状況 LED を調べ、ハード・ディスクが正常に動作しているかどうかを確認します。ドライブの黄色のハード・ディスク状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があるため、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要があります。RAID 操作の詳細と、ServeRAID アダプターを使用するための詳細な説明に関しては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

5. 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。
6. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

タスクの結果

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ドライブをサーバーから取り外す際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを実行してください。

重要:

- ハード・ディスク・コネクターを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクまたはフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 指で黒いドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・ラッチを右側へスライドさせてドライブを解放し、ハード・ディスクをドライブ・ベイから引き出します。

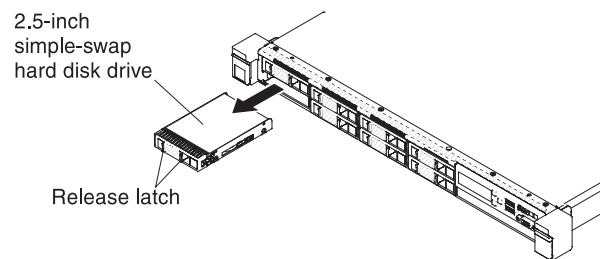


図 55. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

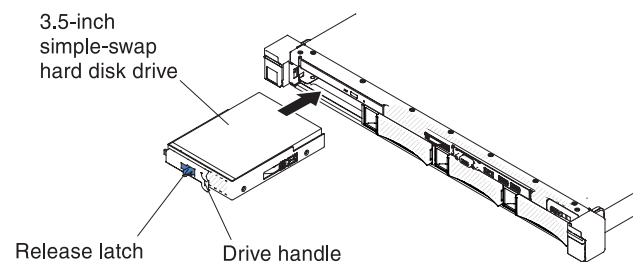


図 56. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
5. ドライブ・アセンブリの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。サポートされているハード・ディスクのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- ドライブを取り付けるベイを選択します。
- ドライブに付属の説明書を確認して、ドライブでスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判断してください。SAS 装置を取り付けている場合、その装置の SATA ID を必ず設定してください。
- このサーバーには、最大 4 個の 3.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けることができます。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けしないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- このサーバーには、最大 8 個の 2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けることができます。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けしないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- シンプル・スワップ・サーバー・モデルでは、非 RAID 構成のみのご提供となります。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイと PCI および PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブ、あるいは PCI または PCI Express アダプターを取り付けるときは、後で装置を取り外す場合に備えて、ベイ、あるいは PCI または PCI Express アダプター・スロット・カバーから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保管しておきます。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
4. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
5. 次のようにして、ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。

- a. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。

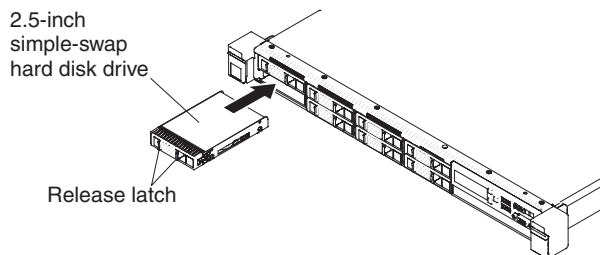


図 57. 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

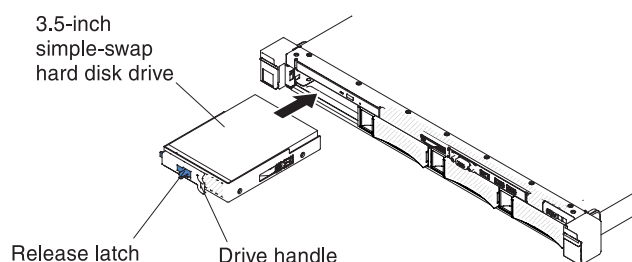


図 58. 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

- b. ドライブがベイの中で止まるまで、慎重にベイの中に押し込みます。
6. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
7. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付ける場合は、ここで実行してください。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットの取り外し

2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルを、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンおよび電源コネクタから取り外します。

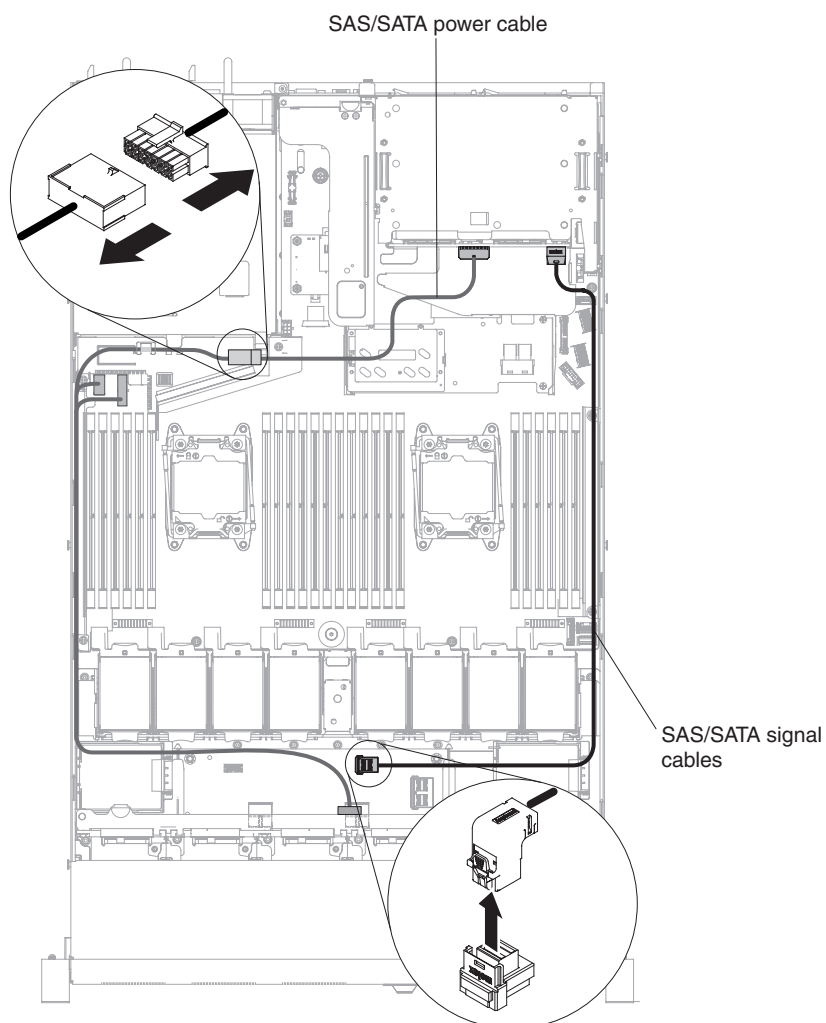


図 59. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルの取り外し

5. エア・ダクトを持ち上げて、Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルを背面ホット・スワップ・バックプレーンから取り外します。

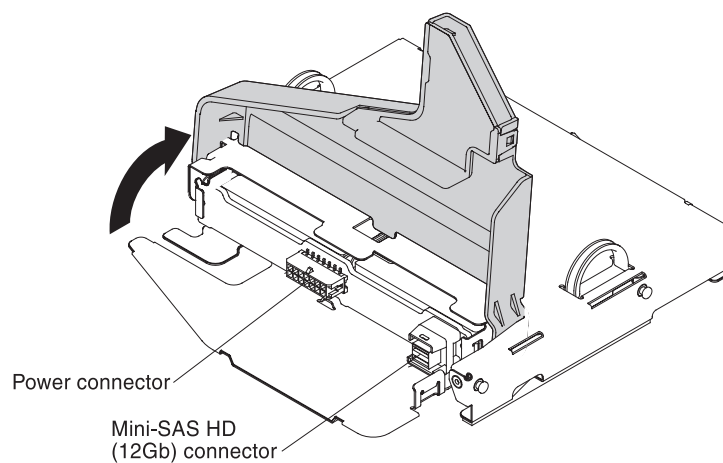


図 60. バックプレーン上の Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルのコネクターの位置

6. シャーシ背面にあるねじを緩めます。

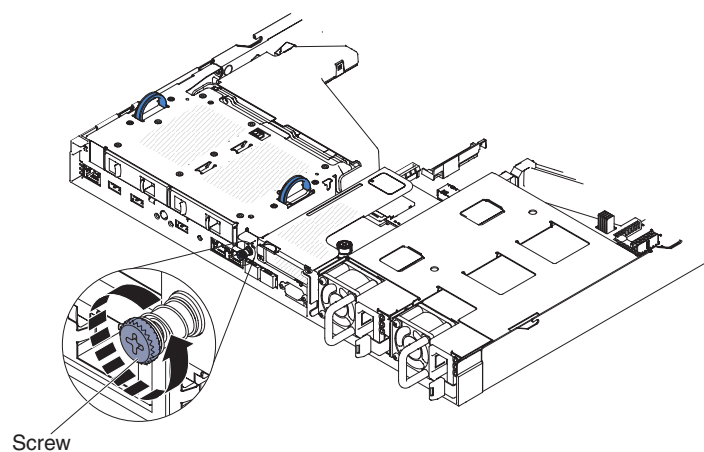


図 61. ねじの位置

7. システム・ボードに PCI ライザー・カード・アセンブリー 3 が取り付けられている場合は、最初に取り外します (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。その後、2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットの側面にある 2 つのハンドルをつかみ、キットをゆっくりとシャーシから取り外します。

重要: 常にこの手順の取り付け順序に従ってください。これに従わない場合は、2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットが損傷する可能性があります。

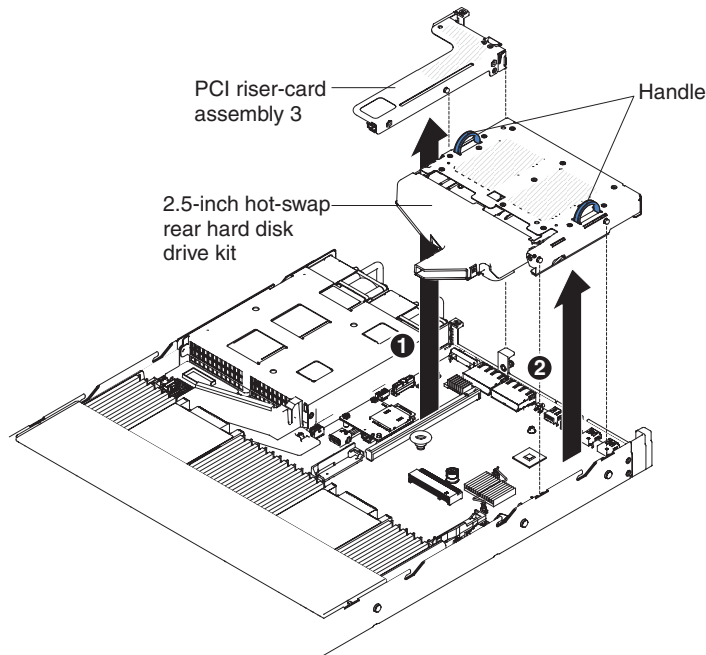


図 62. 2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットの取り外し

8. 背面ハード・ディスク・ケージの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットの交換

2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットを交換するには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリー 3 を取り付ける必要がある場合 (199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)、必ず 2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットを最初に取り付けてください。キットの側面にある 2 つのハンドルをつかんでキットを取り付けて、ゆっくりとシャーシに下ろします。2 つの位置合わせピンがシャーシ側面の 2 つの穴としっかりかみ合っていることを確認します。

重要: 常にこの手順の取り付け順序に従ってください。これに従わない場合は、2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットが損傷する可能性があります。

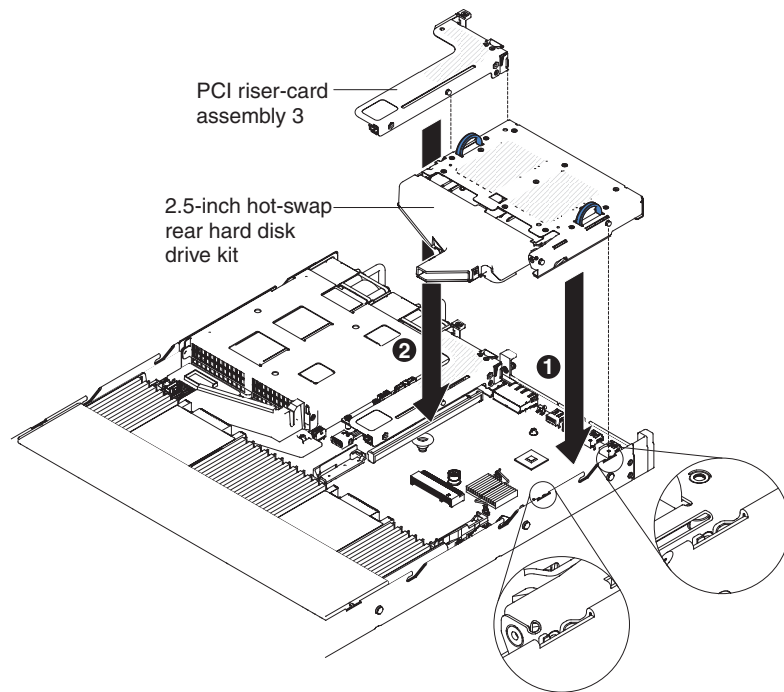


図 63. 2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットの取り付け

5. ネジを締め、背面ハード・ディスク・キットをシャーシに固定します。

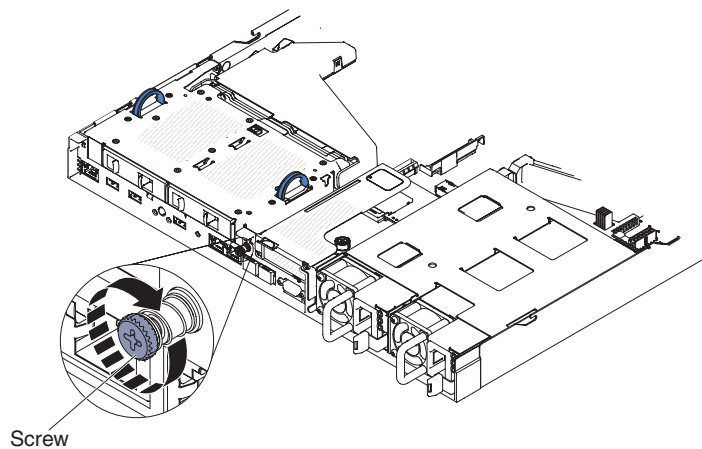


図 64. ネジの位置

6. エア・ダクトを持ち上げて、Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルを背面ホット・スワップ・バックプレーンに取り付けます。

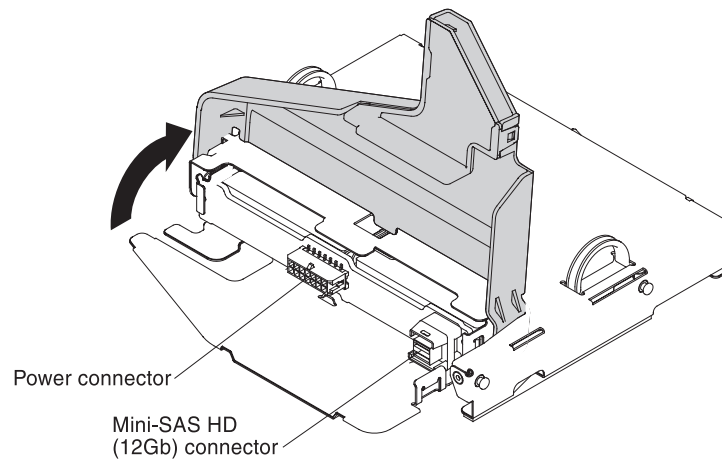


図 65. 背面バックプレーン上の Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルのコネクターの位置

7. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルのもう一方の端を、2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンおよび電源コネクターに接続します。

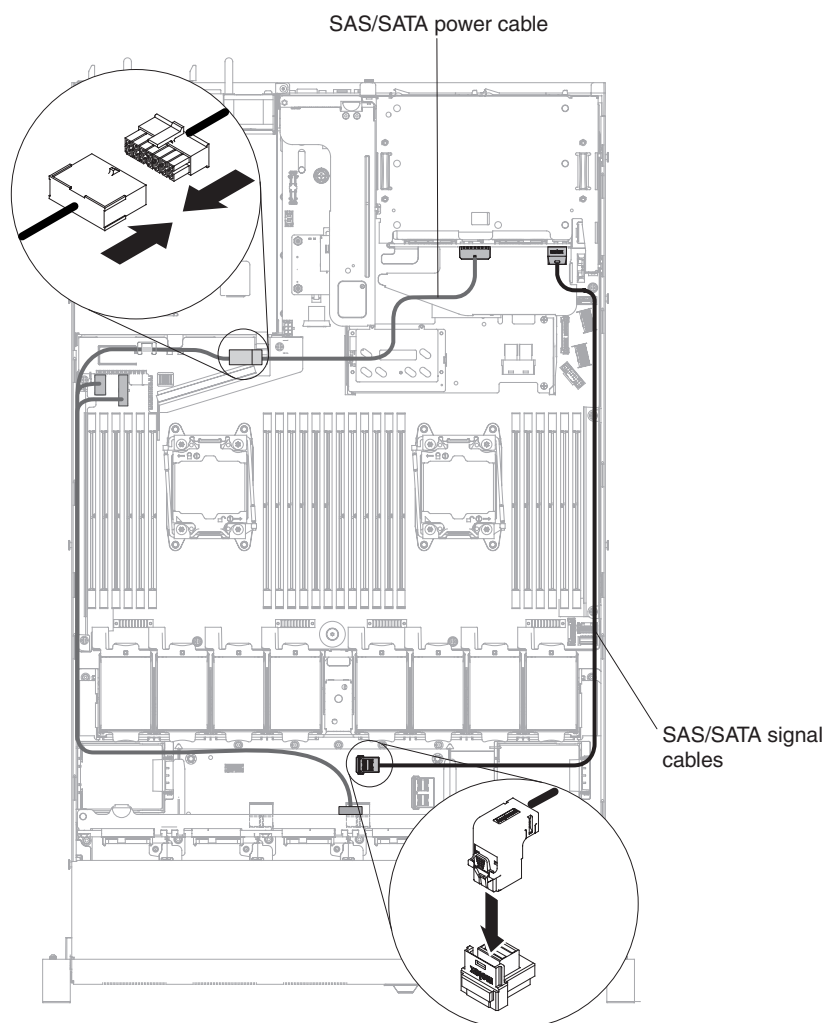


図 66. Mini-SAS HD (12Gb) ケーブルおよび電源ケーブルの配線

8. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

DVD ドライブの取り外し

DVD ドライブを取り外すには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

DVD ドライブを取り外すには、次のステップを実行してください。

注: DVD ドライブは、10 個の 2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップのハード・ディスク・モデルでサポートされています。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. サーバーのカバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. リリース・タブを下に押したままで、ドライブを背面からスライドさせてベイから抜きます。

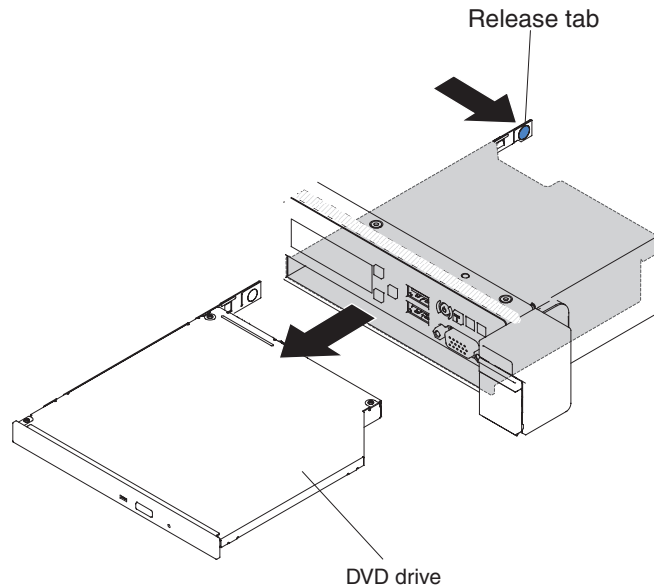


図 67. DVD ドライブの取り外し (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

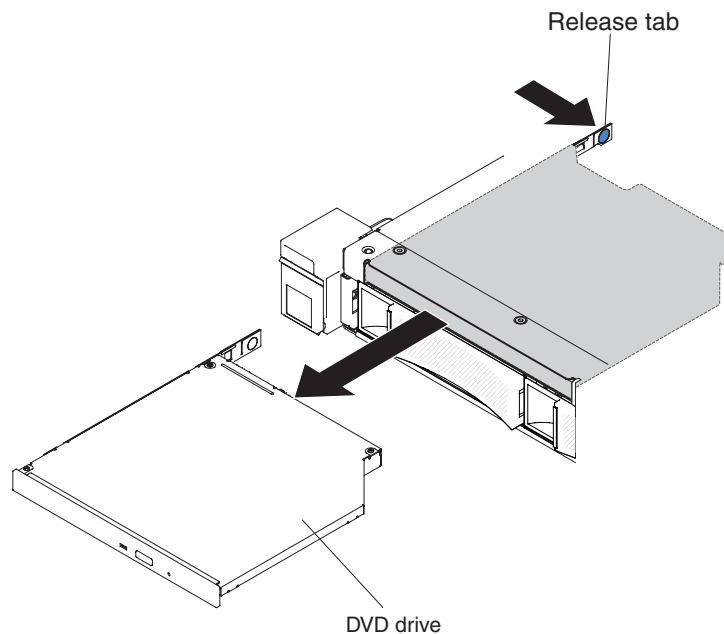


図 68. DVD ドライブの取り外し (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

5. ドライブの側面からドライブ保持クリップをスライドします。交換用ドライブの取り付け時または DVD ドライブ・フィラー・パネルの交換時に使用するために、このクリップを保管しておきます。

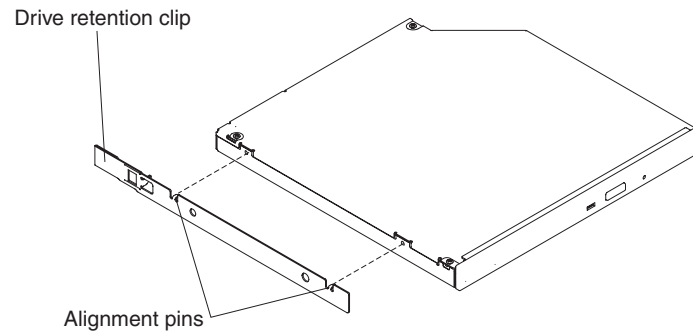


図 69. DVD ドライブ保持クリップの取り外し

6. ステップ 4 (177 ページ) で取り外したドライブ保持クリップを DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面に取り付けます。
7. DVD ドライブ・フィラー・パネルを DVD ドライブ・ベイに差し込み、カチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。

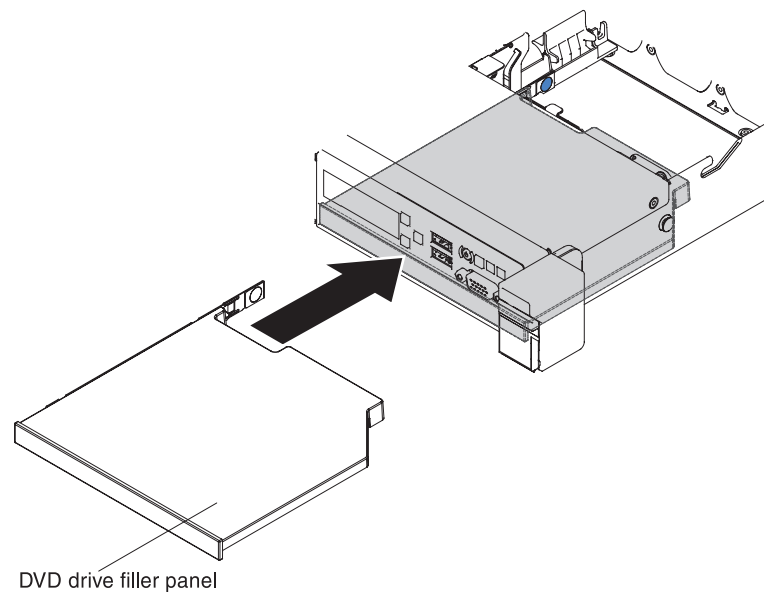


図 70. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り付け (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

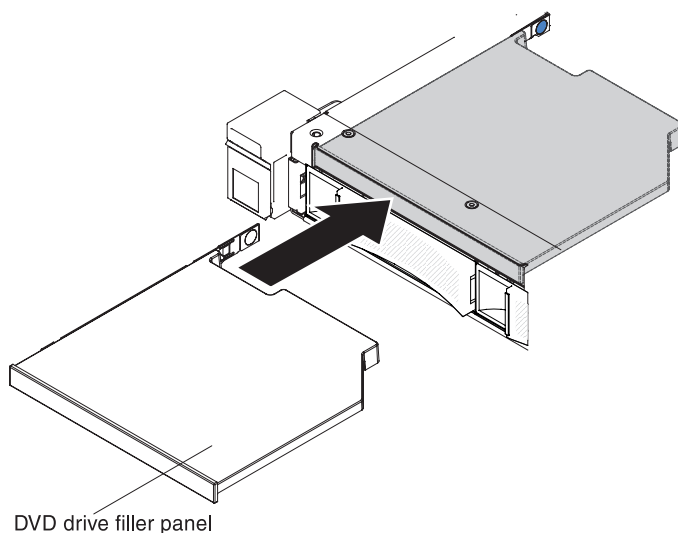


図 71. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り付け (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

8. DVD ドライブの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

DVD ドライブの交換

DVD ドライブを再取り付けするには、以下の情報を使用します。

このタスクについて

以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。サポートされるドライブのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属する資料で示されているすべてのケーブルおよびその他の装置があるか確認します。
- このサーバーは、1 つのウルトラ・スリム SATA DVD ドライブをサポートします。

DVD ドライブを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

注: DVD ドライブは、10 個の 2.5 型ホット・スワップまたはシンプル・スワップのハード・ディスク・モデルでサポートされています。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

注: サーバーから給電部を切り離す際、給電部が取り外されると LED が点灯しないため、LED を見ることはできません。給電部を切り離す前にどの LED が点灯しているかをメモしておきます。これには、オペレーション情報パネル上で点灯している LED、およびサーバー内部のシステム・ボードにある LED も含まれます。

3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. DVD ドライブ・フィラー・パネルが付いている場合は、それを取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネル背面の青色のリリース・タブを見つけます。次に、タブを押しながら DVD 光学式ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。

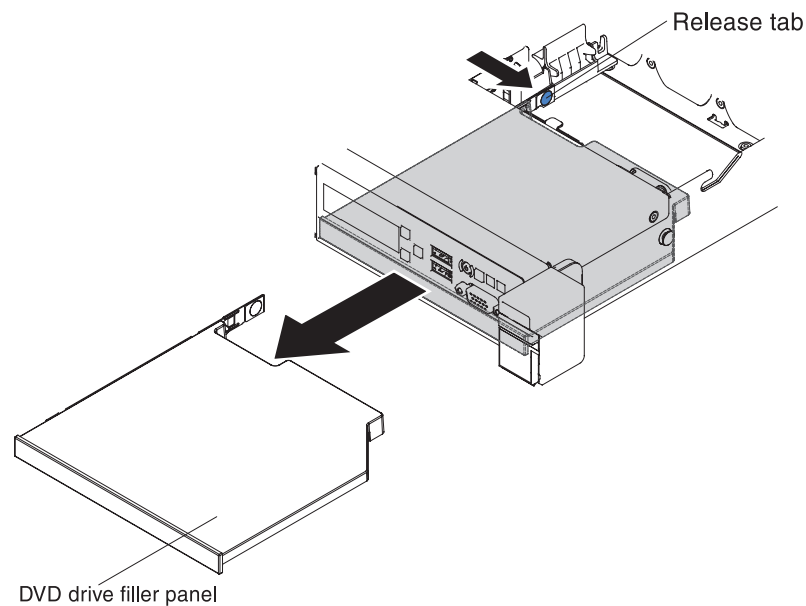


図 72. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り外し (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

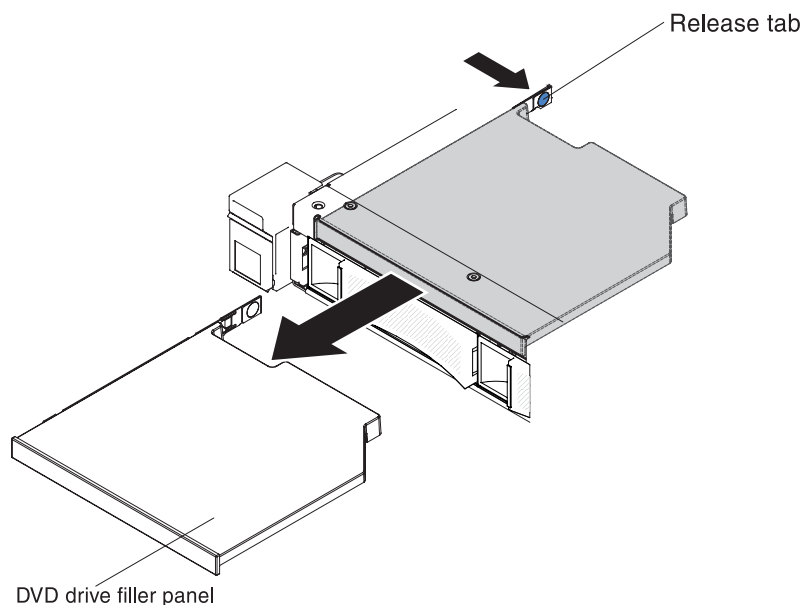


図 73. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り外し (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

5. DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面から保持クリップを取り外します。
DVD ドライブ・フィラー・パネルは、将来の利用に備えて保管しておいてください。

注: レーザーを含む DVD ドライブを取り付ける場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、DVD 機器を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

6. サーバーの塗装されていない金属面に、新しい DVD ドライブが入った帯電防止パッケージを触れさせてから、DVD ドライブをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
7. ドライブに付属の説明書に従い、ジャンパーまたはスイッチを設定します。
8. DVD ドライブ・フィラー・パネルから取り外したドライブの保持クリップを新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。

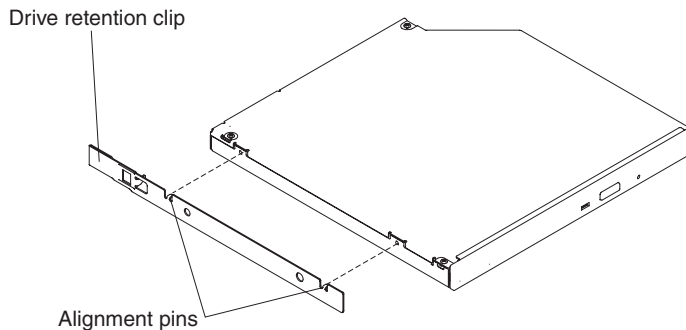


図 74. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

9. DVD ドライブをドライブ・ベイに位置合わせして DVD ドライブ・ベイに差し込み、DVD ドライブがカチッと音がして所定の位置に収まるまでスライドさせます。

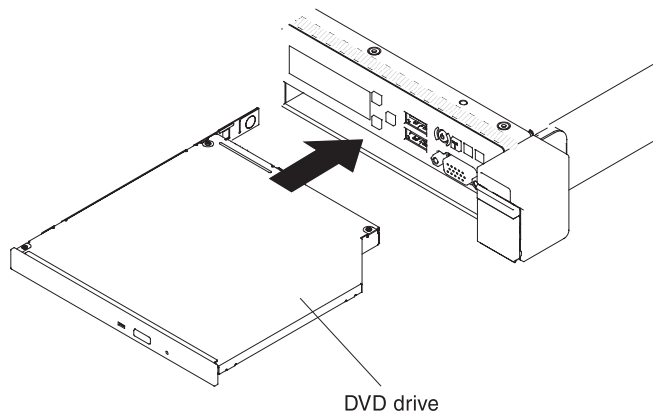


図 75. DVD ドライブの取り付け (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

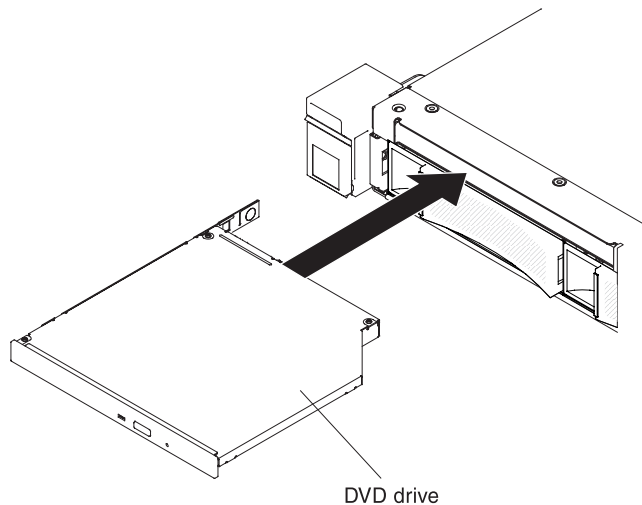


図 76. DVD ドライブの取り付け (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

DVD ドライブ・ケーブルの取り外し

DVD ドライブ・ケーブルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ケーブルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

5. コネクター・リリース・タブを押しながら DVD ドライブ・ケーブルをシステム・ボードのコネクターから取り外します。

重要: DVD ドライブ・ケーブルをシステム・ボードから切り離すには、コネクター・リリース・タブを押す必要があります。DVD ドライブ・ケーブルを切り離すときは力を入れすぎないようにしてください。

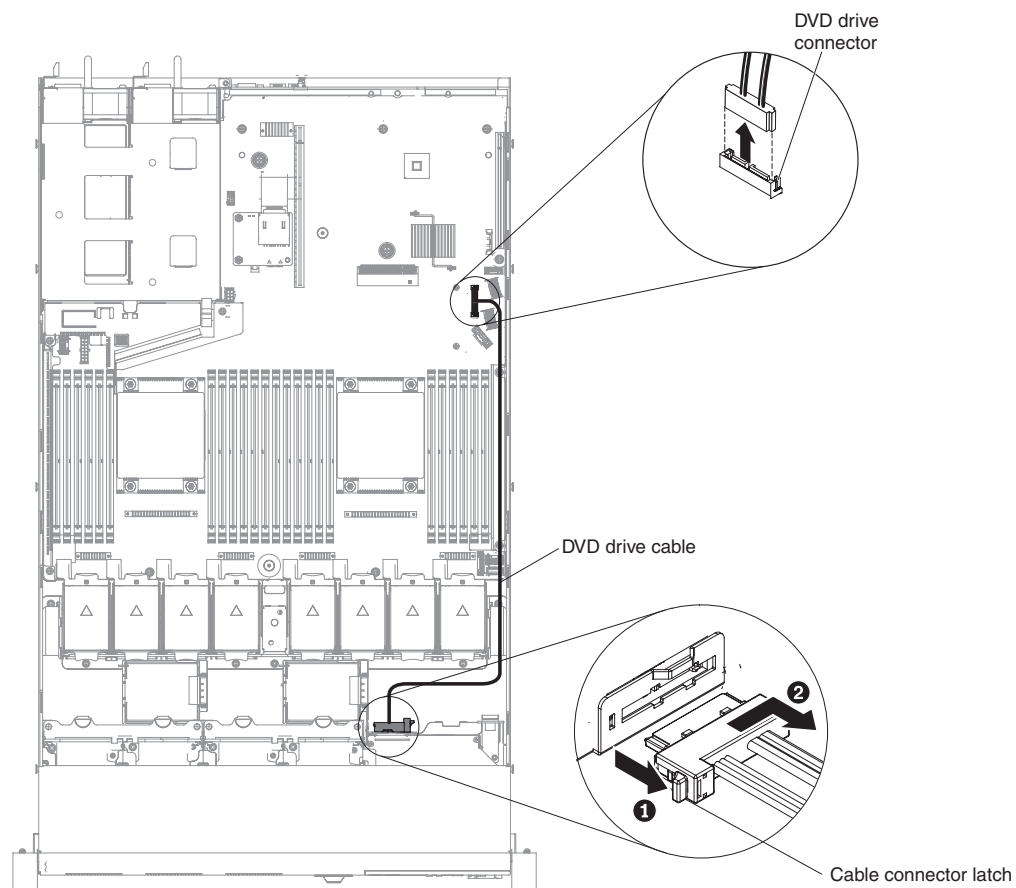


図 77. DVD ドライブ・ケーブルの取り外し (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

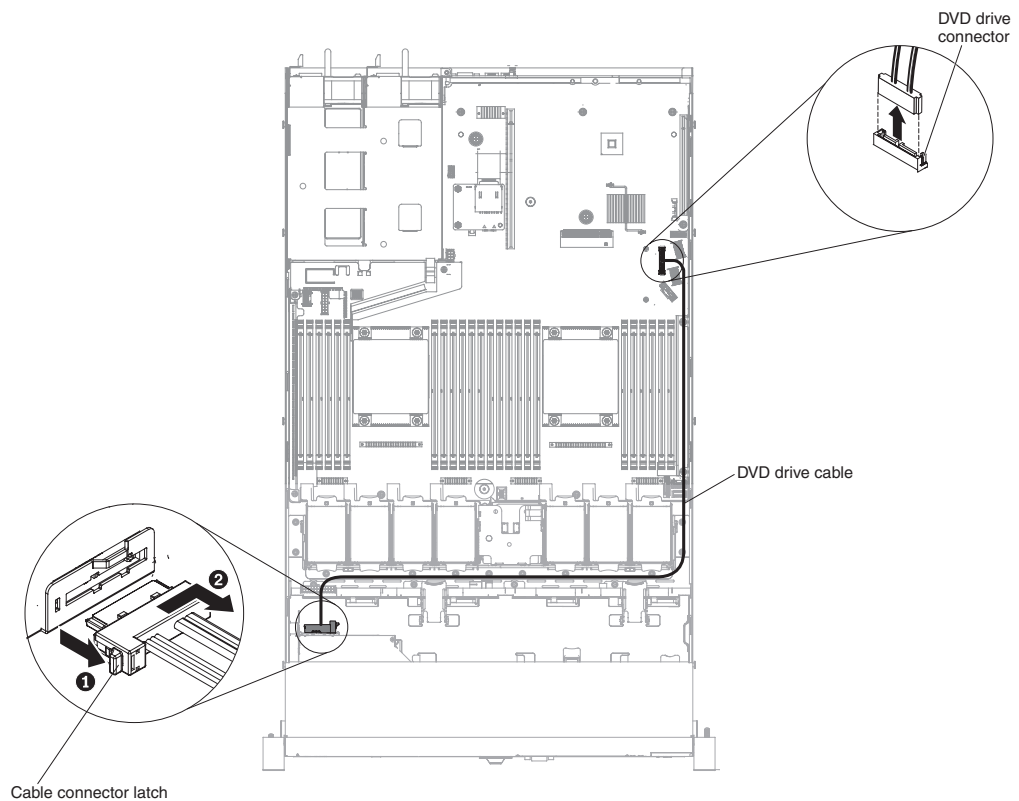


図 78. DVD ドライブ・ケーブルの取り外し (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

6. DVD ドライブをスライドさせてサーバーから取り外します (173 ページの『DVD ドライブの取り外し』を参照)。
7. DVD ドライブ・ケースの背面で、コネクタ・ラッチ (ケーブル・コネクタの左側) を押したままケーブル・コネクタをつかみ、右側にスライドさせます。次に、DVD ドライブの背面にあるコネクタから DVD ドライブ・ケーブルを取り外し、横に置きます。

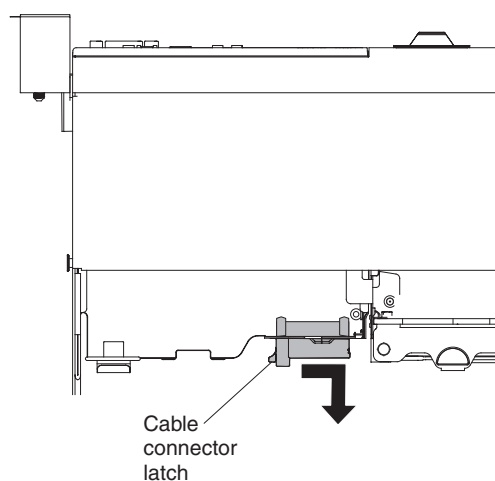


図 79. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

タスクの結果

DVD ドライブ・ケーブルの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

DVD ドライブ・ケーブルの交換

DVD ドライブ・ケーブルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ドライブ・ケーブルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. ケーブル・コネクタを DVD ドライブ・ケースの背面にあるコネクタを位置合わせします。ケーブル・コネクタを DVD ドライブ・ケースのコネクタに押し込み、しっかりと装着されるまで左側にスライドさせます。

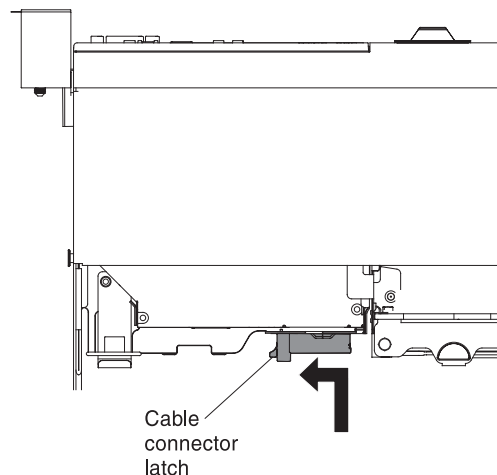


図 80. DVD ドライブ・ケーブル・ラッチ

下図には、DVD ケーブル用のケーブル配線を記載してあります。

重要: 図に示された DVD ドライブ・ケーブルのルーティングに従ってください。ケーブルが挟まっていないこと、コネクタを覆っていないこと、システム・ボードのコンポーネントの障害になっていないことを確認してください。

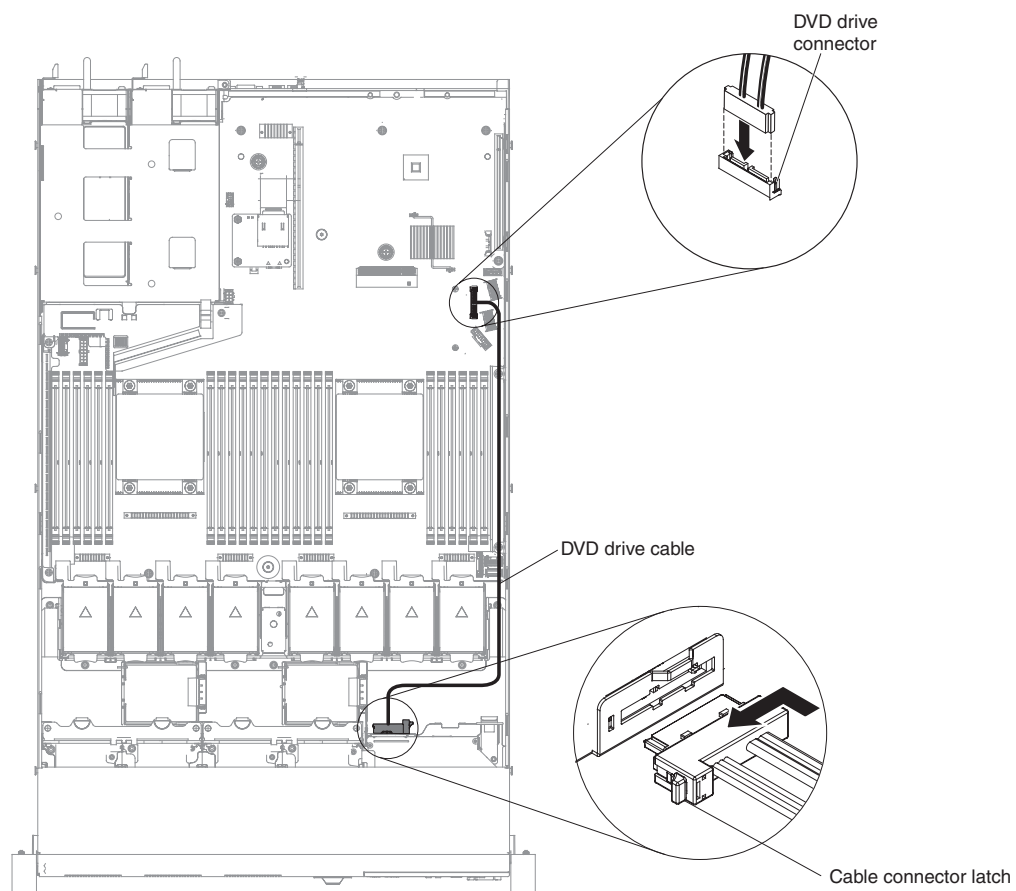


図 81. DVD ドライブ・ケーブルの配線 (2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

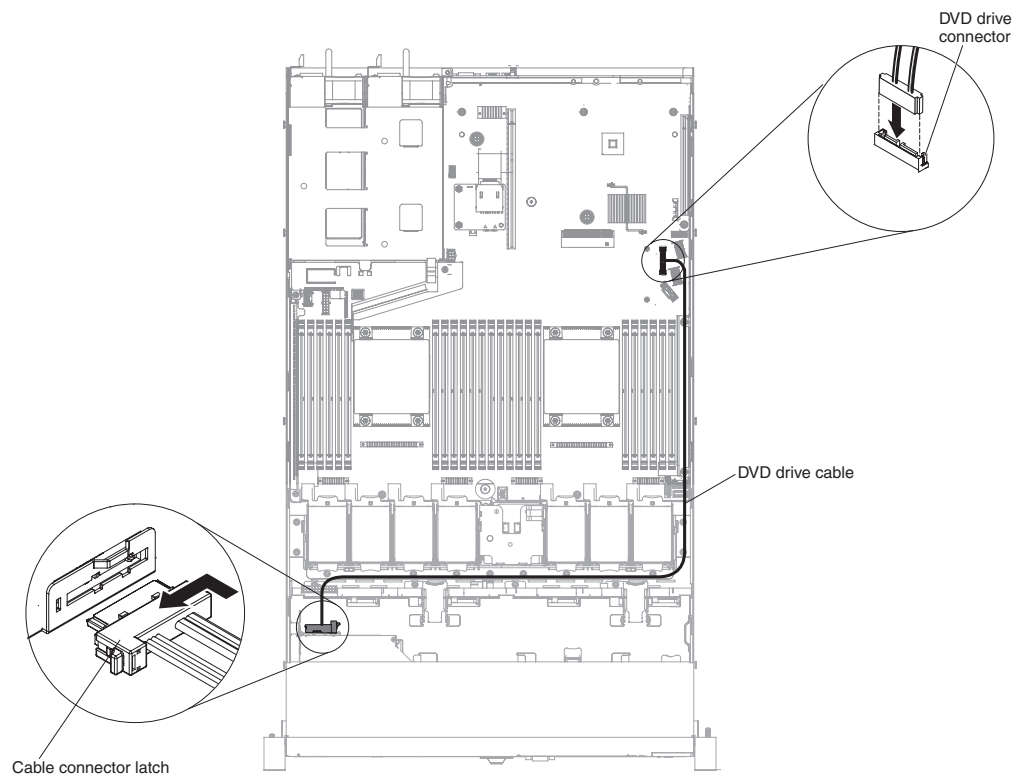


図 82. DVD ドライブ・ケーブルの配線 (3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合)

6. エアー・バッフルを再取り付けします (148 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
7. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。

5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

重要: DIMM 保持クリップが破損したり、DIMM コネクターが損傷するのを防ぐために、クリップの開閉は静かに行ってください。

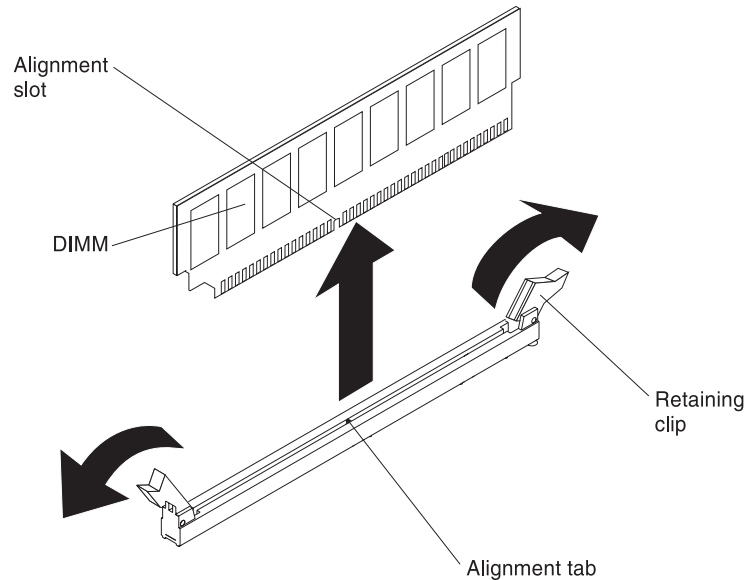


図 83. DIMM の取り外し

タスクの結果

DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付けの際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは、業界標準の double data rate 4 (DDR4)、1600、1866、または 2133 MHz、PC4-12800、PC4-14900、または PC4-17000 Registered あるいは Load Reduction、SDRAM エラー修正コード (ECC) 付きデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
- DDR4 DIMM の仕様は、DIMM 上のラベルに以下のフォーマットで記載されています。

ggggg eRxff PC3v-wwwwwm-aa-bb-ccd

ここで、それぞれ以下の意味があります。

- *gggg* は DIMM の合計容量です (例えば 1 GB、2 GB、または 4 GB)。
- *eR* はランク数です。
 - 1R = single-rank
 - 2R = dual-rank
 - 4R = quad-rank
- *xff* は、デバイスの編成 (ビット幅) です。
 - x4 = x4 編成 (1 SDRAM あたり 4 DQ 線)
 - x8 = x8 編成
 - x16 = x16 編成
- *v* は SDRAM およびサポート・コンポーネントの供給電圧です。
 - ブランク = 1.2 V 指定
- *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 12800 = 12.80 GBps (DDR4-1600 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 14900 = 14.93 GBps (DDR4-1866 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 17000 = 17.00 GBps (DDR4-2133 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - L = Load Reduction DIMM (LRDIMM)
 - R = Registered DIMM (RDIMM)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂のエンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計のリファレンス設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベル上の情報は、 *xxxxx nRxxx PC3v-xxxxxx-xx-xx-xxx* という形式です。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (*n*=1) であるか、dual-rank (*n*=2) であるか、quad-rank (*n*=4) であるかを示します。

- チャンネル内の RDIMM 数に応じて、DDR4 RDIMM の速度には以下のルールが適用されます。
 - チャンネルごとに 1 つの RDIMM を取り付けした場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します。
 - チャンネルごとに 2 つの RDIMM を取り付けした場合、メモリーは 2133 MHz で稼働します
 - チャンネルごとに 3 つの RDIMM を取り付けした場合、メモリーはメモリー・サイズに応じて 1600 MHz または 1866 MHz で稼働することが可能です。
 - サーバー内のすべてのチャンネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
 - registered DIMM、unbuffered DIMM、および負荷低減 DIMM (LRDIMM) を同一のサーバーに取り付けしないでください。
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサ、DIMM 速度、DIMM タイプ、UEFI 設定での動作モード、およびチャンネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。

- two-DIMM-per-channel (チャンネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、サーバーは以下の条件を満たす場合、自動的に最大メモリー速度 1600 MHz で作動します。
 - 2 個の 1.35 V single-rank、dual-rank、または quad-rank RDIMM、または LRDIMM が同じチャンネルに取り付けられている。Setup ユーティリティーで、「Memory speed」が「Max performance」モードに設定されており、「LV-DIMM power」が「Enhance performance」モードに設定されている。1.35 V RDIMM、または LRDIMM は、1.5 V で機能します。
- サーバーは、最大 24 個の single-rank、dual-rank RDIMM または 24 個の quad-rank LRDIMM をサポートします。
- 次の表は、ランク指定された DIMM または load-reduced DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 25. 最大メモリーの取り付け

DIMM の数	DIMM のタイプ	サイズ	メモリー合計
24	Single-rank RDIMM	4 GB	96 GB
24	Dual-rank RDIMM	8 GB	192 GB
24	Dual-rank RDIMM	16 GB	384 GB
16	Quad-rank LRDIMM	32 GB	768 GB
24	Quad-rank LRDIMM	64 GB	1536 GB

- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 4 GB、最大 384 GB のシステム・メモリーをサポートします。
- このサーバーで使用可能な LRDIMM オプションは、32 GB および 64 GB です。サーバーは、LRDIMM を使用して最小 32 GB、最大 1536 GB のシステム・メモリーをサポートします。

注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティーを実行します。追加情報については、40 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

- それぞれのマイクロプロセッサごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを高めるために、各マイクロプロセッサについて最小 4 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内の DIMM は同じタイプ (RDIMM、または LRDIMM) でなければなりません。
- チャンネルに quad-rank DIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサから最も遠い DIMM コネクタに取り付けてください。

Notes:

1. マイクロプロセッサ 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。

2. DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサ 2 用に予約されています。したがって、DIMM スロット 13 から 24 は、マイクロプロセッサ 2 を取り付けの場合に使用可能になります。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を示しています。

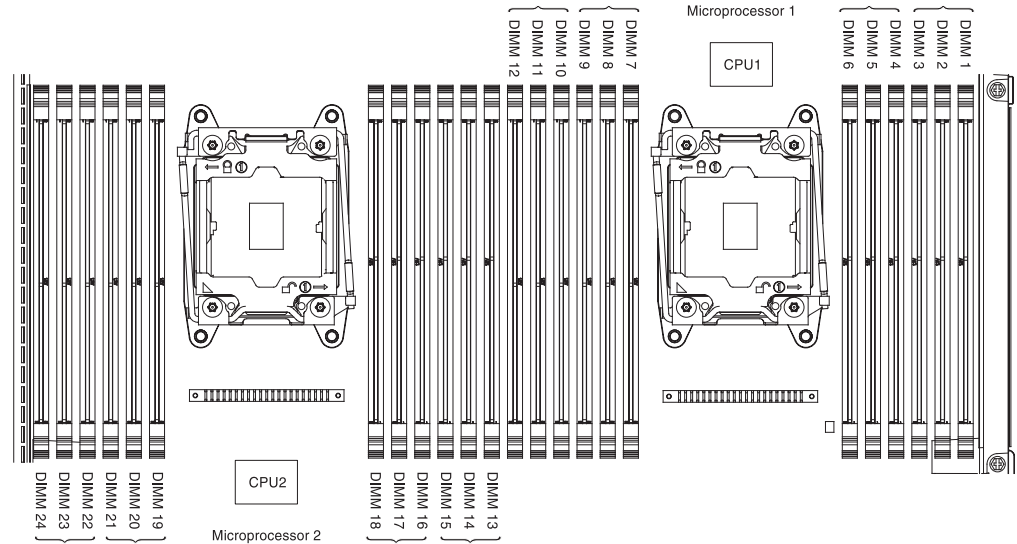


図 84. DIMM コネクターの位置

DIMM の取り付け順序

サーバー・モデルに応じて、サーバーには標準で少なくとも 1 つの 2 GB または 4 GB DIMM がスロット 1 に取り付けられています。追加の DIMM を取り付ける場合は、システム・パフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順序で DIMM を取り付けます。

一般的に、各マイクロプロセッサのメモリー・インターフェース上の 4 つのチャンネルには、いずれも任意の順序で DIMM を装着することが可能で、マッチング要件はありません。

表 26. 通常モードでの DIMM の取り付け順序

取り付け済みマイクロプロセッサの数	DIMM コネクター取り付け順序
マイクロプロセッサを 1 つ取り付け済み	1, 4, 9, 12, 2, 5, 8, 11, 3, 6, 7, 10
マイクロプロセッサを 2 つ取り付け済み	1, 13, 4, 16, 9, 21, 12, 24, 2, 14, 5, 17, 8, 20, 11, 23, 3, 15, 6, 18, 7, 19, 10, 22

メモリー・ミラーリング・チャンネル

メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでは、データが 2 つのチャンネル内の 2 ペアの DIMM に同時に複製および保管されます。

障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。Setup ユーティリティを使用
してメモリー・ミラーリング・チャンネルを使用可能にするには、「System
Settings」 > 「Memory」を選択します。詳しくは、44 ページの『Setup ユーティ
リティの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング・チャンネル機能を
使用する場合、以下の情報について考慮してください。

- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取
り付ける必要があります。各ペアの 2 個の DIMM は、サイズ、タイプ、ランク
(single、dual、または quad)、および編成が同一である必要がありますが、速度が
同一である必要はありません。チャンネルは、すべてのチャンネル内で最も遅い速度
の DIMM に合わせて稼働します。
- メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用可能にした場合、最大使用可能メモリ
ーは取り付け済みのメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して
64 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー・ミラーリング・チャンネルを使用
すると 32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用可能です。

次の図は、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクタをリストしています。

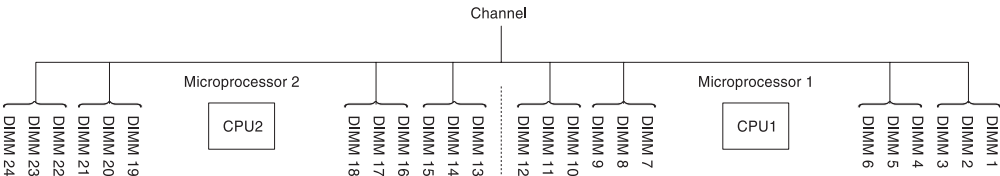


図 85. 各メモリー・チャンネルのコネクタ

次の表は、メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの取り付け順序を示して
います。

表 27. メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの DIMM の装着順序

DIMM	取り付け済みのマイクロプロ セッサ数	システム・ボード上の DIMM コネクタ装着順序
1 個のマイクロプロセッサ		
最初のセット	1	1, 4
2 番目のセット	1	9, 12
3 番目のセット	1	2, 5
4 番目のセット	1	8, 11
5 番目のセット	1	3, 6
6 番目のセット	1	7, 10
2 個のマイクロプロセッサ		
最初のセット	2	1, 4
2 番目のセット	2	13, 16
3 番目のセット	2	9, 12
4 番目のセット	2	21, 24
5 番目のセット	2	2, 5
6 番目のセット	2	14, 17
7 番目のセット	2	8, 11

表 27. メモリー・ミラーリング・チャンネル・モードでの DIMM の装着順序 (続き)

DIMM	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	システム・ボード上の DIMM コネクター装着順序
1 個のマイクロプロセッサ		
8 番目のセット	2	20, 23
9 番目のセット	2	3, 6
10 番目のセット	2	15, 18
11 番目のセット	2	7, 10
12 番目のセット	2	19, 22

メモリー・ランク・スペアリング

メモリー・ランク・スペアリング機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、ランク・スペアリング DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup ユーティリティで「**System Settings**」 > 「**Memory**」を選択して、ランク・スペアリング・メモリーを使用可能にすることができます。詳しくは、44 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリング・モードが使用可能になっている場合、最大使用可能メモリーが減少します。

次の図は、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクターをリストしています。

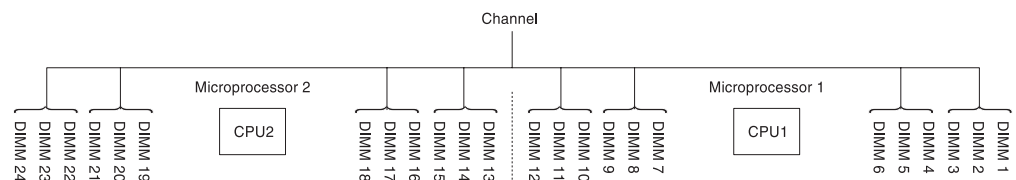


図 86. 各メモリー・チャンネルのコネクター

次のランク・スペアリング・モードでの取り付け順序に従ってください。

- チャンネル内に少なくとも 1 つの quad-rank DIMM を取り付けます。
- チャンネル内に少なくとも 2 つの single-rank または dual-rank DIMM を取り付けます。

表 28. quad-rank RDIMM のみ取り付けられた場合の、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの DIMM の装着順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ数	システム・ボード上の DIMM コネクター装着順序
1	1, 4, 9, 12, 2, 5, 8, 11
2	1, 13, 4, 16, 9, 21, 12, 24, 2, 14, 5, 17, 8, 20, 11, 23

表 29. *single*、*dual*、*quad rank* の DIMM が取り付けられ、DIMM の総数が偶数である場合の、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの DIMM の装着順序

DIMM	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	システム・ボード上の DIMM コネクター装着順序
1 個のマイクロプロセッサ		
最初のセット	1	1, 2
2 番目のセット	1	4, 5
3 番目のセット	1	8, 9
4 番目のセット	1	11, 12
5 番目のセット	1	3, 6
6 番目のセット	1	7, 10
2 個のマイクロプロセッサ		
最初のセット	2	1, 2
2 番目のセット	2	13, 14
3 番目のセット	2	4, 5
4 番目のセット	2	16, 17
5 番目のセット	2	8, 9
6 番目のセット	2	20, 21
7 番目のセット	2	11, 12
8 番目のセット	2	23, 24
9 番目のセット	2	3, 6
10 番目のセット	2	15, 18
11 番目のセット	2	7, 10
12 番目のセット	2	19, 22

表 30. *single*、*dual*、*quad rank* の DIMM が取り付けられ、DIMM の総数が奇数である場合の、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの DIMM の装着順序

DIMM	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	システム・ボード上の DIMM コネクター装着順序
1 個のマイクロプロセッサ		
最初のセット	1	1, 2, 3
2 番目のセット	1	4, 5
3 番目のセット	1	8, 9
4 番目のセット	1	11, 12
5 番目のセット	1	6, 7
2 個のマイクロプロセッサ		
最初のセット	2	1, 2, 3
2 番目のセット	2	13, 14
3 番目のセット	2	4, 5
4 番目のセット	2	16, 17
5 番目のセット	2	8, 9
6 番目のセット	2	20, 21
7 番目のセット	2	11, 12

表 30. *single*、*dual*、*quad rank* の DIMM が取り付けられ、DIMM の総数が奇数である場合の、メモリー・ランク・スペアリング・モードでの DIMM の装着順序 (続き)

DIMM	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	システム・ボード上の DIMM コネクター装着順序
1 個のマイクロプロセッサ		
8 番目のセット	2	23, 24
9 番目のセット	2	6, 7
10 番目のセット	2	18, 19
11 番目のセット	2	10, 22

メモリー・モジュールの交換

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを交換します。

このタスクについて

メモリー・モジュールを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
- カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
- エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
- DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
- DIMM コネクターの両端の保持クリップを慎重に開きます。

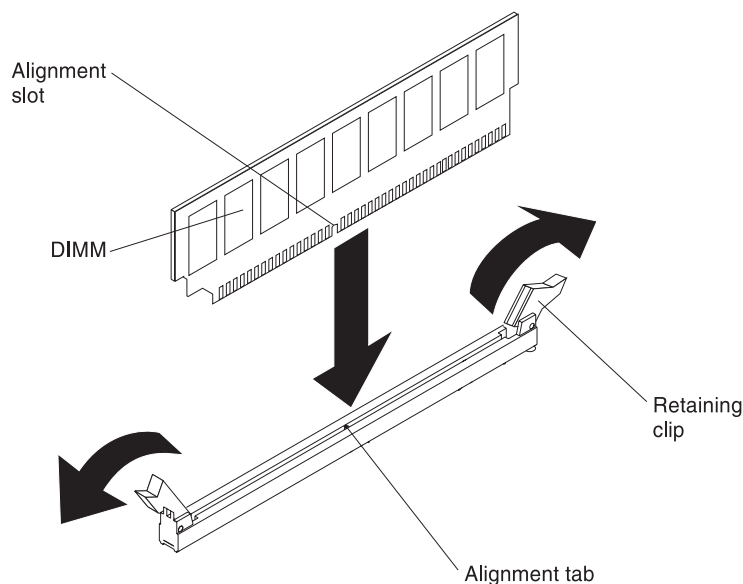


図 87. DIMM の取り付け

7. 位置合わせスロットと位置合わせタブの位置が正しく合う方向に DIMM を向けます。
8. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. エアー・バッフルを再取り付けします (148 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。

注: エアー・バッフルを交換する前に、DIMM の取り付けられていないスロットも含め、すべての保持クリップを閉じてください。

12. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

SD アダプターの取り外し

SD アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

SD アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 2 つのねじを緩めます。
6. SD アダプターを持ち上げてサーバーから取り出します。
7. SD カードを取り外します。

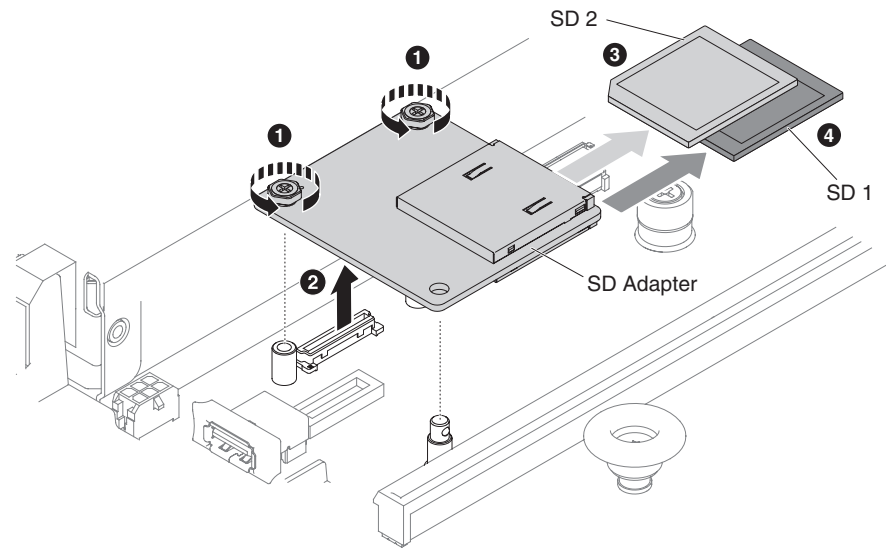


図 88. SD アダプターの取り外し

タスクの結果

SD アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用の梱包材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

SD アダプターの交換

以下の情報を使用して、SD アダプターを交換します。

始める前に

重要: プリロードされた VMware vSphere ESXi ソフトウェアに SD アダプター・オプションが付属している場合は、計算ノードに SD アダプターを取り付ける前に、システム UEFI の構成を変更する必要があります。詳細および手順については、SD アダプターに付属している資料および 44 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

このタスクについて

SD アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリー 2 を取り外します (『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. SD カードを SD アダプターに挿入します。
6. SD アダプターを位置合わせピンおよびコネクターと位置合わせし、しっかりと装着されるまで押し下げます。
7. 2 個のねじを締めます。

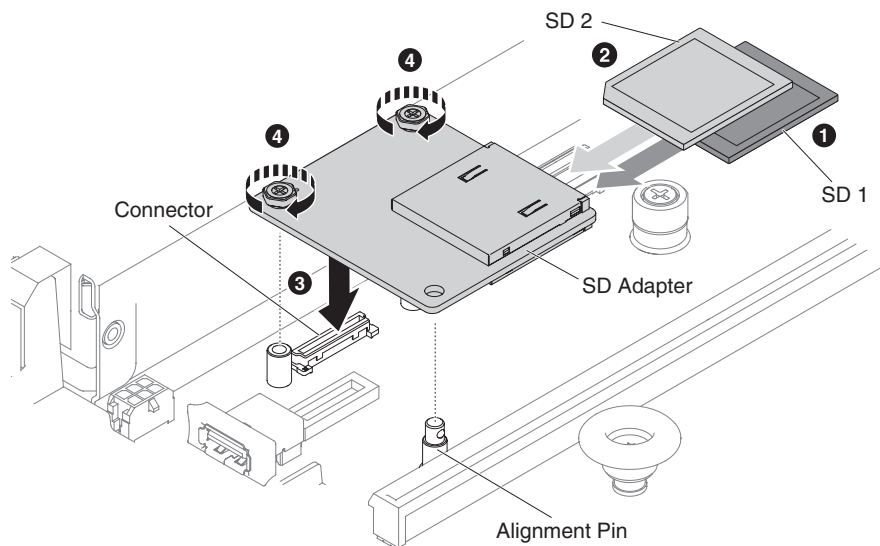


図 89. SD アダプターの取り付け

8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. SD アダプターの構成方法については、オプションに付属の <http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=MIGR-5096845> を参照してください。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付ける必要があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて切り離します。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリーの両側またはハンドルを持って、システム・ボードの PCI ライザー・カード・スロットから持ち上げて外します。以下の図は、サーバー内で構成可能なさまざまな PCI ライザー・カード・アセンブリーの構成を示しています。

注: 2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットを使用する場合、システム・ボードのコネクター 2 に使用可能なのは、x8 または x16 のロー・プロファイル・スロット 1 個が付いた PCI ライザー・カード・アセンブリーのみです。

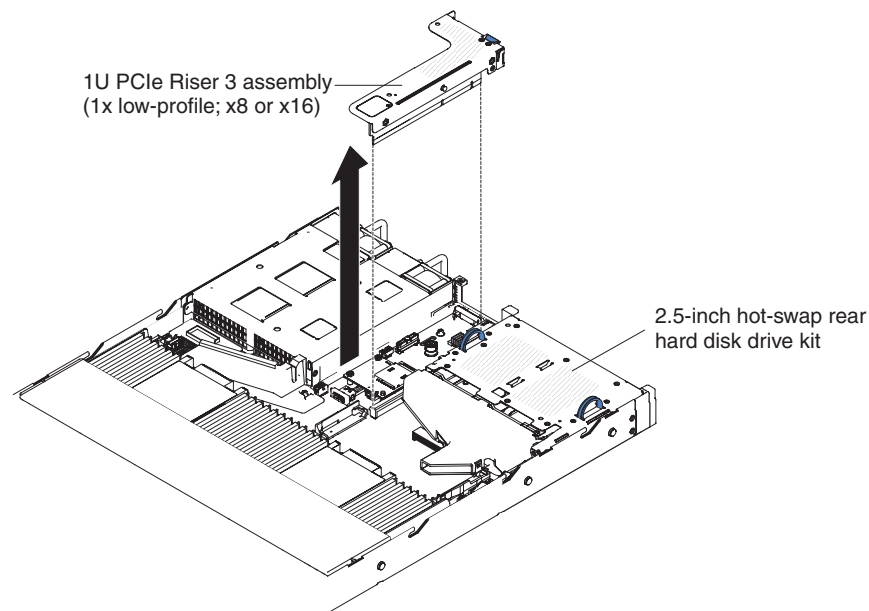


図 90. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し (1)

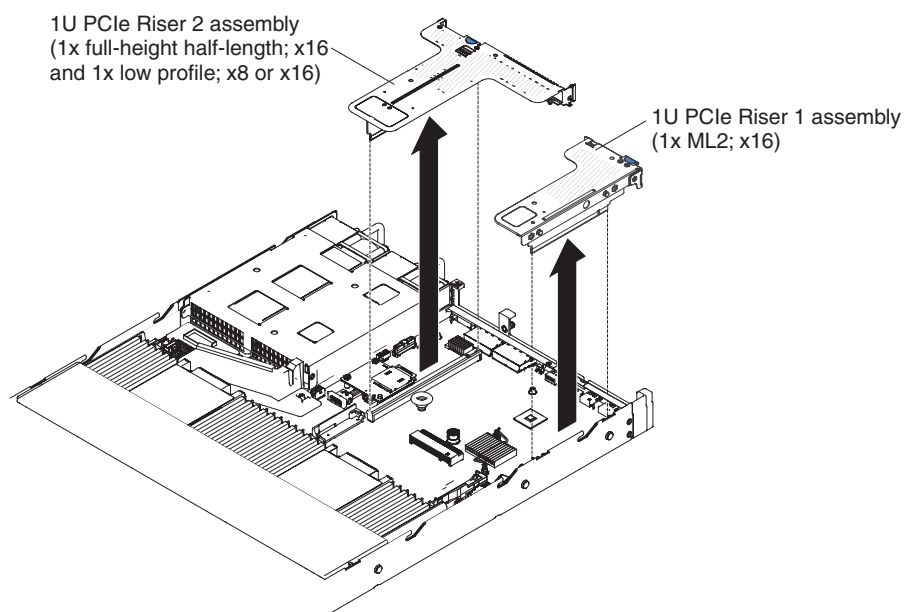


図 91. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し (2)

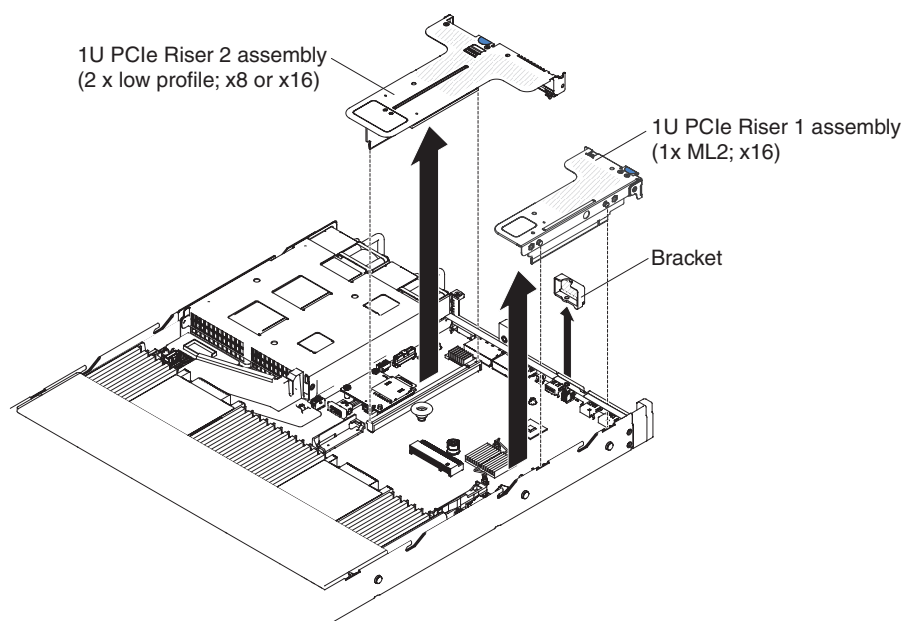


図 92. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し (3)

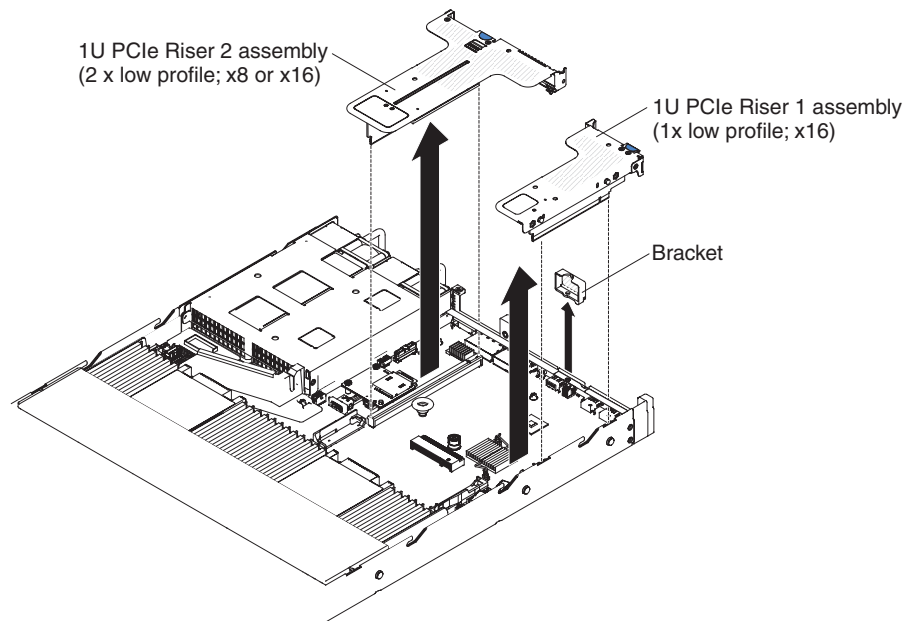


図 93. PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し (4)

6. アダプターがある場合は、それを PCI ライザー・カード・アセンブリから取り外します (205 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
7. アダプターおよび PCI ライザー・カード・アセンブリをそばに置きます。

タスクの結果

PCI ライザー・カード・アセンブリの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

PCI ライザー・カード・アセンブリの交換

PCI ライザー・カード・アセンブリを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付ける必要があります。

下表には、サーバー内でサポートされる PCI ライザー・カード・アセンブリの構成がリストされています。

表 31. 構成 1

構成 1				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 3 つのロー・プロファイル・スロット	1	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル	x1/x4/x8 ロー・プロファイル	x1/x4/x8 ロー・プロファイル

表 32. 構成 2

構成 2				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 3 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル 注: 取り付けられているマイクロプロセッサが 1 つだけの場合、スロット 2 は使用できません	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

表 33. 構成 3 :

注: スロット 1 は 60mm ML2 アダプター用です

構成 3				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 1 つの ML2 スロット • 1 つのフルハイト、ハーフサイズ・スロット • 1 つのロー・プロファイル・スロット	1	ML2	x1/x4/x8 フルハイト、ハーフサイズ	x1/x4/x8 ロー・プロファイル

表 34. 構成 4 :

注: スロット 1 は 60mm ML2 アダプター用です

構成 4				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 1 つの ML2 スロット • 1 つのハーフサイズ、フルハイト・スロット • 1 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	ML2	x1/x4/x8/x16 フルハイト、ハーフサイズ 注: 取り付けられているマイクロプロセッサが 1 つだけの場合、スロット 2 は使用できません	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

表 35. 構成 5:

注: スロット 1 は標準のロー・プロファイル ML2 アダプター用です

構成 5				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー ・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・ アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
1 つの ML2 スロット 2 つのロー・プロファイル・スロット	1	ML2	x1/x4/x8 ロー・プロファイル	x1/x4/x8 ロー・プロファイル

表 36. 構成 6:

注: スロット 1 は標準のロー・プロファイル ML2 アダプター用です

構成 6				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー ・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・ アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
1 つの ML2 スロット 2 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	ML2	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル 注: 取り付けられているマイクロプロセッサが 1 つだけの場合、スロット 2 は使用できません	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

表 37. 構成 7

構成 7				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
1 つの 2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キット 1 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	X	X	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
- カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
- 新規の PCI ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを取り付けます (208 ページの『アダプターの交換』を参照)。
- アダプター・メーカーの指示どおりに、ジャンパーまたはスイッチをすべてアダプターに設定します。
- PCI フィラー・パネルが取り付けられている場合は、それをサーバー後部から取り外します。
- PCI ライザー・カード・アセンブリーとシステム・ボードにある PCI ライザー・コネクタとを位置合わせしてから、システム・ボード上のコネクタにしっかりと収まるまでこの PCI ライザー・カード・アセンブリーを下に押し込みます。

注: 2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットを使用する場合、システム・ボードのコネクタ 2 に使用可能なのは、x8 または x16 のロー・プロファイル・スロット 1 個が付いた PCI ライザー・カード・アセンブリーのみです。

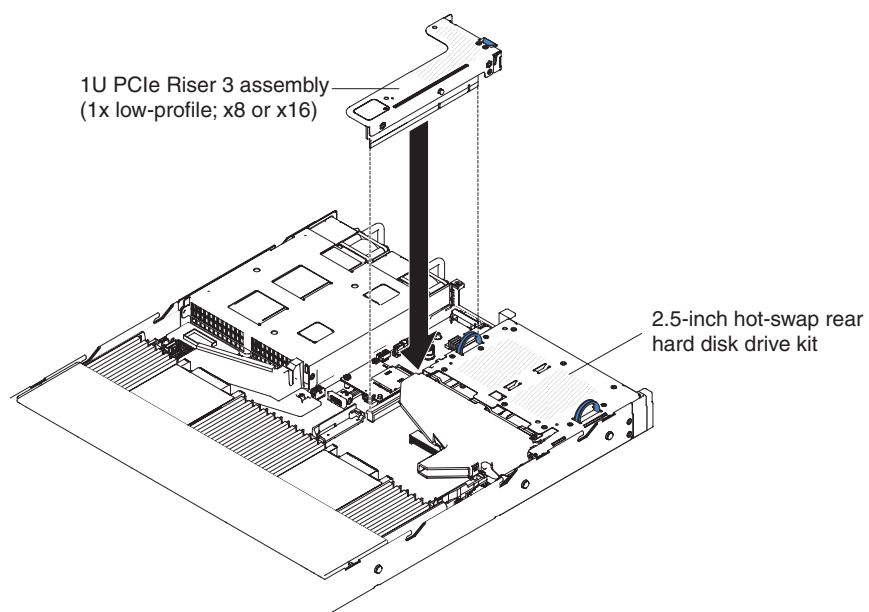


図 94. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け (1)

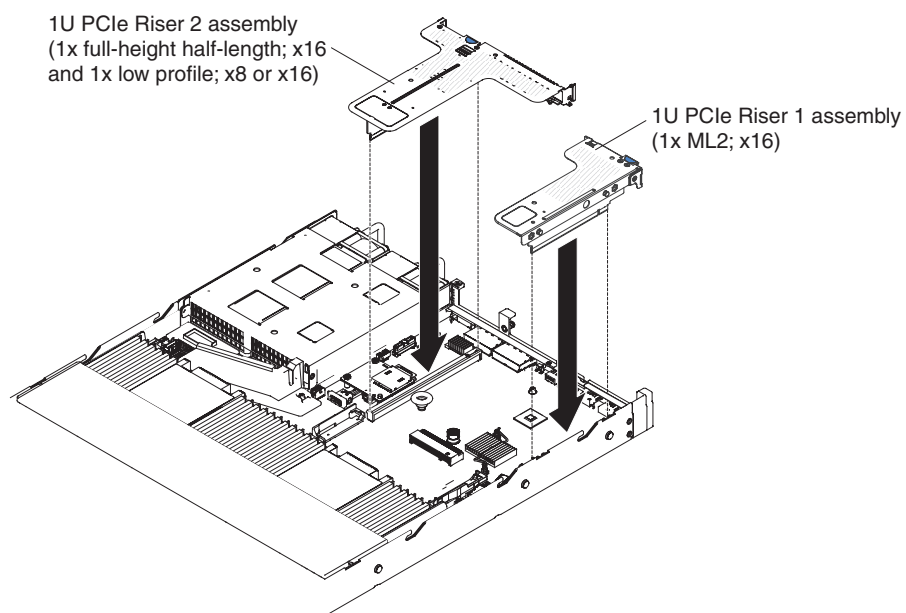


図 95. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け (2)

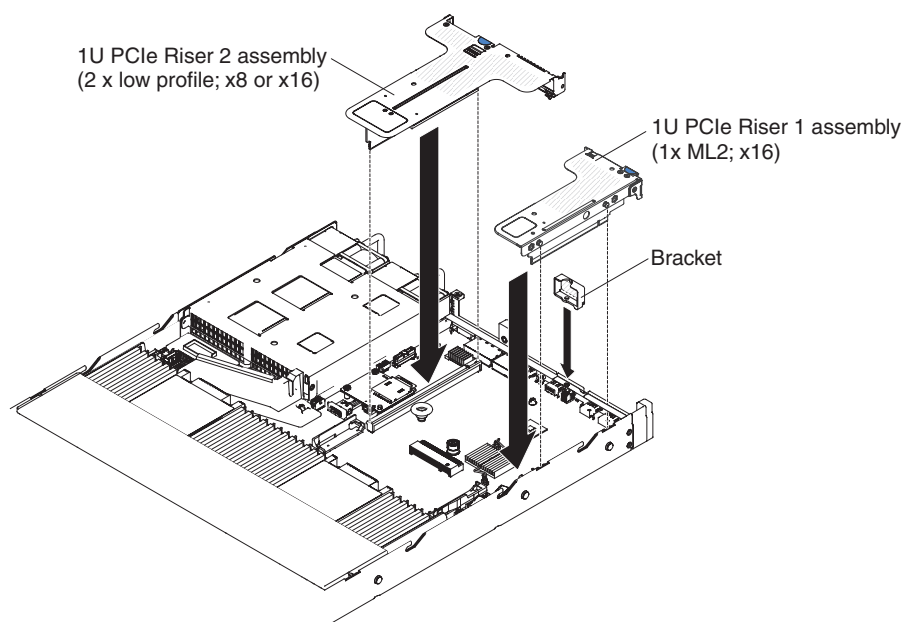


図 96. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け (3)

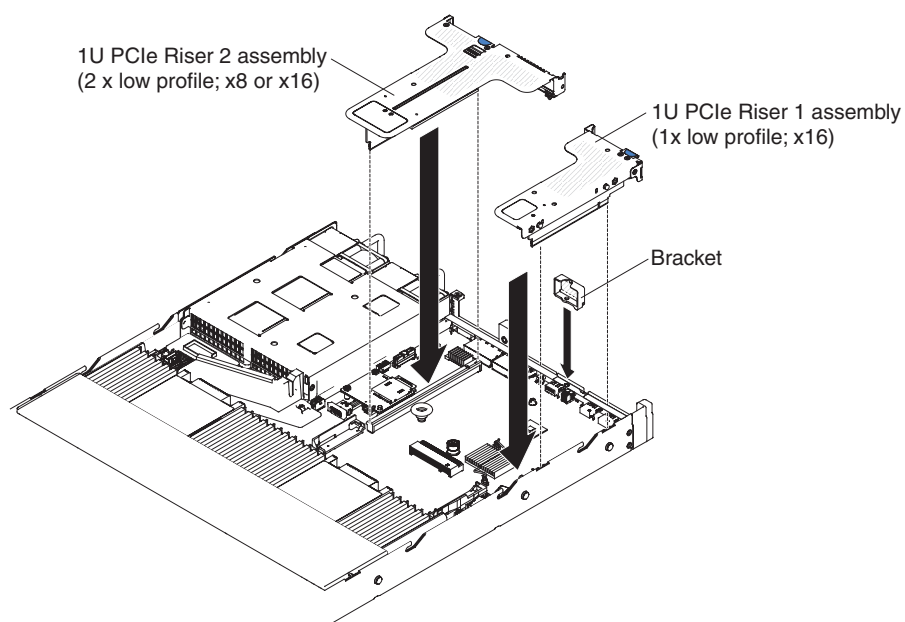


図 97. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け (4)

8. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. アダプターからケーブルをすべて切り離します。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを青色のタブをつかんで持ち上げ、PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します。
5. 平らな帯電防止面の上に PCI ライザー・カード・アセンブリーを置きます。
6. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、PCI ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

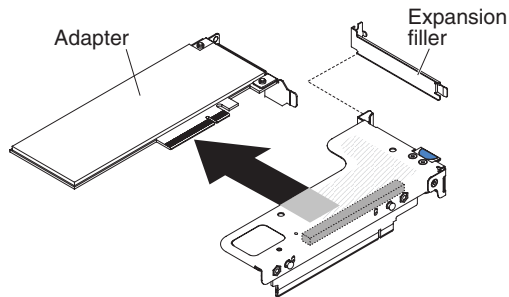


図 98. ロー・プロファイル・スロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクター 1 の場合)

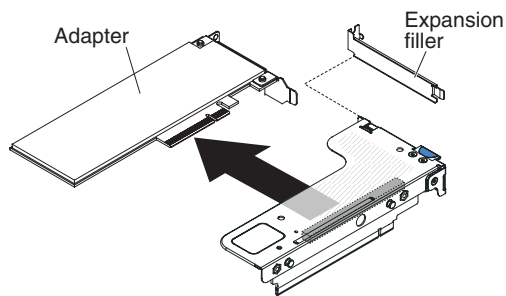


図 99. ML2 カードのロー・プロファイル・スロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリーからのアダプターの取り外し (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクター 1 の場合)

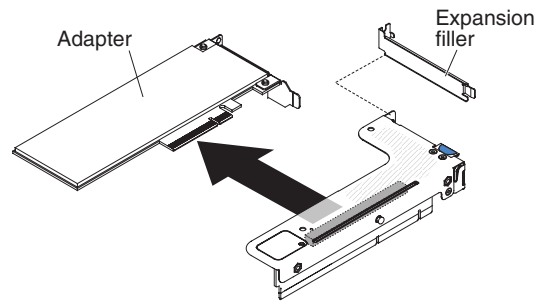


図 100. ロー・プロファイル・スロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリからのアダプターの取り外し (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリ・コネクタ 2 の場合)

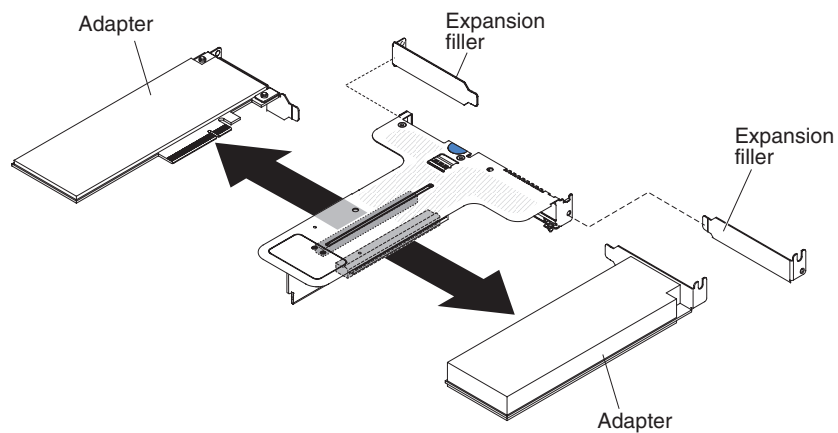


図 101. ロー・プロファイル・スロットを 2 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリからのアダプターの取り外し (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリ・コネクタ 2 の場合)

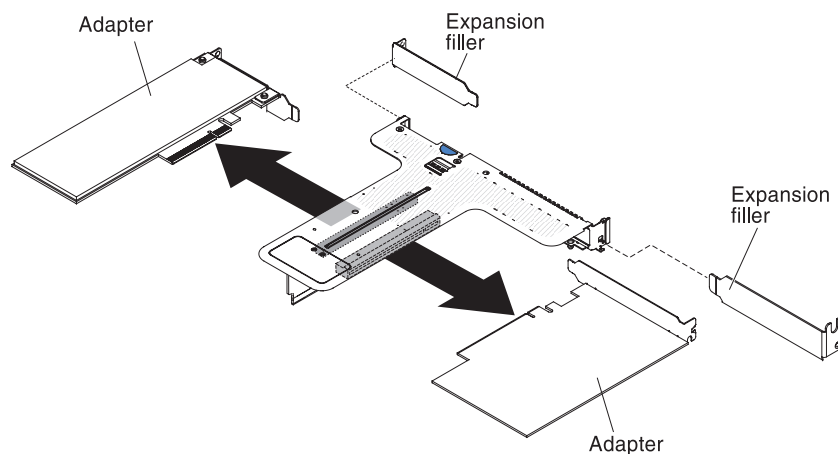


図 102. ロー・プロファイル・スロットを 1 個とフルハイト、ハーフサイズのスロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリからのアダプターの取り外し (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリ・コネクタ 2 の場合)

タスクの結果

アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプターの交換

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

このタスクについて

- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- サーバーは、システム・ボード上に 1 つの内部 SAS/SATA RAID コネクタおよび 2 つの PCI スロットを備えています。内部 SAS/SATA RAID コネクタとライザー・カード・スロットの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照してください。スロットの ServeRAID SAS/SATA アダプターをオプションの ServeRAID SAS/SATA アダプターと交換することができます。構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://www.lenovo.com/support>) を参照してください。
- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- すべてのアドオン・ビデオ・アダプターで、高解像度ビデオ出力コネクタおよびステレオ・コネクタはいずれもサポートされません。
- このサーバーは、フルサイズ、フルハイトの PCI アダプター、または従来の 5V PCI アダプターをサポートしません。
- どの PCI アダプターを取り付ける場合も、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーを取り外す前に、給電部から電源コードを切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。
- PCI アダプターを取り付ける前に、次の点に注意してください。

重要:

1. NVIDIA Grid Kx/Mxx、NVIDIA Quadro Kxxxx、NVIDIA Tesla Kxx の各アダプター・オプションは、1TB 以上のシステム・メモリーを搭載したシステムには取り付けないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこれらのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されないことがあります。これらのオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (<http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=migr-5096047>) を参照してください。
- PCI アダプターを取り付ける前に、次の PCI アダプターの構成の表に注意してください。

表 38. アダプターの構成

説明	オプションの部品番号	PCI ライザー 1	PCI ライザー 2
N2226 SAS/SATA HBA	00AE916	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Emulex デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA IIIr	00D8540	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
QLogic 8200 デュアル・ポート 10GbE SFP+ VFA	90Y4600	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Intel X540 ML2 デュアル・ポート 10GBaseT アダプター	00D1994	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 1250GB エンタープライズ値 io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00AE983	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 1600GB エンタープライズ値 io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00AE986	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 3200GB エンタープライズ値 io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00AE989	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 6400GB エンタープライズ値 io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00AE992	サポートされていない	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 1000GB エンタープライズ io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00AE995	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 1300GB エンタープライズ io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00AE998	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 2600GB エンタープライズ io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00JY001	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Lenovo 5200GB エンタープライズ io3 フラッシュ・アダプター (System x 用)	00JY004	サポートされていない	7 つまたは 8 つのファンの取り付けが必要
Table note: 1. ご使用のサーバーに 2 つの追加ファンを確保するために Lenovo System x3550 M5 Thermal Solution Kit (オプション部品番号 00Y7117) を購入することができます。			

- サーバーのシステム・ボードには 2 つの PCI ライザー・カード・スロットがあります。以下の情報には、ライザー・カード・スロットと、そのライザー・カードがサポートするアダプター・タイプが記載されています。

- PCI Express アダプターを取り付ける場合は、PCI ライザー・カード・オプションを注文する必要があります。
- PCI ライザー・スロット 1。このスロットは、ロー・プロファイルまたは ML2 アダプターのみをサポートします。
- PCI ライザー・スロット 2。このスロットは、フルハイト、ハーフサイズまたはロー・プロファイルのアダプターをサポートします。

下表には、サーバー内でサポートされる PCI ライザー・カード・アセンブリーの構成がリストされています。

表 39. 構成 1

構成 1				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 3 つのロー・プロファイル・スロット	1	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル	x1/x4/x8 ロー・プロファイル	x1/x4/x8 ロー・プロファイル

表 40. 構成 2

構成 2				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 3 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル 注: 取り付けられているマイクロプロセッサが 1 つだけの場合、スロット 2 は使用できません	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

表 41. 構成 3 :

注: スロット 1 は 60mm ML2 アダプター用です

構成 3				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 1 つの ML2 スロット • 1 つのフルハイト、ハーフサイズ・スロット • 1 つのロー・プロファイル・スロット	1	ML2	x1/x4/x8 フルハイト、ハーフサイズ	x1/x4/x8 ロー・プロファイル

表 42. 構成 4 :

注: スロット 1 は 60mm ML2 アダプター用です

構成 4				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 1 つの ML2 スロット • 1 つのハーフサイズ、フルハイト・スロット • 1 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	ML2	x1/x4/x8/x16 フルハイト、ハーフサイズ 注: 取り付けられているマイクロプロセッサが 1 つだけの場合、スロット 2 は使用できません	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

表 43. 構成 5:

注: スロット 1 は標準のロー・プロファイル ML2 アダプター用です

構成 5				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
1 つの ML2 スロット 2 つのロー・プロファイル・スロット	1	ML2	x1/x4/x8 ロー・プロファイル	x1/x4/x8 ロー・プロファイル

表 44. 構成 6:

注: スロット 1 は標準のロー・プロファイル ML2 アダプター用です

構成 6				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
1 つの ML2 スロット 2 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	ML2	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル 注: 取り付けられているマイクロプロセッサが 1 つだけの場合、スロット 2 は使用できません	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

表 45. 構成 7

構成 7				
構成	取り付け済み マイクロプロセッサ の数	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 1	システム・ボード上の PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ ー 2	
		スロット 1	スロット 2	スロット 3
• 1 つの 2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キット • 1 つのロー・プロファイル・スロット	1 つまたは 2 つ	X	X	x1/x4/x8/x16 ロー・プロファイル

Notes:

1. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付ける際は、必ず上記の構成を参照してください。上記の構成に従っていない PCI ライザー・カード・アセンブリーは取り付けないでください。たとえば、2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットが取り付けられている場合は、システム・ボードのコネクタ ー 2 に使用可能なのは、x8 または x16 のロー・プロファイル・スロット 1 個が付いた PCI ライザー・カード・アセンブリーのみです。

このセクションに記載された説明は、どの PCI アダプターにも適用されます (例えば、ビデオ・グラフィックス・アダプターまたはネットワーク・アダプター)。

アダプターを交換するには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターに配線指示書がある場合は、この指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプターのケーブルを配線します。
5. アダプター上のエッジ・コネクタと PCI ライザー・カード・アセンブリーのコネクタとを位置合わせして、ライザー・カード・アセンブリーにアダプターを挿入します。コネクタの端を、PCI ライザー・カード・アセンブリーにしっかりと押し込みます。アダプターが PCI ライザー・カード・アセンブリー内にカチッと音を立ててしっかりと収まったか確認してください。以下の図で

は、さまざまなタイプの PCI ライザー・カード・アセンブリーを示しています。

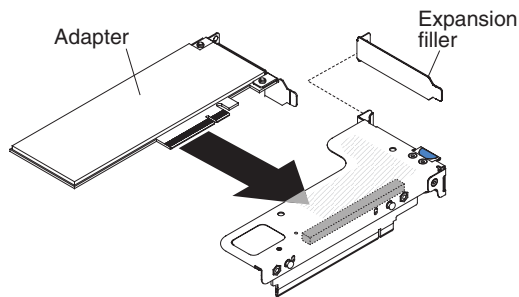


図 103. ロー・プロファイル・スロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクター 1 の場合)

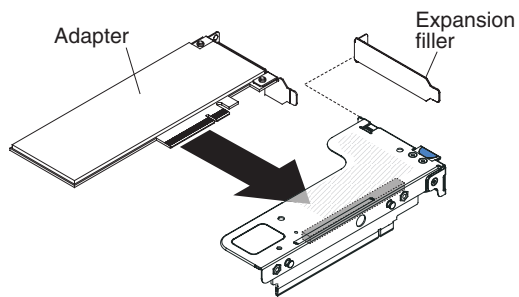


図 104. ML2 カードのロー・プロファイル・スロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクター 1 の場合)

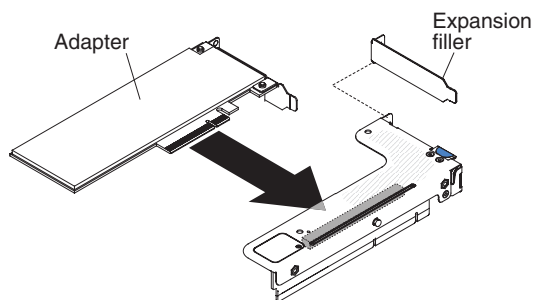


図 105. ロー・プロファイル・スロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクター 2 の場合)

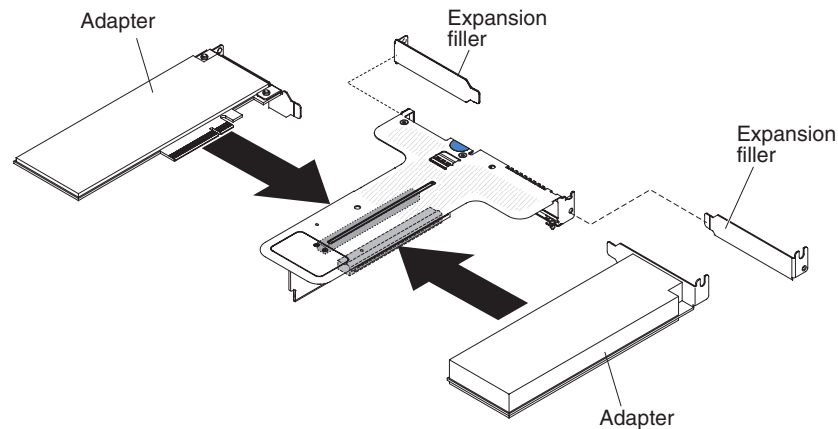


図 106. ロー・プロファイル・スロットを 2 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2 の場合)

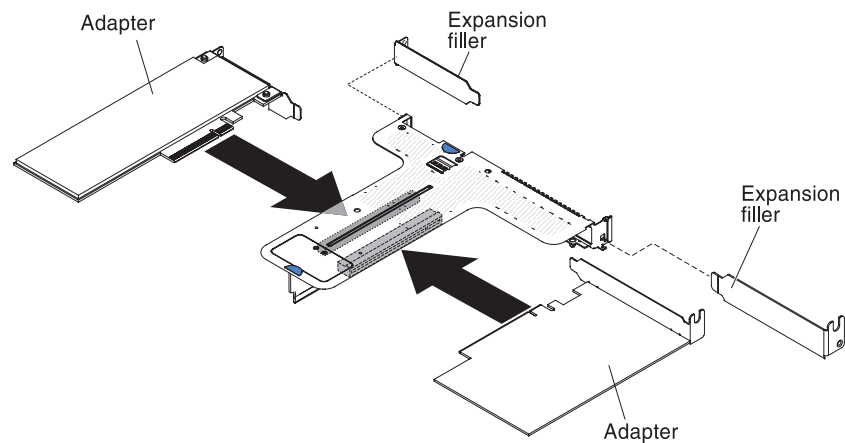


図 107. ロー・プロファイル・スロットを 1 個とフルハイト、ハーフサイズのスロットを 1 個搭載した PCI ライザー・カード・アセンブリーへのアダプターの取り付け (システム・ボードの PCI ライザー・カード・アセンブリー・コネクタ 2 の場合)

重要: アダプターを取り付ける場合は、アダプターがライザー・カード・アセンブリーに正しくはめ込まれ、ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクタにしっかり収まっていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

6. PCI ライザー・カード・アセンブリーをサーバー内に取り付けます (199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
7. ケーブルを新たに取付けたアダプターに接続します。
8. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
9. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID SAS/SATA コントローラーは、システム・ボード上の専用コネクタ、または PCI ライザー・カード・スロットに取り付けることができます (コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して SAS/SATA アダプター または *ServeRAID* アダプター と記載することがあります。

システム・ボードから SAS/SATA アダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA アダプターのコネクタから信号ケーブルを取り外し、位置をメモします。
5. システム・ボード上の専用コネクタまたは PCI ライザー・カード・アセンブリ・スロットから SAS/SATA アダプターを取り外します。

システム・ボード上の専用コネクタから SAS/SATA アダプターを取り外す手順

- a. 保持タブを押して SAS/SATA アダプターから引き離してから、アダプターの後部を少し持ち上げて、システム・ボードのコネクタから引き抜きます。

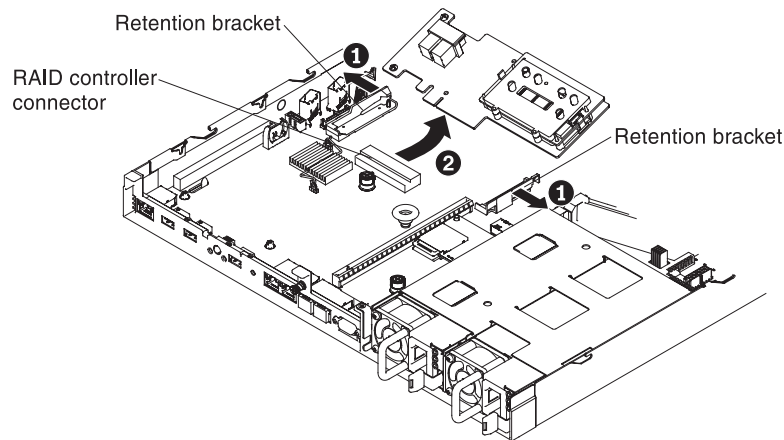


図 108. ServeRAID アダプターの取り外し

注: オプションの ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します (222 ページの『ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

PCI ライザー・カード・アセンブリーからの SAS/SATA アダプターの取り外し手順

- SAS/SATA アダプターを含む PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
- SAS/SATA アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーから取り外します (205 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。

タスクの結果

SAS/SATA アダプターを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換

ServeRAID SAS/SATA コントローラーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID SAS/SATA コントローラーは、システム・ボード上の専用コネクタ、または PCI ライザー・カード・スロットに取り付けることができます (コネクタの位置については、30 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。SAS/SATA アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

サーバー・モデルに応じて、サーバーには ServeRAID M5210、ServeRAID M1215、ServeRAID N2215、または ServeRAID M5225 SAS/SATA アダプターのいずれかが標準装備されています。

注: ServeRAID M5210、ServeRAID M1215、または ServeRAID M5225 アダプターをシステム・ボードの専用コネクタに取り付ける前に、これらのアダプターに付属の PCI ブラケットを取り外してください。

ServeRAID コントローラーを、他のサポートされる ServeRAID コントローラーと交換することができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して SAS/SATA アダプター または *ServeRAID* アダプター と記載することがあります。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい SAS/SATA アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新しい SAS/SATA アダプターをパッケージから取り出します。
5. 切り欠きがシステム・ボードのコネクターの位置に正しく合うように、SAS/SATA アダプターの位置を合わせます。
6. システム・ボード上の専用コネクターまたは PCI ライザー・カード・アセンブリー・スロットに SAS/SATA アダプターを挿入します。

重要:

- a. アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。
- b. 保守前に、RAID カードへのケーブルの接続順序と接続位置をメモしてください。ハード・ディスクのケーブルを正しく接続しないと、RAID アレイが失われる可能性があります。

システム・ボード上の専用コネクターに SAS/SATA アダプターを挿入する手順

- a. SAS/SATA アダプターを、しっかり固定されるまでシステム・ボードの RAID コネクターに挿入します。SAS/SATA アダプターがコネクターにしっかり収まると、保持ブラケットがアダプターを所定の位置に固定します。

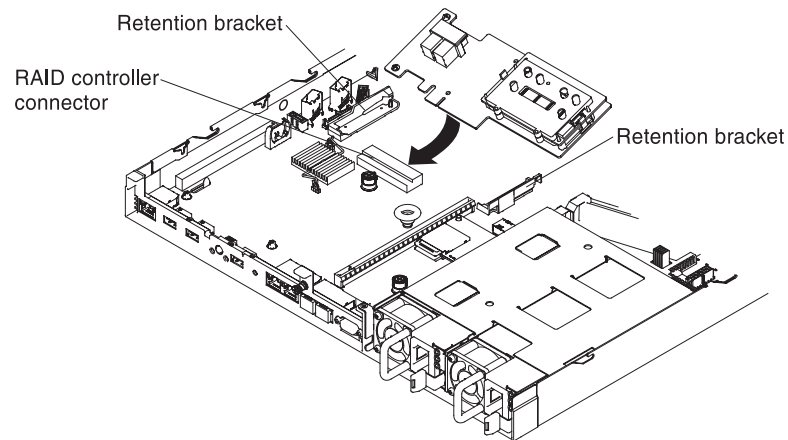


図 109. ServeRAID アダプターの取り付け

注: ServeRAID M5210、ServeRAID M1215、または ServeRAID N2215 アダプターをシステム・ボードの専用コネクタに取り付ける前に、これらのアダプターに付属の PCI ブラケットを取り外してください。

**PCI ライザー・カード・アセンブリー・スロット上の専用コネクタに
SAS/SATA アダプターを挿入する手順**

- a. SAS/SATA アダプターの取り付け先にする PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
 - b. SAS/SATA アダプターを PCI ライザー・カード・アセンブリーに挿入します (208 ページの『アダプターの交換』を参照)。
 - c. PCI ライザー・カード・アセンブリーをシステム・ボードに挿入します (199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
7. バックプレーン信号ケーブルの配線を行います 以下の図は、システム・ボード上の専用コネクタに挿入する SAS/SATA アダプターに適用されます。

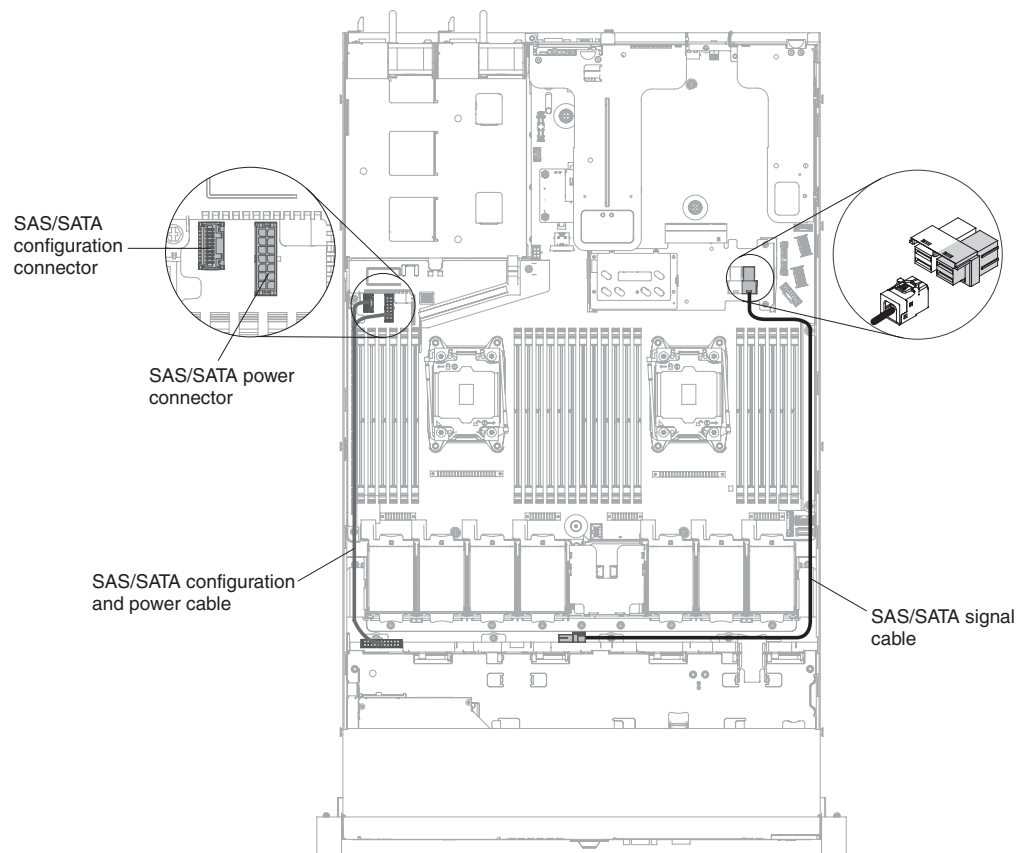


図 110. 4 個のホット・スワップ 3.5 型ハード・ディスク構成における ServeRAID アダプターのケーブル配線

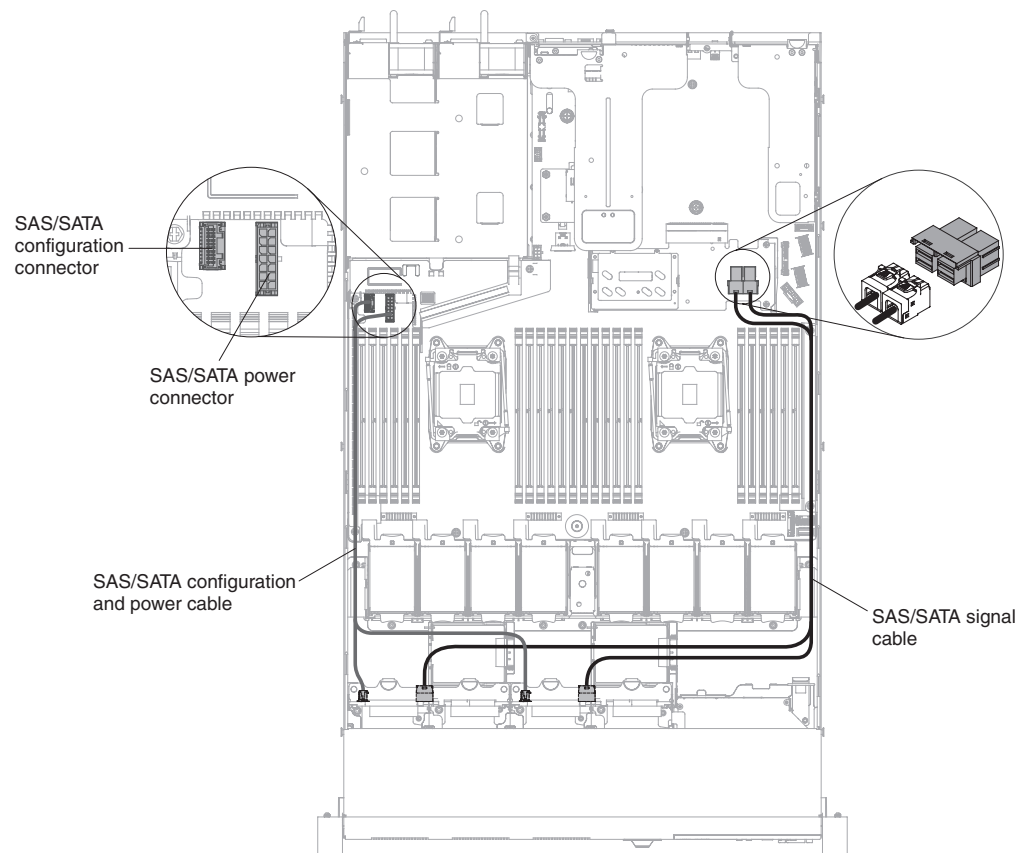


図 111. 8 個のホット・スワップ 2.5 型ハード・ディスク構成における ServeRAID アダプターのケーブル配線

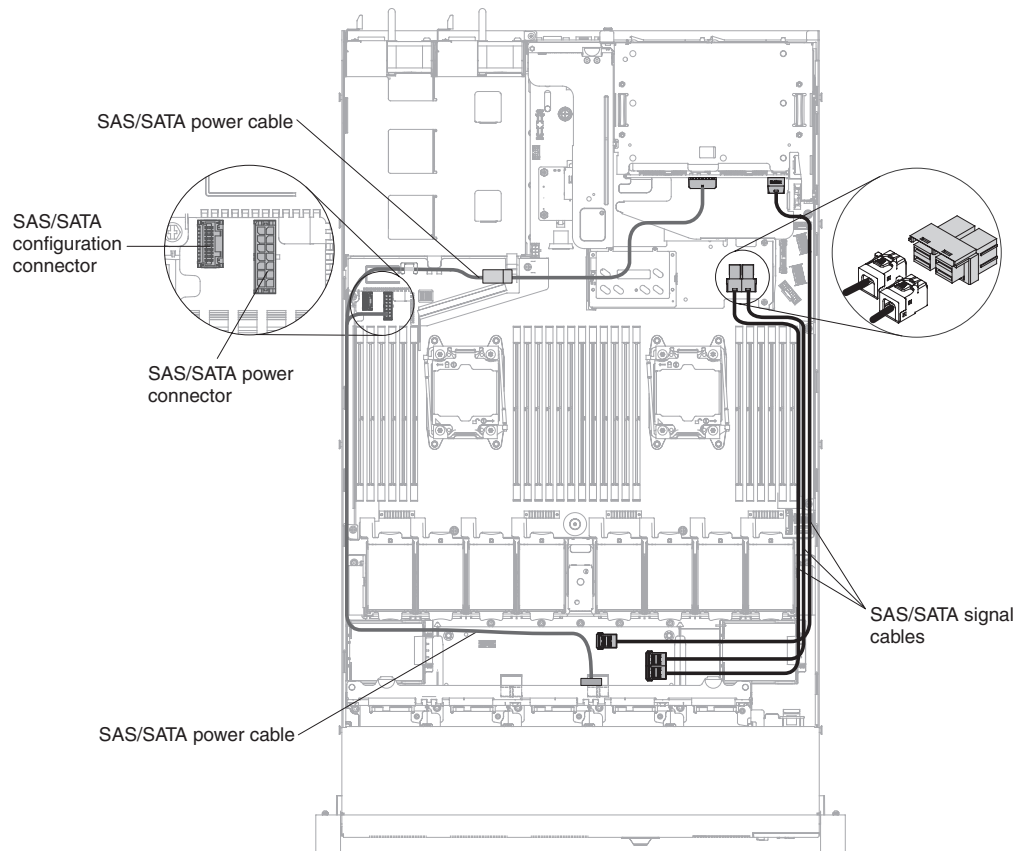


図 112. 10 個のホット・スワップ 2.5 型ハード・ディスク構成における ServeRAID アダプターのケーブル配線

8. 信号ケーブルを SAS/SATA アダプターに接続します。
9. 取り外したすべてのケーブルを再接続します。
10. PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を取り外していた場合は、再取り付けします (199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
11. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

タスクの結果

注: サーバーを再始動すると、既存の RAID 構成を新規の ServeRAID アダプターにインポートするよう、プロンプトが出されます。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの取り外し

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (216 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』を参照)。
5. 保持タブを押してメモリー・モジュールから引き離してから、メモリー・モジュールをつかみ、持ち上げて ServeRAID アダプターのコネクタから取り外します。

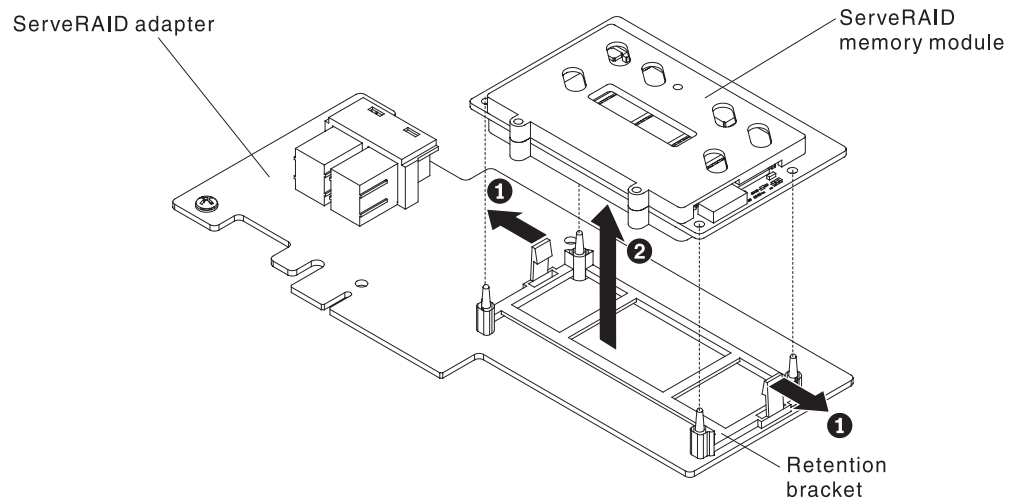


図 113. ServeRAID メモリー・モジュールの取り外し

タスクの結果

メモリー・モジュールの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールの交換

以下の情報を使用して、ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを交換します。

このタスクについて

ServeRAID アダプター・メモリー・モジュールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

4. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (216 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』を参照)。
5. メモリー・モジュールを ServeRAID アダプター上のコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクタに押し込みます。

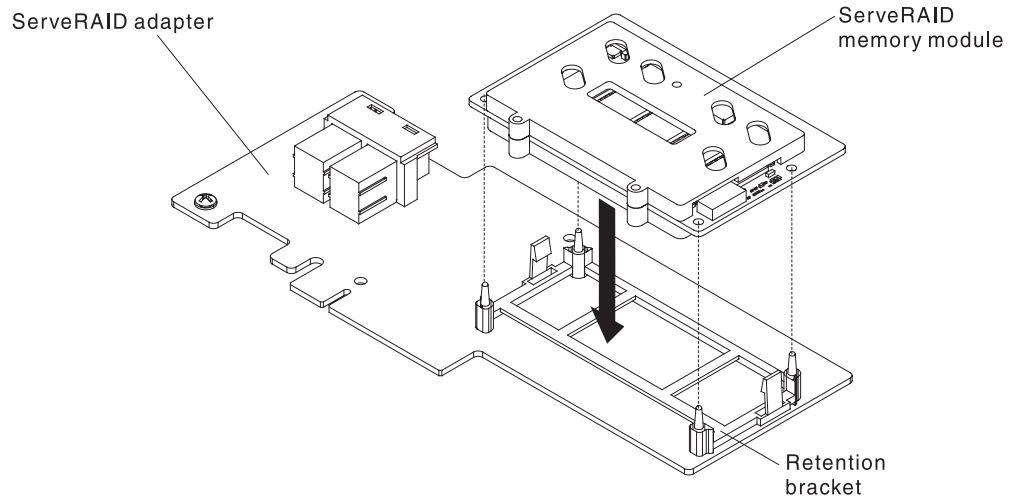


図 114. ServeRAID メモリー・モジュールの取り付け

6. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを再取り付けします (217 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換』を参照)。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の取り外し

サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) を取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要: ホット・スワップ・ファンを取り外す際に電源を切り離す必要はありません。サーバーの正しい作動を保証するために、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. ファンの両端にあるオレンジ色のファン・タブをつかんで、ファンをゆっくり持ち上げてシャーシから取り出します。

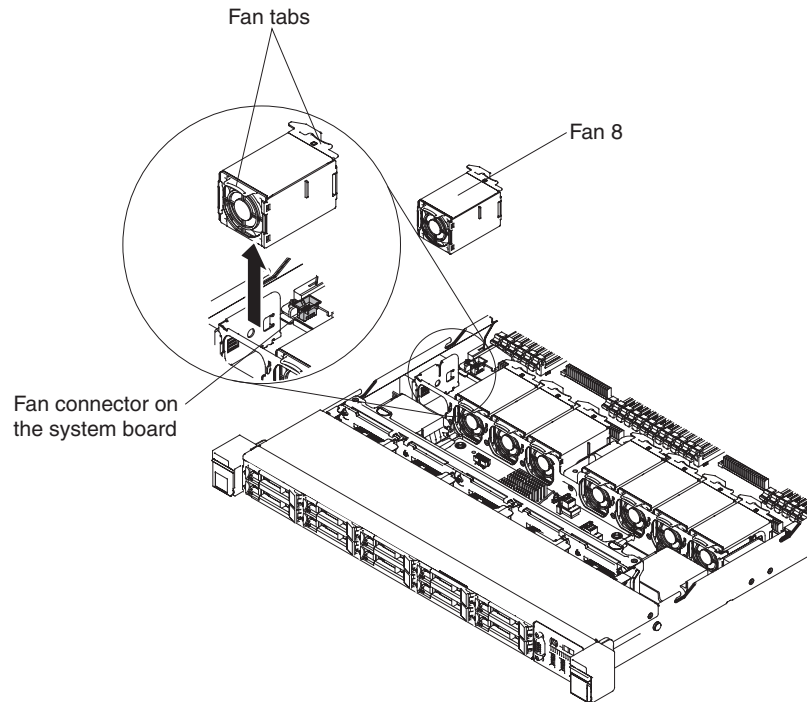


図 115. ファンの取り外し

タスクの結果

ファンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の交換

サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) を交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

このサーバーには、標準で 4 つのデュアル・モーター・ホット・スワップ冷却ファンが付属しています。マイクロプロセッサが 1 つ取り付けられている場合、適切に冷却を行うためにファン 1、2、3、および 5 を取り付けてください。

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを交換するには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. 新規のファンが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、新しいファンをパッケージから取り出します。

4. ファン・コネクタとシステム・ボード上のコネクタの位置が合うように、ファンの向きをファン・アセンブリー・ブラケットのファン・スロットの位置で合わせます。

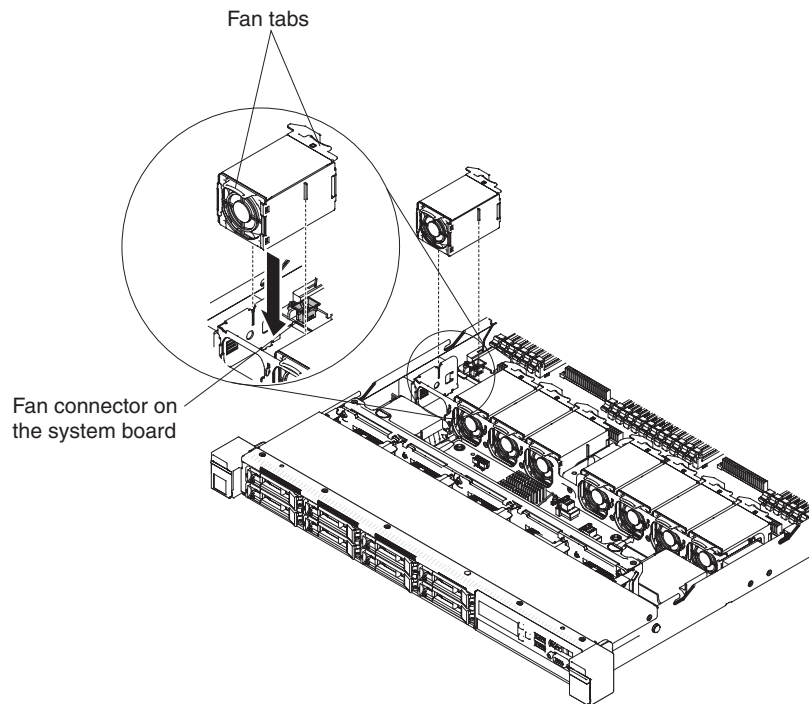


図 116. ファンの取り付け (1)

5. ファン・アセンブリー・ブラケットにあるファン・スロットにファンを挿入して下に押し込み、スロットにしっかりと収容されるようにします。また、ファン・コネクタがシステム・ボード上のコネクタに正しく取り付けられるようにします。

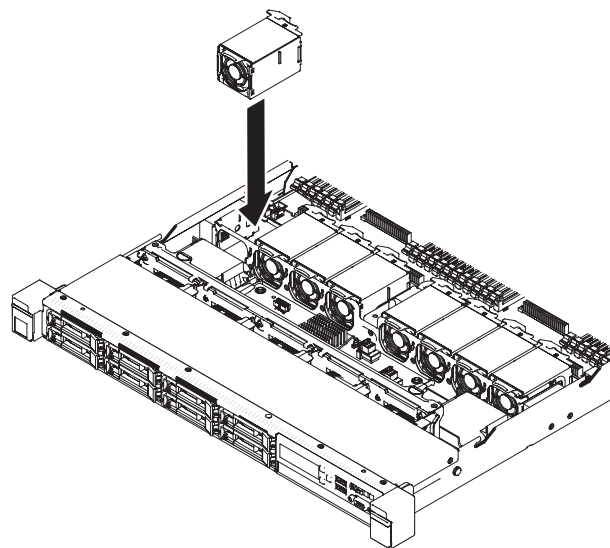


図 117. ファンの取り付け (2)

注: 適切に取り付けるために、新たに取り付けるファンが、正しく取り付けられている他のファンと水平に位置合わせされていることを確認してください。

6. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

パワー・サプライの取り外し

パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

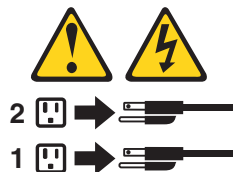
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置に複数の電源コードが使われている場合もあります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。
4. リリース・タブを左に押したまま保持します。ハンドルをつかみ、パワー・サプライをサーバーから引き出します。

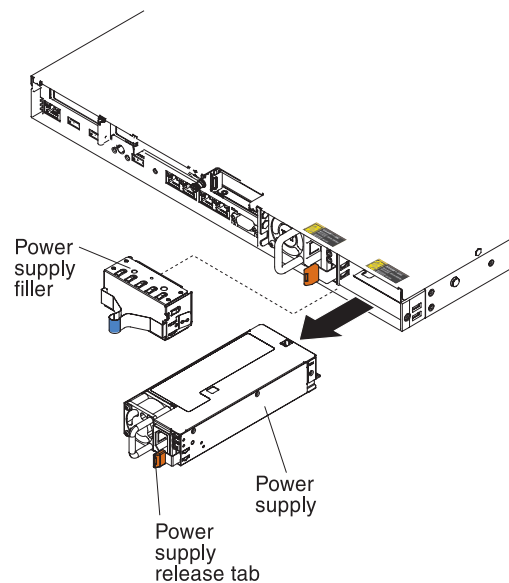


図 118. パワー・サプライの取り外し

タスクの結果

パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外し

以下の情報を使用して、ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り外します。

このタスクについて

ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合、以下の予防措置に注意してください。

安全 29



注意: この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された場所のすぐ近くのエリア (隣接したキャビネットなど) に、この装置が配置されること。DC システムが他の場所に接地されていないこと。
- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機または切断機を設置しないこと。

安全 31



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地された給電部に接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線された給電部に接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている AC 電源コード、DC 給電部、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
2. 製品に信号ケーブルを接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
 - AC システムの場合は、装置の電源ソケットを使用します。
 - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の正しい極性を確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 他の装置に信号ケーブルを接続します。
5. それらの装置の給電部に電源コードを接続します。
6. すべての給電部の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

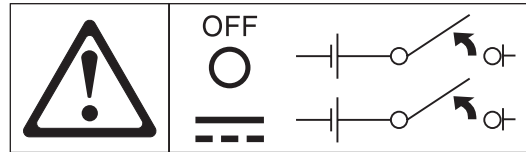
1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
 - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、あるいは AC 電力配分装置で電源を遮断します。
 - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 給電部を切り離すか、給電部の電源をオフにします。その後、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33



注意:

この製品には、電源制御ボタンが備わっていません。ブレードの電源をオフにしたり、電源モジュールや I/O モジュールを取り外しても、製品への電流はオフになりません。この製品には、複数の電源コードが使用されている場合があります。この製品から完全に電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



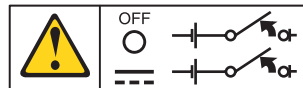
安全 34



注意:

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。
- 装置は正しく接地された Safety Extra Low Voltage (SELV) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生しても、その出力電圧が安全レベルの 60 V DC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。
- 分岐回路の過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 配線端子のねじに必要なトルク値については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。



重要: 製品を使用する前に、必ず、サーバーに付属の CD に収録されている複数の言語で書かれた安全上の注意をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。
4. リリース・タブを左に押したまま保持します。ハンドルをつかみ、パワー・サプライをサーバーから引き出します。

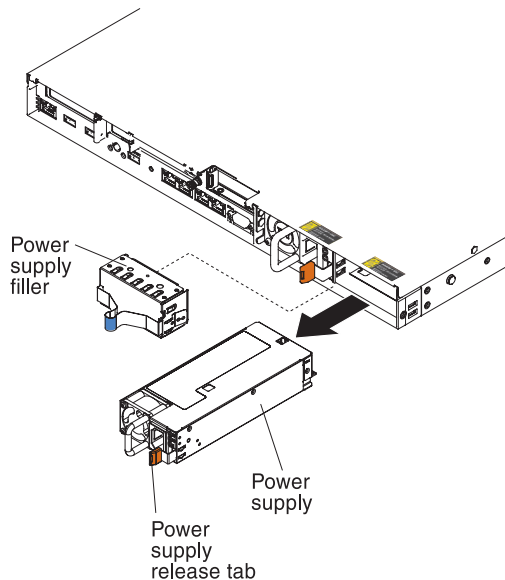


図 119. パワー・サプライの取り外し

タスクの結果

パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

パワー・サプライの交換

パワー・サプライを交換するには、この情報を使用します。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの交換

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを交換します。

このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用し、現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティの詳細な説明とダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。

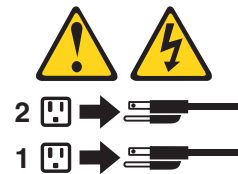
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが標準で搭載されています。入力電圧は、100-127 V AC または 200-240 V AC の自動検知です。
- サーバーが適切に作動することを確実にするために、サーバー内のパワー・サプライは、電力定格 (ワット数) が同一でなければなりません。例えば、550 ワット、750 ワット、900 ワット、または 1500 ワットのパワー・サプライはサーバー内で混用できません。
- サーバー内で高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライを混用することはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置に複数の電源コードが使われている場合もあります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

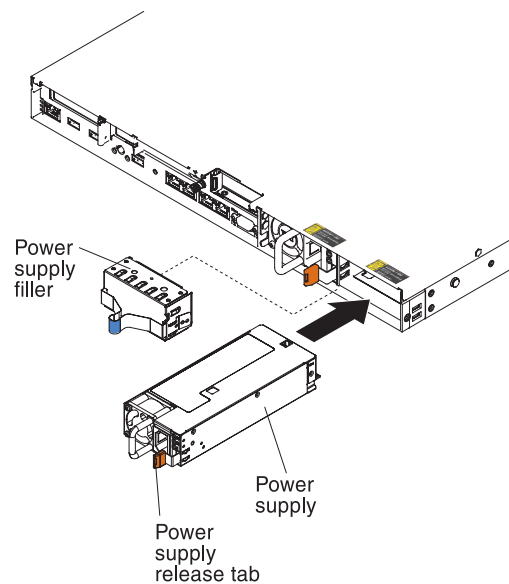


図 120. パワー・サプライの取り付け

4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。

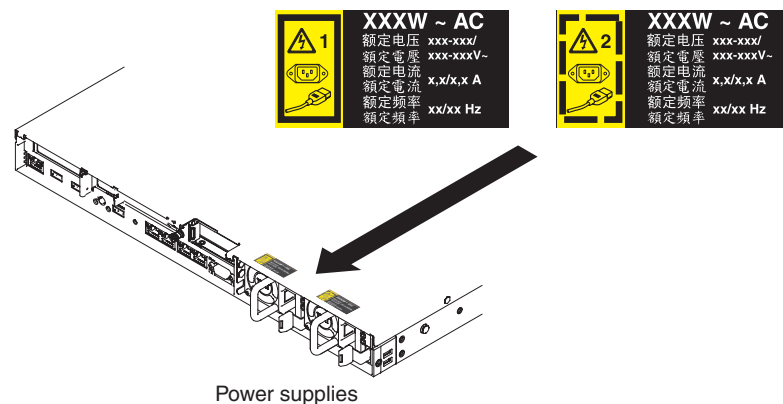


図 121. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ DC パワー・サプライの交換

以下の情報を使用して、ホット・スワップ DC パワー・サプライを交換します。

このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティの詳細な説明とダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。

- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが標準で搭載されています。入力電圧は、-48 V DC または -60 V DC の自動検知です。
- サーバーに DC パワー・サプライを取り付ける前に、すべての AC パワー・サプライを取り外す必要があります。同じサーバー内で AC パワー・サプライと DC パワー・サプライの両方を使用しないでください。最大 2 つの DC パワー・サプライまたは最大 2 つの AC パワー・サプライを取り付けますが、組み合わせることはできません。
- パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が発生した場合、直ちに同じワット数のパワー・サプライと交換する必要があります。
- 冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。
- 必要な電源ケーブルは、お客様の責任で準備してください。

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- 適切な回路ブレーカーを使用してください。
- 90° C で 4 mm² (10 AWG) の銅線を使用してください。
- 配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めます。

詳しくは、以下の『安全 34』を参照してください。

- 給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は、UL 規格認定取得済みでなければならず、上記の注記で説明しているワイヤーに対応している必要があります。

安全 29:



注意:

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。

この装置は、DC 給電回路の接地導線と装置側の接地導線との接続が可能な設計になっています。この接続を行う場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- この装置が DC 供給システムの接地導線に直接接続されること、または DC 供給システムの接地導線が接続されている接地端子バーあるいはバスからの接合ジャンパーに直接接続されること。
- この装置が接続されているものと同一の DC 供給回路および接地線に接続されている他の装置が設置されている場所、および DC システムの接地点が設置された

場所のすぐ近くのエリア（隣接したキャビネットなど）に、この装置が配置されること。DC システムが他の場所に接地されていないこと。

- DC 供給源はこの装置と同じ建物内に設置されていること。
- DC 電源と接地電極導線の接続点とを結ぶ接地回路線の途中に、切り替え機または切断機を設置しないこと。

安全 31



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地された給電部に接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線された給電部に接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている AC 電源コード、DC 給電部、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
2. 製品に信号ケーブルを接続します。
3. 製品に電源コードを接続します。
 - AC システムの場合は、装置の電源ソケットを使用します。
 - DC システムの場合は、-48 V DC 接続の正しい極性を確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。安全のため、接地には 2 穴ラグを使用してください。
4. 他の装置に信号ケーブルを接続します。
5. それらの装置の給電部に電源コードを接続します。
6. すべての給電部の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

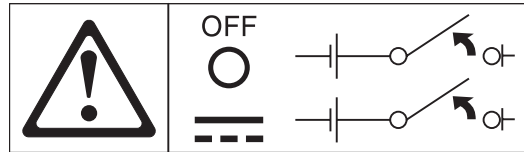
1. この製品に接続されているすべての給電部および装置の電源をオフにします。
 - AC システムの場合は、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外すか、あるいは AC 電力配分装置で電源を遮断します。
 - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 給電部を切り離すか、給電部の電源をオフにします。その後、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
3. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 33



注意:

この製品には、電源制御ボタンが備わっていません。ブレードの電源をオフにしたり、電源モジュールや I/O モジュールを取り外しても、製品への電流はオフになりません。この製品には、複数の電源コードが使用されている場合があります。この製品から完全に電流を除去するには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



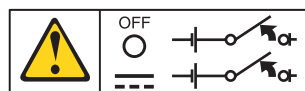
安全 34



注意:

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。
- 装置は正しく接地された Safety Extra Low Voltage (SELV) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生しても、その出力電圧が安全レベルの 60 V DC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。
- 分岐回路の過電流保護に必要な回路ブレーカー定格については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 配線端子のねじに必要なトルク値については、製品資料に記載されている仕様を参照してください。



重要: 製品を使用する前に、必ず、サーバーに付属の CD に収録されている複数の言語で書かれた安全上の注意をお読みください。

ホット・スワップ DC パワー・サプライを取り付けるには、次の手順を実行します。

重要: Lenovo サービス技術員以外のトレーニングを受けたサービス担当員のみが、-48 ボルト DC パワー・サプライの取り付けと取り外し、および -48 ボルト DC 給電部での接続および切り離しを行うことが許可されています。Lenovo サービス技術員は、-48 ボルト電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを、認定あるいは許可されていません。トレーニングを受けたサービス担当員のみが -48 ボルト電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを行っていることは、お客様の責任で確認してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. 新規のパワー・サプライを接続する DC 給電部の回路ブレーカーをオフにします。DC 給電部から電源コードを切り離します。
4. 新規のパワー・サプライに DC 電源ケーブルを接続します。

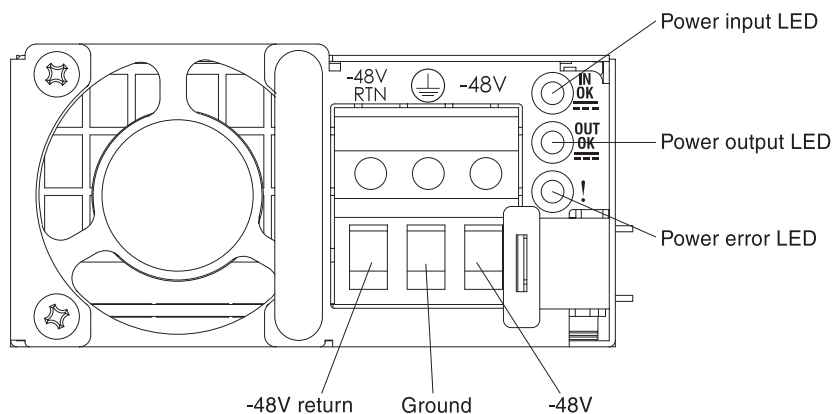


図 122. DC パワー・サプライ背面図

5. 空のベイにホット・スワップ・パワー・サプライを取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィラーを取り外します。

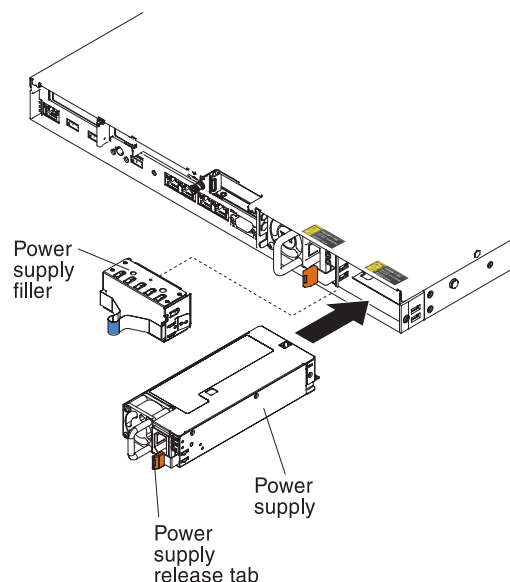


図 123. パワー・サプライの取り付け

6. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。
7. ハンドルおよびケーブル・タイ (ある場合) を通して電源コードを配線し、誤ってプラグから抜けないようにします。
8. DC 電源ケーブルの他方の端を DC 給電部に接続します。ワイヤーを適切な長さに切り取ります。ただし、150 mm より短く切り取らないでください。給電部で丸形端子が必要な場合、圧縮工具を使用して電源コード・ワイヤーに丸形端子を取り付ける必要があります。丸形端子は UL 認定されている必要があります。上記で説明したワイヤーに適合している必要があります。終端がピラー・タイプまたはスタッド・タイプの最小公称ねじ径は、4 mm でなければなりません。終端がねじタイプのねじ径は、5.0 mm でなければなりません。
9. 新規のパワー・サプライを接続した DC 給電部の回路ブレーカーをオンにします。
10. パワー・サプライ上の緑色の電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に作動していることを示していることを確認します。
11. サーバーのパワー・サプライを交換する場合、このオプションに付属の冗長電源情報ラベルをパワー・サプライの近くのサーバー・カバーに貼り付けてください。



図 124. 冗長電源情報ラベル

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
5. サーバーからハード・ディスクを少し引き出して、ハード・ディスク・バックプレーンから外します (162 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
6. ホット・スワップ ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します。サーバー構成に基づいて、ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンは、以下の 3 つの外観のいずれかを示します。

4 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し手順

注: 2 個の 4 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンは、8 個の 2.5 型ハード・ディスク・サーバー構成に使用します。

- a. バックプレーンを外側に引いて持ち上げ、シャーシから慎重に取り出します。

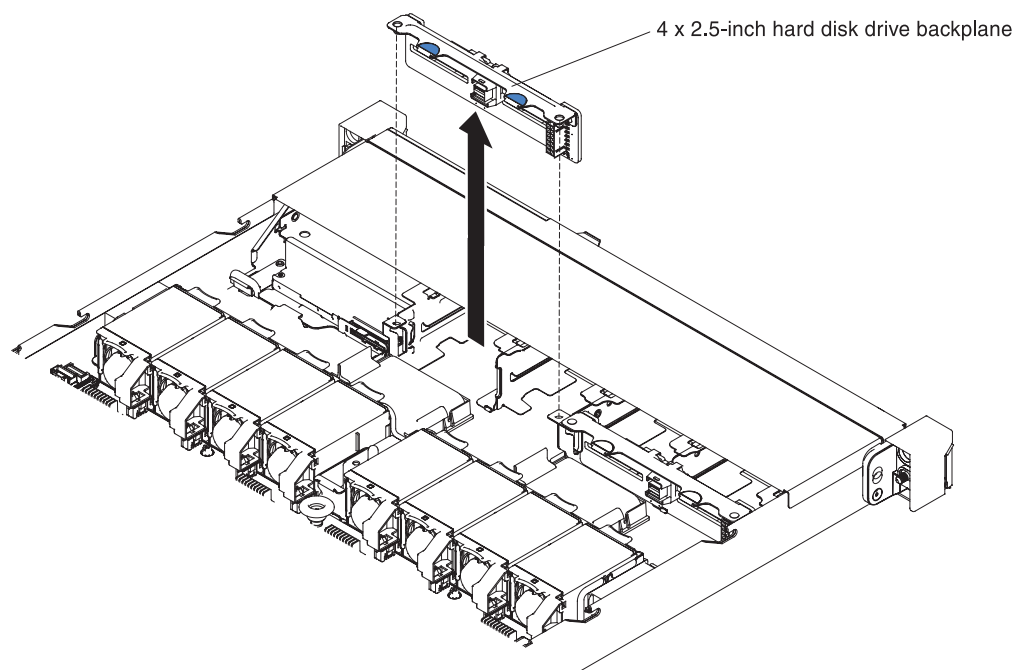


図 125. 4 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

10 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し手順

- a. バックプレーンを外側に引いて持ち上げ、シャーシから慎重に取り出します。

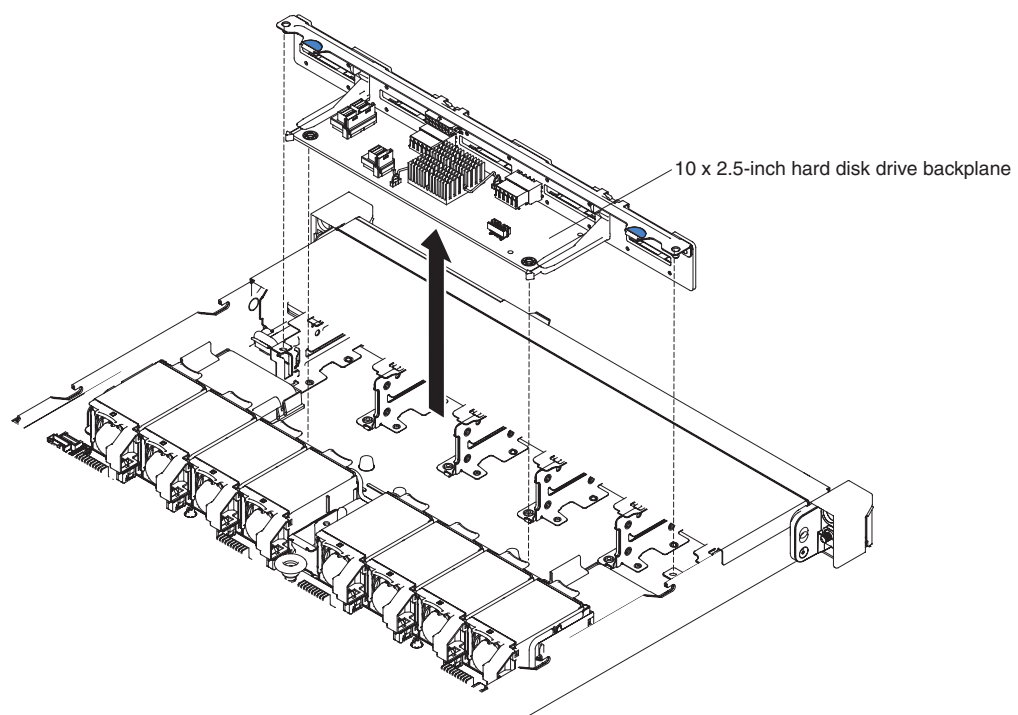


図 126. 10 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

4 x 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し手順

- a. バックプレーンをシャーシに固定しているリリース・ラッチを持ち上げます。
- b. バックプレーンを外側に引いて持ち上げ、シャーシから慎重に取り出します。

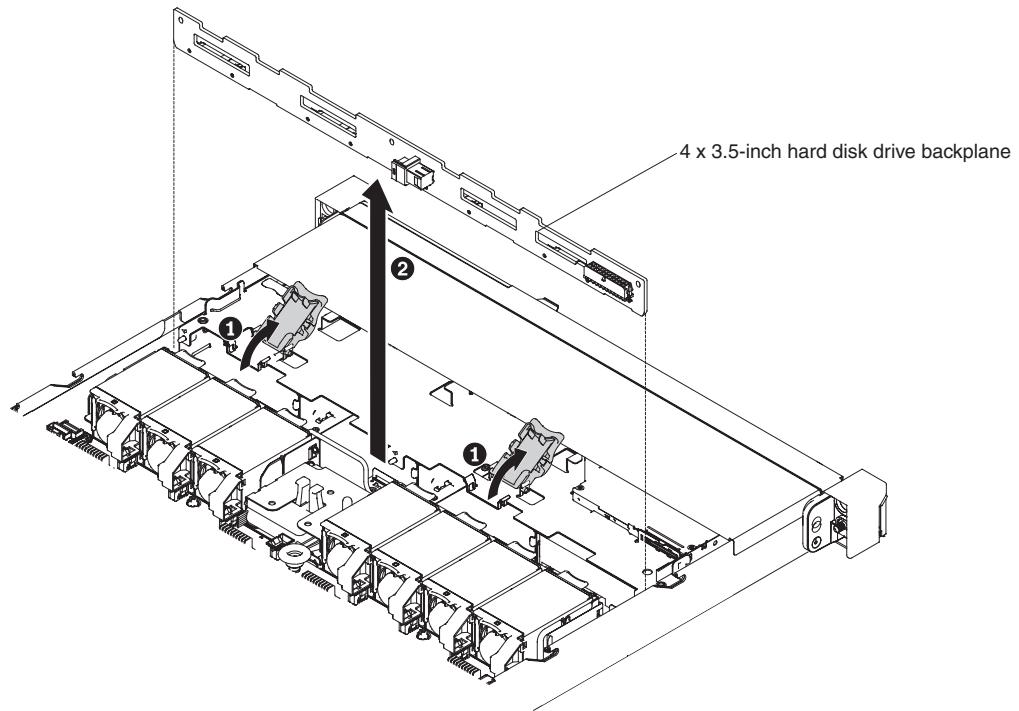


図 127. 4 x 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

7. すべてのケーブルをハード・ディスク・バックプレーンから切り離します。

タスクの結果

ハード・ディスク・バックプレーンの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの交換

ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

交換用のホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。

2. ハード・ディスク・ドライブ・バックプレーンにケーブルを再接続します。
3. ホット・スワップ ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けます。サーバー構成に基づいて、ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンは、以下の 3 つの外観のいずれかを示します。

4 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け手順

注: 2 個の 4 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンは、8 個の 2.5 型ハード・ディスク・サーバー構成に使用します。

- a. バックプレーンをシャーシ上のスロットと位置合わせします。
- b. ハード・ディスク・バックプレーンを、シャーシ内に完全に収まるまで慎重に下ろします。

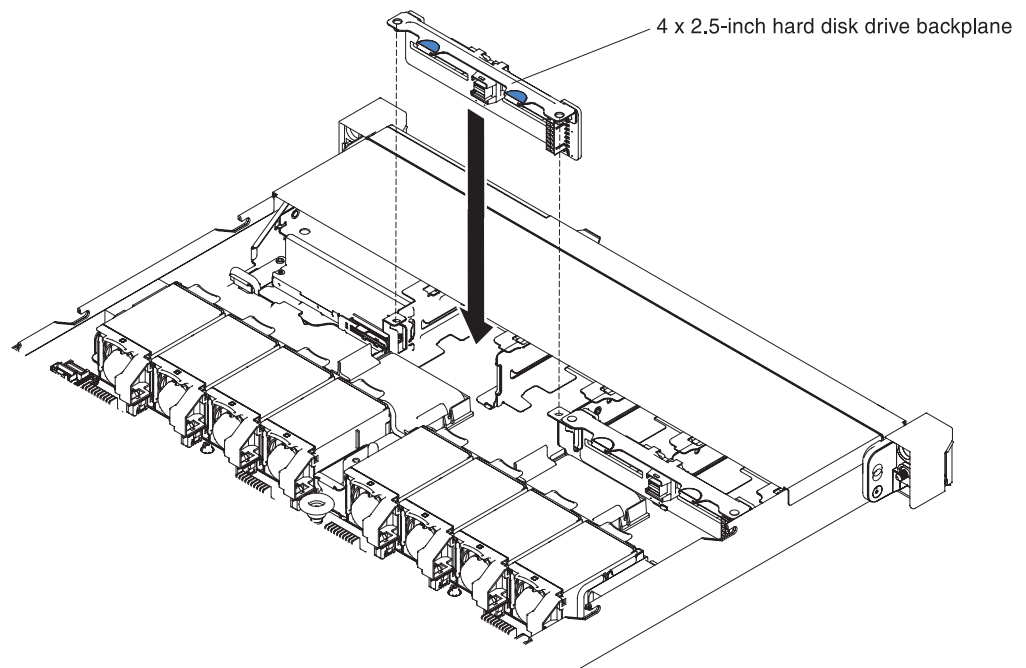


図 128. 4 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

10 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け手順

- a. バックプレーンをシャーシ上のスロットと位置合わせします。
- b. ハード・ディスク・バックプレーンを、シャーシ内に完全に収まるまで慎重に下ろします。

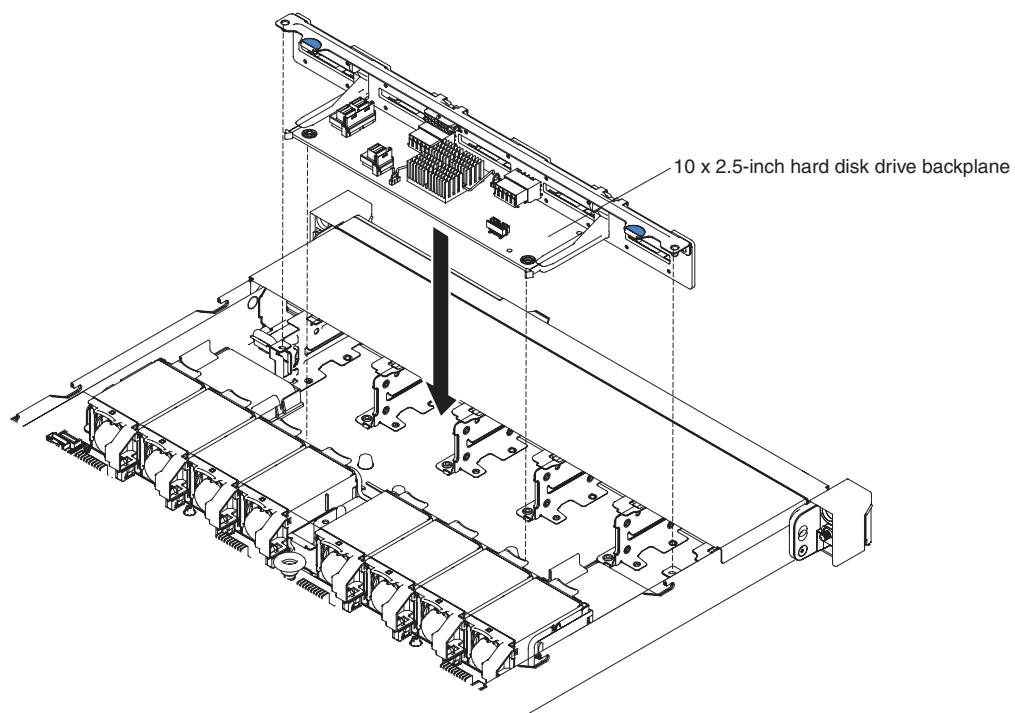


図 129. 10 x 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

4 x 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け手順

- a. ハード・ディスク・バックプレーンを、シャーシ内に完全に収まるまで慎重に下ろします。
- b. リリース・ラッチを押して、バックプレーンをシャーシに固定します。

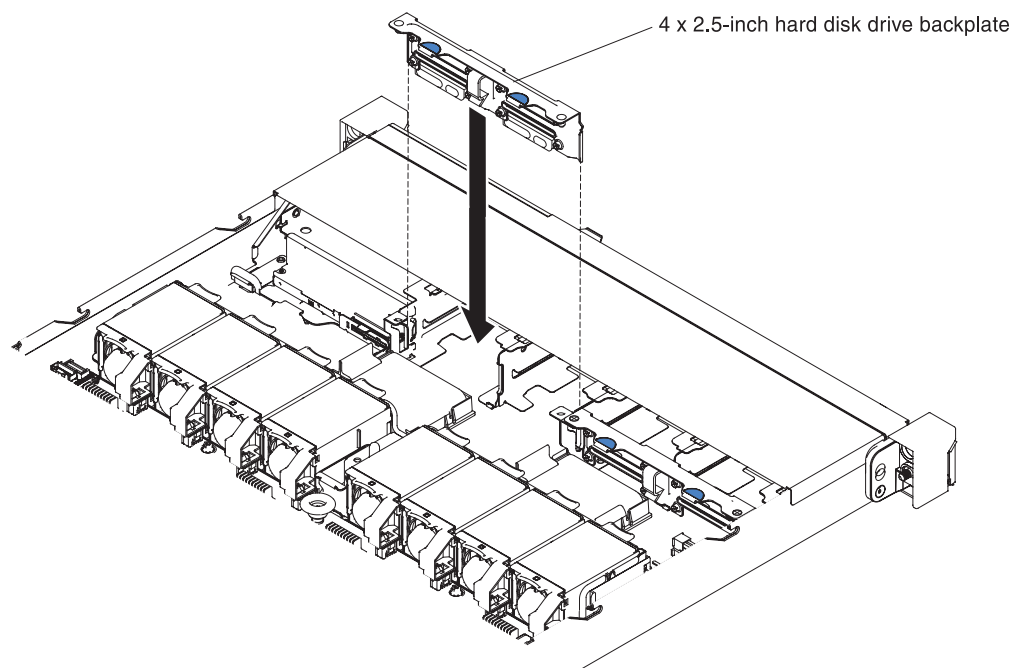


図 130. 4 x 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

4. 信号ケーブル、電源ケーブル、および構成ケーブルを、システム・ボードに接続します。信号ケーブルは、ドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、SAS/SATA コントローラー・コネクタに接続します。次に、電源ケーブルと構成ケーブルをドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、SAS/SATA 電源コネクタおよび SAS/SATA 構成コネクタに接続します。次の図は、2.5 型および 3.5 型ホット・スワップ・バックプレーンのケーブルの配線およびコネクタを示しています。

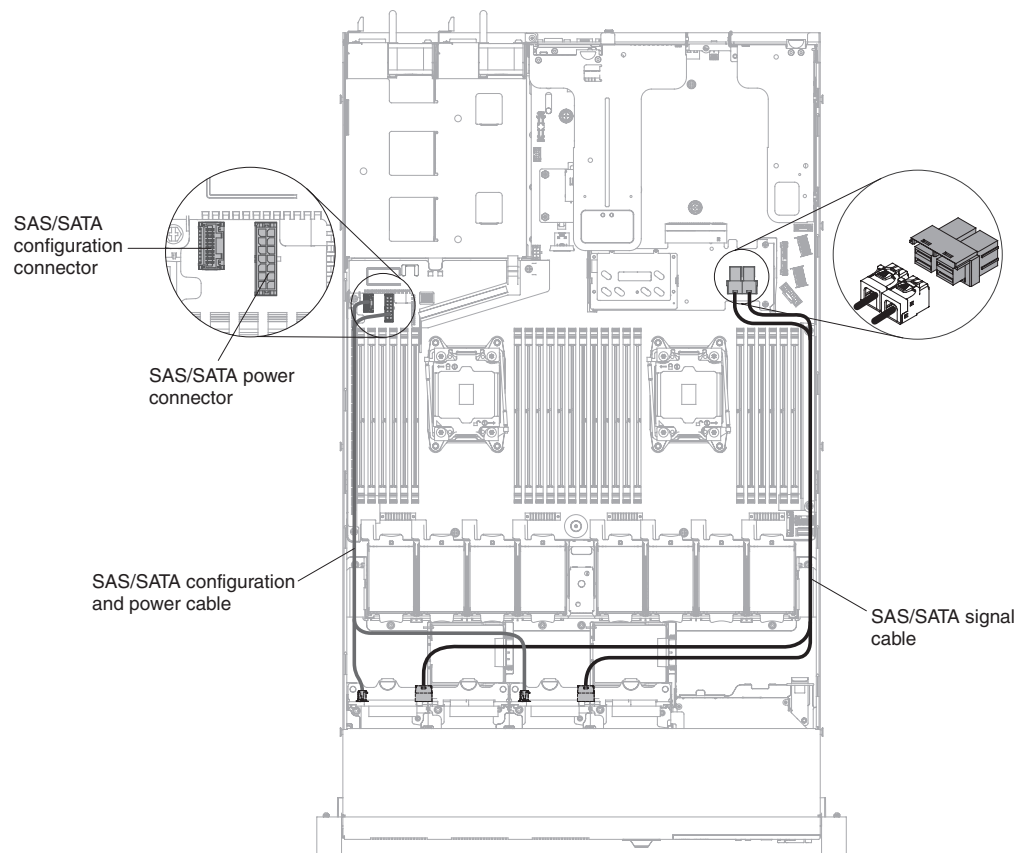


図 131. 8 x 2.5 型ホット・スワップ・バックプレーンのケーブル接続

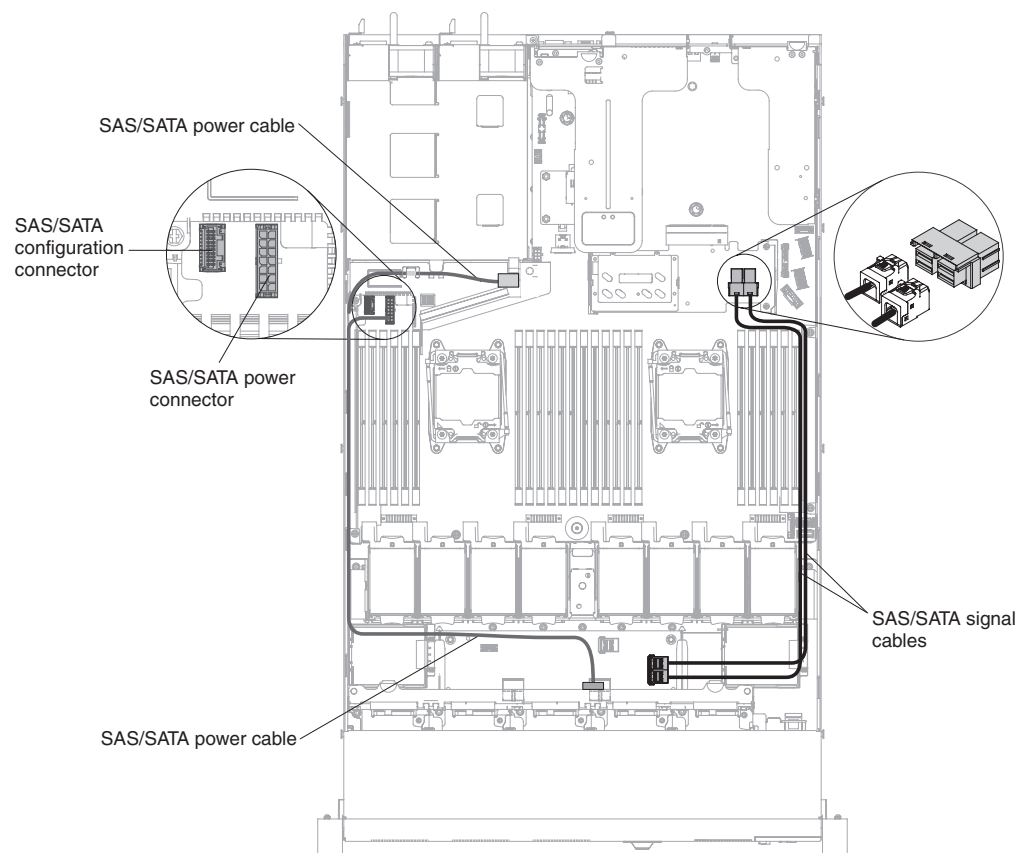


図 132. 10 x 2.5 型ホット・スワップ・バックプレーンのケーブル接続

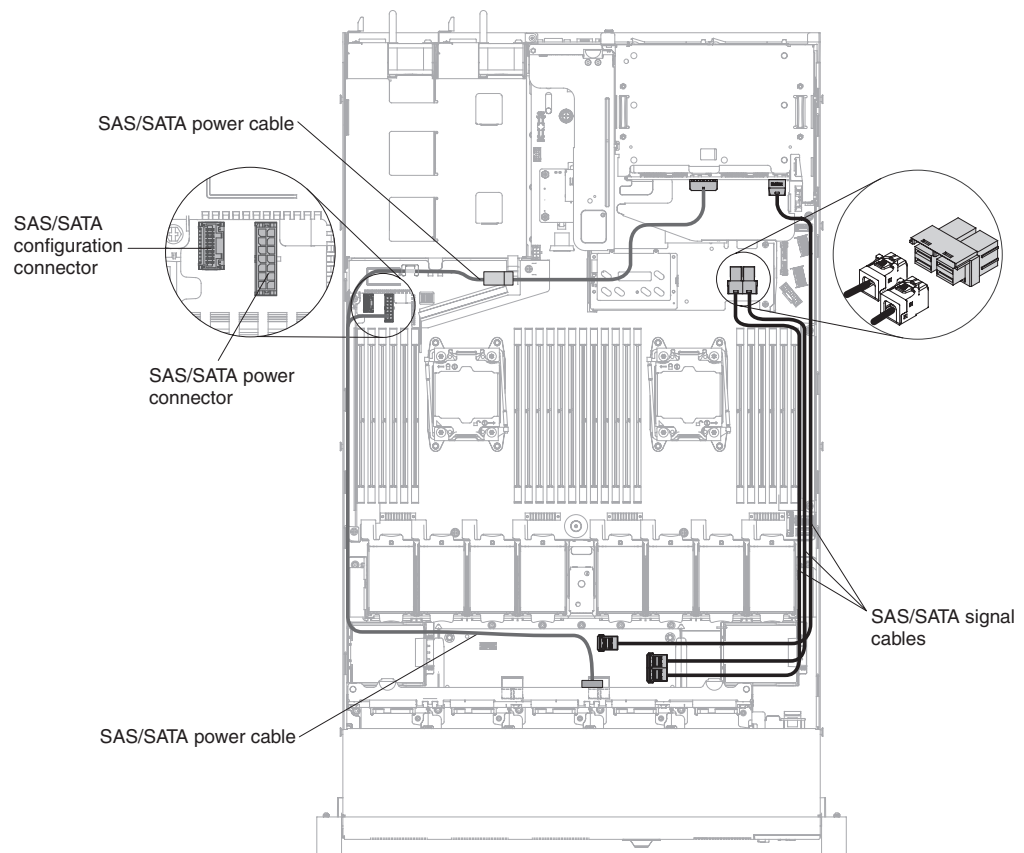


図 133. 12 x 2.5 型ホット・スワップ・バックプレーンのケーブル接続

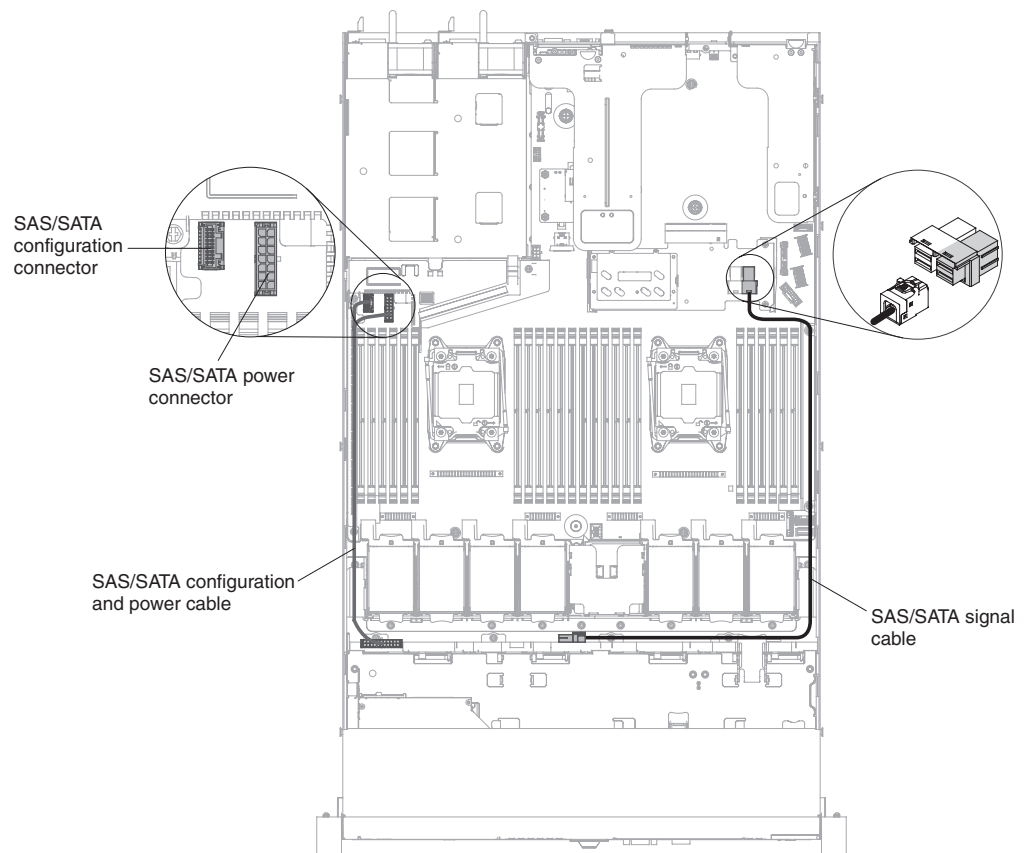


図 134. 4 x 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

5. ハード・ディスクおよびフィルター・パネルを再び取り付けます (163 ページの『ホット・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
6. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの取り外し

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

注: 10 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルはサポートされません。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
5. 1 本の指で黒色のドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・タブを右側へスライドさせてハード・ディスクをサーバーから少し引き出し、ハード・ディスク・バックプレートから取り外します (164 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し』を参照)。
6. シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリを取り外します。サーバー構成に基づき、シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリは、以下の 2 つの外観のいずれかを示します。

4 x 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの取り外し手順

注: 2 個の 4 x 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリは、8 個の 2.5 型ハード・ディスク・サーバー構成に使用します。

- a. バックプレート・アセンブリを外側に引いて持ち上げ、シャーシから慎重に取り出します。

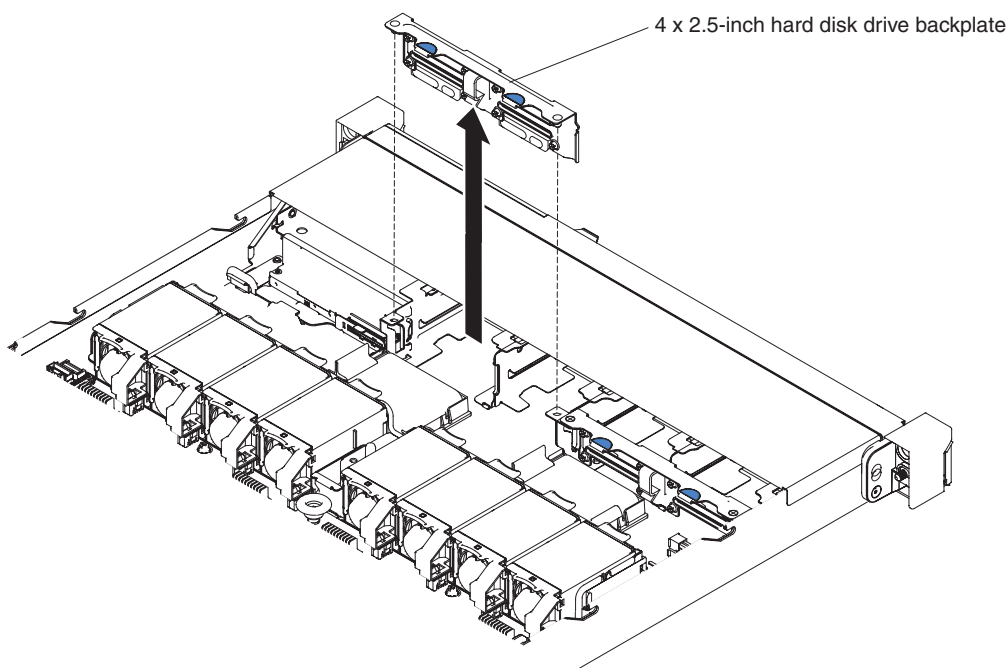


図 135. 4 x 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの取り外し

4 x 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの取り外し手順

- a. バックプレート・アセンブリーをシャーシに固定しているリリース・ラッチを持ち上げます。
- b. バックプレート・アセンブリーを外側に引いて持ち上げ、シャーシから慎重に取り出します。

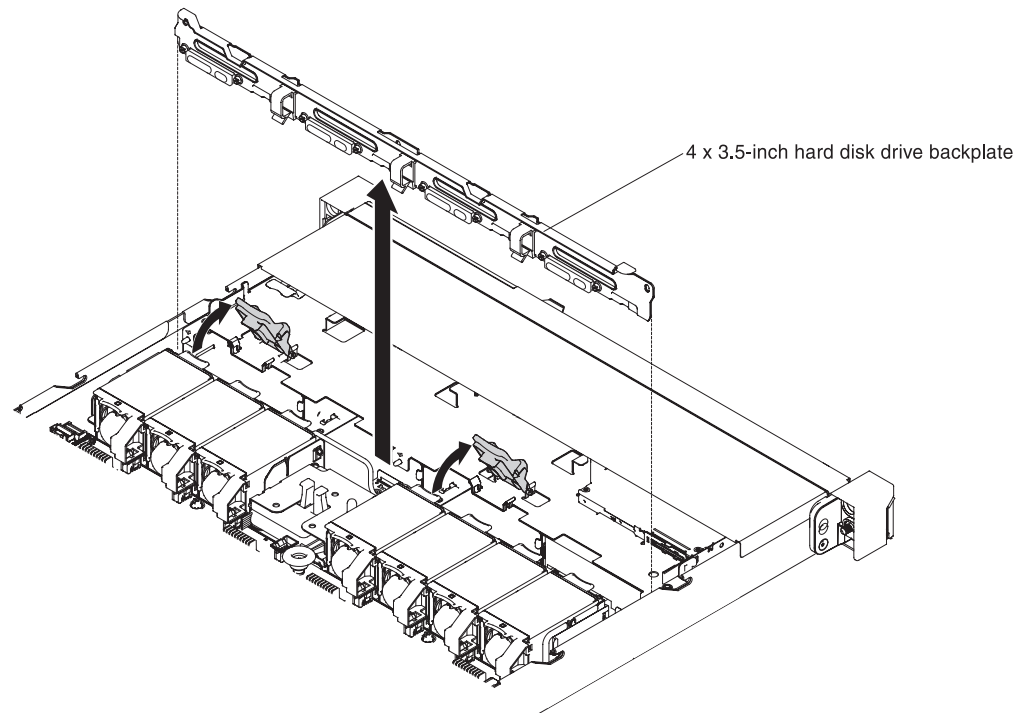


図 136. 4 x 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り外し

7. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをシステム・ボードから切り離します。

タスクの結果

ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートの交換

シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレートを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

交換用シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

注: 10 個の 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・モデルはサポートされません。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り付けます。サーバー構成に基づき、シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーは、以下の 2 つの外観のいずれかを示します。

4 x 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り付け手順

注: 2 個の 4 x 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーは、8 個の 2.5 型ハード・ディスク・サーバー構成に使用します。

- a. バックプレート・アセンブリーをシャーシ上のスロットと位置合わせします。
- b. バックプレート・アセンブリーを、しっかりとシャーシ内に装着されるように慎重にシャーシ内に下ろします。

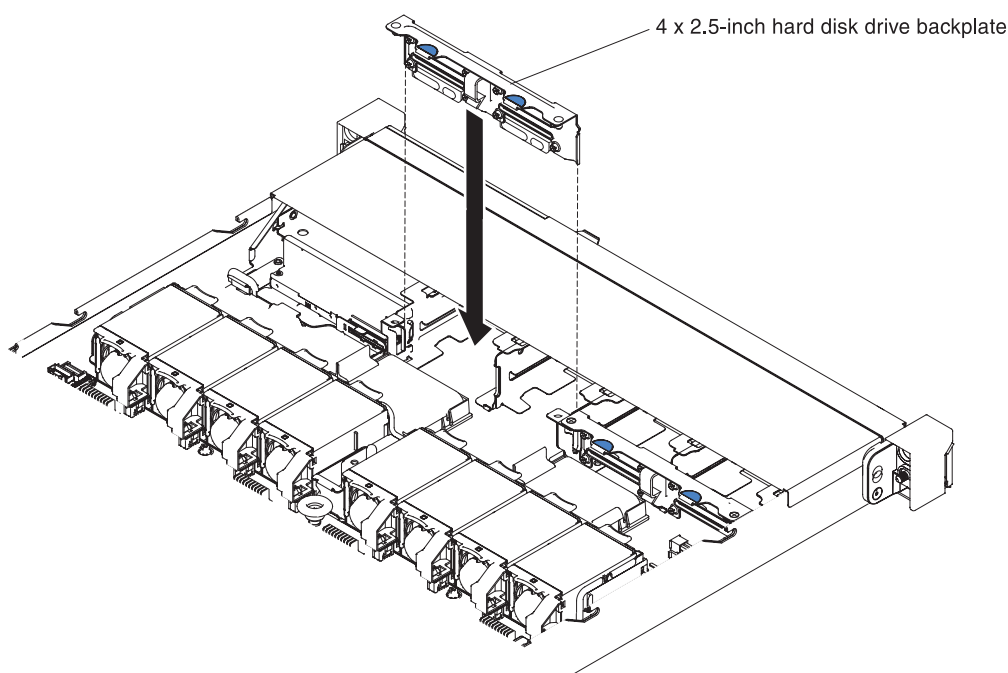


図 137. 4 x 2.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り付け

4 x 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り付け手順

- a. バックプレート・アセンブリーを、しっかりとシャーシ内に装着されるように慎重にシャーシ内に下ろします。
- b. リリース・ラッチを押して、バックプレート・アセンブリーをシャーシに固定します。

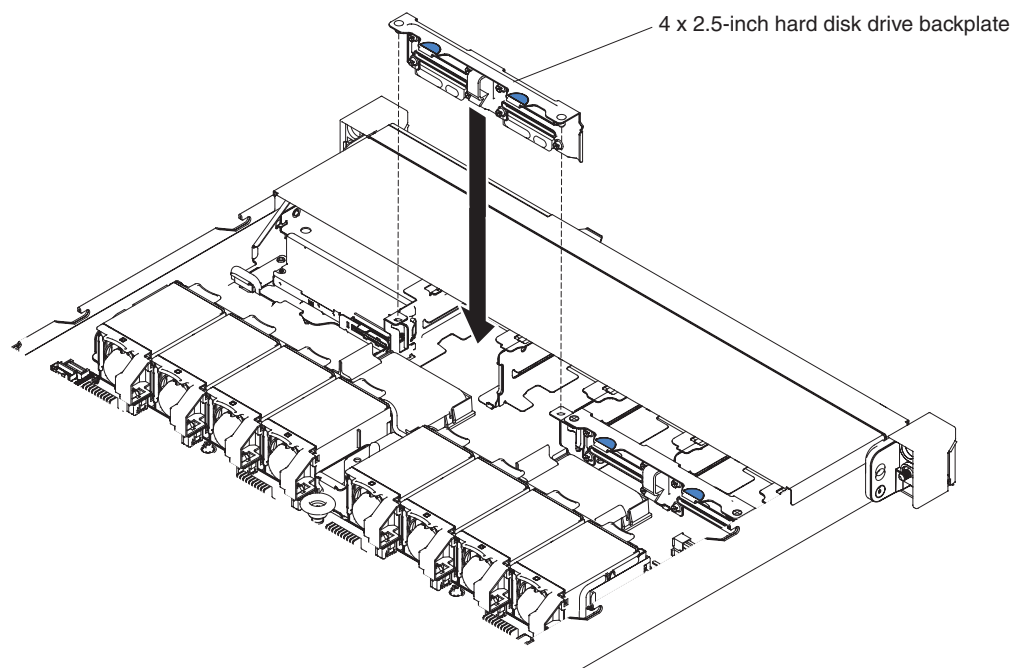


図 138. 4 x 3.5 型シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り付け

3. 信号ケーブルおよび電源ケーブルをシステム・ボードに接続します。信号ケーブルをドライブ・バックプレーンからシャーシに沿って配線し、**SAS/SATA 信号コネクタ**に接続します。次に、電源ケーブルをドライブ・バックプレート・アセンブリーからシャーシに沿って配線し、**シンプル・スワップ SATA 電源コネクタ**に接続します。次の図は、2.5 型および 3.5 型バックプレート・アセンブリーのケーブルの配線およびコネクタを示しています。

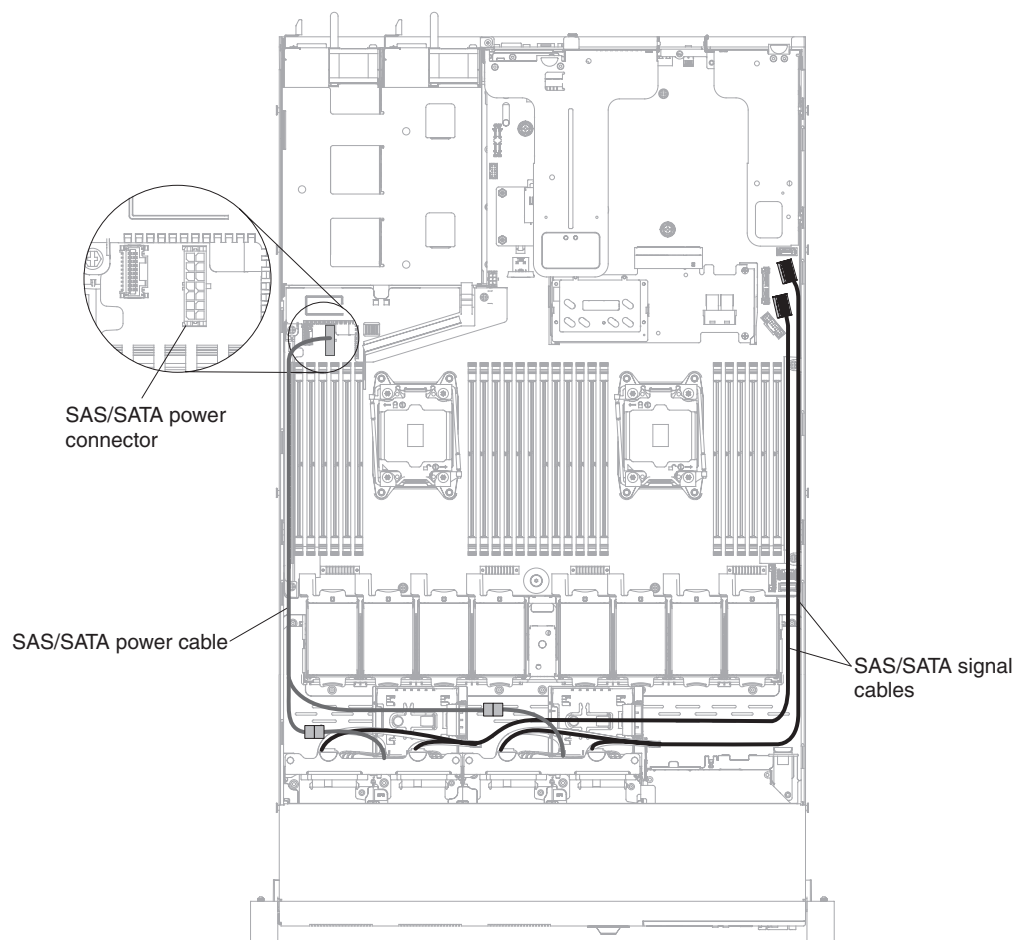


図 139. 8 x 2.5 型シンプル・スワップ・バックプレート・アセンブリーのケーブル接続

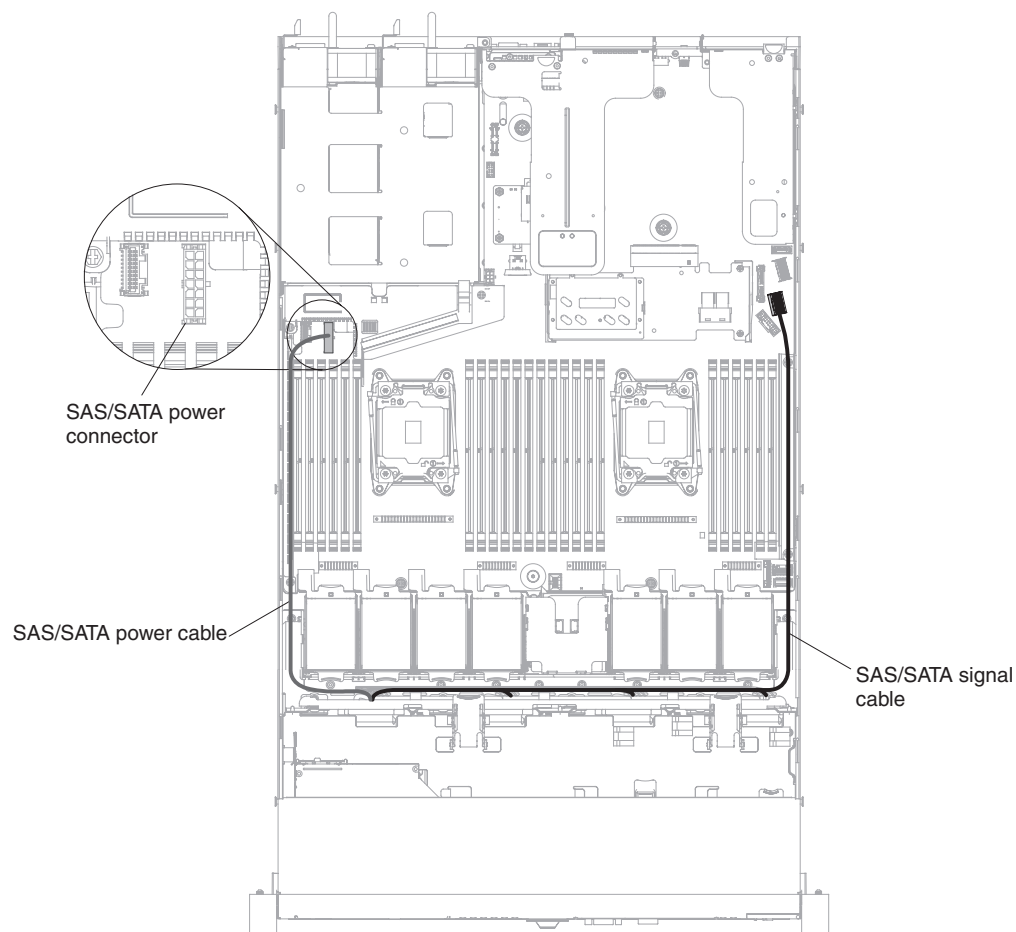


図 140. 4 x 3.5 型シンプル・スワップ・バックプレート・アセンブリーのケーブル接続

4. ハード・ディスクおよびフィラー・パネルを再び取り付けます (165 ページの『シンプル・スワップ・ハード・ディスクの交換』を参照)。
5. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. フラッシュ・デバイスをつかみ、コネクタから引き抜いて取り外します。

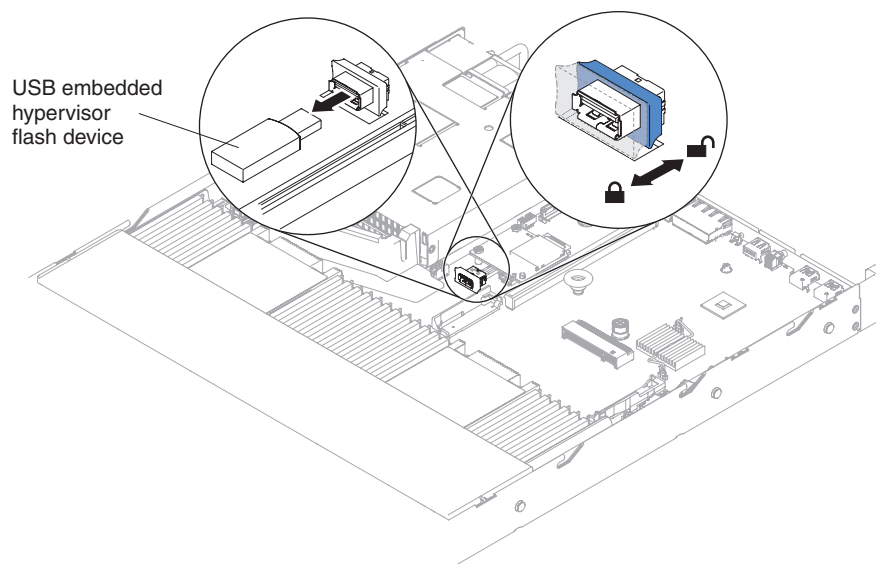


図 141. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

タスクの結果

フラッシュ・デバイスを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. フラッシュ・デバイスをシステム・ボード上のコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまで USB コネクタに押し入れます。

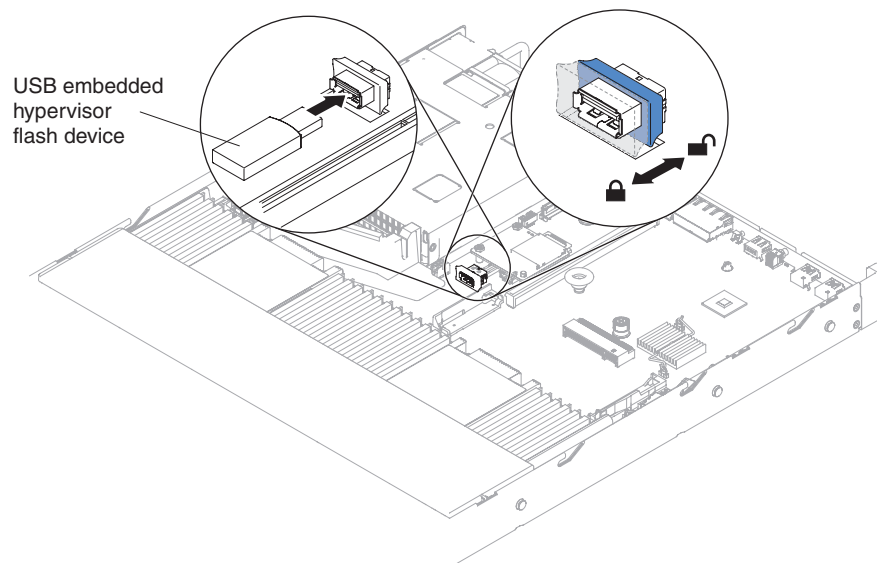


図 142. USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常の家ごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、Lenovo 営業担当員または Lenovo 販売店に連絡してください。

注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) 以上に加熱する
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・バッテリーを取り外すには、以下のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 または 2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットをシャーシから引き上げます (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』または 167 ページの『2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットの取り外し』を参照)。
5. システム・ボード上のシステム・バッテリーの位置を確認します。

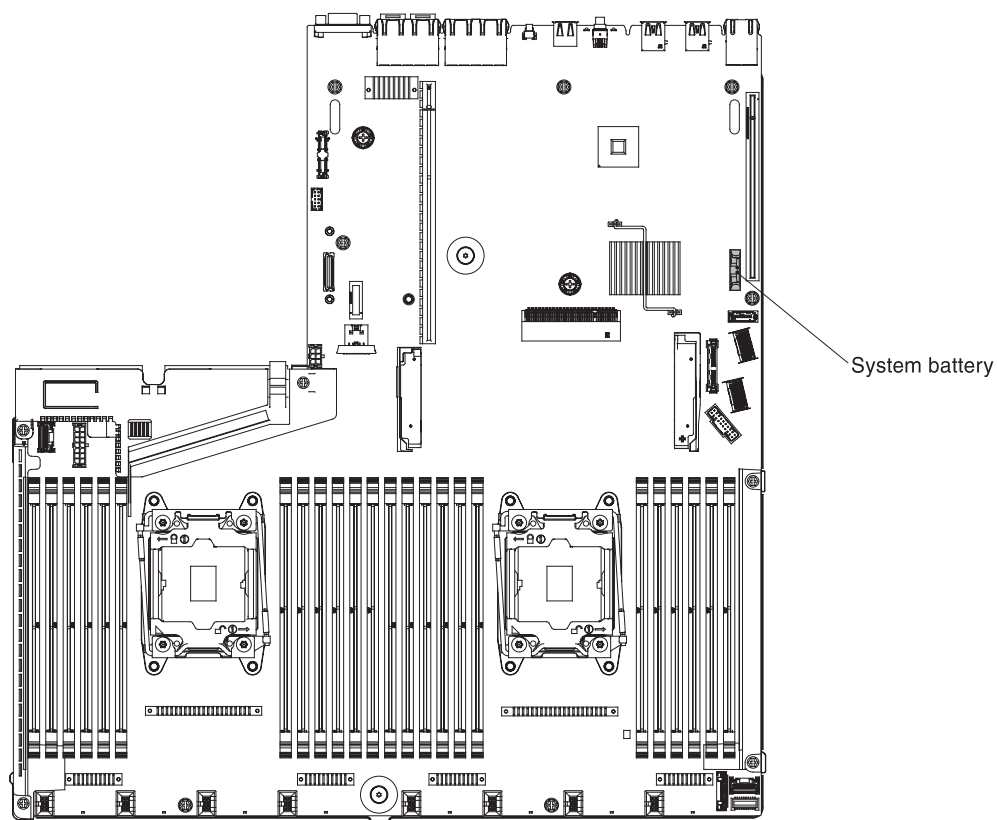


図 143. システム・ボード上のシステム・バッテリーの位置

- a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクタからバッテリー・カバーを持ち上げます。
- b. 指を 1 本使ってバッテリーをソケットから外れるように押して、横に傾けます。

重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押したりしないでください。

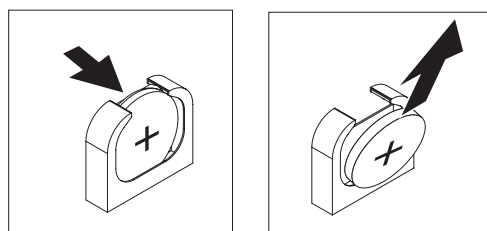


図 144. システム・バッテリーの取り外し

- c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

6. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳しくは、Documentation CD の「Environmental Notices and User's Guide」を参照してください。

システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、サーバー内でシステム・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、Lenovo 営業担当員または Lenovo 販売店に連絡してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みにになり、それに従ってください。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212°F) 以上に加熱する
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・バッテリーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
3. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
4. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

5. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 または 2.5 型ホット・スワップ背面ハード・ディスク・キットをシャーシから引き上げます (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』または 167 ページの『2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットの取り外し』を参照)。
6. システム・ボード上のシステム・バッテリー・コネクタを見つけます。

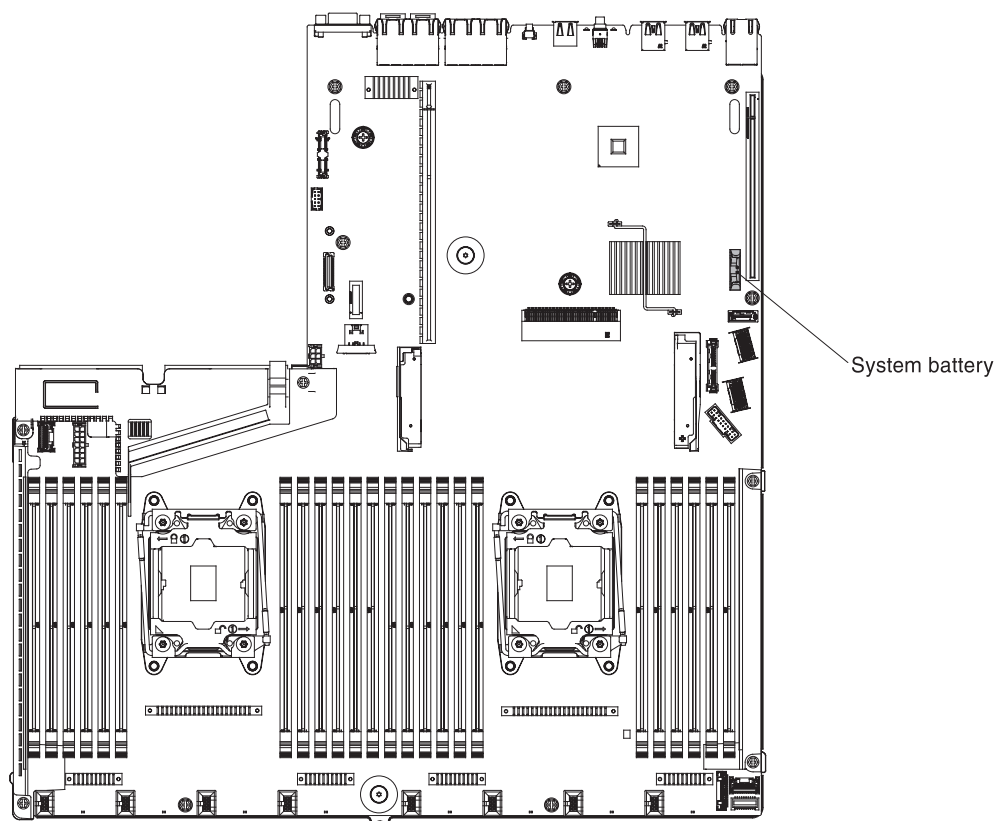


図 145. システム・ボード上のシステム・バッテリー・コネクタの場所

- a. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。



図 146. システム・バッテリーの取り付け

- b. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認 します。
- c. バッテリー・ホルダーからゴム製のカバーを取り外した場合は、指を使ってバッテリー・コネクタの上部にバッテリー・カバーを取り付けます。

7. 必要に応じて、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 を再び取り付けます (199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』または 170 ページの『2.5 型ホット・スワップ後部ハード・ディスク・キットの交換』を参照)。
8. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
11. Setup ユーティリティを始動して、構成をリセットします。
 - システムの日付と時刻を設定します。
 - 始動パスワードを設定します。
 - サーバーを再構成します。

詳しくは、44 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

メディア・ケージの取り外し

メディア・ケージを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

メディア・ケージを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
4. システム・ボードに接続されているケーブルを切り離します。この再接続を行うケーブルには、DVD ドライブ・ケーブル、前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブル、前面ビデオ・コネクター・アセンブリー・ケーブル、オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブル、または LCD 操作パネル・アセンブリー・ケーブルがあります。ケーブルを切り離したら、リリース・ラッチを少し持ち上げて、メディア・ケージを慎重にシャーシから押し出し、横に置きます。

注:

- ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。
- システム・ボードからケーブルを切り離す前に、ケーブルの配線を記憶または記録しておいてください。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

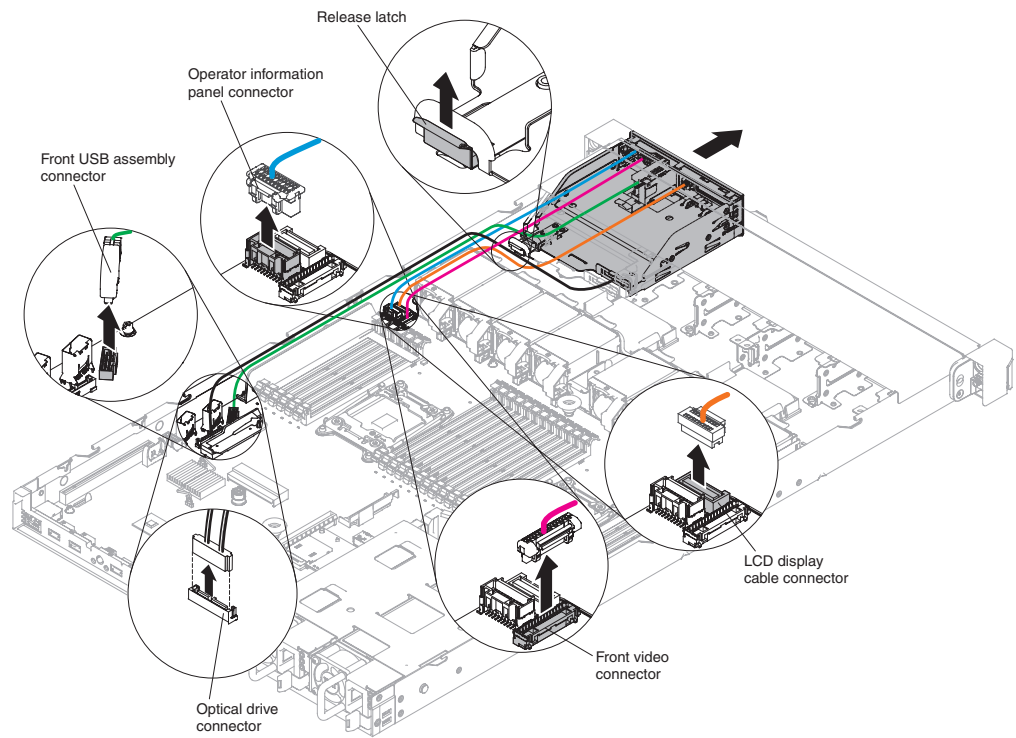


図 147. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージの取り外し

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

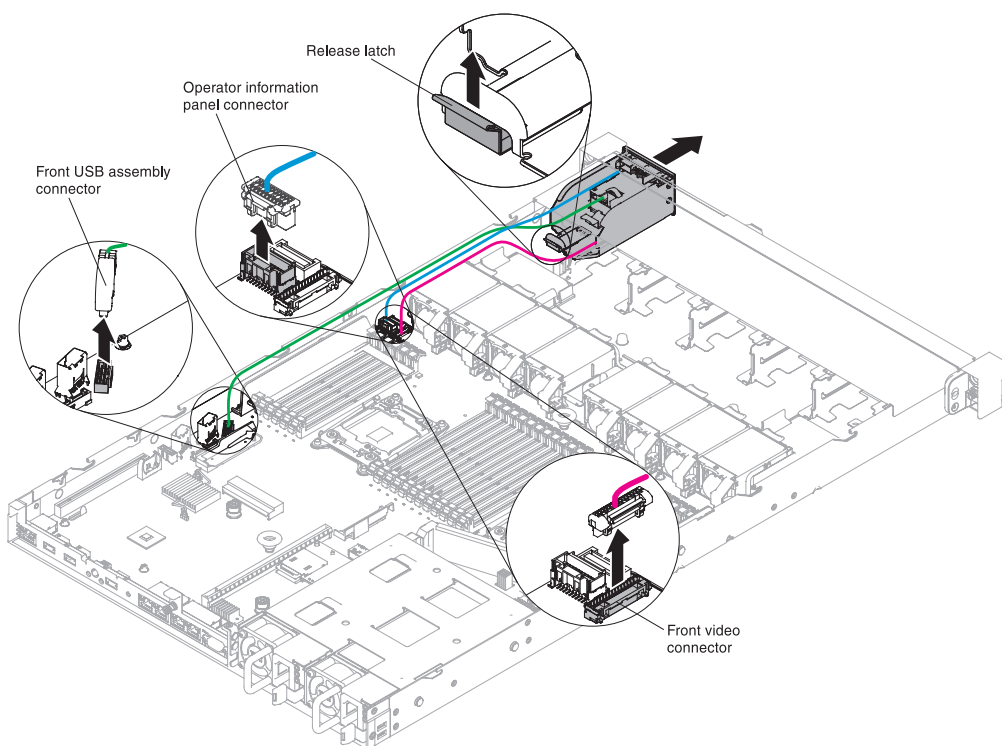


図 148. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成におけるメディア・ケージの取り外し

4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

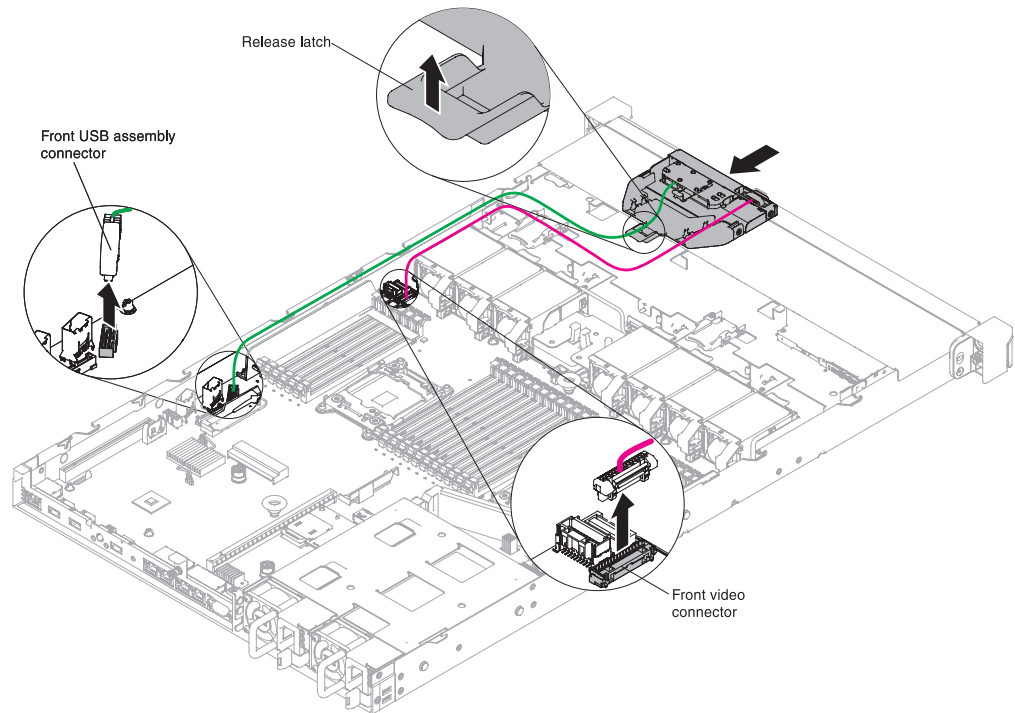


図 149. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージの取り外し

5. メディア・ケージの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

メディア・ケージの再取り付け

メディア・ケージを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

メディア・ケージを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. メディア・ケージを慎重に押してサーバーに戻してから、システム・ボードから取り外したケーブルを再接続してください。この再接続を行うケーブルには、DVD ドライブ・ケーブル、前面 USB コネクター・アセンブリー・ケーブル、前面ビデオ・コネクター・アセンブリー・ケーブル、オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブル、または LCD 操作パネル・アセンブリー・ケーブルがあります。必ずケーブルを該当するケーブル・クリップおよびケーブル・タイに挿入してください。

注:

- ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。
- システム・ボードからケーブルを切り離す前に、ケーブルの配線を記憶または記録しておいてください。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

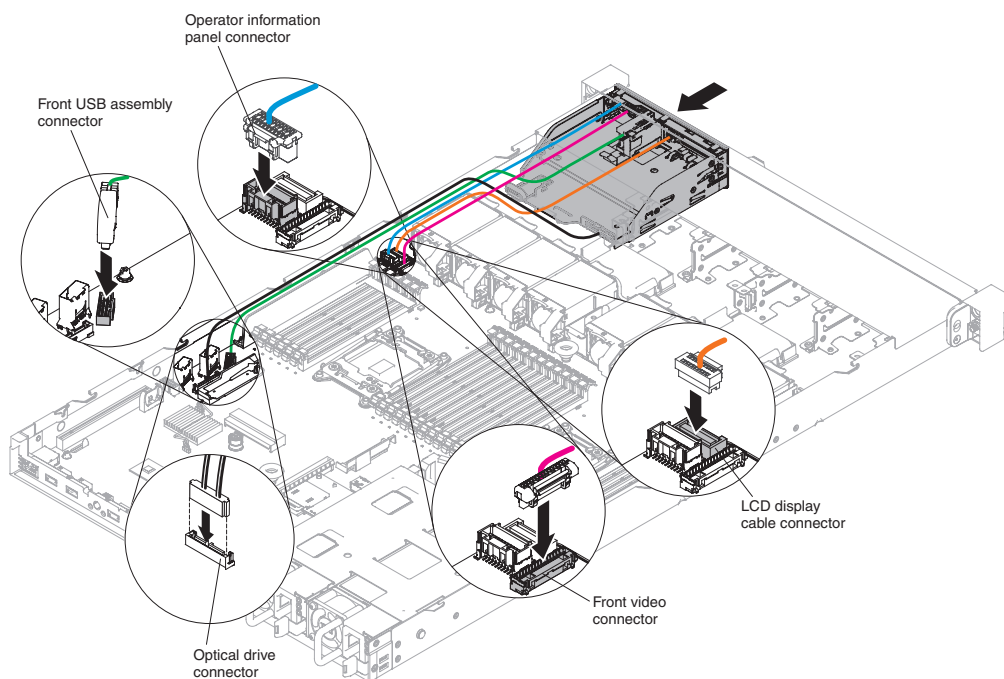


図 150. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージの取り付け

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

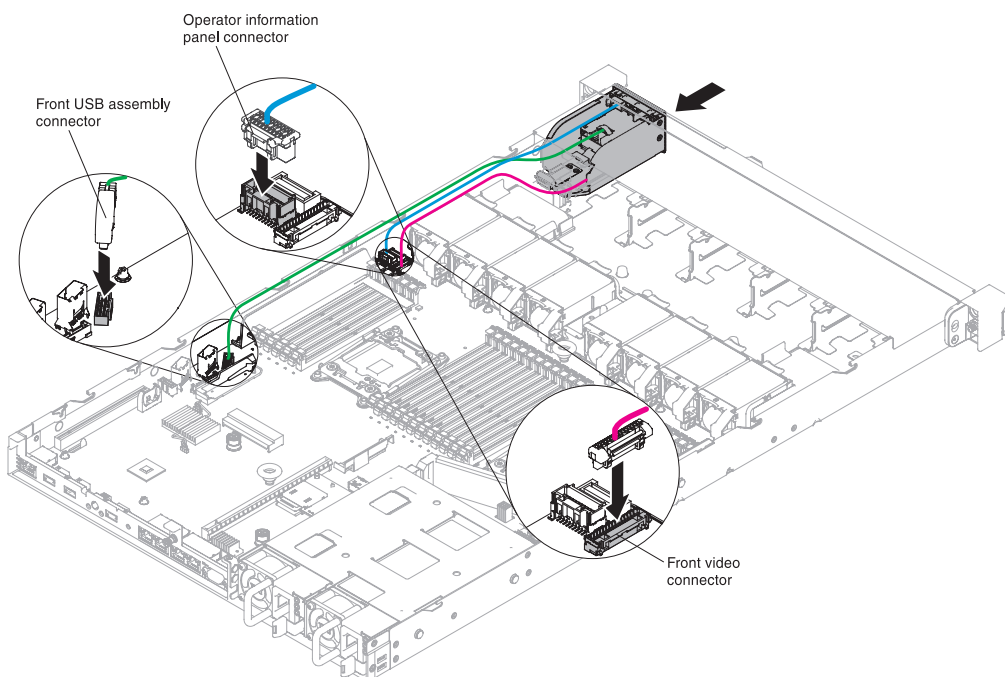


図 151. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成におけるメディア・ケージの取り付け

4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

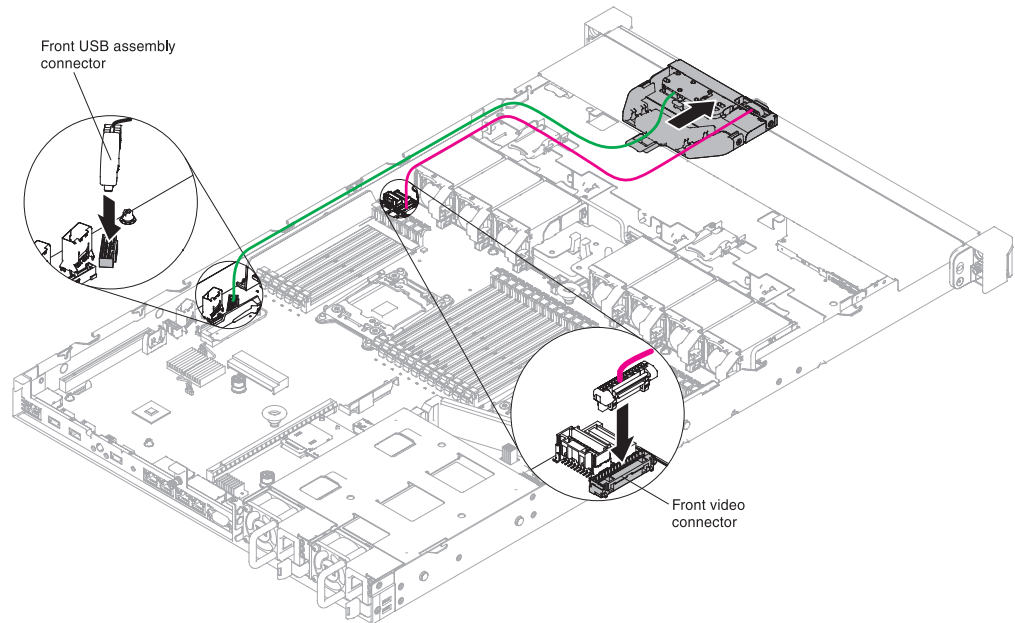


図 152. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージの取り付け

3. エアー・バッフルを再び取り付けます (148 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
4. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
5. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

前面 USB コネクター・アセンブリーの取り外し

前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. メディア・ケージを取り外します (264 ページの『メディア・ケージの取り外し』を参照)。
4. メディア・ケージから前面 USB コネクター・アセンブリーを取り外します。

注:

- ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。
- 8 個の 2.5 型および 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成では、3 つの USB コネクタがサポートされます。10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成でサポートされる USB コネクタは 2 つだけです。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

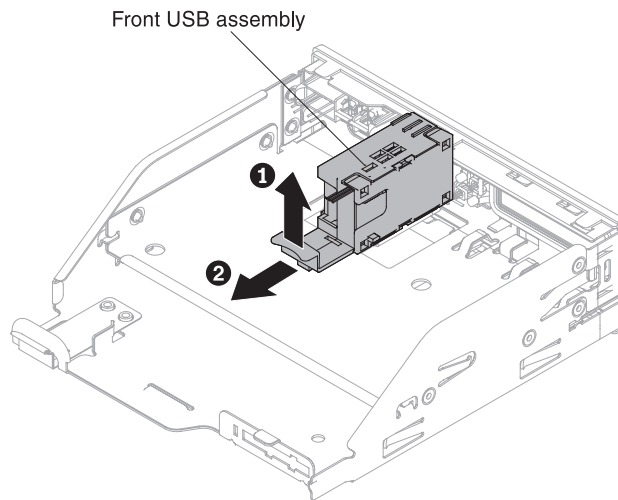


図 153. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面 USB コネクタ・アセンブリの取り外し

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

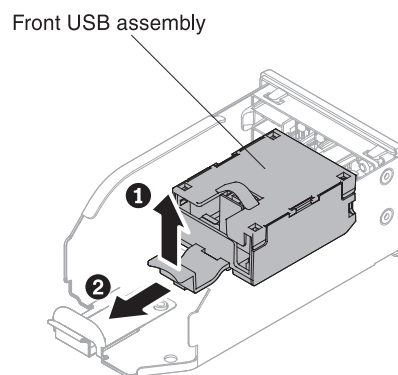


図 154. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成における前面 USB コネクタ・アセンブリの取り外し

4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

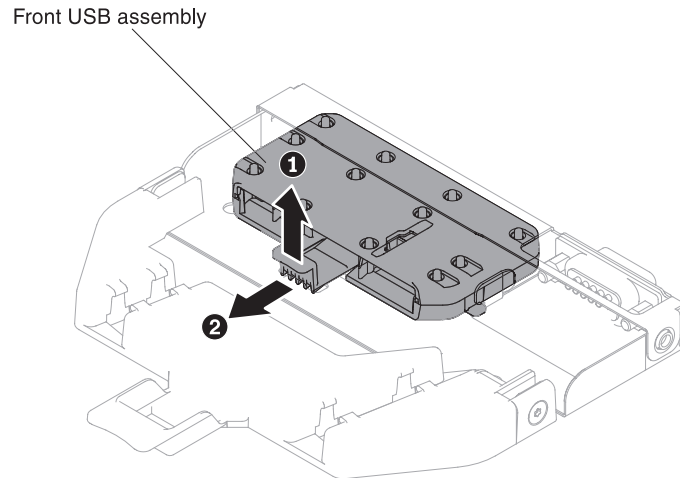


図 155. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面 USB コネクター・アセンブリの取り外し

5. 前面 USB コネクター・アセンブリの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

前面 USB コネクター・アセンブリの交換

前面 USB コネクター・アセンブリを再取り付けするには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面 USB コネクター・アセンブリを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 前面 USB コネクター・アセンブリをメディア・ケージに挿入します。

注: ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

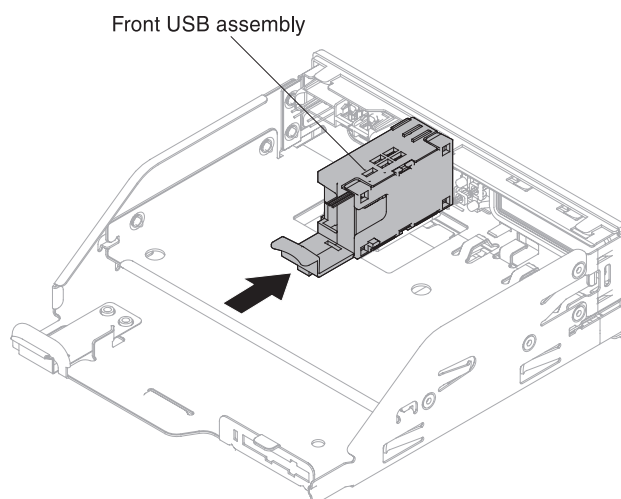


図 156. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

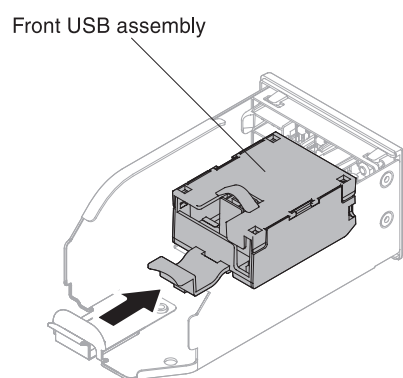


図 157. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成における前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け

4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

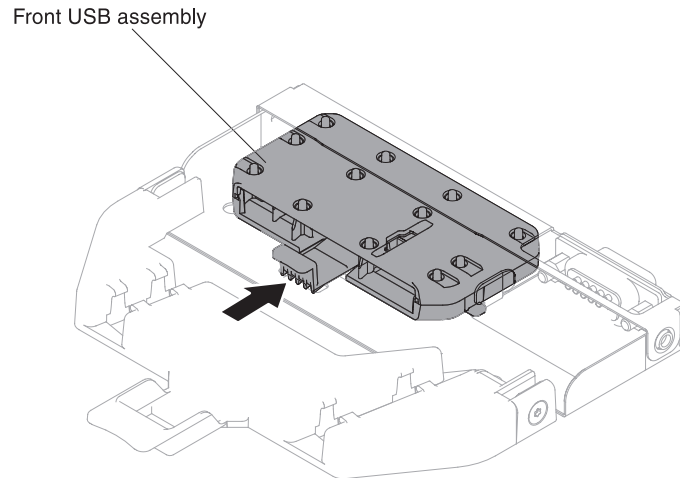


図 158. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面 USB コネクター・アセンブリーの取り付け

3. メディア・ケージを慎重に押してシャーシに戻します (267 ページの『メディア・ケージの再取り付け』を参照)。システム・ボードから取り外したケーブルの再接続を忘れずに行ってください。
4. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーの取り外し

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面ビデオ・コネクター・アセンブリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. メディア・ケージを取り外します (264 ページの『メディア・ケージの取り外し』を参照)。
5. 前面ビデオ・コネクター・アセンブリーをメディア・ケージに固定しているねじを緩め、アセンブリーをメディア・ケージから取り外します。

注: ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

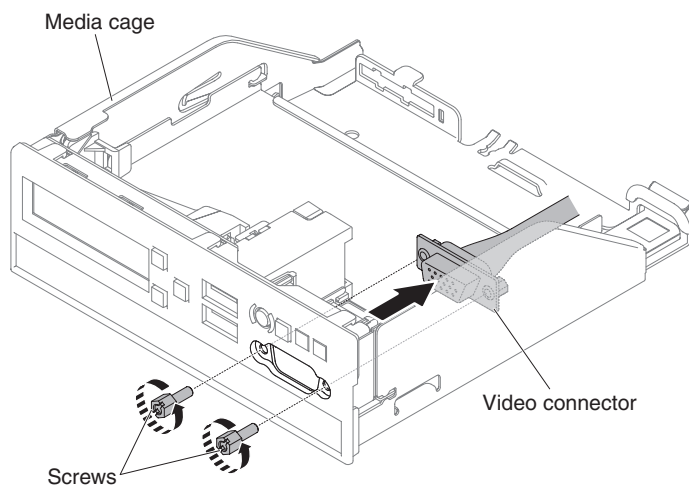


図 159. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面ビデオ・コネクタ・アセンブリの取り外し

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

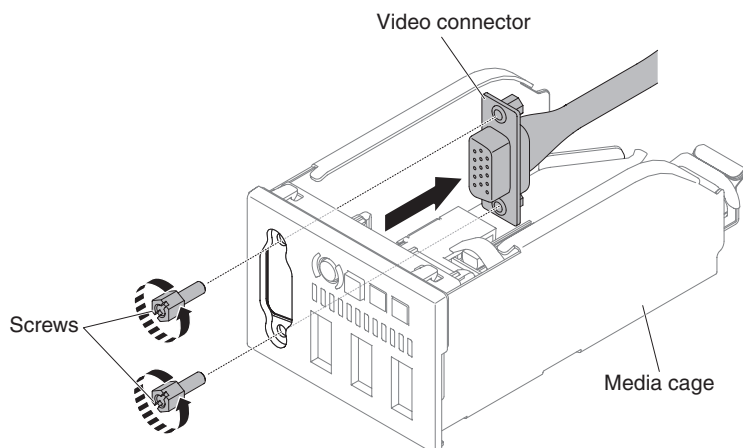


図 160. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成における前面ビデオ・コネクタ・アセンブリの取り外し

4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

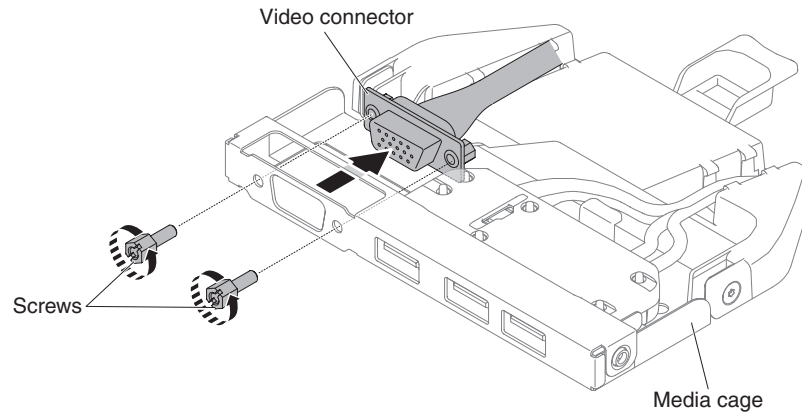


図 161. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーの取り外し

6. 前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーの交換

前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. メディア・ケージの内側から、前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーをケージの穴に挿入します。そして、アセンブリーをケージに固定するねじを取り付けます。

注: ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

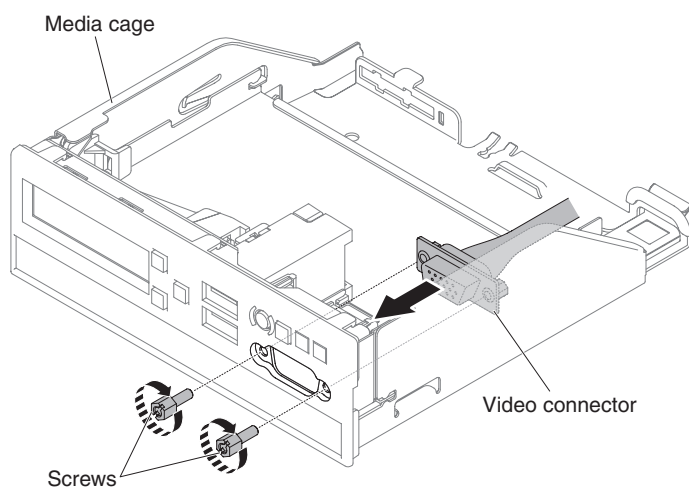


図 162. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーの取り付け

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

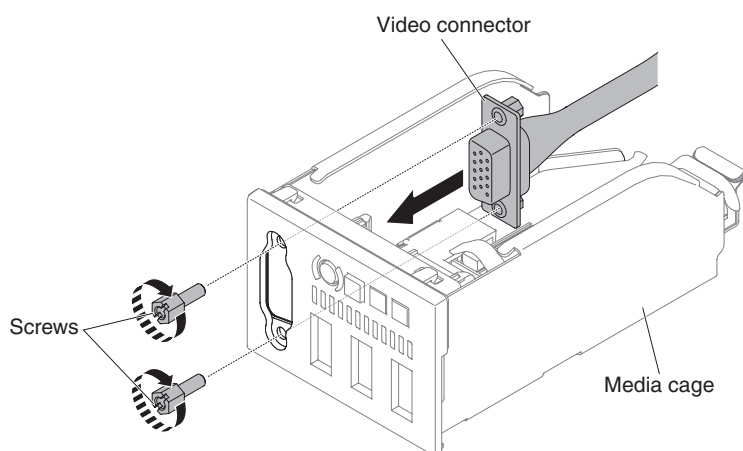


図 163. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成における前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーの取り付け

4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

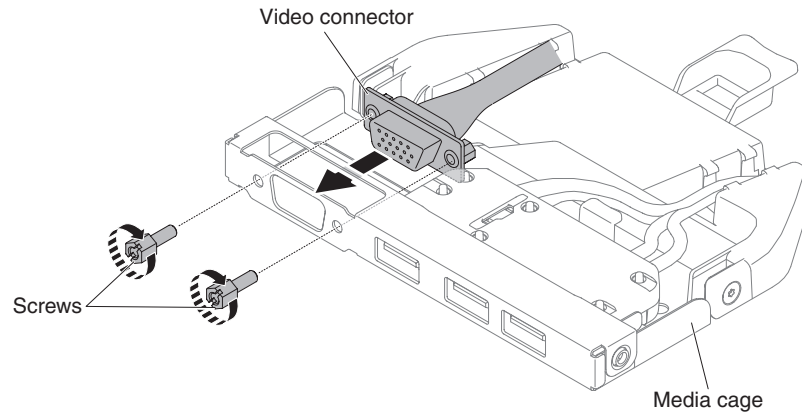


図 164. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成における前面ビデオ・コネクタ・アセンブリーの取り付け

3. メディア・ケージを慎重に押してシャーシに戻します (267 ページの『メディア・ケージの再取り付け』を参照)。システム・ボードから取り外したケーブルの再接続を忘れずに行ってください。
4. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
5. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、次のステップに従ってください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにして、すべての電源コードを切り離してから、カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクおよび 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成の場合は、メディア・ケージを取り外します (264 ページの『メディア・ケージの取り外し』を参照)。4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成の場合は、オペレーター情報パネル・アセンブリー・ケーブルをシステム・ボードから切り離し、アセンブリーをシャーシから取り外します。これに該当するサーバー・モデルを使用している場合は、次の図を参照してください。

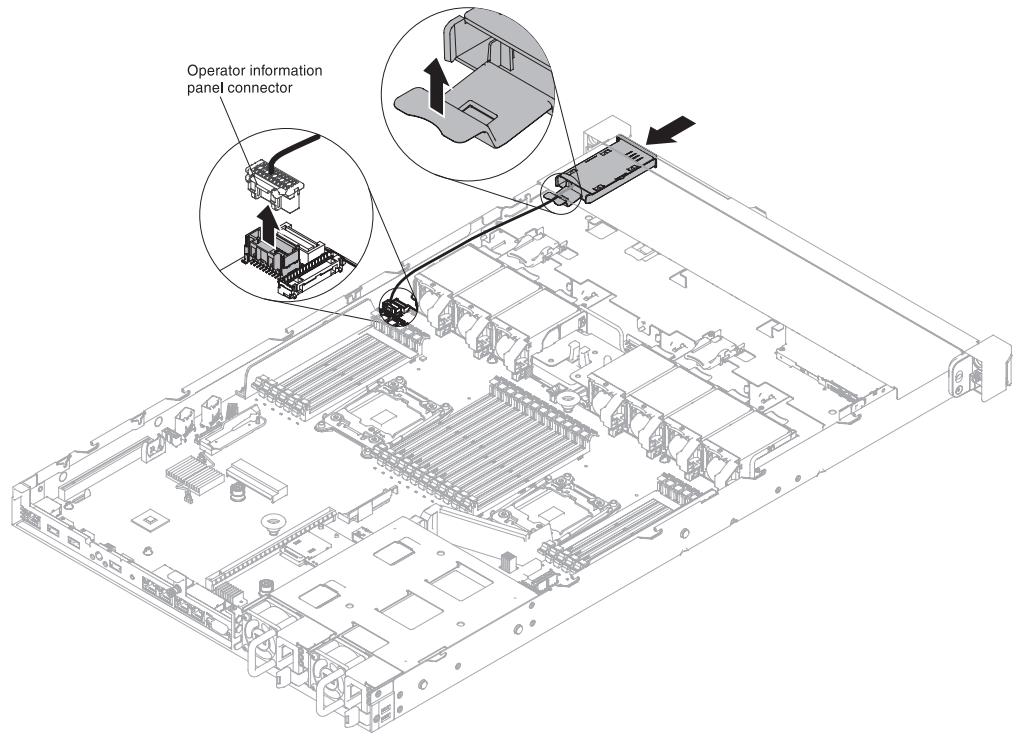


図 165. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

4. オペレーター情報パネル・アセンブリーの背面からケーブルを切り離します。このステップはすべてのタイプのサーバー構成に適用されます。
5. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクおよび 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成の場合は、オペレーター情報パネル・アセンブリーをメディア・ページから取り外します。

注: ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

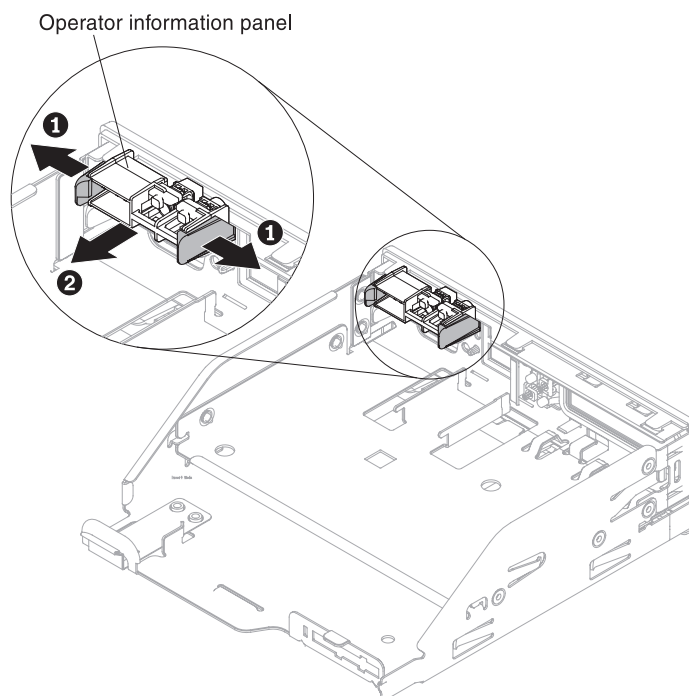


図 166. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージからのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

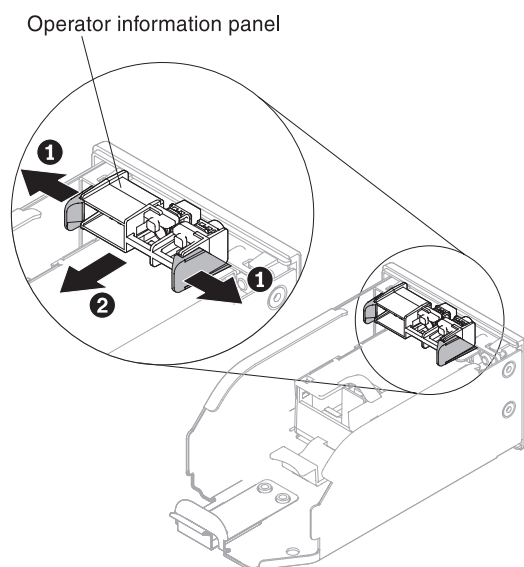


図 167. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージからのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

6. オペレーター情報パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの交換

オペレーター情報パネル・アセンブリーを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクおよび 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成の場合は、オペレーター情報パネル・アセンブリーをメディア・ケージに取り付けます。4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成の場合は、ステップ 4 に進みます。

注: ご使用の特定のサーバー構成に該当する図を参照してください。

8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成:

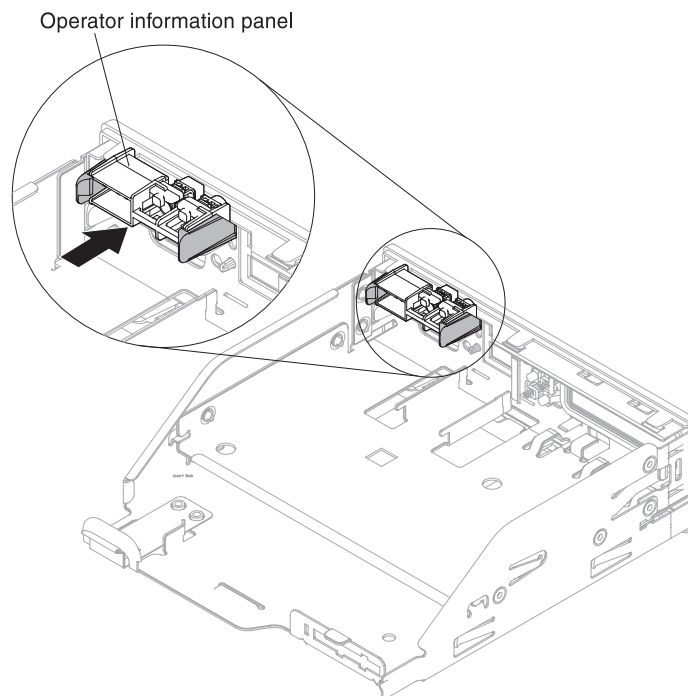


図 168. 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージへのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成:

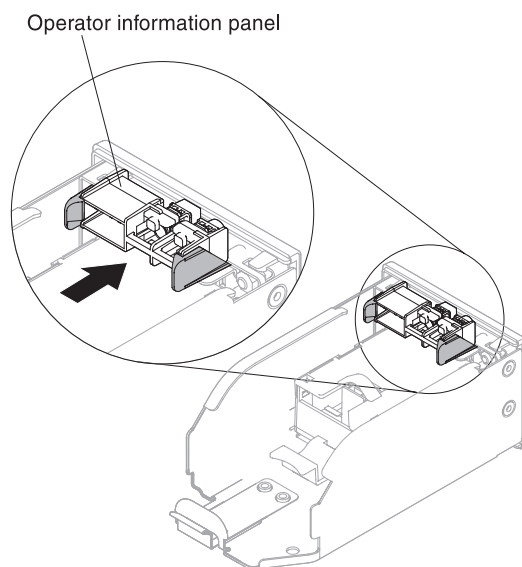


図 169. 10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるメディア・ケージへのオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

3. メディア・ケージを慎重に押してシャーシに戻します (267 ページの『メディア・ケージの再取り付け』を参照)。システム・ボードから取り外したケーブルの再接続を忘れずに行ってください。
4. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成の場合は、オペレーター情報パネルをサーバー内からシャーシにスライドさせ、オペレーター情報パネル・アセンブリーのケーブルをシステム・ボードに再接続します。

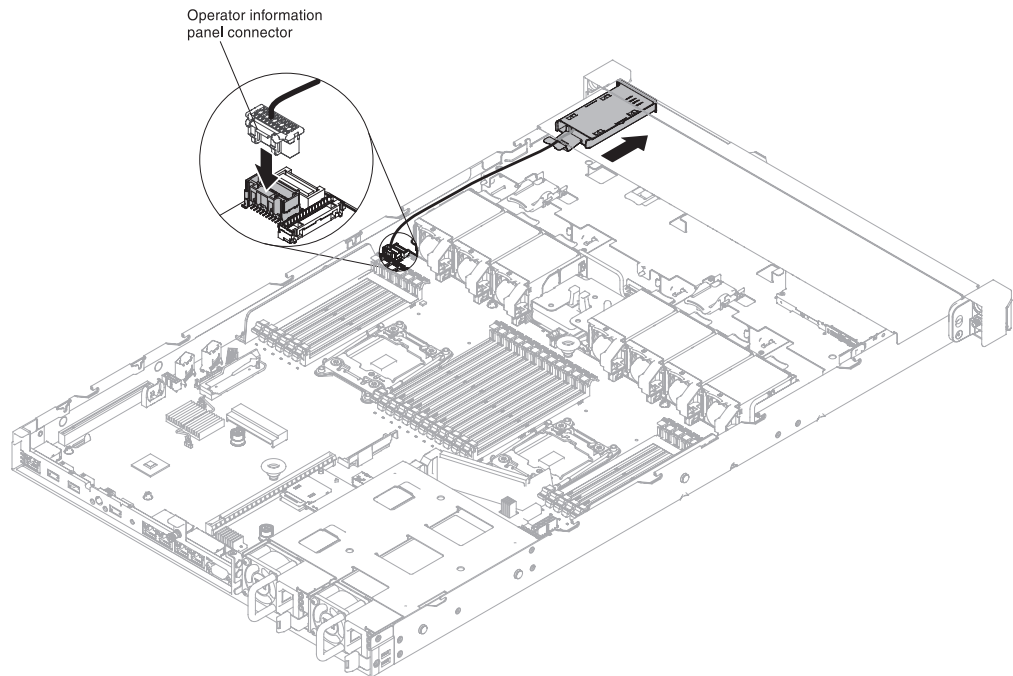


図 170. 4 個の 3.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスクまたはシンプル・スワップ・ハード・ディスクのサーバー構成におけるオペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

5. オペレーター情報パネル・アセンブリーのケーブルをオペレーター情報パネル・アセンブリーに再接続します。このステップはすべてのタイプのサーバー構成に適用されます。
6. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

LCD システム情報表示パネルの取り外し

LCD システム情報表示パネルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

LCD システム情報表示パネルを取り外すには、次の手順を実行します。

注: LCD システム情報表示パネルは、10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成でのみ使用可能です。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

4. メディア・ケージを取り外します (264 ページの『メディア・ケージの取り外し』を参照)。
5. LCD システム情報表示パネルの背面からケーブルを取り外します。
6. **1** LCD 保持ブラケットのタブを左側に引っ張って保持ブラケットを取り外します。**2** 保持ブラケットを回転させてサーバーから取り外します。

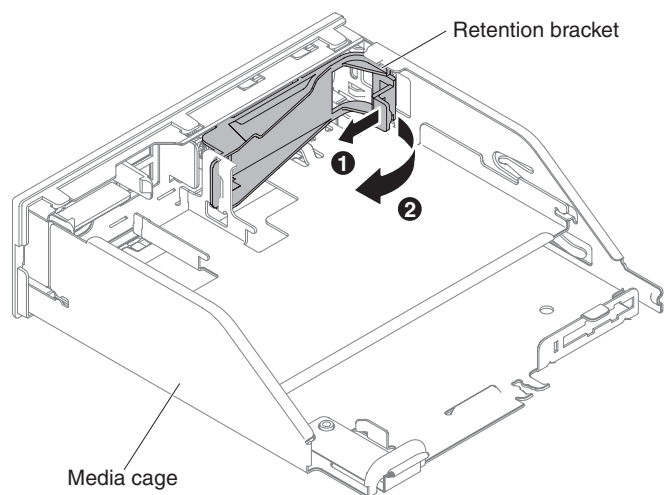


図 171. 保持ブラケットの取り外し

7. LCD システム情報表示パネルを LCD パネル・アセンブリーから慎重に取り外します。

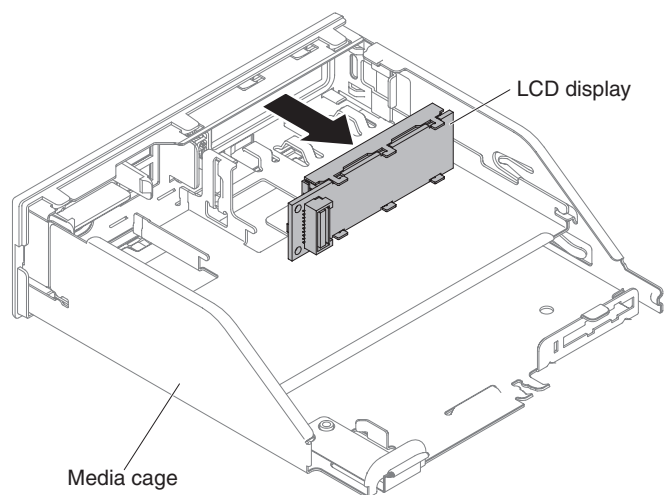


図 172. LCD システム情報表示パネルの取り外し

8. LCD システム情報表示パネルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

LCD システム情報表示パネルの交換

LCD システム情報表示パネルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

LCD システム情報表示パネルを取り付けるには、次の手順を実行します。

注: LCD システム情報表示パネルは、10 個の 2.5 型ホット・スワップ・ハード・ディスク・サーバー構成でのみ使用可能です。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. **1** LCD 保持ブラケットのタブを左側に引っ張って保持ブラケットを取り外します。 **2** 保持ブラケットを回転させてサーバーから取り外します。

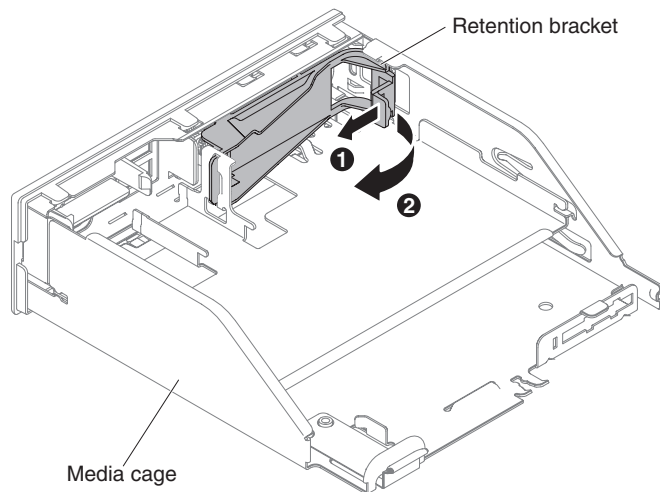


図 173. 保持ブラケットの取り外し

4. メディア・ケージの内側から、LCD システム情報表示パネルを所定の位置に収まるまで慎重に挿入します。

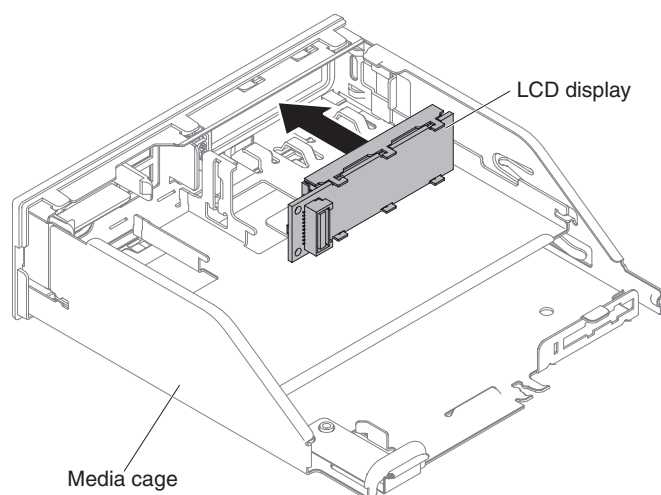


図 174. LCD システム情報表示パネルの取り付け

5. 保持ブラケットのタブを LCD パネル・アセンブリーのスロットに慎重に挿入し、カチッと音を立てて所定の位置に収まるまで左回りに回転させます。

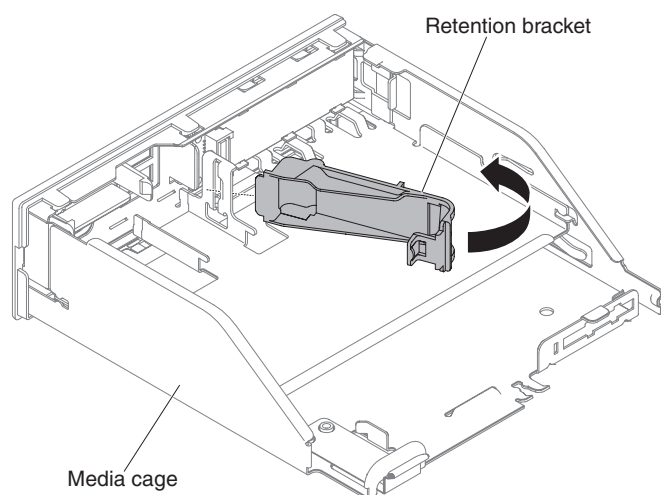


図 175. 保持ブラケットの取り付け

6. LCD システム情報表示パネルのケーブルを LCD システム情報表示パネルの背面に接続します。
7. メディア・ケージを慎重に押してシャーシに戻します (267 ページの『メディア・ケージの再取り付け』を参照)。システム・ボードから取り外したケーブルの再接続を忘れずに行ってください。
8. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

COM ポート・ブラケットの取り外し

COM ポート・ブラケットを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

COM ポート・ブラケットを取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. COM ポート・ブラケット・ケーブルを、システム・ボードから取り外します。

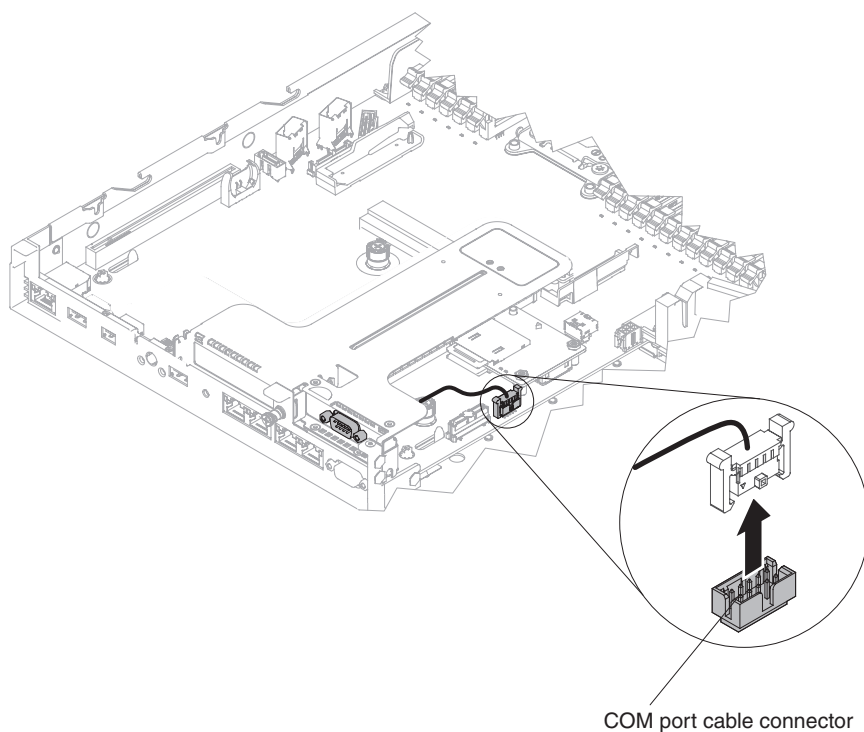


図 176. COM ポート・ブラケット・ケーブルのシステム・ボードからの取り外し

5. ねじを緩めて、COM ポート・ブラケット・コネクタを PCIe ライザー 2 アセンブリーの開口部から取り外します。

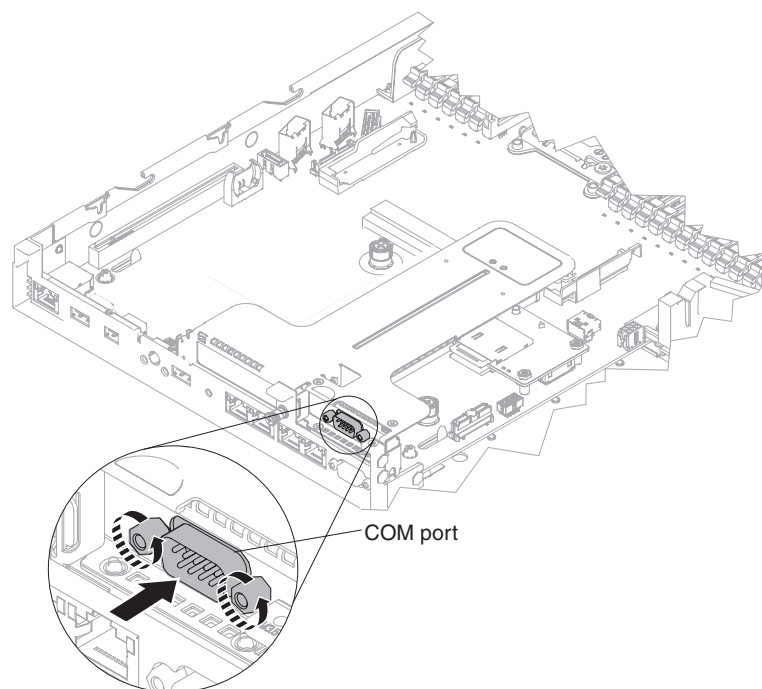


図 177. PCIe ライザー 2 アセンブリーへの COM ポート・ブラケット・コネクタの挿入

注: 場合によっては、最初に PCIe ライザー 2 アセンブリーをシステム・ボードから少し取り外すと COM ポート・ブラケットが取り外しやすくなることがあります。

6. COM ポート・ブラケットの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

COM ポート・ブラケットの交換

COM ポート・ブラケットを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

COM ポート・ブラケットを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. 必要に応じて、システム・ボードから PCIe ライザー 2 アセンブリーを取り外します (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
4. 拡張スロット・カバーが PCIe ライザー 2 アセンブリーにある場合は、取り外します。次に、COM ポート拡張スロット・カバーをそのアセンブリーに取り付けます。

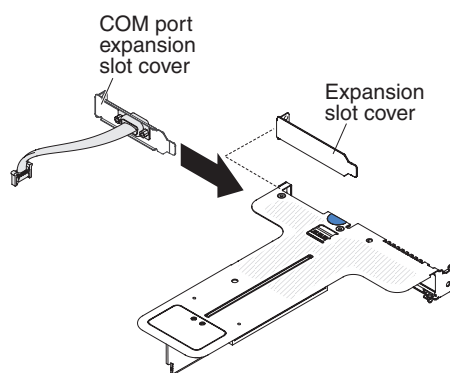


図 178. COM ポート拡張スロット・カバーの取り付け

5. PCIe ライザー 2 アセンブリーをシステム・ボードに挿入します (199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
6. COM ポート・ブラケット・コネクタを、サーバーの内部から PCIe ライザー 2 アセンブリーの開口部に挿入します。次に、ねじを締めます。

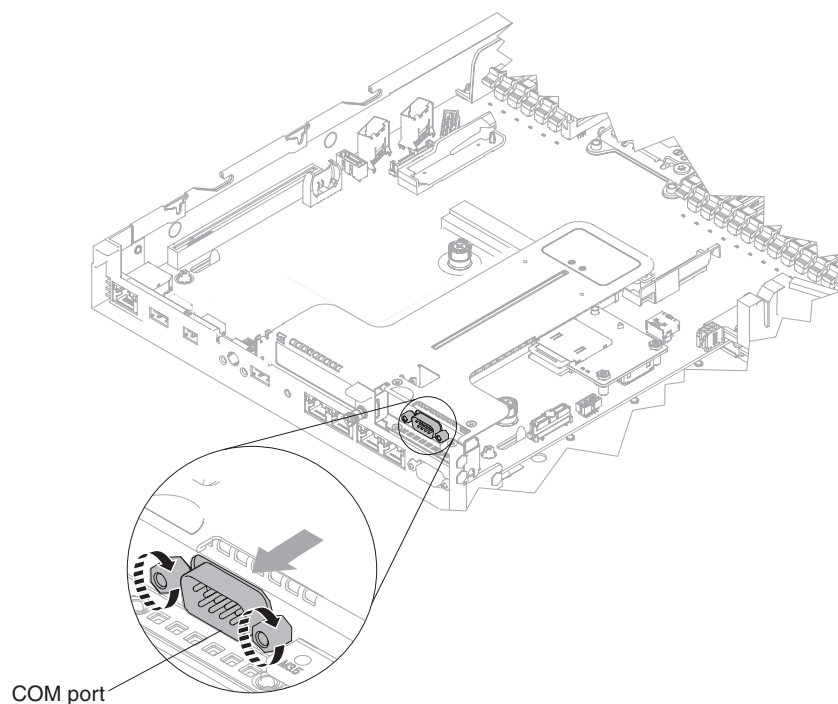


図 179. PCIe ライザー 2 アセンブリーへの COM ポート・ブラケット・コネクタの挿入

7. COM ポート・ブラケット・ケーブルを、システム・ボードに接続します。

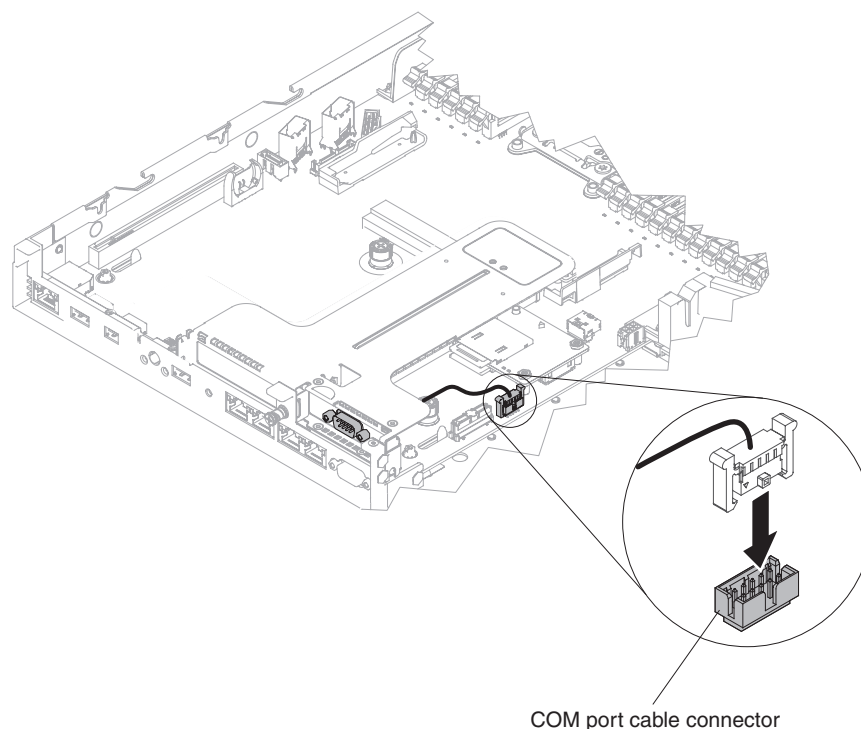


図 180. COM ポート・ブラケットのケーブル配線

8. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

セキュリティ・ベゼルの取り外し

セキュリティ・ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: セキュリティ・ベゼルは、セキュリティ強化を目的として、アクセスを制限するために取り付けます。

セキュリティ・ベゼルを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 必要に応じてサーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを外します。
3. セキュリティ・ベゼルのロックを解除して開放位置にするには、鍵を使用します。

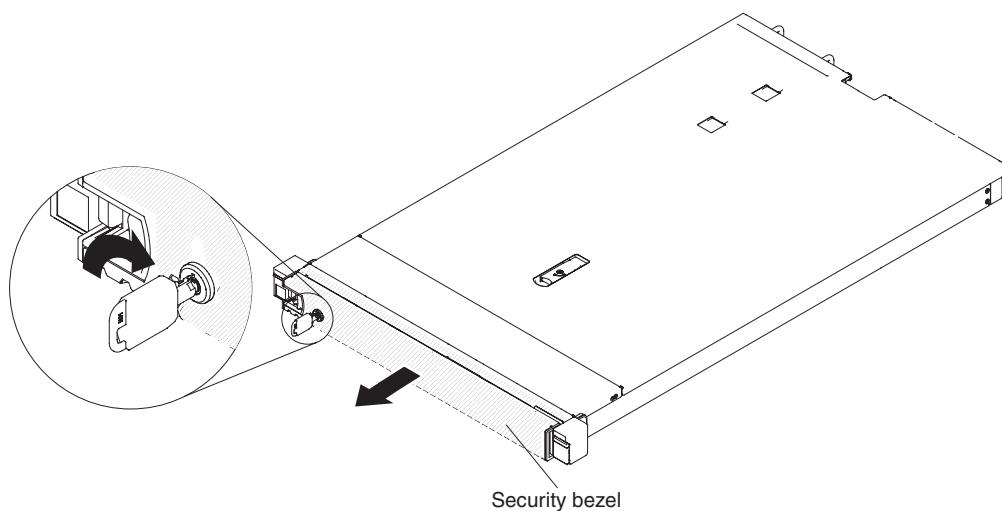


図 181. セキュリティー・ベゼルのロック解除

4. リリース・ラッチを押して、セキュリティー・ベゼルを回転させてシャーシから外します。

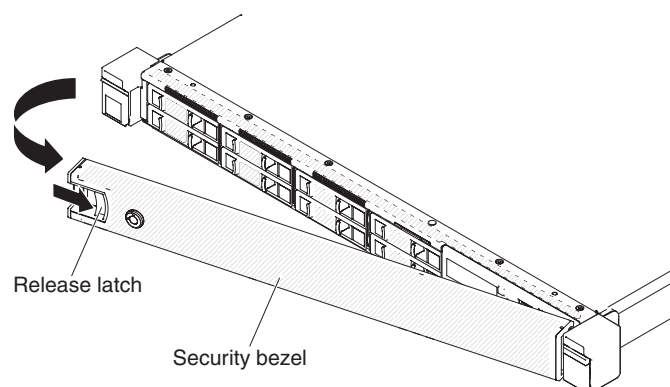


図 182. セキュリティー・ベゼルの取り外し

5. セキュリティー・ベゼルの返却を求められた場合は、すべてのパッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

セキュリティー・ベゼルの交換

セキュリティー・ベゼルを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

注: セキュリティー・ベゼルは、セキュリティー強化を目的として、アクセスを制限するために取り付けます。

セキュリティー・ベゼルを交換するには、以下の手順を実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 必要に応じてサーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを外します。
3. セキュリティー・ベゼルの 2 つのタブを、シャーシ右サイドのスロットに慎重に挿入します。
4. リリース・ラッチを押し、セキュリティー・ベゼルの反対のサイドがシャーシの所定の位置にカチッと音を立てて収まるまで、セキュリティー・ベゼルを回転させます。

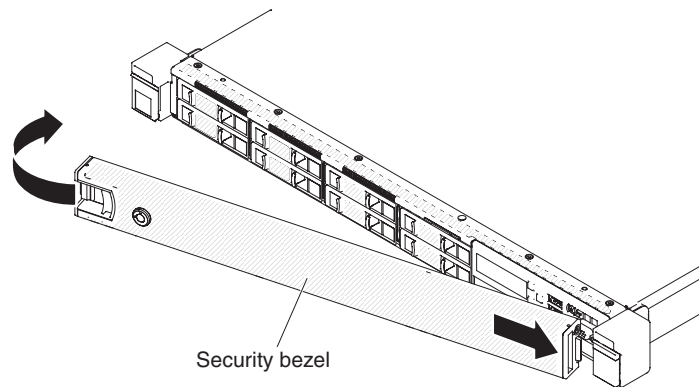


図 183. セキュリティー・ベゼルの取り付け

5. セキュリティー・ベゼルのロックして閉位置にするには、鍵を使用します。

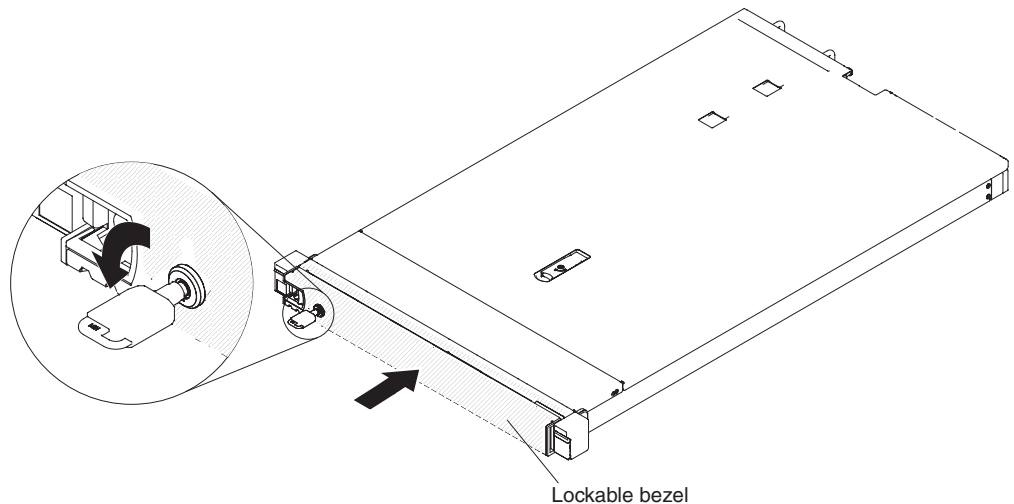


図 184. セキュリティー・ベゼルのロック

6. 前もって取り外した場合は電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo に取り付けを依頼することもできます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

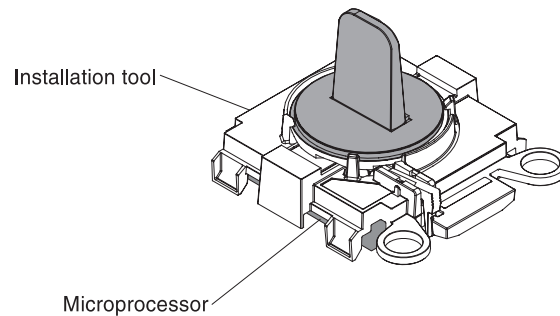
- マイクロプロセッサの取り外しは、トレーニングを受けた技術員のみが行うものとします。

重要: マイクロプロセッサを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサ・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサ・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサ接点またはマイクロプロセッサ・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサ・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサ・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサ・ソケットの接点の損傷を防いでください。
- マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。このツールには、2 つの異なるサイズ

のマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する『L』と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する『H』です。



Microprocessor Installation Tool

図 185. マイクロプロセッサ取り付けツール

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 取り外すマイクロプロセッサを見つけます (30 ページの『システム・ボードの内部コネクター』を参照)。
6. ヒートシンクを取り外します。

重要: ヒートシンクの下部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。マイクロプロセッサあるいはヒートシンクの熱伝導材が汚れた場合は、アルコール・ワイプを使用して、マイクロプロセッサまたはヒートシンク上の汚れた熱伝導材を拭き取り、きれいな熱伝導グリースを再度ヒートシンクに塗布してください。

- a. ドライバーを使用してヒートシンクの片側の拘束ねじを緩め、マイクロプロセッサのシールを破ります。
- b. ヒートシンク上のすべての拘束ねじを、それぞれのねじがゆるむまで完全に 1 回転させて緩めます。
- c. ヒートシンクをマイクロプロセッサからゆっくり持ち上げます。取り外したヒートシンクを (熱伝導グリース側を上にして) 清潔で平らな面に置きます。

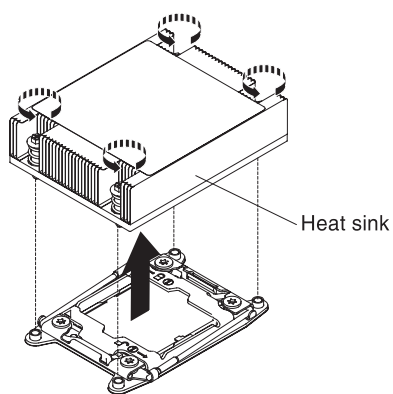


図 186. ヒートシンクの取り外し

7. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

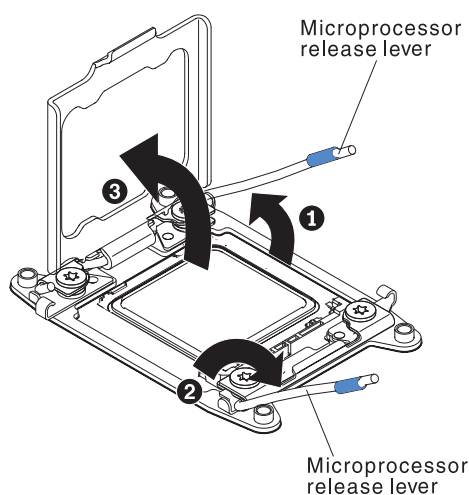


図 187. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の開放

- a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
- b. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
- c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

重要: マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

8. マイクロプロセッサをソケットから取り外します。
 - a. 空の取り付けツールを選択し、ハンドルが開いた位置にあることを確認します。取り付けツールのハンドルが開いた位置になっていない場合は、ご使用の取り付けツールに対して以下の手順を実行してください。
 - ・取り付けツールを使用している場合は、**1** インターロック・ラッチを持ち上げたまま、**2** マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを左回りに開放位置まで回転させてから、インターロック・ラッチを放しま

す。以下の取り付けツールの図は、マイクロプロセッサのロード前のインターロック・ラッチの位置とハンドルの左回りの回転を示しています。

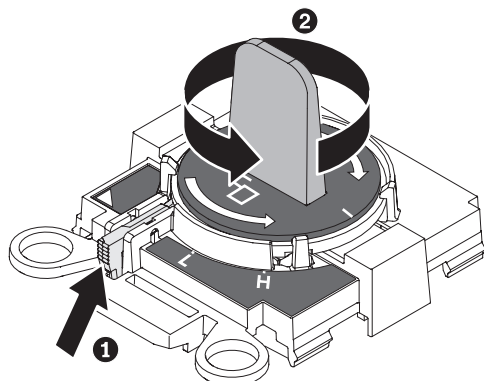


図 188. 取り付けツール・ハンドルの調整

- b. 取り付けツールをねじと位置合わせし、次の図に示すように、取り付けツールをマイクロプロセッサの上に下ろします。取り付けツールは、正しく位置合わせされた場合にのみ、ソケット上に平坦に載ります。

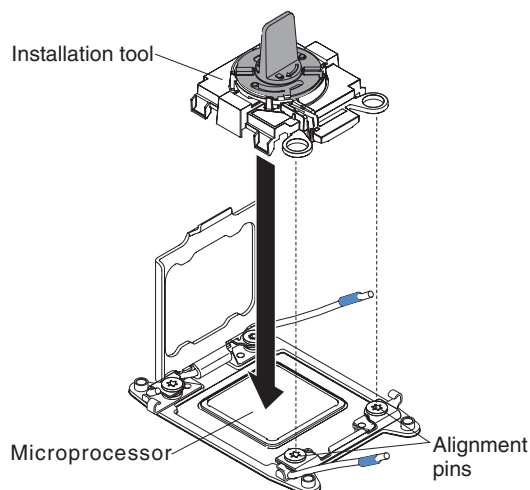


図 189. 取り付けツールの位置合わせ

- c. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサを取り外します。
- 取り付けツールを使用している場合には、取り付けツールのハンドルをゆっくり右回りに回転させ、マイクロプロセッサのサイズに応じて『H』または『L』の位置にロックさせます。その後、マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから抜きます。

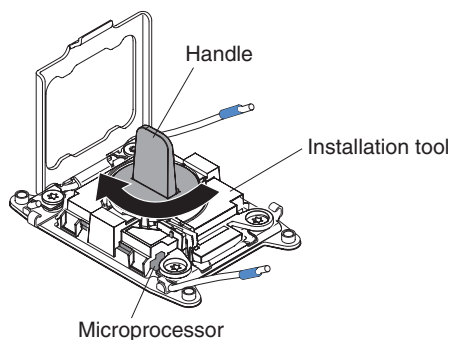


図 190. 取り付けツール・ハンドルの調整

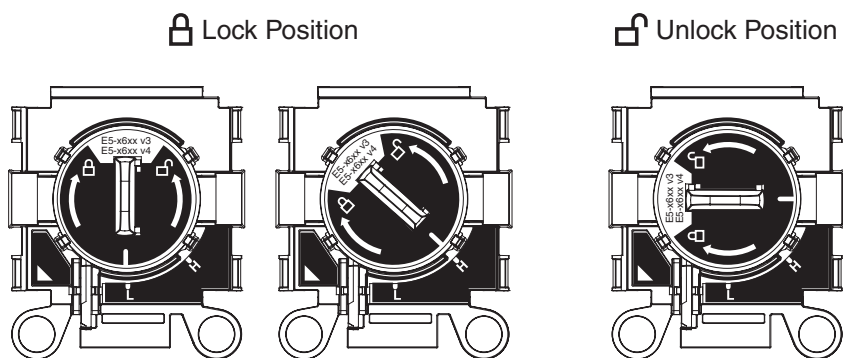


図 191. 取り付けツール

- d. マイクロプロセッサーを持ち上げてソケットから取り外します。

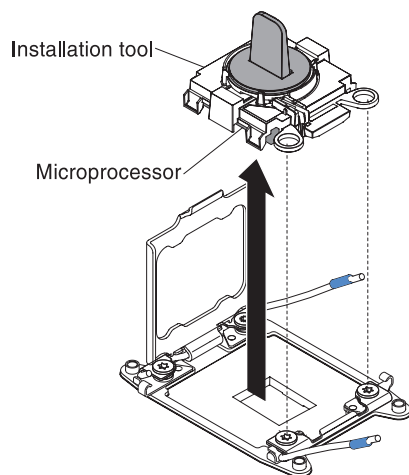


図 192. 取り付けツールの取り外し

9. 新しいマイクロプロセッサーを取り付けます（297 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの交換』を参照）。
重要: マイクロプロセッサーを交換する場合は、新規のマイクロプロセッサーに付属の空の取り付けツールを使用してマイクロプロセッサーを取り外します。

10. マイクロプロセッサをソケットに取り付けない場合は、ステップ 7 (302 ページ) で取り外したソケット・カバーをマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。

重要: ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になります。

タスクの結果

マイクロプロセッサの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの交換

以下の注記には、このサーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプと、マイクロプロセッサとヒートシンクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

このタスクについて

- マイクロプロセッサの取り付けは、必ずトレーニングを受けた技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り付ける場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

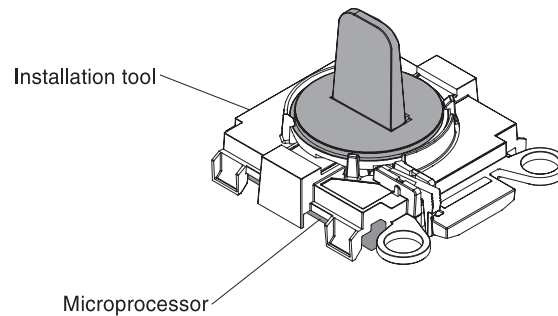
- マイクロプロセッサ・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。マイクロプロセッサ・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサ接点またはマイクロプロセッサ・ソケット接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが汚れるおそれがあります。
- マイクロプロセッサ・ソケットのロック・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、システム・ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。
- マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属の取り付けツールを使用してください。他のツールは使用しないでください。
- 複数のマイクロプロセッサを取り付ける場合には、1 回に 1 個のマイクロプロセッサ・ソケットを開くようにして、他のマイクロプロセッサ・ソケットの接点の損傷を防いでください。

- サーバーは最大 2 個のマルチコア・マイクロプロセッサをサポートします。サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> を参照してください。
- 最初のマイクロプロセッサは、必ず、システム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- 1 つのマイクロプロセッサが取り付けられている場合、適切なシステム冷却を確保するためにエアー・バッフルを取り付ける必要があります。
- 2 つ目のマイクロプロセッサを取り付ける際、最初のマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外さないでください。
- 2 つ目のマイクロプロセッサを取り付ける場合、追加のメモリー、および 6 つ目と 8 つ目のファンも取り付ける必要があります。取り付け順序の詳細は、186 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 同じサーバー内で異なるコアのマイクロプロセッサを混用しないでください。
- 追加のマイクロプロセッサを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサの混用はサポートされています。
- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサを混用する場合、マイクロプロセッサ・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサを取り付ける必要はありません。
- 両方のマイクロプロセッサ電圧調節モジュールがシステム・ボードに組み込まれています。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読んで、サーバー・ファームウェアの更新が必要かどうかを判断してください。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサ速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサ周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー (例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール) をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、305 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

注: マイクロプロセッサからヒートシンクを取り外すと、熱伝導グリースの分散が均一でなくなるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

- オプションの追加マイクロプロセッサを注文するには、Lenovo 営業担当員または Lenovo 販売店にお問い合わせください。
- マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまで、ツールを使用したり、カバーを取り外したりしないでください。

注: 必ず、ご使用のマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーに付属している取り付けツールを使用してください。このツールには、2 つの異なるサイズのマイクロプロセッサを取り付けるための 2 つの設定があります。ツールにマークされた設定は、小さい方のロー・コア・マイクロプロセッサで使用する『L』と、大きい方のハイ・コア・マイクロプロセッサで使用する『H』です。



Microprocessor Installation Tool

図 193. マイクロプロセッサ取り付けツール

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを交換するには、以下の手順を実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』と 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱い方法については、143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

3. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を開きます。

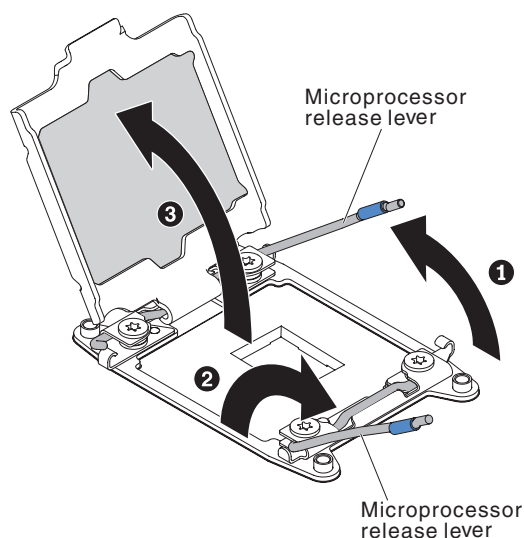


図 194. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の開放

- a. どのリリース・レバーが最初に開くリリース・レバーとしてラベル付けされているかを識別してから、そのリリース・レバーを開きます。
 - b. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを開きます。
 - c. マイクロプロセッサ保持器具を開きます。
重要: マイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ・ソケット上のコネクタには触らないでください。
6. マイクロプロセッサ・ソケットにマイクロプロセッサを取り付けます。
- a. 新しいマイクロプロセッサ取り付けツール・アセンブリーが入っているパッケージを開き、取り付けツール・アセンブリーをパッケージから慎重に取り出します。マイクロプロセッサは、取り付けツールに事前に取り付けられています。

注: マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

- b. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットに位置合わせします。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。

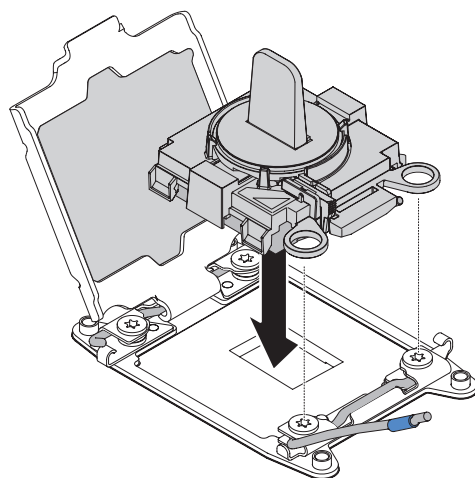


図 195. 取り付けツールの位置合わせ

- c. ご使用の取り付けツールに対応する以下の手順を用い、マイクロプロセッサを取り付けます。
 - 取り付けツールを使用している場合には、取り付けツール・アセンブリーのハンドルを左回りに、マイクロプロセッサがソケットに挿入されるまで回転させます。その後、取り付けツールを持ち上げてソケットから抜きます。

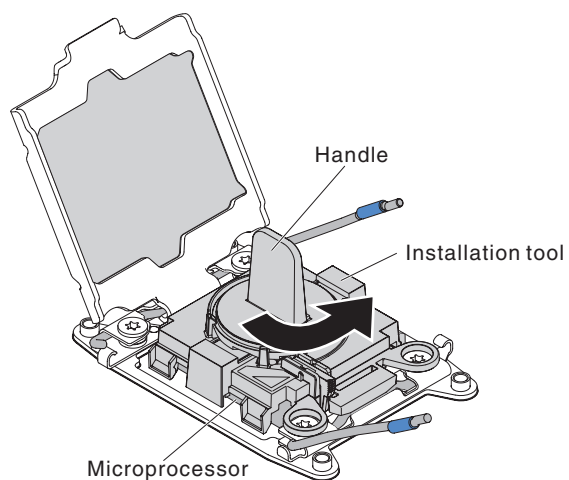


図 196. 取り付けツール・ハンドルの調整

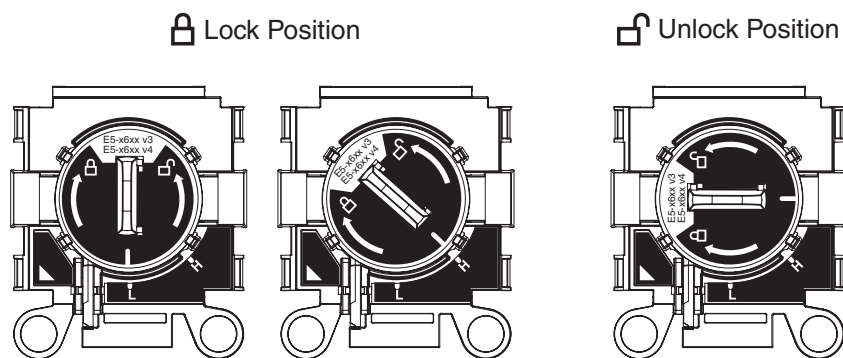


図 197. 取り付けツール

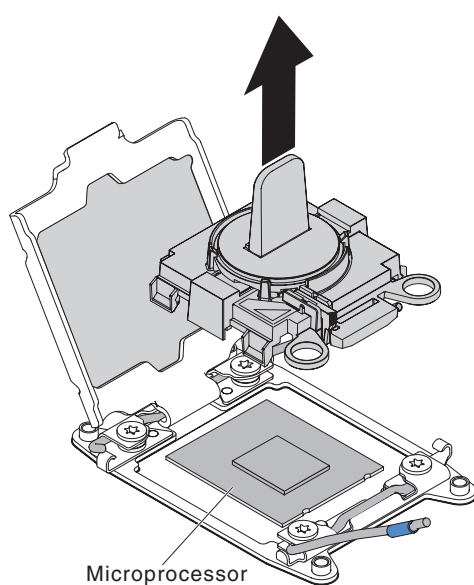


図 198. 取り付けツールの取り外し

重要:

- マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。
 - マイクロプロセッサ保持器具を閉じる前に、ソケット内のマイクロプロセッサの向きと位置が正しいことを確認してください。
 - ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサの上部にある熱伝導材に触れないでください。熱伝導材に触れると、熱伝導材が汚染されます。
7. マイクロプロセッサ・ソケットの表面にマイクロプロセッサ・カバー、テープ、あるいはラベルが付いている場合は、それらを取り外します。カバーを安全な場所に保管します。

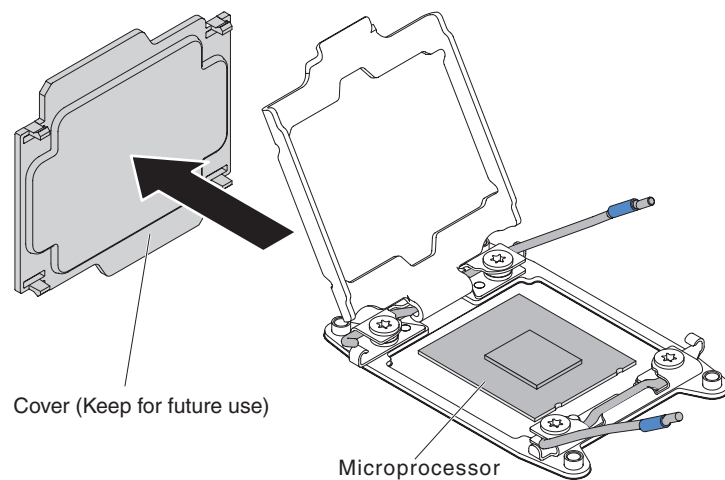


図 199. ソケット・カバーの取り外し

重要: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱い方法については、143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

8. 次のように、マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよび保持器具を閉じます。

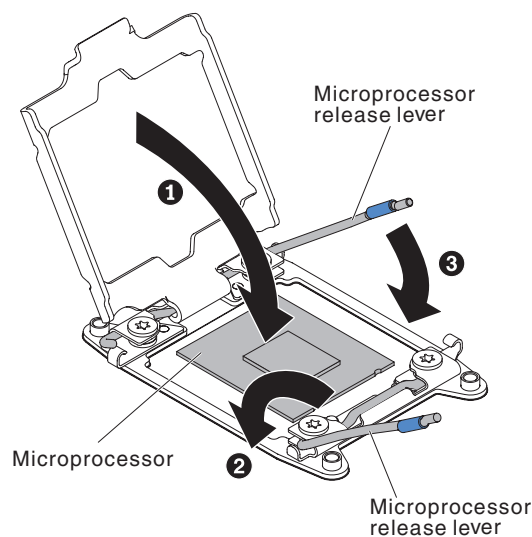


図 200. マイクロプロセッサ・ソケット・レバーと保持器具の閉じ方

- a. マイクロプロセッサ・ソケット上のマイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
 - b. どちらのリリース・レバーが最初に閉じるリリース・レバーとしてラベルが付けられているかを確認し、そのリリース・レバーを閉じます。
 - c. マイクロプロセッサ・ソケットの 2 番目のリリース・レバーを閉じます。
9. ヒートシンクを取り付けます。

重要:

- プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
- プラスチック・カバーを取り外した後で、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。詳しくは、305 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

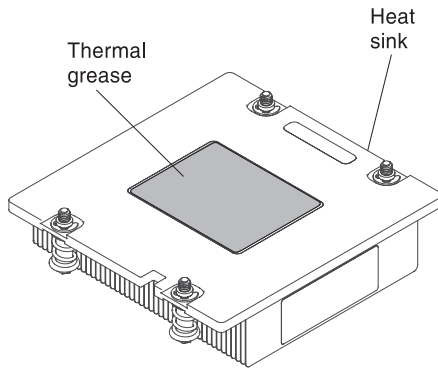


図 201. 熱伝導グリース

- a. ヒートシンクの下プラスチック保護カバーを取り除きます。
- b. マイクロプロセッサ上にヒートシンクを置きます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。

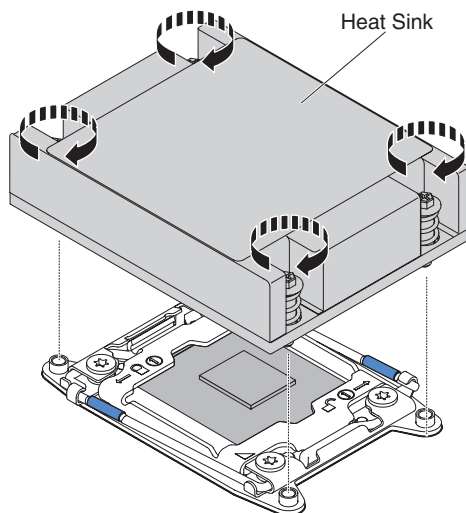


図 202. ヒートシンクの取り付け

- c. 熱伝導材側を下にして、保持ブラケット内のマイクロプロセッサ上にヒートシンクを位置合わせして置きます。
- d. ヒートシンクをしっかり押します。
- e. ヒートシンクの中央を押し下げ、拘束ねじをしっかりと押し、ヒートシンク・ラベル上に図示されている通りに 8 の字のパターンで交互に締めながら、すべてのねじをきつく締めます。交替に締めるのではなく、一方の側のねじを最初にきつく締めてしまうと、マイクロプロセッサの損傷が生じる

可能性があります。それぞれのねじを一度に 1 回転ずつ、交替で締めてください。ねじがきつく締まるまでこのプロセスを繰り返します。

10. エアー・バッフルを再び取り付けます (148 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
11. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
12. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース

マイクロプロセッサ上から取り外したヒートシンクを再使用したり、グリース内にごみを発見したときは必ず、熱伝導グリースを交換する必要があります。

このタスクについて

ヒートシンクを、取り外した元のマイクロプロセッサに再度取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

Notes:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、以下のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。
5. 熱伝導グリース用の注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に 0.02 ml の点を等間隔に 9 つ配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

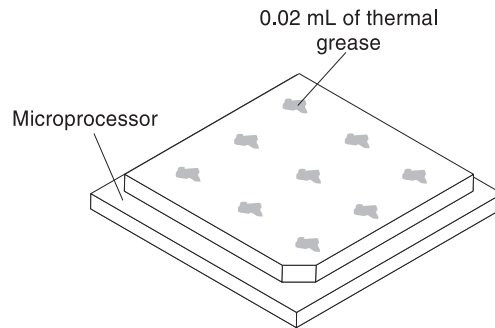


図 203. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

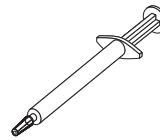


図 204. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサの上に取り付けます。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

Notes:

1. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクセットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。
2. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、それを新規システム・ボードに取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、55 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する前に、有効化した Features on Demand (FoD) キーのバックアップを必ず取ってください。すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*Features on Demand User's Guide*」に説明があります。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。

システム・ボードを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』 から始まる『安全について』、143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび接続されているすべての装置の電源をオフにします。
3. 周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。

注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

4. サーバーから外すのに必要なだけ、パワー・サプライをサーバー背面から引き出します。
5. カバーを取り外します (145 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
6. エアー・バッフルを取り外します (148 ページの『エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
7. PCI ライザー・カード・アセンブリおよびアダプターをすべて取り外します (196 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し』および 205 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
8. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します (216 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し』を参照)。
9. メモリー・モジュールを取り外し、再取り付け用に帯電防止面の上に置きます (185 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

注: DIMM を取り外すときは、各 DIMM の位置をメモしておき、後で同じコネクタに再取り付けできるようにします。

10. (トレーニングを受けた技術員のみ) すべてヒートシンクおよびマイクロプロセッサを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (292 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』を参照)。

Notes:

- a. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けてください。
 - b. 熱伝導グリースが何かに触れないように注意し、また、再取り付けの際に、それぞれのヒートシンクが必ず元のマイクロプロセッサとペアになるようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。マイクロプロセッサとその元のヒートシンクとの間にミスマッチがある場合は、新しいヒートシンクを取り付けることが必要になることがあります。
11. システム・ボードに接続されたすべてのケーブルを取り外します。ケーブルを切り離すときに各ケーブルのリストを作成してください。そうすれば、新しいシステム・ボードの取り付け時にこれをチェックリストとして使用できます。

重要: すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離す場合は、ケーブル・コネクタのすべてのラッチ、リリース・タブ、あるいはロックを解放します。ケーブルを取り外す前にそれらを解除しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

12. ホット・スワップ・ファンを取り外します (224 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の取り外し』を参照)。
13. 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合は、システム・ボード保持レバーを開きます。3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合は、青色のリリース・タブを押して、バッテリーまたは電源モジュール・ホルダーを持ち上げます。

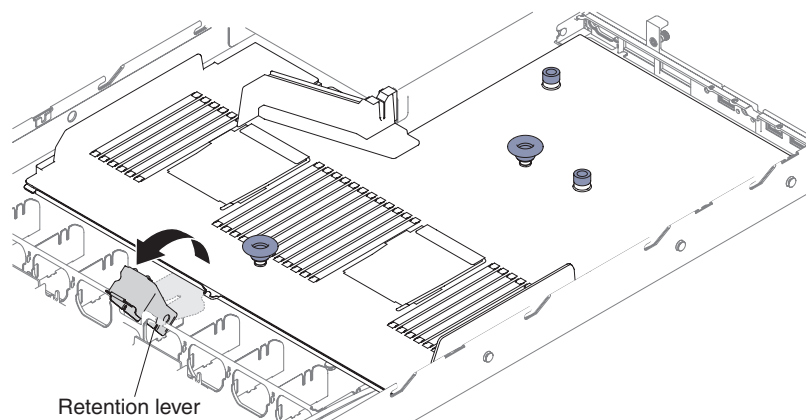


図 205. 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおける保持レバーの位置

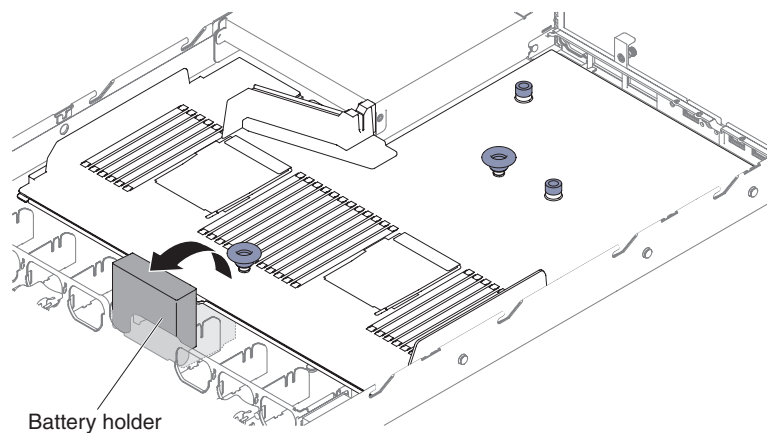


図 206. 3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおけるバッテリーまたは電源モジュール・ホルダーの位置

14. 2 つのつまみねじを緩めます (1 つは PCI スロット 1 の近く、1 つは PCI スロット 2 の近くにありますが)。

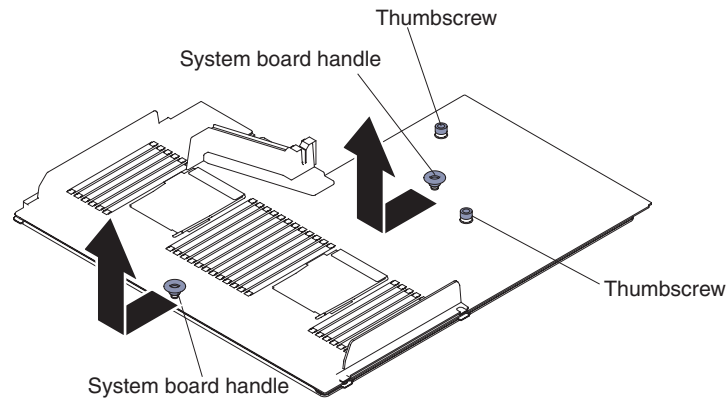


図 207. つまみねじを外す

15. システム・ボード・ハンドルをつかみ、システム・ボードをサーバー前面に向けて停止するまでスライドさせます。

注: システム・ボードがすべてのシステム・ボード支柱から外れていることを確認します。

16. システム・ボードをホット・スワップ・ファン方向に少し押して、システム・ボードのハンドルをつかみ、シャーシから慎重に持ち上げます。周囲のコンポーネントを損傷しないように慎重に行ってください。

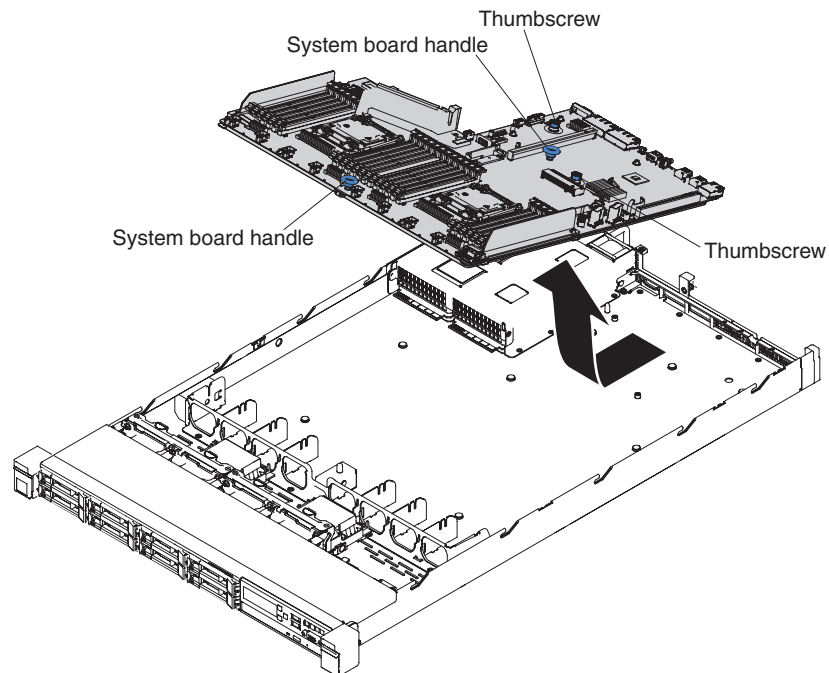


図 208. システム・ボードの取り外し

17. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外し対象の古いシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに付けます。

18. システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

重要: システム・ボードを返却する前に、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットのソケット・カバーが取り付けられていることを確認してください。

システム・ボードの交換

システム・ボードを交換するには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、ディスクまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳細については、39 ページの『ファームウェアの更新』、62 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』、および 65 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。
3. システム・ボードを交換する場合は、必ず、統合管理モジュール拡張アップグレードを取り外し、それを新規システム・ボードに取り付けてください。拡張アップグレードについて詳しくは、55 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。
4. すべての *Features on Demand* 機能を再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、「*Features on Demand User's Guide*」に説明があります。この資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「**Help**」をクリックしてください。
5. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

システム・ボードを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』 から始まる『安全について』、143 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 140 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. システム・ボード・ハンドルをつかんでシステム・ボードとシャーシとを位置合わせします。次に、システム・ボードをシャーシ内に下ろし、システム・ボードがシャーシ上のロケーター・ピンにしっかりと装着されるまで、システム・ボードをサーバー背面に向けてスライドさせます。

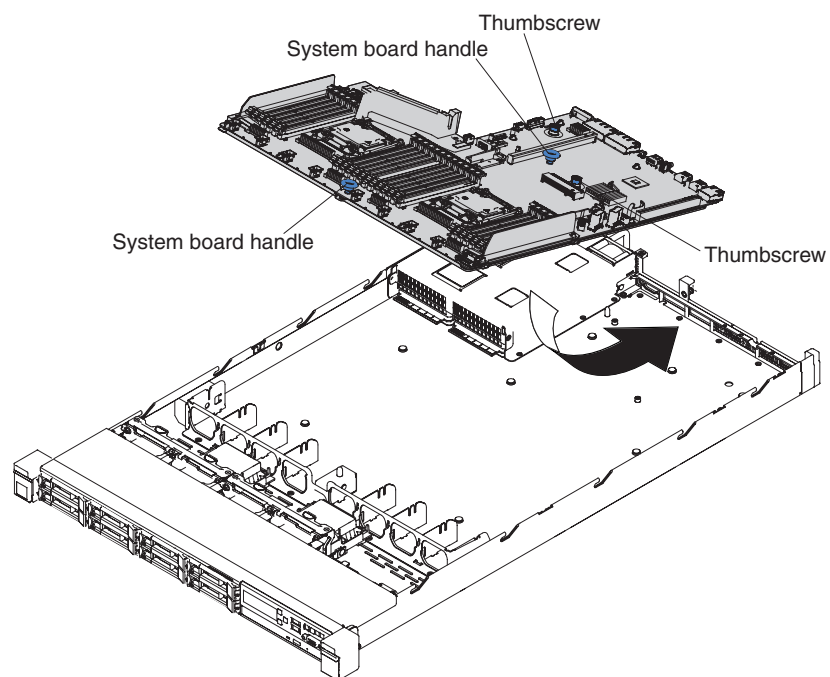


図 209. システム・ボードの取り付け

注: すべてのシステム・ボード支柱が正しくシステム・ボードにはめ込まれていることを確認します。

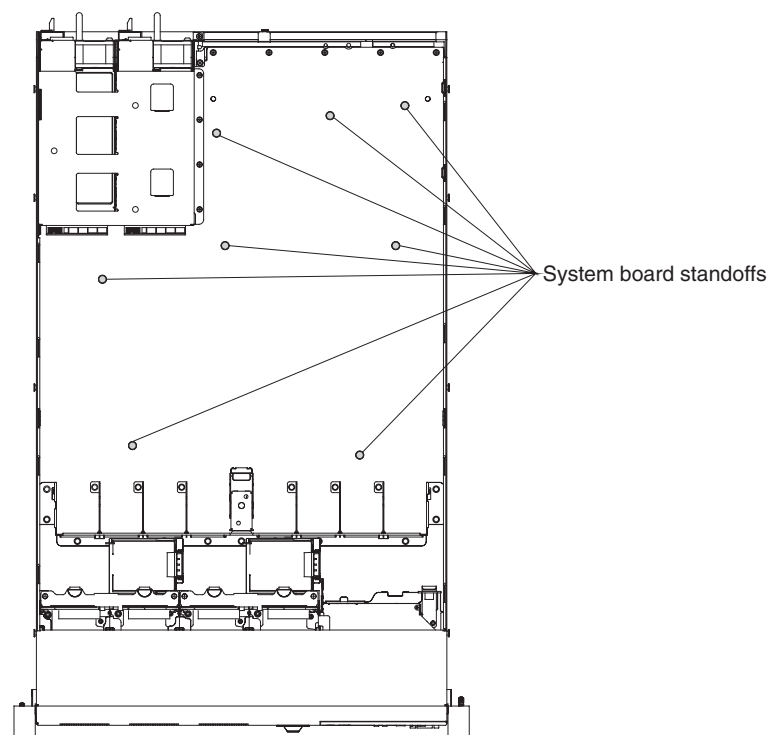


図 210. システム・ボード支柱

3. 2 つのつまみねじを締めます (1 つは PCI スロット 2 の近く、1 つはファン 4 と 5 の間にあります)。

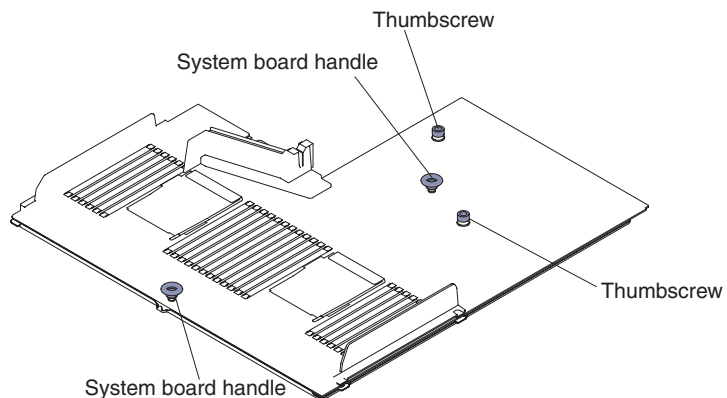


図 211. つまみねじのかみ合わせ

4. 2.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合は、システム・ボード保持レバーを閉じます。3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルの場合は、青色のリリース・タブを押して、バッテリーまたは電源モジュール・ホルダーを下げてシャーシに差し込みます。

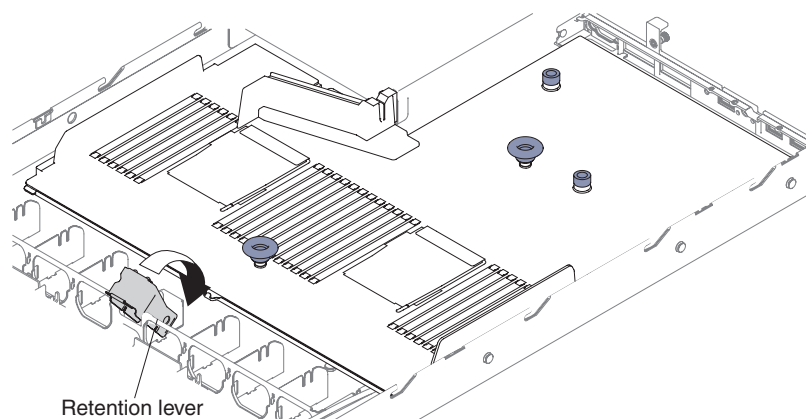


図 212. 保持レバーの位置

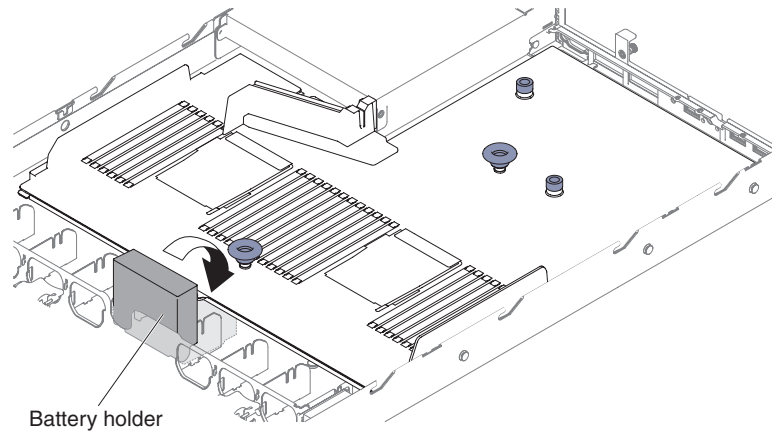


図 213. 3.5 型ハード・ディスク・サーバー・モデルにおけるバッテリーまたは電源モジュール・ホルダーの位置

5. ホット・スワップ・ファンを再び取り付けます (225 ページの『サーマル・キット (ホット・スワップ・ファン) の交換』を参照)。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けます (297 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの交換』を参照)。
7. メモリー・モジュールを再び取り付けます (186 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
8. ServeRAID SAS/SATA コントローラーを再取り付けします (217 ページの『ServeRAID SAS/SATA コントローラーの交換』を参照)。
9. 11 (307 ページ)で切り離したケーブルをシステム・ボードに再接続します。
10. PCI ライザー・カード・アセンブリーおよびアダプターが取り付けられていた場合は、それらを再び取り付けます (208 ページの『アダプターの交換』および 199 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの交換』を参照)。
11. エアー・バッフルを再び取り付けます (148 ページの『エアー・バッフルの交換』を参照)。
12. カバーを再び取り付けます (146 ページの『カバーの交換』を参照)。
13. パワー・サプライをサーバーに押し戻します。
14. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
15. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
16. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
17. Setup ユーティリティを始動して、構成をリセットします。
 - システムの日付と時刻を設定します。
 - 始動パスワードを設定します。
 - サーバーを再構成します。

詳しくは、44 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。
18. 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスクセットまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元してください。

19. UUID を更新してください (62 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
20. DMI/SMBIOS を更新してください (65 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。
21. すべての Features on Demand 機能を再アクティブ化します。

付録 A. 統合管理モジュール 2.1 (IMM2.1) エラー・メッセージ

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。システム・イベント・ログにイベント文字列が表示されている場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、この追加情報を変数で示します ([arg1]、[arg2] など)。

説明 イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 状態の懸念度が示されます。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

通知: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザーの処置または正常に動作する状態の変更です。

警告: このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。

エラー:

このイベントは、サービスや正常な機能が損なわれる障害状態または重大な状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。

severity - device

重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。

- **クリティカル:** サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。
- **警告:** イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。
- **システム:** イベントは、システム・エラーあるいは構成変更の結果です。

装置は、イベント生成の原因となったサーバー内の特定の装置です。

保守可能

問題を解決するためにユーザー処置が必要かどうかを示します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーが使用するメッセージ ID の接頭部およびシーケンス番号。

SNMP トラップ ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP トラップ ID。

自動連絡サービス

このフィールドを「**Yes**」に設定すると、Electronic Service Agent™ (ESA) が有効になり、イベント生成時には Lenovo サポートに自動的に通知されます。

Lenovo サポートからの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。

ユーザー応答

イベントを解決するためにユーザーが実行する必要がある操作です。

問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

注: このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

以下に、IMM2.1 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションをリストします。IMM2.1 について詳しくは、「*Integrated Management Module II User's Guide*」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5089484>) を参照してください。

自動的にサポートに通知する IMM イベント

特定タイプのエラーが検出された場合に自動的にサポートに通知する (コール・ホーム と呼ばれます) ように、統合管理モジュール II (IMM2) を構成することができます。この機能を構成してある場合、自動的にサポートに通知されるイベントのリストについては、表を参照してください。

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
40000086-00000000	Test Call Home Generated by user [arg1].	はい
40000087-00000000	Manual Call Home by user [arg1]: [arg2].	はい
80010202-0701ffff	Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted.	はい
80010902-0701ffff	Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.	はい
806f0021-2201ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(No Op ROM Space)	はい
806f0021-2582ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(All PCI Error)	はい

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
806f0021-2c01ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(ML2 Card Fault)	はい
806f0021-3001ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (Internal RAID)	はい
806f0021-3002ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 2)	はい
806f0021-3003ffff	Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName].(PCI 3)	はい
806f0108-0a01ffff	[PowerSupplyElementName] has Failed.(Power Supply 1)	はい
806f0108-0a02ffff	[PowerSupplyElementName] has Failed.(Power Supply 2)	はい
806f010c-2001ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 1)	はい
806f010c-2002ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 2)	はい
806f010c-2003ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 3)	はい
806f010c-2004ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 4)	はい
806f010c-2005ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 5)	はい
806f010c-2006ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 6)	はい
806f010c-2007ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 7)	はい
806f010c-2008ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 8)	はい

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
806f010c-2009ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 9)	はい
806f010c-200affff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 10)	はい
806f010c-200bffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 11)	はい
806f010c-200cffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 12)	はい
806f010c-200dffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 13)	はい
806f010c-200effff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 14)	はい
806f010c-200fffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 15)	はい
806f010c-2010ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 16)	はい
806f010c-2011ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 17)	はい
806f010c-2012ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 18)	はい
806f010c-2013ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 19)	はい
806f010c-2014ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 20)	はい
806f010c-2015ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 21)	はい
806f010c-2016ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 22)	はい
806f010c-2017ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 23)	はい

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
806f010c-2018ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 24)	はい
806f010c-2581ffff	Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)	はい
806f010d-0400ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 0)	はい
806f010d-0401ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 1)	はい
806f010d-0402ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 2)	はい
806f010d-0403ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 3)	はい
806f010d-0404ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 4)	はい
806f010d-0405ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 5)	はい
806f010d-0406ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 6)	はい
806f010d-0407ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 7)	はい
806f010d-0408ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 8)	はい
806f010d-0409ffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 9)	はい
806f010d-040affff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 10)	はい
806f010d-040bffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 11)	はい
806f010d-040cffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 12)	はい

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
806f010d-040dffff	The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 13)	はい
806f011b-0701ffff	The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error.(Front USB)	はい
806f011b-0c01ffff	The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error.(FP LCD Cable)	はい
806f0207-0301ffff	[ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(CPU 1)	はい
806f0207-0302ffff	[ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(CPU 2)	はい
806f0207-2584ffff	[ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(All CPUs)	はい
806f020d-0400ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 0)	はい
806f020d-0401ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 1)	はい
806f020d-0402ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 2)	はい
806f020d-0403ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 3)	はい
806f020d-0404ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 4)	はい
806f020d-0405ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 5)	はい
806f020d-0406ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 6)	はい
806f020d-0407ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 7)	はい
806f020d-0408ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 8)	はい

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
806f020d-0409ffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 9)	はい
806f020d-040affff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 10)	はい
806f020d-040bffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 11)	はい
806f020d-040cffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 12)	はい
806f020d-040dffff	Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName].(Drive 13)	はい
806f050c-2001ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 1)	はい
806f050c-2002ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 2)	はい
806f050c-2003ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 3)	はい
806f050c-2004ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 4)	はい
806f050c-2005ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 5)	はい
806f050c-2006ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 6)	はい
806f050c-2007ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 7)	はい
806f050c-2008ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 8)	はい
806f050c-2009ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 9)	はい
806f050c-200affff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 10)	はい

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
806f050c-200bffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 11)	はい
806f050c-200cffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 12)	はい
806f050c-200dffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 13)	はい
806f050c-200effff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 14)	はい
806f050c-200fffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 15)	はい
806f050c-2010ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 16)	はい
806f050c-2011ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 17)	はい
806f050c-2012ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 18)	はい
806f050c-2013ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 19)	はい
806f050c-2014ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 20)	はい
806f050c-2015ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 21)	はい
806f050c-2016ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 22)	はい
806f050c-2017ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 23)	はい
806f050c-2018ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(DIMM 24)	はい
806f050c-2581ffff	Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)	はい

表 46. サポートに自動的に通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動通知のサポート
806f060d-0400ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 0)	はい
806f060d-0401ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 1)	はい
806f060d-0402ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 2)	はい
806f060d-0403ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 3)	はい
806f060d-0404ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 4)	はい
806f060d-0405ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 5)	はい
806f060d-0406ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 6)	はい
806f060d-0407ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 7)	はい
806f060d-0408ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 8)	はい
806f060d-0409ffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 9)	はい
806f060d-040affff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 10)	はい
806f060d-040bffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 11)	はい
806f060d-040cffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 12)	はい
806f060d-040dffff	Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 13)	はい
806f0813-2581ffff	A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)	はい
806f0813-2582ffff	A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(PCIs)	はい
806f0813-2584ffff	A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(CPUs)	はい

**40000001-00000000 Management Controller [arg1]
Network Initialization Complete.**

説明: このメッセージは、管理コントローラーのネットワークで初期化が完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0001

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラステッド CA 証明書のエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - SSL 認証

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0002

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0003

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0004

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0005

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・ポート MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0006

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にする場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0007

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000008-00000000 **Hostname set to [arg1] by user [arg2].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのホスト名を変更する場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0008

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000009-00000000 **IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0009

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000a-00000000 **IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更する場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0010

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000b-00000000 **IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーのデフォルトのゲートウェイ IP アドレスを変更する場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0011

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000c-00000000 **OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .**

説明: このメッセージは、ユーザーによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0012

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーに IP アドレスを割り当てることができない場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0013

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful.Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーに正常にログインする場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0014

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0015

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Web ブラウザーから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0016

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが Legacy CLI から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0017

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed.Invalid userid or password received.Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、リモート・ユーザーが Web ブラウザー・セッションからリモート制御セッションを確立できなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0018

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed.Invalid userid or password received.Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが Telnet セッションから管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0019

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0020

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0021

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]]

DHCP-HSTN=[arg2], **DN**=[arg3],
IP@=[arg4], **SN**=[arg5], **GW@**=[arg6],
DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0022

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]]

IP-Cfg:HstName=[arg2], **IP@**=[arg3]
,NetMsk=[arg4], **GW@**=[arg5] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスと構成がユーザー・データを使用して静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0023

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0024

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブになった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0025

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0026

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0027

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0028

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、以下のステップを問題が解決されるまで実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。

オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0029

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
5. IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行する手段を用いた場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0030

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコー

ドがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware.管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーと一致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0031

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、ユーザーが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0032

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0033

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuration data is invalid.構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしています。

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データで無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0034

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーがインターフェースおよび IP アドレス (%d) からファームウェア・コンポーネント (MC メイン・アプリケーション、MC プー

ト ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

4000002300000000 または 0x4000002300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0035

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが障害のためにインターフェースと IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログ
75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 35

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システム上の管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログ
75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 35

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、実装環境でプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 21

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。

- オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
- ウォッチドッグを無効にします。
- インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、ユーザーがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0040

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、ユーザーが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0041

SNMP トラップ ID: 30

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

- 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
- システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2].Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0043

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0044

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

**4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1]
by user [arg2].**

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0045

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002e-00000000 DDNS の登録が正常に完了しました。The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0046

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0047

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0048

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

**40000031-00000000 IPv6 static IP configuration
enabled by user [arg1].**

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0049

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

**40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user
[arg1].**

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0050

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0051

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0052

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0053

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0054

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

**40000037-00000000 ENET[[arg1]]
IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2],
IP@[arg3], Pref=[arg4] .**

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0055

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

**40000038-00000000 ENET[[arg1]]
IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@[arg3],
Pref=[arg4], GW@[arg5].**

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0056

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

**40000039-00000000 ENET[[arg1]]
DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3],
IP@[arg4], Pref=[arg5].**

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0057

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

**4000003a-00000000 IPv6 static address of network
interface modified from [arg1] to [arg2]
by user [arg3].**

説明: ユーザーが、管理コントローラーの IPv6 固定アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0058

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003b-00000000 DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。

説明: S DHCP6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0059

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

**4000003c-00000000 Platform Watchdog Timer
expired for [arg1].**

説明: 実装環境で OS ロード・ウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されました。

4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: System - ロード・タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0060

SNMP トラップ ID: 26

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

**4000003d-00000000 Telnet port number changed
from [arg1] to [arg2] by user [arg3].**

説明: ユーザーが Telnet ポート番号を変更しました。

4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003e-00000000 SSH port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SSH ポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0062

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000003f-00000000 Web-HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTP ポート番号を変更しました。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0063

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000040-00000000 Web-HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが Web HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として

表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0064

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000041-00000000 CIM/XML HTTP port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTP ポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0065

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000042-00000000 CIM/XML HTTPS port number changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが CIM HTTPS ポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0066

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000043-00000000 SNMP Agent port number
changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP エージェント・ポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0067

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000044-00000000 SNMP Traps port number
changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが SNMP トラップ・ポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0068

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000045-00000000 Syslog port number changed
from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、Syslog 受信側のポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0069

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000046-00000000 Remote Presence port number
changed from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: ユーザーが、リモート・プレゼンスのポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0070

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000047-00000000 LED [arg1] state changed to
[arg2] by [arg3].

説明: ユーザーが LED の状態を変更しました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0071

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000048-00000000 Inventory data changed for
device [arg1], new device data
hash=[arg2], new master data
hash=[arg3] .

説明: 何らかの理由で物理インベントリーが変化しました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

40000049-00000000 • 4000004d-00000000

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0072

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000049-00000000 SNMP [arg1] enabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0073

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004a-00000000 SNMP [arg1] disabled by user [arg2] .

説明: ユーザーが SNMPv1 または SNMPv3 あるいはトラップを無効にしました。

4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0074

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004b-00000000 SNMPv1 [arg1] set by user [arg2]: Name=[arg3], AccessType=[arg4], Address=[arg5], .

説明: ユーザーが、SNMP コミュニティ・ストリングを変更しました。

4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0075

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004c-00000000 LDAP Server configuration set by user [arg1]: SelectionMethod=[arg2], DomainName=[arg3], Server1=[arg4], Server2=[arg5], Server3=[arg6], Server4=[arg7].

説明: ユーザーが、LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0076

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004d-00000000 LDAP set by user [arg1]: RootDN=[arg2], UIDSearchAttribute=[arg3], BindingMethod=[arg4], EnhancedRBS=[arg5], TargetName=[arg6], GroupFilter=[arg7], GroupAttribute=[arg8], LoginAttribute=[arg9].

説明: ユーザーが、LDAP の各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0077

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004e-00000000 Serial Redirection set by user
 [arg1]: Mode=[arg2], BaudRate=[arg3],
 StopBits=[arg4], Parity=[arg5],
 SessionTerminateSequence=[arg6].

説明: ユーザーが、シリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0078

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000004f-00000000 Date and Time set by user
 [arg1]: Date=[arg2], Time=[arg3], DST
 Auto-adjust=[arg4], Timezone=[arg5].

説明: ユーザーが日時設定を構成しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0079

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000050-00000000 Server General Settings set by user
 [arg1]: Name=[arg2],
 Contact=[arg3], Location=[arg4],
 Room=[arg5], RackID=[arg6], Rack
 U-position=[arg7].

説明: ユーザーが、ロケーション設定を構成しました。

4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0080

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000051-00000000 Server Power Off Delay set to
 [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、サーバーの電源オフ遅延を構成しました。

4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0081

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000052-00000000 Server [arg1] scheduled for
 [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、特定の時刻のサーバー電源アクションを構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0082

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000053-00000000 Server [arg1] scheduled for every
 [arg2] at [arg3] by user [arg4].

説明: ユーザーが、サーバー電源アクションの繰り返しを構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0083

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000054-00000000 **Server [arg1] [arg2] cleared by user [arg3].**

説明: ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000055-00000000 **Synchronize time setting by user [arg1]: Mode=[arg2], NTPServerHost=[arg3]:[arg4],NTPUpdateFrequency=[arg5].**

説明: ユーザーが、日時の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000056-00000000 **SMTP Server set by user [arg1] to [arg2]:[arg3].**

説明: ユーザーが、SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0086

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000057-00000000 **Telnet [arg1] by user [arg2].**

説明: ユーザーが Telnet サービスを有効または無効にしました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0087

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000058-00000000 **DNS servers set by user [arg1]: UseAdditionalServers=[arg2], PreferredDNStype=[arg3], IPv4Server1=[arg4], IPv4Server2=[arg5], IPv4Server3=[arg6], IPv6Server1=[arg7], IPv6Server2=[arg8], IPv6Server3=[arg9].**

説明: ユーザーが DNS サーバーを構成します。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0088

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000059-00000000 **LAN over USB [arg1] by user [arg2].**

説明: ユーザーが、USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として

表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0089

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005a-00000000 LAN over USB Port Forwarding
set by user [arg1]: ExternalPort=[arg2],
USB-LAN port=[arg3].

説明: ユーザーが、USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0090

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005b-00000000 Secure Web services (HTTPS)
[arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが、セキュア Web サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0091

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005c-00000000 Secure CIM/XML(HTTPS) [arg1]
by user [arg2].

説明: ユーザーがセキュア CIM/XML サービスを有効または無効にしました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0092

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005d-00000000 Secure LDAP [arg1] by user
[arg2].

説明: ユーザーが、セキュア LDAP サービスを使用可能または使用不可にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0093

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005e-00000000 SSH [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーが SSH サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0094

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000005f-00000000 Server timeouts set by user
 [arg1]: EnableOSWatchdog=[arg2],
 OSWatchdogTimeout=[arg3],
 EnableLoaderWatchdog=[arg4],
 LoaderTimeout=[arg5].

説明: ユーザーが、サーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0095

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000060-00000000 License key for [arg1] added by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーをインストールします。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0096

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000061-00000000 License key for [arg1] removed by user [arg2].

説明: ユーザーがライセンス・キーを削除します。

4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0097

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000062-00000000 Global Login General Settings set by user [arg1]:
 AuthenticationMethod=[arg2],
 LockoutPeriod=[arg3],
 SessionTimeout=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインの一般設定を変更しました。

4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0098

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000063-00000000 Global Login Account Security set by user [arg1]:
 PasswordRequired=[arg2],
 PasswordExpirationPeriod=[arg3],
 MinimumPasswordReuseCycle=[arg4],
 MinimumPasswordLength=[arg5],
 MinimumPasswordChangeInterval=[arg6],
 MaxmumLoginFailures=[arg7],
 LockoutAfterMaxFailures=[arg8],
 MinimumDifferentCharacters=[arg9],
 DefaultIDExpired=[arg10],
 ChangePasswordFirstAccess=[arg11].

説明: ユーザーが、グローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を「Legacy」に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000064-00000000 User [arg1] created.

説明: ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000065-00000000 User [arg1] removed..

説明: ユーザー・アカウントが削除されました。

4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0101

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000066-00000000 User [arg1] password modified.

説明: ユーザー・アカウントが変更されました。

4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0102

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000067-00000000 User [arg1] role set to [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの役割が割り当てられました。

4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0103

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000068-00000000 User [arg1] custom privileges set: [arg2].

説明: ユーザー・アカウントの特権が割り当てられました。

4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0104

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000069-00000000 User [arg1] for SNMPv3 set: AuthenticationProtocol=[arg2], PrivacyProtocol=[arg3], AccessType=[arg4], HostforTraps=[arg5].

説明: ユーザー・アカウントの SNMPv3 設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0105

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006a-00000000 SSH Client key added for user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをローカルで定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0106

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006b-00000000 SSH Client key imported for user [arg1] from [arg2].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーをインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0107

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006c-00000000 SSH Client key removed from user [arg1].

説明: ユーザーが、SSH クライアント・キーを削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006d-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration saved to a file by user [arg2].

説明: ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0109

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006e-00000000 Alert Configuration Global Event Notification set by user [arg1]: RetryLimit=[arg2], RetryInterval=[arg3], EntryInterval=[arg4].

説明: ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0110

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000006f-00000000 Alert Recipient Number [arg1] updated: Name=[arg2], DeliveryMethod=[arg3], Address=[arg4], IncludeLog=[arg5], Enabled=[arg6], EnabledAlerts=[arg7], AllowedFilters=[arg8].

説明: ユーザーがアラート受信者を追加または更新しました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0111

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000070-00000000 SNMP Traps enabled by user
[arg1]: EnabledAlerts=[arg2],
AllowedFilters=[arg3] .

説明: ユーザーが SNMP トラップ構成を有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0112

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000071-00000000 The power cap value changed
from [arg1] watts to [arg2] watts by
user [arg3].

説明: 電源キャップ値がユーザーによって変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0113

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000072-00000000 The minimum power cap value
changed from [arg1] watts to [arg2]
watts.

説明: 電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0114

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000073-00000000 The maximum power cap value
changed from [arg1] watts to [arg2]
watts.

説明: 電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0115

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000074-00000000 The soft minimum power cap
value changed from [arg1] watts to
[arg2] watts.

説明: ソフト最小電源キャップ値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0116

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000075-00000000 計測電力値が電源キャップ値を超えました。

説明: 電力上限値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0117

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000076-00000000 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。

説明: 最小電源キャップが電源キャップを超えています。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0118

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000077-00000000 Power capping was activated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによってアクティブになりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0119

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000078-00000000 Power capping was deactivated by user [arg1].

説明: 電源キャッピングがユーザーによって非アクティブになりました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0120

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000079-00000000 Static Power Savings mode has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオンにされました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0121

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007a-00000000 Static Power Savings mode has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、静的省電力モードがオフにされました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0122

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007b-00000000 Dynamic Power Savings mode
has been turned on by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオンにされました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0123

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007c-00000000 Dynamic Power Savings mode
has been turned off by user [arg1].

説明: ユーザーによって、動的省電力モードがオフにされました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0124

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007d-00000000 電源キャップ・スロットルと外部
スロットルが発生しました。

説明: 電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが生じました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0125

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007e-00000000 外部スロットルが発生しました。

説明: 外部スロットルが生じました。

4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0126

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

4000007f-00000000 電源キャップ・スロットルが発生
しました。

説明: 電源キャップ・スロットルが生じました。

4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0127

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000080-00000000 Remote Control session started
by user [arg1] in [arg2] mode.

説明: Remote Control セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0128

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000081-00000000 PXE boot requested by user [arg1].

説明: PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0129

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000082-00000000 The measured power value has returned below the power cap value.

説明: 電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0130

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000083-00000000 The new minimum power cap value has returned below the power cap value.

説明: 最小電力上限が電力上限値を超えた状態から回復しました。

4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0131

SNMP トラップ ID: 164

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000084-00000000 IMM firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2].すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

説明: ノード間で IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000085-00000000 FPGA firmware mismatch between nodes [arg1] and [arg2].すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

説明: ノード間で FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0133

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

40000086-00000000 Test Call Home Generated by user [arg1].

説明: ユーザーによって生成されたテスト・コール・ホームです。

4000008600000000 または 0x4000008600000000 として

表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0134

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000087-00000000 Manual Call Home by user
[arg1]: [arg2].

説明: ユーザーによる手動コール・ホームです。

4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0135

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: IBM サポートが問題に対応します。

40000088-00000000 Management Controller [arg1]:
Configuration restoration from a file by
user [arg2] completed.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元し、それが完了したユース・ケースに表示されます。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0136

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

40000089-00000000 Management Controller [arg1]:
Configuration restoration from a file by
user [arg2] failed to complete.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の完了に失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

4000008a-00000000 Management Controller [arg1]:
Configuration restoration from a file by
user [arg2] failed to start.

説明: このメッセージは、ユーザーが管理コントローラー構成をファイルから復元しようとして、復元の開始が失敗したユース・ケースに表示されます。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
2. 45 秒後にサーバーを給電部に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
3. 操作を再試行します。

4000008b-00000000 1 つ以上のストレージ管理 IP アドレスが変更されました。

説明: このメッセージは、ストレージ管理用の IP アドレスが変更された場合に使用されます。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 37

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。

80010002-0701ffff Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800100020701ffff または 0x800100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0476

SNMP トラップ ID: 13

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換します。

80010202-0701ffff Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted.

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが CMOS バッテリーの場合は、システム・バッテリーを交換してください。指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V の場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

80010204-1d01ffff Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted.(Fan 1A/1B Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d01ffff または 0x800102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d02ffff Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted.(Fan 2A/2B Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d02ffff または 0x800102041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d03ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has asserted.(Fan 3A/3B Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d03ffff または 0x800102041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d04ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has asserted.(Fan 4A/4B Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d04ffff または 0x800102041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d05ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has asserted.(Fan 5A/5B Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d05ffff または 0x800102041d05ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d06ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has asserted.(Fan 6A/6B
Tach)**

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d06ffff または 0x800102041d06ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d07ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has asserted.(Fan 7A/7B
Tach)**

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d07ffff または 0x800102041d07ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010204-1d08ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has asserted.(Fan 8A/8B
Tach)**

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800102041d08ffff または 0x800102041d08ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED によって示されています。
2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号)

80010701-0f01ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(REAR
BP Temp A)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010f01ffff または 0x800107010f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-0f02ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(REAR
BP Temp B)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107010f02ffff または 0x800107010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1001ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(PCI 1
Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011001ffff または 0x800107011001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。

2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。

3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。

4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

RAID 環境温度 : RR PCI1 環境温度 :

80010701-1002ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(PCI 2
Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011002ffff または 0x800107011002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

RR PCI2 環境温度 :

80010701-1003ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(PCI 3
Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限セン

80010701-1301ffff • 80010701-1402ffff

サーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011003ffff または 0x800107011003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

RR PCI3 環境温度:

80010701-1301ffff Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(PSU 1
Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011301ffff または 0x800107011301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1401ffff Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(CPU1
VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011401ffff または 0x800107011401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1402ffff Numeric sensor

[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(CPU2
VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011402ffff または 0x800107011402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1403ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(DIMM
AB VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011403ffff または 0x800107011403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1404ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(DIMM
CD VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011404ffff または 0x800107011404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1405ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(DIMM
EF VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011405ffff または 0x800107011405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-1406ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(DIMM
GH VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107011406ffff または 0x800107011406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-2d01ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(PCH
Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107012d01ffff または 0x800107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 温度を下げます。
2. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010701-3701ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has asserted.(Ambient
Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800107013701ffff または 0x800107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0f01ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted.(REAR BP
Temp A)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010f01ffff または 0x800109010f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0f02ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted.(REAR BP
Temp B)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109010f02ffff または 0x800109010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。

3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1001ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PCI 1 Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011001ffff または 0x800109011001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1002ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PCI 2 Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011002ffff または 0x800109011002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1003ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PCI 3 Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011003ffff または 0x800109011003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1301ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PSU 1 Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011301ffff または 0x800109011301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

80010901-1401ffff • 80010901-1404ffff

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1401ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted.(CPU1 VR
Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011401ffff または 0x800109011401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1402ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted.(CPU2 VR
Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011402ffff または 0x800109011402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1403ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted.(DIMM AB
VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011403ffff または 0x800109011403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1404ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted.(DIMM CD
VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011404ffff または 0x800109011404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1405ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011405ffff または 0x800109011405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-1406ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109011406ffff または 0x800109011406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-2d01ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109012d01ffff または 0x800109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-3701ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカ

80010902-0701ffff • 80010b01-0f02ffff

ル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109013701ffff または 0x800109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010902-0701ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has asserted.

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが Planar 3.3V または Planar 5V である場合、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換してください。指定されたセンサーが Planar 12V の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

80010b01-0f01ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(REAR BP Temp A)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010f01ffff または 0x80010b010f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-0f02ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(REAR BP Temp B)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b010f02ffff または 0x80010b010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 周囲の温度を下げます。
2. エアー・バッフルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1001ffff Numeric sensor**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has asserted.(PCI
1 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011001ffff または 0x80010b011001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1002ffff Numeric sensor**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has asserted.(PCI
2 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011002ffff または 0x80010b011002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1003ffff Numeric sensor**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has asserted.(PCI
3 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不

能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011003ffff または 0x80010b011003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1301ffff Numeric sensor**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(PSU 1 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011301ffff または 0x80010b011301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1401ffff Numeric sensor**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(CPU1 VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011401ffff または 0x80010b011401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

80010b01-1402ffff • 80010b01-1405ffff

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1402ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(CPU2 VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011402ffff または 0x80010b011402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1403ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011403ffff または 0x80010b011403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1404ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011404ffff または 0x80010b011404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1405ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011405ffff または 0x80010b011405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-1406ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(DIMM GH VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b011406ffff または 0x80010b011406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-2d01ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(PCH Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b012d01ffff または 0x80010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を確認します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010b01-3701ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
asserted.(Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不

能センサーが高すぎることの表明が検出された場合に使用されます。

80010b013701ffff または 0x80010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**80030006-2101ffff Sensor [SensorElementName] has
deasserted.(Sig Verify Fail)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**80030012-2301ffff Sensor [SensorElementName] has
deasserted.(OS RealTime Mod)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

80030108-1301ffff • 80030112-0601ffff

800300122301ffff または 0x800300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80030108-1301ffff **Sensor [SensorElementName] has asserted.(PS Heavy Load)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301081301ffff または 0x800301081301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構を、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション（ドライブやアダプターなど）を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

8003010c-2581ffff **Sensor [SensorElementName] has asserted.(Non-Auth DIMMs)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

8003010c2581ffff または 0x8003010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構を、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション（ドライブやアダプターなど）を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

8003010f-2101ffff **Sensor [SensorElementName] has asserted.(IMM FW Corrupted)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

8003010f2101ffff または 0x8003010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構を、より高い定格電力のものに交換します。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション（ドライブやアダプターなど）を取り外し、合計電力使用量を削減してください。

80030112-0601ffff **Sensor [SensorElementName] has asserted.(SMM Mode)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

800301120601ffff または 0x800301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。操作は不要です。
SMM モニター:

8007000d-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to normal state.(RAID Vol State)**

説明: このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007000d2582ffff または 0x8007000d2582ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0518

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80070101-0c01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(Ambient Status)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701010c01ffff または 0x800701010c01ffff として表示される場合があります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられているマイクロプロセッサが Intel E5-2690 であることを確認します。
2. 室温を摂氏 27 度未満に下げてください。

80070101-2c01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(ML2 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701012c01ffff または 0x800701012c01ffff として表示される場合があります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007010d-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(RAID Vol State)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010d2582ffff または 0x8007010d2582ffff として表示される場合があります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007010f-2201ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(GPT Status)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2201ffff または 0x8007010f2201ffff として表示される場合があります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. IBM サポート・サイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

8007010f-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(I/O Resources)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010f2582ffff または 0x8007010f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、「enable」を選択します。

80070112-0101ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(Sys Config Err)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701120101ffff または 0x800701120101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

80070114-2201ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(TPM Phy Pres Set)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とする管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元します。
3. システムをリブートします。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが解決しない場合は、プレーナーを交換します。

80070128-2e01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned from normal to non-critical state.(ME Recovery)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800701282e01ffff または 0x800701282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0520

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

80070201-0301ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 1 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702010301ffff または 0x800702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と後面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-0302ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 2 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702010302ffff または 0x800702010302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と後面)、エア・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070202-0701ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(SysBrd Vol Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702020701ffff または 0x800702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
 3. 障害のあるデバイスをすべて交換します。
 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。
-

80070204-0a01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PS 1 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702040a01ffff または 0x800702040a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. 電源機構 n を交換します。(n = 電源機構番号)

80070204-0a02ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PS 2 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702040a02ffff または 0x800702040a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. 電源機構 n を交換します。(n = 電源機構番号)

80070208-0a01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PS 1 Therm Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態

からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702080a01ffff または 0x800702080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、
<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> を参照してください。
3. 電源機構 n を交換します。(n = 電源機構番号)

80070208-0a02ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(PS 2 Therm Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702080a02ffff または 0x800702080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源機構ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して、現行のシステム電力使用量が制限未満であることを確認します。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、
<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> を参照してください。

3. 電源機構 n を交換します。(n = 電源機構番号)

8007020d-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(RAID Vol State)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007020d2582ffff または 0x8007020d2582ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007020f-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(TXT ACM Module)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007020f2201ffff または 0x8007020f2201ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. TXT を使用可能化する必要がない場合は、Setup Utility から TXT を使用不可にします。
2. TXT を使用可能化する必要がある場合は、Setup ユーティリティから TPM が使用可能でアクティブ化されていることを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、サービス担当員にお問い合わせください。

8007020f-2582ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI I/O リソース・エラーを解決するために、以下のステップを実行してください。

1. 「F1 Setup」->「System Settings」->「Device and I/O ports」->「PCI 64 bit Resource」に進み、「enable」を選択します。

80070214-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(TPM Lock)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702142201ffff または 0x800702142201ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。
2. 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

80070219-0701ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(SysBrd Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702190701ffff または 0x800702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・ボード上のエラー LED を確認します。
2. システム・イベント・ログを確認します。
3. システム・ファームウェア・バージョンを確認し、最新バージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. AC 電源コードのプラグをいったん抜いてから元に戻し、ステップ 1 と 2 を再度実行します。
5. 引き続き問題が発生する場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

8007021b-0301ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 1 QPILinkErr)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007021b0301ffff または 0x8007021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

8007021b-0302ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(CPU 2 QPILinkErr)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007021b0302ffff または 0x8007021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーのファームウェアの更新を確認します。
2. 取り付け済みのマイクロプロセッサに互換性があることを確認します。
3. マイクロプロセッサ 2 拡張ボードが正しく取り付けられていることを確認します (『マイクロプロセッサ 2 拡張ボードの取り付け』を参照)。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 拡張ボードを交換します。

80070228-2e01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state.(IPMB IO Error)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702282e01ffff または 0x800702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 非 ME エラー: ME フラッシュ・エラー:

80070301-0301ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301ffff または 0x800703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070301-0302ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010302ffff または 0x800703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『サーバーの機能および仕様』を参照)。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070301-2c01ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(ML2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703012c01ffff または 0x800703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

8007030d-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state.(RAID Vol State)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007030d2582ffff または 0x8007030d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: なし

80070608-0a01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.**

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01ffff または 0x800706080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> を参照してください。
2. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 障害のある電源機構を取り外します。
3. 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. パワー・サプライ n LED を確認します。
2. 電源機構 n を交換します。(n = 電源機構番号)

80070608-0a02ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.**

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02ffff または 0x800706080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが PS n 12V OC Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

1. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティーのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> を参照してください。

- 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。

指定されたセンサーが PS n 12V OV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

- パワー・サプライ n LED を確認します。
- 障害のある電源機構を取り外します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

指定されたセンサーが PS n 12V UV Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

- パワー・サプライ n LED を確認します。
- 障害のある電源機構を取り外します。
- 『電源問題および電源問題の解決』の処置に従ってください。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = 電源機構番号)

指定されたセンサーが PS n 12Vaux Fault の場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行してください。

- パワー・サプライ n LED を確認します。
- 電源機構 n を交換します。(n = 電源機構番号)

80070614-2201ffff Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable.(TPM Phy Pres Set)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706142201ffff または 0x800706142201ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

- サーバー・ファームウェアを更新します (『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照)。

- 問題が続く場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの取り付け』を参照)。

8008010f-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been added.(Phy Presence Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8008010f2101ffff または 0x8008010f2101ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80080128-2101ffff Device [LogicalDeviceElementName] has been added.(Low Security Jmp)

説明: このメッセージは、デバイスが挿入されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0536

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0008-1301ffff Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored.(Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800b00081301ffff または 0x800b00081301ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0561

SNMP トラップ ID: 10

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1301ffff Redundancy Lost for
[RedundancySetElementName] has
asserted.(Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081301ffff または 0x800b01081301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 冗長電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 9

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 両方の電源機構の LED を確認します。
2. 電源機構 LED の処置に従います。

800b010a-1e81ffff Redundancy Lost for
[RedundancySetElementName] has
asserted.(Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e81ffff または 0x800b010a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。

2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e82ffff Redundancy Lost for
[RedundancySetElementName] has
asserted.(Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e82ffff または 0x800b010a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010c-2581ffff Redundancy Lost for
[RedundancySetElementName] has
asserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581ffff または 0x800b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にしてください。

800b0309-1301ffff Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted.(Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b03091301ffff または 0x800b03091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - 冗長電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0806

SNMP トラップ ID: 10

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 非冗長: システムは電源機構の過電流状態を回避するためにスロットルされる場合がありますが、電源負荷は、残りの電源機構によって処理されます。
2. 電源機構を、より高い定格電力のものに交換します。

800b030c-2581ffff Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が Redundancy Degraded または Fully Redundant から、Non-redundant:Sufficient に変化した場合に使用されます。

800b030c2581ffff または 0x800b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0806

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にしてください。

800b0509-1301ffff Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted.(Power Resource)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b05091301ffff または 0x800b05091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 冗長電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 9

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源負荷は残っている電源機構によって処理される場合があります。システムは、スロットルを行うことでパワー・サプライの過電流状態の回避を試行します。ただし、電力負荷が大きすぎる状態を回避できない場合、システム・シャットダウンが発生する可能性があります。
2. 新規に追加したオプションあるいは使用していないオプション (ドライブやアダプターなど) を取り外し、合計電力使用量を削減してください。
3. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳細情報およびユーティリティのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> を参照してください。
4. 電源機構を、より高い定格電力のものに交換します。

**800b050a-1e81ffff Non-redundant:Insufficient
Resources for
[RedundancySetElementName] has
asserted.(Fan Zone 1)**

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e81ffff または 0x800b050a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。
2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

**800b050a-1e82ffff Non-redundant:Insufficient
Resources for
[RedundancySetElementName] has
asserted.(Fan Zone 2)**

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050a1e82ffff または 0x800b050a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。

2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。
3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。
4. ファンを取り付け直します。
5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

**800b050c-2581ffff Non-redundant:Insufficient
Resources for
[RedundancySetElementName] has
asserted.(Backup Memory)**

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態に変化した場合に使用されます。

800b050c2581ffff または 0x800b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決してください。
2. セットアップ・ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にしてください。

**806f0007-0301ffff [ProcessorElementName] has Failed
with IERR.(CPU 1)**

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0007-0302ffff [ProcessorElementName] has Failed with IERR.(CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f00070302ffff または 0x806f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。

3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0008-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName].(Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サブライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01ffff または 0x806f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName].(Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サブライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02ffff または 0x806f00080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been turned off.(Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で使用不可にされた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00091301ffff または 0x806f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0106

SNMP トラップ ID: 23

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400ffff The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0400ffff または 0x806f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401ffff The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402ffff The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0402ffff または 0x806f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403ffff The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0403ffff または 0x806f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404ffff The Drive
[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加

れたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0404ffff または 0x806f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0405ffff または 0x806f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0406ffff または 0x806f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0407ffff または 0x806f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0408ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0408ffff または 0x806f000d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0409ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d0409ffff または 0x806f000d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

806f000d-040affff • 806f000f-220101ff

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040affff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040affff または 0x806f000d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040bffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040bffff または 0x806f000d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040cffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040cffff または 0x806f000d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-040dffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been added.(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが追加されたことが検出された場合に使用されます。

806f000d040dffff または 0x806f000d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101ff The System

[ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で、メモリーをシステム内で検出済みであることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0794

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。
2. 以下のようにして、サーバーのファームウェアをバックアップ・ページからリカバリーします: a. サーバーを再起動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。
3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220102ff Subsystem [MemoryElementName]
has insufficient memory for
operation.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で使用可能メモリーが動作には不十分であることが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。

2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220103ff The System
[ComputerSystemElementName]
encountered firmware error -
unrecoverable boot device failure.(ABR
Status)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なブート・デバイス障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0770

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220104ff The System
[ComputerSystemElementName]has
encountered a motherboard failure.(ABR
Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

806f000f-220107ff • 806f000f-22010bff

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0795

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストの中に見つかります。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-220107ff The System

[ComputerSystemElementName]
encountered firmware error -
unrecoverable keyboard failure.(ABR
Status)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能なキーボード障害の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0764

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010aff The System

[ComputerSystemElementName]
encountered firmware error - no video
device detected.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェア・エラー (ビデオ・デバイスが見つかりません) の発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0766

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラーは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010bff Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST.(ABR Status)

説明: POST 中に、システム上でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0850

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。
2. 以下のようにして、サーバーのファームウェアをバックアップ・ページからリカバリーします: a. サー

バーを再起動します。b.プロンプトが出されたら、F3を押してファームウェアをリカバリーします。

3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-22010cff CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName].(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で CPU 電圧とソケット電圧のミスマッチが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0050

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0184

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI(POST) エラー・コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI(POST) error code (UEFI(POST) エラー・コード)』セクションにある UEFI(POST) エラー・コードを参照してください。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

806f0013-1701ffff A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName].(NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みが検出された場合に使用されます。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0222

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。
3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f001e-2201ffff No bootable media available for system [ComputerSystemElementName].(No Boot Device)

説明: このメッセージは、ブート可能メディアがないシステムが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0021-2201ffff • 806f0021-2c01ffff

806f001e2201ffff または 0x806f001e2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0286

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0021-2201ffff Fault in slot
[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName].(No Op
ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582ffff Fault in slot
[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName].(All PCI
Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。1 つの PCI エラー:

806f0021-2c01ffff Fault in slot
[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName].(ML2
Card Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00212c01ffff または 0x806f00212c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3001ffff Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName].(Internal
RAID)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213001ffff または 0x806f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レ

ベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

PCI 1 :

806f0021-3002ffff Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName].(PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213002ffff または 0x806f00213002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-3003ffff Fault in slot

[PhysicalConnectorSystemElementName]
on system
[ComputerSystemElementName].(PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害が

検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00213003ffff または 0x806f00213003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 対象のアダプターを交換します。
5. ライザー・カードを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0023-2101ffff Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName].(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマーの満了が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0368

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0028-2101ffff Sensor [SensorElementName] is unavailable or degraded on management system [ComputerSystemElementName]. (TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが使用不可または機能低下であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00282101ffff または 0x806f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0398

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーの電源をオフにし、電源コードを切り離します。電源コードを再接続し、サーバーを再始動します。
2. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0107-0301ffff An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName].(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。

2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0107-0302ffff An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName].(CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070302ffff または 0x806f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアークラウドが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。
2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0108-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has Failed.(Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01ffff または 0x806f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = 電源機構番号)

806f0108-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has Failed.(Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02ffff または 0x806f01080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. パワー・サプライ n を取り付け直します。
2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。
3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = 電源機構番号)

806f0109-1301ffff [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled.(Host Power)

説明: このメッセージは、実装環境で電源の再投入が行われた電源装置が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01091301ffff または 0x806f01091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**806f010c-2001ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2001ffff または 0x806f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、

合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2002ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2002ffff または 0x806f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、

ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2003ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2003ffff または 0x806f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM

を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2004ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2004ffff または 0x806f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2005ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2005ffff または 0x806f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2006ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2006ffff または 0x806f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ

サー・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2007ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2007ffff または 0x806f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2008ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2008ffff または 0x806f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていた

り、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2009ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2009ffff または 0x806f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタ

を確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-200affff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200affff または 0x806f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200bffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200bffff または 0x806f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200cffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200cffff または 0x806f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。

3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200dffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200dffff または 0x806f010c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200effff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200effff または 0x806f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-200ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c200ffff または 0x806f010c200ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2010ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2010ffff または 0x806f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2011ffff **Uncorrectable error detected for**
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2011ffff または 0x806f010c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2012ffff **Uncorrectable error detected for**
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2012ffff または 0x806f010c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2013ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2013ffff または 0x806f010c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2014ffff Uncorrectable error detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2014ffff または 0x806f010c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2015ffff **Uncorrectable error detected for**
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2015ffff または 0x806f010c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2016ffff **Uncorrectable error detected for**
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2016ffff または 0x806f010c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2017ffff **Uncorrectable error detected for**
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不

能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2017ffff または 0x806f010c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
 2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
 3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
 4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
 9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。
-

806f010c-2018ffff **Uncorrectable error detected for**
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2018ffff または 0x806f010c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。
9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2581ffff **Uncorrectable error detected for**
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].(All
DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
8. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前である場合、対象のすべての DIMM を、手動で使用可能に再設定します。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降の場合、サーバーを給電部から切断した後、再接続し、サーバーを再始動してください。

9. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。1 つの DIMM:

806f010d-0400ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0400ffff または 0x806f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0402ffff または 0x806f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0403ffff または 0x806f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0404ffff または 0x806f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0405ffff または 0x806f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害に

よって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0406ffff または 0x806f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0407ffff または 0x806f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0408ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0408ffff または 0x806f010d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0409ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d0409ffff または 0x806f010d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040affff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040affff または 0x806f010d040affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル

3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040bffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040bffff または 0x806f010d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040cffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040cffff または 0x806f010d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010d-040dffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault.(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが障害によって使用不可になったことが検出された場合に使用されます。

806f010d040dffff または 0x806f010d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます) b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル
3. 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク b. システム・ボードから

バックプレーンへのケーブル c. ハード・ディスク・バックプレーン (n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201ffff The System

[ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang.(Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアのハングが検出された場合に使用されます。

806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0186

SNMP トラップ ID: 25

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。
2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0113-0301ffff A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 1 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130301ffff または 0x806f01130301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0224

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0113-0302ffff A bus timeout has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、実装環境でバス・タイムアウトが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01130302ffff または 0x806f01130302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0224

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f011b-0701ffff The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error.(Front USB)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b0701ffff または 0x806f011b0701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0266

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターの場合は、前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが

PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。
2. 電源パドル・ケーブルを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号)
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

前面ビデオ :

806f011b-0c01ffff The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error.(FP LCD Cable)

説明: このメッセージは、実装環境でインターコネクト構成エラーが検出された場合に使用されます。

806f011b0c01ffff または 0x806f011b0c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0266

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置: 指定されたセンサーが前面 USB コネクターの場合は、前面 USB ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが前面ビデオ・コネクターの場合は、前面ビデオ・ケーブルをシステム・ボードにリセットします。指定されたセンサーが PwrPaddle ケーブルの場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。
2. 電源パドル・ケーブルを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) スーパーキャップ n を交換します。(n = スーパーキャップ番号)
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0123-2101ffff Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName].(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグに

よるリポートの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0370

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0c01ffff [ManagedElementName] detected as absent.(Front Panel)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01250c01ffff または 0x806f01250c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1001ffff [ManagedElementName] detected as absent.(PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01251001ffff または 0x806f01251001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1002ffff [ManagedElementName] detected as absent.(PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01251002ffff または 0x806f01251002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-2c01ffff [ManagedElementName] detected as absent.(ML2 Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが存在しないことが検出された場合に使用されます。

806f01252c01ffff または 0x806f01252c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: PCI ライザー 1 が正しく取り付けられていることを確認してください。

806f0207-0301ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0207-0302ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02070302ffff または 0x806f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デ

バイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0207-2584ffff [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境で「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が検出された場合に使用されます。

806f02072584ffff または 0x806f02072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。
3. DSA プログラムを実行します。
4. アダプターを取り付け直します。
5. アダプターを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。

7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = マイクロプロセッサ番号) 1 つの CPU:

806f020d-0400ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400ffff または 0x806f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0401ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0402ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402ffff または 0x806f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0403ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403ffff または 0x806f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0404ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404ffff または 0x806f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0405ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405ffff または 0x806f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0406ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406ffff または 0x806f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0407ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407ffff または 0x806f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0408ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0408ffff または 0x806f020d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-0409ffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0409ffff または 0x806f020d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-040affff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイド障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040affff または 0x806f020d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-040bffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイド障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040bffff または 0x806f020d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。

2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-040cffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイド障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040cffff または 0x806f020d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f020d-040dffff Failure Predicted on drive
[StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイド障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d040dffff または 0x806f020d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。
2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。
3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハードディスク・ドライブ番号)

806f0223-2101ffff Powering off system
[ComputerSystemElementName] initiated
by [WatchdogElementName].(IPMI
Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグによる電源オフが発生したことが検出されたユース・ケースに表示されます。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0372

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has
lost input.(Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01ffff または 0x806f03080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳しくは、『電源機構 LED』を参照してください。(n = 電源機構番号)

806f0308-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has
lost input.(Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02ffff または 0x806f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 電源コードを再接続します。
2. パワー・サプライ n LED を確認します。
3. 詳しくは、『電源機構 LED』を参照してください。(n = 電源機構番号)

806f030c-2001ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2001ffff または 0x806f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2002ffff または 0x806f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2003ffff または 0x806f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2004ffff または 0x806f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2005ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2005ffff または 0x806f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2006ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2006ffff または 0x806f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2007ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2007ffff または 0x806f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2008ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2008ffff または 0x806f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2009ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2009ffff または 0x806f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200affff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200affff または 0x806f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200bffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200bffff または 0x806f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200cffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200cffff または 0x806f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200dffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200dffff または 0x806f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200effff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200effff または 0x806f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200fffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c200fffff または 0x806f030c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2010ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2010ffff または 0x806f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2011ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2011ffff または 0x806f030c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2012ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2012ffff または 0x806f030c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2013ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2013ffff または 0x806f030c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2014ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2014ffff または 0x806f030c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2015ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2015ffff または 0x806f030c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2016ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2016ffff または 0x806f030c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

424 Lenovo System x3550 M5 Type 5463: インストールおよびサービス・ガイド

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2017ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2017ffff または 0x806f030c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2018ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2018ffff または 0x806f030c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. DIMM がしっかりと装着されており、DIMM コネクター内に異物が入っていないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。
4. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。
5. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2581ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].(All
DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害が検出された場合に使用されます。

806f030c2581ffff または 0x806f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当するすべての DIMM を手動で再度使用可能にします。
4. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
5. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
8. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

1 つの DIMM:

806f030d-0400ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0400ffff または 0x806f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0401ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0401ffff または 0x806f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0402ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0402ffff または 0x806f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0403ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0403ffff または 0x806f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0404ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0404ffff または 0x806f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0405ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0405ffff または 0x806f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0406ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0406ffff または 0x806f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0407ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0407ffff または 0x806f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0408ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0408ffff または 0x806f030d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

806f030d-0409ffff • 806f030d-040dffff

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-0409ffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d0409ffff または 0x806f030d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040affff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040affff または 0x806f030d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040bffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが

使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040bffff または 0x806f030d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040cffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040cffff または 0x806f030d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f030d-040dffff Hot Spare enabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

806f030d040dffff または 0x806f030d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0170

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0313-1701ffff A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でソフトウェア NMI が検出された場合に使用されます。

806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0228

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. デバイス・ドライバーを検査します。
2. デバイス・ドライバーを再インストールします。
3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101ffff Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0374

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2001ffff または 0x806f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2002ffff または 0x806f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2003ffff または 0x806f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2004ffff または 0x806f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2005ffff または 0x806f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2006ffff または 0x806f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2007ffff または 0x806f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2008ffff または 0x806f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2009ffff または 0x806f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200affff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200affff または 0x806f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200bffff または 0x806f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200cffff または 0x806f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200dffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200dffff または 0x806f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200effff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200effff または 0x806f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c200ffff または 0x806f040c200ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2010ffff または 0x806f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2011ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2011ffff または 0x806f040c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2012ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2012ffff または 0x806f040c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2013ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2013ffff または 0x806f040c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2014ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2014ffff または 0x806f040c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2015ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2015ffff または 0x806f040c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2016ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2016ffff または 0x806f040c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2017ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2017ffff または 0x806f040c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2018ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2018ffff または 0x806f040c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName]
Disabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。
2. メモリー障害 (メモリー訂正不能エラーが発生した、またはメモリー・ロギング限度に達した) により DIMM が使用不可になっている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従い、サーバーを再始動します。
3. このメモリー・イベントに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings Utility (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。1 つの DIMM:

806f0413-2582ffff A PCI PERR has occurred on
 system [ComputerSystemElementName].
 (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR が検出された場合に使用されます。

806f04132582ffff または 0x806f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0232

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 該当するアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 両方のアダプターを取り外します。
5. PCIe アダプターを交換します。
6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301ffff [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070301ffff または 0x806f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。
2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0507-0302ffff [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05070302ffff または 0x806f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。
2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0507-2584ffff [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f05072584ffff または 0x806f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。
2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号) いずれかの CPU。

806f050c-2001ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2001ffff または 0x806f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2002ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2002ffff または 0x806f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2003ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2003ffff または 0x806f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2004ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2004ffff または 0x806f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2005ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2005ffff または 0x806f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2006ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2006ffff または 0x806f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2007ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2007ffff または 0x806f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2008ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2008ffff または 0x806f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

- 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2009ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2009ffff または 0x806f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

- 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-200affff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200affff または 0x806f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-200bffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200bffff または 0x806f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-200cffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c-200dffff • 806f050c-200effff

806f050c200cffff または 0x806f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-200dffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200dffff または 0x806f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-200effff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200effff または 0x806f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-200ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c200ffff または 0x806f050c200ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

- 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2010ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2010ffff または 0x806f050c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

- 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2011ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2011ffff または 0x806f050c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2012ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2012ffff または 0x806f050c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2013ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2013ffff または 0x806f050c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2014ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2014ffff または 0x806f050c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2015ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2015ffff または 0x806f050c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。

- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2016ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2016ffff または 0x806f050c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

- 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2017ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2017ffff または 0x806f050c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

- 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
- このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
- 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
- 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
- (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2018ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2018ffff または 0x806f050c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2581ffff Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度に達したことが検出された場合に使用されます。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. 最小コード・レベルについては、TIP H212293 を参照してください。
2. このメモリー・エラーに適用される RETAIN tip または該当するファームウェアの更新については、IBM サポートの Web サイトを確認してください。
3. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。
4. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、影響を受けた DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。1 つの DIMM:

806f050d-0400ffff Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d-0401ffff • 806f050d-0403ffff

806f050d0400ffff または 0x806f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。

5. RAID アダプターを交換します。

6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0402ffff または 0x806f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0403ffff または 0x806f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0404ffff または 0x806f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0405ffff または 0x806f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0406ffff または 0x806f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。

- RAID アダプターを交換します。
- 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0407ffff または 0x806f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

- RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
- SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- SAS ケーブルを交換します。
- バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- RAID アダプターを交換します。
- 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0408ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0408ffff または 0x806f050d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

- RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
- SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- SAS ケーブルを交換します。
- バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- RAID アダプターを交換します。
- 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0409ffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d0409ffff または 0x806f050d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

- RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
- SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- SAS ケーブルを交換します。
- バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
- RAID アダプターを交換します。
- 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040affff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040affff または 0x806f050d040affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040bffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040bffff または 0x806f050d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。

5. RAID アダプターを交換します。

6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040cffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040cffff または 0x806f050d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f050d-040dffff Array

[ComputerSystemElementName] is in critical condition.(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイがクリティカルであることが検出された場合に使用されます。

806f050d040dffff または 0x806f050d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. バックプレーン・ケーブルの接続を確認します。
5. RAID アダプターを交換します。
6. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582ffff A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI SERR が検出された場合に使用されます。

806f05132582ffff または 0x806f05132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0234

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. PCI LED を確認します。
2. 影響を受けているアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。
3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。
5. 両方のアダプターを取り外します。
6. PCIe アダプターを交換します。
7. ライザー・カードを交換します。

806f052b-2101ffff Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system [ComputerSystemElementName].(IMM2 FW Failover)

説明: このメッセージは、無効/サポートされないファームウェア/ソフトウェア・バージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0446

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『電源機構 LED』を参照)。
2. サーバーを再起動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。
3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再起動します。
5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.(CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性のないマイクロプロセッサを交換します。

806f0607-0302ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.(CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302ffff または 0x806f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性のないマイクロプロセッサを交換します。

806f0607-2584ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.(All CPUs)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06072584ffff または 0x806f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性のないマイクロプロセッサを交換します。1 つの CPU :

806f0608-1301ffff [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch.(PS Configuration)

説明: このメッセージは、構成エラーが発生したパワー・サプライが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06081301ffff または 0x806f06081301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0104

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. 取り付けられた電源機構の定格 (ワット数) が同一であることを確認します。
2. 定格 (ワット数) が同一の電源機構を再取り付けします。

806f060d-0400ffff Array [ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d-0401ffff • 806f060d-0403ffff

806f060d0400ffff または 0x806f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0402ffff または 0x806f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0403ffff または 0x806f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0404ffff または 0x806f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0405ffff または 0x806f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0406ffff または 0x806f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0407ffff または 0x806f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0408ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0408ffff または 0x806f060d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。

2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

3. SAS ケーブルを交換します。

4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0409ffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d0409ffff または 0x806f060d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040affff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040affff または 0x806f060d040affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040bffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040bffff または 0x806f060d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040cffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040cffff または 0x806f060d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。
5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

806f060d-040dffff Array

[ComputerSystemElementName] has failed.(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイが失敗したことが検出された場合に使用されます。

806f060d040dffff または 0x806f060d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. RAID アダプターのファームウェアおよびハードディスク・ドライブのファームウェアが最新レベルのものであることを確認します。
2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. SAS ケーブルを交換します。
4. RAID アダプターを交換します。

5. 点灯している状況 LED で示されているハード・ディスクを交換します。

**806f070c-2001ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2001ffff または 0x806f070c2001ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2002ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2002ffff または 0x806f070c2002ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2003ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2003ffff または 0x806f070c2003ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2004ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2004ffff または 0x806f070c2004ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2005ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM

構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2005ffff または 0x806f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2006ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2006ffff または 0x806f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2007ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2007ffff または 0x806f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2008ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2008ffff または 0x806f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2009ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2009ffff または 0x806f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200affff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200affff または 0x806f070c200affff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200bffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200bffff または 0x806f070c200bffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200cffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200cffff または 0x806f070c200cffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200dffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200dffff または 0x806f070c200dffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200effff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM

構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200ffff または 0x806f070c200ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c200ffff または 0x806f070c200ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2010ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2010ffff または 0x806f070c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2011ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2011ffff または 0x806f070c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2012ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 18)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2012ffff または 0x806f070c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2013ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 19)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2013ffff または 0x806f070c2013ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2014ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 20)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2014ffff または 0x806f070c2014ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2015ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 21)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2015ffff または 0x806f070c2015ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2016ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 22)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2016ffff または 0x806f070c2016ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2017ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 23)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM

構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2017ffff または 0x806f070c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2018ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 24)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2018ffff または 0x806f070c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2581ffff Configuration Error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].(All
DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが検出された場合に使用されます。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。1 つの DIMM:

**806f070d-0400ffff Rebuild in progress for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Drive 0)**

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0400ffff または 0x806f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**806f070d-0401ffff Rebuild in progress for Array in
system [ComputerSystemElementName].
(Drive 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0402ffff または 0x806f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0403ffff または 0x806f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0404ffff または 0x806f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0405ffff または 0x806f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0406ffff または 0x806f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルド

が進行中であることが検出された場合に使用されます。
806f070d0407ffff または 0x806f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0408ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0408ffff または 0x806f070d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0409ffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d0409ffff または 0x806f070d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040affff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040affff または 0x806f070d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040bffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040bffff または 0x806f070d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040cffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040cffff または 0x806f070d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-040dffff Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイの再ビルドが進行中であることが検出された場合に使用されます。

806f070d040dffff または 0x806f070d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f072b-2101ffff A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName].(IMM Promotion)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2101ffff または 0x806f072b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0450

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。IMM リカバリー:

806f072b-2201ffff A successful software or firmware change was detected on system [ComputerSystemElementName].(Bkup Auto Update)

説明: このメッセージは、ソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f072b2201ffff または 0x806f072b2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0450

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ROM リカバリー:

806f0807-0301ffff [ProcessorElementName] has been Disabled.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302ffff [ProcessorElementName] has been Disabled.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08070302ffff または 0x806f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584ffff [ProcessorElementName] has been Disabled.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

806f08072584ffff または 0x806f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

806f0813-2581ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(DIMMs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132581ffff または 0x806f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. DIMM エラー LED を確認します。
3. 障害のある DIMM をシステム・ボードから取り外します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。

デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

5. 取り付けられた DIMM がサポートされていて、正しく構成されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132582ffff または 0x806f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. PCI LED を確認します。
3. 対象の PCI スロットからアダプターを取り外します。
4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584ffff A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの訂正不能エラーが検出された場合に使用されます。

806f08132584ffff または 0x806f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: はい

ユーザーの処置:

1. システム・イベント・ログを確認します。
2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。
3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードをアップデートする前に、最新レベルのコードがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。
5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101ffff Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName].(IPMI Watchdog)

説明: このメッセージは、実装環境でウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が検出されたユース・ケースに表示されます。

806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0376

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f090c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロッ

トルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2001ffff または 0x806f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2002ffff または 0x806f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2003ffff または 0x806f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2004ffff または 0x806f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2005ffff または 0x806f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2006ffff または 0x806f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2007ffff または 0x806f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2008ffff または 0x806f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2009ffff または 0x806f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200affff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200affff または 0x806f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。

2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200bffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200bffff または 0x806f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200cffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200cffff または 0x806f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200dffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]
Throttled.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200dffff または 0x806f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200effff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200effff または 0x806f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-200fffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c200fffff または 0x806f090c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2010ffff または 0x806f090c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2011ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2011ffff または 0x806f090c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2012ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2012ffff または 0x806f090c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2013ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2013ffff または 0x806f090c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2014ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2014ffff または 0x806f090c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2015ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2015ffff または 0x806f090c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2016ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2016ffff または 0x806f090c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。

2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2017ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2017ffff または 0x806f090c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f090c-2018ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] Throttled.(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーのスロットルが発生したことが検出された場合に使用されます。

806f090c2018ffff または 0x806f090c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0142

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a07-0301ffff [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State.(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。
3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a07-0302ffff [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State.(CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070302ffff または 0x806f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前部と後部)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 周辺温度を確認します。仕様内で運用する必要があります。

3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2001ffff または 0x806f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2002ffff または 0x806f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2003ffff または 0x806f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2004ffff または 0x806f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2005ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2005ffff または 0x806f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2006ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2006ffff または 0x806f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2007ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超

806f0a0c-2008ffff • 806f0a0c-200affff

過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2007ffff または 0x806f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2008ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2008ffff または 0x806f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。

3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。

4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2009ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2009ffff または 0x806f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200affff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200affff または 0x806f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200bffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200bffff または 0x806f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200cffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200cffff または 0x806f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200dffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200dffff または 0x806f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200effff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200effff または 0x806f0a0c200effff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-200fffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超

過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c200fffff または 0x806f0a0c200fffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2010ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2010ffff または 0x806f0a0c2010ffff として表示される場合があります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。

3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2011ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2011ffff または 0x806f0a0c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2012ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2012ffff または 0x806f0a0c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2013ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2013ffff または 0x806f0a0c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2014ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2014ffff または 0x806f0a0c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2015ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2015ffff または 0x806f0a0c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2016ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2016ffff または 0x806f0a0c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2017ffff An Over-Temperature Condition
has been detected on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超

過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2017ffff または 0x806f0a0c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。
3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。
4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a0c-2018ffff An Over-Temperature Condition has been detected on the [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が検出されたことが検出された場合に使用されます。

806f0a0c2018ffff または 0x806f0a0c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0146

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ファンが作動しており、通気を妨げるものがないこと、エアー・バッフルが正しい位置に正しく取り付けられていること、および、サーバーのカバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。
2. 室温が仕様の範囲内であることを確認します。

3. ファンに障害がある場合は、ファンの障害に対するアクションを実行してください。

4. DIMM n を交換します。(n = DIMM 番号)

806f0a13-0301ffff A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(CPU 1 PECT)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130301ffff または 0x806f0a130301ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0244

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a13-0302ffff A Fatal Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName].(CPU 2 PECT)

説明: このメッセージは、実装環境でバスの致命的エラーが検出された場合に使用されます。

806f0a130302ffff または 0x806f0a130302ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0244

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. マイクロプロセッサを取り付け直し、サーバーを再起動します。
2. マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

81010002-0701ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower non-critical) has
deasserted.(CMOS Battery)**

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーの下降が表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810100020701ffff または 0x810100020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0477

SNMP トラップ ID: 13

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(CMOS
Battery)**

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 12V : SysBrd 3.3V : SysBrd 5V :

81010204-1d01ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 1A
Tach)**

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d01ffff または 0x810102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 1B Tach :

81010204-1d02ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 2A
Tach)**

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d02ffff または 0x810102041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 2B Tach :

81010204-1d03ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 3A
Tach)**

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d03ffff または 0x810102041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 3B Tach :

81010204-1d04ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 4A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d04ffff または 0x810102041d04ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 4B Tach :

81010204-1d05ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 5A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d05ffff または 0x810102041d05ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 5B Tach :

81010204-1d06ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 6A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d06ffff または 0x810102041d06ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 6B Tach :

81010204-1d07ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 7A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810102041d07ffff または 0x810102041d07ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 7B Tach :

81010204-1d08ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going low
(lower critical) has deasserted.(Fan 8A Tach)

説明: このメッセージは、実装環境で下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010701-0f01ffff • 81010701-1002ffff

810102041d08ffff または 0x810102041d08ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。Fan 8B Tach :

81010701-0f01ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has
deasserted.(REAR BP Temp A)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010f01ffff または 0x810107010f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-0f02ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has
deasserted.(REAR BP Temp B)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107010f02ffff または 0x810107010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1001ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.(PCI 1
Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011001ffff または 0x810107011001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RAID 環境温度 : RR PCI1 環境温度 :

81010701-1002ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.(PCI 2
Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011002ffff または 0x810107011002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RR PCI2 環境温度 :

81010701-1003ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.(PCI 3
Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011003ffff または 0x810107011003ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RR PCI3 環境温度 :

81010701-1301ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.(PSU
1 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011301ffff または 0x810107011301ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。PSU 2 環境温度 :

81010701-1401ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.(CPU1
VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011401ffff または 0x810107011401ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1402ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has deasserted.(CPU2
VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011402ffff または 0x810107011402ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1403ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-critical) has
deasserted.(DIMM AB VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011403ffff または 0x810107011403ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1404ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011404ffff または 0x810107011404ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1405ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011405ffff または 0x810107011405ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-1406ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107011406ffff または 0x810107011406ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-2d01ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107012d01ffff または 0x810107012d01ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010701-3701ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で警告域の上限センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810107013701ffff または 0x810107013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0f01ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(REAR BP
Temp A)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010f01ffff または 0x810109010f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-0f02ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(REAR BP
Temp B)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109010f02ffff または 0x810109010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1001ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(PCI 1
Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011001ffff または 0x810109011001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RAID 環境温度 : RR PCI1 環境温度 :

81010901-1002ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(PCI 2
Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011002ffff または 0x810109011002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RR PCI2 環境温度 :

81010901-1003ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(PCI 3
Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011003ffff または 0x810109011003ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RR PCI3 環境温度 :

81010901-1301ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(PSU 1
Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011301ffff または 0x810109011301ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。PSU 2 環境温度 :

81010901-1401ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(CPU1 VR
Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011401ffff または 0x810109011401ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1402ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(CPU2 VR
Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011402ffff または 0x810109011402ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1403ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(DIMM
AB VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011403ffff または 0x810109011403ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1404ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(DIMM
CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011404ffff または 0x810109011404ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1405ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(DIMM
EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011405ffff または 0x810109011405ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-1406ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(DIMM
GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109011406ffff または 0x810109011406ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-2d01ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(PCH
Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109012d01ffff または 0x810109012d01ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010901-3701ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(Ambient
Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010902-0701ffff • 81010b01-1001ffff

810109013701ffff または 0x810109013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010902-0701ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper critical) has deasserted.(SysBrd
12V)

説明: このメッセージは、実装環境で上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。SysBrd 3.3V: SysBrd 5V:

81010b01-0f01ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(REAR BP Temp A)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010f01ffff または 0x81010b010f01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-0f02ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(REAR BP Temp B)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b010f02ffff または 0x81010b010f02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1001ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(PCI 1 Amb Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011001ffff または 0x81010b011001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RAID 環境温度: RR PCI1 環境温度:

81010b01-1002ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(PCI 2 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011002ffff または 0x81010b011002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RR PCI2 環境温度 :

81010b01-1003ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(PCI 3 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011003ffff または 0x81010b011003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。RR PCI3 環境温度 :

81010b01-1301ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(PSU 1 Amb Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011301ffff または 0x81010b011301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。PSU 2 環境温度 :

81010b01-1401ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(CPU1 VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011401ffff または 0x81010b011401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1402ffff Numeric sensor

**[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(CPU2 VR Temp)**

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011402ffff または 0x81010b011402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1403ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(DIMM AB VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011403ffff または 0x81010b011403ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1404ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(DIMM CD VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011404ffff または 0x81010b011404ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1405ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(DIMM EF VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011405ffff または 0x81010b011405ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-1406ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(DIMM GH VR Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b011406ffff または 0x81010b011406ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-2d01ffff Numeric sensor
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(PCH Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b012d01ffff または 0x81010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010b01-3701ffff **Numeric sensor**
[NumericSensorElementName] going high
(upper non-recoverable) has
deasserted.(Ambient Temp)

説明: このメッセージは、実装環境で上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が検出された場合に使用されます。

81010b013701ffff または 0x81010b013701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030006-2101ffff **Sensor [SensorElementName] has**
asserted.(Sig Verify Fail)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8103000f-2101ffff **Sensor [SensorElementName] has**
asserted.(IMM FW Corrupted)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

8103000f2101ffff または 0x8103000f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301ffff **Sensor [SensorElementName] has**
asserted.(OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明が検出された場合に使用されます。

810300122301ffff または 0x810300122301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030108-1301ffff **Sensor [SensorElementName] has**
deasserted.(PS Heavy Load)

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301081301ffff または 0x810301081301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

8103010c-2581ffff • 8107010d-2582ffff

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8103010c-2581ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted.(Non-Auth DIMMs)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

8103010c2581ffff または 0x8103010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030112-0601ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted.(SMM Mode)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーによる表明解除が検出された場合に使用されます。

810301120601ffff または 0x810301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。SMM モニター:

81070101-0c01ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(Ambient Status)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810701010c01ffff または 0x810701010c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070101-2c01ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(ML2 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810701012c01ffff または 0x810701012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 12

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010d-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(RAID Vol State)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010d2582ffff または 0x8107010d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2201ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(GPT Status)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2201ffff または 0x8107010f2201ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107010f-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(I/O Resources)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

8107010f2582ffff または 0x8107010f2582ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070128-2e01ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition from normal to non-critical state.(ME Recovery)**

説明: このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態への変化を表明解除したことを実装環境が検出した場合に使用されます。

810701282e01ffff または 0x810701282e01ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0521

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 1 OverTemp)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702010301ffff または 0x810702010301ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 2 OverTemp)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702010302ffff または 0x810702010302ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(SysBrd Vol Fault)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702020701ffff または 0x810702020701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PS 1 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702040a01ffff または 0x810702040a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PS 2 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702040a02ffff または 0x810702040a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PS 1 Therm Fault)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702080a01ffff または 0x810702080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a02ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(PS 2 Therm Fault)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702080a02ffff または 0x810702080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020d-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(RAID Vol State)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

8107020d2582ffff または 0x8107020d2582ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2201ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(TXT ACM Module)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107020f-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(I/O Resources)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070214-2201ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(TPM Lock)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702142201ffff または 0x810702142201ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(SysBrd Fault)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0301ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 1 QPILinkErr)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0301ffff または 0x8107021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107021b-0302ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(CPU 2 QPILinkErr)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

8107021b0302ffff または 0x8107021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070228-2e01ffff **Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical.(IPMB IO Error)**

説明: このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが検出された場合に使用されます。

810702282e01ffff または 0x810702282e01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ME エラー : ME フラッシュ・エラー :

81070301-0301ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(CPU 1 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810703010301ffff または 0x810703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(CPU 2 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810703010302ffff または 0x810703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-2c01ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(ML2 OverTemp)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810703012c01ffff または 0x810703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

8107030d-2582ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state.(RAID Vol State)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8107030d2582ffff または 0x8107030d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070608-0a01ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable.(PS1 12V OC Fault)**

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810706080a01ffff または 0x810706080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。PS1 12V OV 障害 : PS1 12V UV 障害 : PS1 12Vaux 障害 :

81070608-0a02ffff **Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable.(PS2 12V OC Fault)**

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810706080a02ffff または 0x810706080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。PS2 12V OV 障害 : PS2 12V UV 障害 : PS2 12Vaux 障害 :

810b010a-1e81ffff **Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted.(Fan Zone 1)**

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e81ffff または 0x810b010a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**810b010a-1e82ffff Redundancy Lost for
[RedundancySetElementName] has
deasserted.(Fan Zone 2)**

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e82ffff または 0x810b010a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**810b010c-2581ffff Redundancy Lost for
[RedundancySetElementName] has
deasserted.(Backup Memory)**

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581ffff または 0x810b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**810b0309-1301ffff Non-redundant:Sufficient Resources
from Redundancy Degraded or Fully
Redundant for
[RedundancySetElementName] has
deasserted.(Power Resource)**

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b03091301ffff または 0x810b03091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0807

SNMP トラップ ID: 10

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**810b030c-2581ffff Non-redundant:Sufficient Resources
from Redundancy Degraded or Fully
Redundant for
[RedundancySetElementName] has
deasserted.(Backup Memory)**

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581ffff または 0x810b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0807

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**810b0509-1301ffff Non-redundant:Insufficient
Resources for
[RedundancySetElementName] has
deasserted.(Power Resource)**

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長:

不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b05091301ffff または 0x810b05091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 9

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e81ffff Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted.(Fan Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e81ffff または 0x810b050a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e82ffff Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted.(Fan Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e82ffff または 0x810b050a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ファン障害

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 11

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581ffff Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted.(Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なリソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581ffff または 0x810b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from IERR.(CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302ffff [ProcessorElementName] has
Recovered from IERR.(CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00070302ffff または 0x816f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has
been removed from container
[PhysicalPackageElementName].(Power
Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01ffff または 0x816f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0008-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has
been removed from container
[PhysicalPackageElementName].(Power
Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02ffff または 0x816f00080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1301ffff [PowerSupplyElementName] has
been turned on.(Host Power)

説明: このメッセージは、電源装置が使用可能にされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091301ffff または 0x816f00091301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0107

SNMP トラップ ID: 24

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f000d-0400ffff The Drive
[StorageVolumeElementName] has been
removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0400ffff または 0x816f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。

3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0401ffff The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0402ffff The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0402ffff または 0x816f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0403ffff The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0403ffff または 0x816f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0404ffff The Drive

**[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0404ffff または 0x816f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0405ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0405ffff または 0x816f000d0405ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0406ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0406ffff または 0x816f000d0406ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0407ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0407ffff または 0x816f000d0407ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0408ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been
removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0408ffff または 0x816f000d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-0409ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been
removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d0409ffff または 0x816f000d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。

3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。

4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-040affff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been
removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040affff または 0x816f000d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-040bffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been
removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040bffff または 0x816f000d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-040cffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040cffff または 0x816f000d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ハードディスク・ドライブを交換します。
3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
4. SAS ケーブルを確認します。

816f000d-040dffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName].(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが取り外されたことが検出された場合に使用されます。

816f000d040dffff または 0x816f000d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 22

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. ハードディスク・ドライブ n を取り付け直します。(n = ハードディスク・ドライブ番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。
2. ディスク、RAID コントローラー、およびバックプレーンのファームウェアが最新レベルであることを確認します。
3. SAS ケーブルを確認します。
4. ハードディスク・ドライブを交換します。

816f000f-2201ffff The System

[ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion.(ABR Status)

説明: このメッセージは、実装環境で POST エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0185

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。ファームウェア・エラー: システム・ブート状況:

816f0013-1701ffff System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt.(NMI State)

説明: このメッセージは、実装環境でフロント・パネル NMI/診断割り込みからのリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0223

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201ffff Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system
[ComputerSystemElementName].(No Op
ROM Space)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2582ffff Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(All PCI Error)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの PCI エラー:

816f0021-2c01ffff Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(ML2 Card Fault)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00212c01ffff または 0x816f00212c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3001ffff Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(Internal RAID)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213001ffff または 0x816f00213001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。PCI 1 :

816f0021-3002ffff Fault condition removed on slot
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(PCI 2)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213002ffff または 0x816f00213002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

816f0021-3003ffff • 816f0108-0a01ffff

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-3003ffff **Fault condition removed on slot**
[PhysicalConnectorElementName] on
system [ComputerSystemElementName].
(PCI 3)

説明: このメッセージは、実装環境でスロットの障害状態が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f00213003ffff または 0x816f00213003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0028-2101ffff **Sensor [SensorElementName] has**
returned to normal on management
system [ComputerSystemElementName].
(TPM Cmd Failures)

説明: このメッセージは、センサーが機能低下/使用不可/障害から戻ったことが実装環境で検出された場合に表示されます。

816f00282101ffff または 0x816f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0399

SNMP トラップ ID: 60

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0301ffff **An Over-Temperature Condition**
has been removed on
[ProcessorElementName].(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302ffff **An Over-Temperature Condition**
has been removed on
[ProcessorElementName].(CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070302ffff または 0x816f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01ffff **[PowerSupplyElementName] has**
returned to OK status.(Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01ffff または 0x816f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has returned to OK status.(Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02ffff または 0x816f01080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2001ffff または 0x816f010c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2002ffff または 0x816f010c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2003ffff または 0x816f010c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004ffff Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

816f010c-2005ffff • 816f010c-2008ffff

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2004ffff または 0x816f010c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2005ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2005ffff または 0x816f010c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2006ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2006ffff または 0x816f010c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2007ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2007ffff または 0x816f010c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2008ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2008ffff または 0x816f010c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2009ffff または 0x816f010c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200affff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200affff または 0x816f010c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200bffff または 0x816f010c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200cffff または 0x816f010c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200dffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)

816f010c-200effff • 816f010c-2011ffff

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200dffff または 0x816f010c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-200effff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200effff または 0x816f010c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-200fffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c200fffff または 0x816f010c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2010ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2010ffff または 0x816f010c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2011ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2011ffff または 0x816f010c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2012ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2012ffff または 0x816f010c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2013ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2013ffff または 0x816f010c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2014ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2014ffff または 0x816f010c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2015ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2015ffff または 0x816f010c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2016ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 22)

816f010c-2017ffff • 816f010d-0400ffff

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2016ffff または 0x816f010c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2017ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 23)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2017ffff または 0x816f010c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2018ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 24)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2018ffff または 0x816f010c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f010c-2581ffff Uncorrectable error recovery
detected for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].(All
DIMMS)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの訂正不能エラー・リカバリーが検出された場合に使用されます。

816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

**816f010d-0400ffff The Drive
[StorageVolumeElementName] has been
enabled.(Drive 0)**

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0400ffff または 0x816f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0402ffff または 0x816f010d0402ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0403ffff または 0x816f010d0403ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0404ffff または 0x816f010d0404ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0405ffff または 0x816f010d0405ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

816f010d-0406ffff • 816f010d-040affff

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0406ffff または 0x816f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0407ffff または 0x816f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0408ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0408ffff または 0x816f010d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0409ffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d0409ffff または 0x816f010d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040affff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d040affff または 0x816f010d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040bffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d040bffff または 0x816f010d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040cffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d040cffff または 0x816f010d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-040dffff The Drive

[StorageVolumeElementName] has been enabled.(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でドライブが使用可能に設定されたことが検出されたときに使用されます。

816f010d040dffff または 0x816f010d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201ffff The System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang.(Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0187

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0113-0301ffff System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout.(CPU 1 Peci)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130301ffff または 0x816f01130301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0225

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f0113-0302ffff System

[ComputerSystemElementName] has recovered from a bus timeout.(CPU 2 PECI)

説明: このメッセージは、システムがバス・タイムアウトからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01130302ffff または 0x816f01130302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0225

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します (『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサーとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサー番号)

816f011b-0701ffff The connector

[PhysicalConnectorElementName] configuration error has been repaired.(Front USB)

説明: このメッセージは、インターコネクト構成が修復されたことが検出された場合に使用されます。

816f011b0701ffff または 0x816f011b0701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0267

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。前面ビデオ :

816f011b-0c01ffff The connector

[PhysicalConnectorElementName] configuration error has been repaired.(FP LCD Cable)

説明: このメッセージは、インターコネクト構成が修復されたことが検出された場合に使用されます。

816f011b0c01ffff または 0x816f011b0c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0267

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0c01ffff [ManagedElementName] detected as present.(Front Panel)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01250c01ffff または 0x816f01250c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1001ffff [ManagedElementName] detected as present.(PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251001ffff または 0x816f01251001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1002ffff [ManagedElementName] detected as present.(PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01251002ffff または 0x816f01251002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-2c01ffff [ManagedElementName] detected as present.(ML2 Card)

説明: このメッセージは、実装環境で管理対象エレメントが現在は存在することが検出された場合に使用されます。

816f01252c01ffff または 0x816f01252c01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition.(CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302ffff [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition.(CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f02070302ffff または 0x816f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-2584ffff [ProcessorElementName] has
Recovered from FRB1/BIST
condition.(All CPUs)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー
済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で
検出された場合に使用されます。

816f02072584ffff または 0x816f02072584ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。1 つの CPU :

816f020d-0400ffff Failure no longer Predicted on
drive [StorageVolumeElementName] for
array [ComputerSystemElementName].
(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0400ffff または 0x816f020d0400ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0401ffff Failure no longer Predicted on
drive [StorageVolumeElementName] for
array [ComputerSystemElementName].
(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0402ffff Failure no longer Predicted on
drive [StorageVolumeElementName] for
array [ComputerSystemElementName].
(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0402ffff または 0x816f020d0402ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0403ffff Failure no longer Predicted on
drive [StorageVolumeElementName] for
array [ComputerSystemElementName].
(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0403ffff または 0x816f020d0403ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0404ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0404ffff または 0x816f020d0404ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0405ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0405ffff または 0x816f020d0405ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0406ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0406ffff または 0x816f020d0406ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0407ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0407ffff または 0x816f020d0407ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0408ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0408ffff または 0x816f020d0408ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-0409ffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d0409ffff または 0x816f020d0409ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-040affff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040affff または 0x816f020d040affff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-040bffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040bffff または 0x816f020d040bffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-040cffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040cffff または 0x816f020d040cffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f020d-040dffff Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でアレイ障害が現在
は予測されないことが検出された場合に使用されます。

816f020d040dffff または 0x816f020d040dffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f0308-0a01ffff [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State.(Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01ffff または 0x816f03080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02ffff [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State.(Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が正常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02ffff または 0x816f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2001ffff または 0x816f030c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2002ffff または 0x816f030c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003ffff Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2003ffff または 0x816f030c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2004ffff または 0x816f030c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2005ffff または 0x816f030c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2006ffff または 0x816f030c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2007ffff または 0x816f030c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2008ffff または 0x816f030c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2009ffff または 0x816f030c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200affff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200affff または 0x816f030c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200bffff または 0x816f030c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200cffff または 0x816f030c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200dffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200dffff または 0x816f030c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200effff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200effff または 0x816f030c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200fffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c200fffff または 0x816f030c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2010ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2010ffff または 0x816f030c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2011ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2011ffff または 0x816f030c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2012ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2012ffff または 0x816f030c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2013ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2013ffff または 0x816f030c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2014ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2014ffff または 0x816f030c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2015ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2015ffff または 0x816f030c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2016ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2016ffff または 0x816f030c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2017ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2017ffff または 0x816f030c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2018ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2018ffff または 0x816f030c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2581ffff Scrub Failure for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
recovered.(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの消し込み障害のリカバリーが検出された場合に使用されます。

816f030c2581ffff または 0x816f030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f030d-0400ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されません。

816f030d0400ffff または 0x816f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0401ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されません。

816f030d0401ffff または 0x816f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0402ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されません。

816f030d0402ffff または 0x816f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0403ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d0403ffff または 0x816f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0404ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d0404ffff または 0x816f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0405ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d0405ffff または 0x816f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0406ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d0406ffff または 0x816f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0407ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d0407ffff または 0x816f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0408ffff Hot spare disabled for
[ComputerSystemElementName].(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが

816f030d-0409ffff • 816f030d-040dffff

使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d0408ffff または 0x816f030d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-0409ffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d0409ffff または 0x816f030d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040affff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d040affff または 0x816f030d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040bffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d040bffff または 0x816f030d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040cffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d040cffff または 0x816f030d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030d-040dffff Hot spare disabled for [ComputerSystemElementName].(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境でホット・スペアが使用不可となったことが検出された場合に使用されます。

816f030d040dffff または 0x816f030d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0171

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0313-1701ffff System

[ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI.(NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701ffff または 0x816f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0230

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName]

**Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2001ffff または 0x816f040c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName]

**Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2002ffff または 0x816f040c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName]

**Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2003ffff または 0x816f040c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName]

**Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2004ffff または 0x816f040c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

816f040c-2005ffff • 816f040c-2009ffff

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2005ffff または 0x816f040c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2006ffff または 0x816f040c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可

能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2007ffff または 0x816f040c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2008ffff または 0x816f040c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2009ffff または 0x816f040c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200affff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200affff または 0x816f040c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200bffff または 0x816f040c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200cffff または 0x816f040c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200dffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200dffff または 0x816f040c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200effff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200effff または 0x816f040c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200ffff [PhysicalMemoryElementName]
 Enabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c200ffff または 0x816f040c200ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName]
 Enabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2010ffff または 0x816f040c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2011ffff [PhysicalMemoryElementName]
 Enabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2011ffff または 0x816f040c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2012ffff [PhysicalMemoryElementName]
 Enabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2012ffff または 0x816f040c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2013ffff [PhysicalMemoryElementName]
 Enabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2013ffff または 0x816f040c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2014ffff [PhysicalMemoryElementName]
 Enabled on Subsystem
 [MemoryElementName].(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可

能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2014ffff または 0x816f040c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2015ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2015ffff または 0x816f040c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2016ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2016ffff または 0x816f040c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2017ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2017ffff または 0x816f040c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2018ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2018ffff または 0x816f040c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581ffff [PhysicalMemoryElementName]
Enabled on Subsystem
[MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

816f0413-2582ffff • 816f050c-2001ffff

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f0413-2582ffff A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、実装環境で PCI PERR がリカバリーされたことが検出された場合に使用されます。

816f04132582ffff または 0x816f04132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0233

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301ffff [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

816f05070301ffff または 0x816f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302ffff [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

816f05070302ffff または 0x816f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-2584ffff [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされた場合に使用されます。

816f05072584ffff または 0x816f05072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

816f050c-2001ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2001ffff または 0x816f050c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2002ffff または 0x816f050c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2003ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2003ffff または 0x816f050c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2004ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2004ffff または 0x816f050c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2005ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2005ffff または 0x816f050c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギン

816f050c-2007ffff • 816f050c-200affff

グ限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2006ffff または 0x816f050c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2007ffff または 0x816f050c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2008ffff または 0x816f050c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2009ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2009ffff または 0x816f050c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200affff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200affff または 0x816f050c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200bffff Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200bffff または 0x816f050c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200cffff Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200cffff または 0x816f050c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200dffff Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200dffff または 0x816f050c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200effff Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200effff または 0x816f050c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200fffff Memory Logging Limit Removed
for [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 15)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c200fffff または 0x816f050c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2010ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2010ffff または 0x816f050c2010ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2011ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2011ffff または 0x816f050c2011ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2012ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2012ffff または 0x816f050c2012ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2013ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2013ffff または 0x816f050c2013ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2014ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2014ffff または 0x816f050c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2015ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2015ffff または 0x816f050c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2016ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2016ffff または 0x816f050c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2017ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2017ffff または 0x816f050c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2018ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2018ffff または 0x816f050c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581ffff Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー・ロギング限度が除去されたことが検出された場合に使用されます。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f050d-0400ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 0)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0400ffff または 0x816f050d0400ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 1)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 2)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0402ffff または 0x816f050d0402ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403ffff Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 3)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0403ffff または 0x816f050d0403ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404ffff Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 4)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0404ffff または 0x816f050d0404ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405ffff Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 5)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0405ffff または 0x816f050d0405ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406ffff Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 6)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0406ffff または 0x816f050d0406ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407ffff Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 7)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0407ffff または 0x816f050d0407ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0408ffff Critical Array

[ComputerSystemElementName] has deasserted.(Drive 8)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d-0409ffff • 816f050d-040cffff

816f050d0408ffff または 0x816f050d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0409ffff Critical Array
[ComputerSystemElementName] has
deasserted.(Drive 9)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d0409ffff または 0x816f050d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040affff Critical Array
[ComputerSystemElementName] has
deasserted.(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040affff または 0x816f050d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040bffff Critical Array
[ComputerSystemElementName] has
deasserted.(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040bffff または 0x816f050d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040cffff Critical Array
[ComputerSystemElementName] has
deasserted.(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040cffff または 0x816f050d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-040dffff Critical Array**[ComputerSystemElementName] has
deasserted.(Drive 13)**

説明: このメッセージは、実装環境でクリティカルなアレイが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f050d040dffff または 0x816f050d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0607-0301ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU
complex error for
[ProcessorElementName] has
deasserted.(CPU 1)**

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0607-0302ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU
complex error for
[ProcessorElementName] has
deasserted.(CPU 2)**

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302ffff または 0x816f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0607-2584ffff An SM BIOS Uncorrectable CPU
complex error for
[ProcessorElementName] has
deasserted.(All CPUs)**

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06072584ffff または 0x816f06072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

**816f0608-1301ffff [PowerSupplyElementName]
Configuration is OK.(PS Configuration)**

説明: このメッセージは、パワー・サプライ構成が OK である場合に使用されます。

816f06081301ffff または 0x816f06081301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0105

SNMP トラップ ID: 4

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 0)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0400ffff または 0x816f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 1)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 2)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0402ffff または 0x816f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 3)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0403ffff または 0x816f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 4)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0404ffff または 0x816f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 5)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0405ffff または 0x816f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 6)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0406ffff または 0x816f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 7)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0407ffff または 0x816f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0408ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 8)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0408ffff または 0x816f060d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0409ffff Array in system**[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 9)**

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d0409ffff または 0x816f060d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040affff Array in system

[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 10)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040affff または 0x816f060d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040bffff Array in system

[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 11)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040bffff または 0x816f060d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040cffff Array in system

[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 12)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040cffff または 0x816f060d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-040dffff Array in system

[ComputerSystemElementName] has been restored.(Drive 13)

説明: このメッセージは、実装環境で失敗したアレイが復元されたことが検出された場合に使用されます。

816f060d040dffff または 0x816f060d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2001ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2001ffff または 0x816f070c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2002ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2002ffff または 0x816f070c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2003ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2003ffff または 0x816f070c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2004ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM

構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2004ffff または 0x816f070c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2005ffff または 0x816f070c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2006ffff または 0x816f070c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2007ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2007ffff または 0x816f070c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2008ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2008ffff または 0x816f070c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2009ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 9)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2009ffff または 0x816f070c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200affff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 10)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200affff または 0x816f070c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200bffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 11)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200bffff または 0x816f070c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200cffff または 0x816f070c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200dffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200dffff または 0x816f070c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200effff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200effff または 0x816f070c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200fffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c200fffff または 0x816f070c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2010ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 16)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2010ffff または 0x816f070c2010ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2011ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 17)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2011ffff または 0x816f070c2011ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2012ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 18)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2012ffff または 0x816f070c2012ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2013ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 19)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2013ffff または 0x816f070c2013ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2014ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 20)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2014ffff または 0x816f070c2014ffff として表示される場合があります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2015ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2015ffff または 0x816f070c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2016ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2016ffff または 0x816f070c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2017ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2017ffff または 0x816f070c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2018ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070c2018ffff または 0x816f070c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581ffff Configuration error for
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName]has
deasserted.(All DIMMS)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f070d-0400ffff • 816f070d-0404ffff

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの DIMM:

816f070d-0400ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0400ffff または 0x816f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0402ffff または 0x816f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0403ffff または 0x816f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0404ffff または 0x816f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0405ffff または 0x816f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0406ffff または 0x816f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了した

ことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0407ffff または 0x816f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0408ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 8)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0408ffff または 0x816f070d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0409ffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 9)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0409ffff または 0x816f070d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

816f070d-040affff • 816f0807-0301ffff

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040affff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 10)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040affff または 0x816f070d040affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040bffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 11)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040bffff または 0x816f070d040bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040cffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 12)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040cffff または 0x816f070d040cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-040dffff Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 13)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d040dffff または 0x816f070d040dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301ffff [ProcessorElementName] has been Enabled.(CPU 1)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302ffff [ProcessorElementName] has been Enabled.(CPU 2)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08070302ffff または 0x816f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584ffff [ProcessorElementName] has been Enabled.(All CPUs)

説明: このメッセージは、実装環境でプロセッサが使用可能となったことが検出された場合に使用されます。

816f08072584ffff または 0x816f08072584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。1 つの CPU :

816f0813-2581ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.(DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08132581ffff または 0x816f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.(PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08132582ffff または 0x816f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584ffff System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error.(CPUs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08132584ffff または 0x816f08132584ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2001ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 1)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2001ffff または 0x816f090c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2002ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 2)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2002ffff または 0x816f090c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2003ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 3)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2003ffff または 0x816f090c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2004ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 4)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2004ffff または 0x816f090c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2005ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2005ffff または 0x816f090c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2006ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2006ffff または 0x816f090c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2007ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2007ffff または 0x816f090c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2008ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2008ffff または 0x816f090c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2009ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2009ffff または 0x816f090c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200affff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200affff または 0x816f090c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200bffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200bffff または 0x816f090c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200cffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200cffff または 0x816f090c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200dffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200dffff または 0x816f090c200dffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200effff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200effff または 0x816f090c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-200fffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c200fffff または 0x816f090c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2010ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName] is no
longer Throttled.(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーの
スロットルが発生していないことが検出された場合に使用
されます。

816f090c2010ffff または 0x816f090c2010ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f090c-2011ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName] is no
longer Throttled.(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーの
スロットルが発生していないことが検出された場合に使用
されます。

816f090c2011ffff または 0x816f090c2011ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f090c-2012ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName] is no
longer Throttled.(DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーの
スロットルが発生していないことが検出された場合に使用
されます。

816f090c2012ffff または 0x816f090c2012ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f090c-2013ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName] is no
longer Throttled.(DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーの
スロットルが発生していないことが検出された場合に使用
されます。

816f090c2013ffff または 0x816f090c2013ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f090c-2014ffff [PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName] is no
longer Throttled.(DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーの
スロットルが発生していないことが検出された場合に使用
されます。

816f090c2014ffff または 0x816f090c2014ffff として表示
される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみで
す。

816f090c-2015ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2015ffff または 0x816f090c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2016ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2016ffff または 0x816f090c2016ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2017ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2017ffff または 0x816f090c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f090c-2018ffff [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName] is no longer Throttled.(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境で現在はメモリーのスロットルが発生していないことが検出された場合に使用されます。

816f090c2018ffff または 0x816f090c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0143

SNMP トラップ ID:

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301ffff The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State.(CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302ffff The Processor

**[ProcessorElementName] is no longer
operating in a Degraded State.(CPU 2)**

説明: このメッセージは、プロセッサがもはや機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070302ffff または 0x816f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0a0c-2001ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 1)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2001ffff または 0x816f0a0c2001ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0a0c-2002ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超

過状態が解除されたことが検出された場合に使用され

ます。
816f0a0c2002ffff または 0x816f0a0c2002ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0a0c-2003ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用され

ます。
816f0a0c2003ffff または 0x816f0a0c2003ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0a0c-2004ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用され

ます。
816f0a0c2004ffff または 0x816f0a0c2004ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

816f0a0c-2005ffff • 816f0a0c-2008ffff

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2005ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 5)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2005ffff または 0x816f0a0c2005ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2006ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 6)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2006ffff または 0x816f0a0c2006ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2007ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2007ffff または 0x816f0a0c2007ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2008ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2008ffff または 0x816f0a0c2008ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2009ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2009ffff または 0x816f0a0c2009ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200affff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 10)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200affff または 0x816f0a0c200affff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200bffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 11)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200bffff または 0x816f0a0c200bffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200cffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200cffff または 0x816f0a0c200cffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200dffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200dffff または 0x816f0a0c200dffff として表示される場合もあります。

816f0a0c-200effff • 816f0a0c-2011ffff

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200effff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200effff または 0x816f0a0c200effff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-200fffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 15)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c200fffff または 0x816f0a0c200fffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2010ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 16)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2010ffff または 0x816f0a0c2010ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2011ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2011ffff または 0x816f0a0c2011ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2012ffff An Over-Temperature Condition
 has been removed on the
 [PhysicalMemoryElementName] on
 Subsystem [MemoryElementName].
 (DIMM 18)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2012ffff または 0x816f0a0c2012ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2013ffff An Over-Temperature Condition
 has been removed on the
 [PhysicalMemoryElementName] on
 Subsystem [MemoryElementName].
 (DIMM 19)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2013ffff または 0x816f0a0c2013ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2014ffff An Over-Temperature Condition
 has been removed on the
 [PhysicalMemoryElementName] on
 Subsystem [MemoryElementName].
 (DIMM 20)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2014ffff または 0x816f0a0c2014ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2015ffff An Over-Temperature Condition
 has been removed on the
 [PhysicalMemoryElementName] on
 Subsystem [MemoryElementName].
 (DIMM 21)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2015ffff または 0x816f0a0c2015ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2016ffff An Over-Temperature Condition
 has been removed on the
 [PhysicalMemoryElementName] on
 Subsystem [MemoryElementName].
 (DIMM 22)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2016ffff または 0x816f0a0c2016ffff として表示される場合もあります。

816f0a0c-2017ffff • 816f0a13-0302ffff

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2017ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 23)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2017ffff または 0x816f0a0c2017ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a0c-2018ffff An Over-Temperature Condition
has been removed on the
[PhysicalMemoryElementName] on
Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 24)

説明: このメッセージは、実装環境でメモリーの温度超過状態が解除されたことが検出された場合に使用されます。

816f0a0c2018ffff または 0x816f0a0c2018ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0147

SNMP トラップ ID: 0

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a13-0301ffff System
[ComputerSystemElementName] has
recovered from a Fatal Bus Error.(CPU
1 PECl)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130301ffff または 0x816f0a130301ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0245

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

816f0a13-0302ffff System
[ComputerSystemElementName] has
recovered from a Fatal Bus Error.(CPU
2 PECl)

説明: このメッセージは、システムがバスの致命的エラーからリカバリーされたことを実装環境が検出した場合に使用されます。

816f0a130302ffff または 0x816f0a130302ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0245

SNMP トラップ ID: 50

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置:

1. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します (『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』および『マイクロプロセッサとヒートシンクの再取り付け』を参照)。
2. 問題が解決せず、同じエラーを示す別の CPU がない場合は、システム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します (『システム・ボードの取り外し』および『システム・ボードの交換』を参照)。(n = マイクロプロセッサ番号)

付録 B. UEFI/POST 診断コード

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

イベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。

説明 イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度 状態の懸念度が示されます。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 47. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー処置あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではないですが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置。

問題が解決するまで、ステップを順番に実行します。このフィールドに記載されているすべての処置を実行しても問題が解決されない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。

サーバーの F1 Setup メニューのブート

サーバーの F1 Setup メニューは、通常の方法 (<F1 Setup> が表示されているときに F1 を押す) のほかにも 2 種類の方法でブートできます。

• 方法 1

1. IMM2 Web サイトにアクセスします。
2. 「サーバー管理 (Server Management)」タブを選択します。
3. 「サーバー電源アクション (Server Power Action)」を選択します。
4. 「サーバーの F1 Setup のブート (Boot Server to F1 Setup)」を選択します。

• 方法 2

Advanced Settings Utility (ASU) プログラムを使用します。コマンド・ラインは次のとおりです。 **asu.exe set IMM.ForceBootToUefi enable**

重要:

1. F1 Setup メニュー パネルで Ctrl+Alt+Delete を押すと、システムが自動的にリブートし、もう一度パスワードを入力するように求められます。
2. F1 Setup の設定は、デフォルトをロードするだけのチップ・セットに関する項目がほとんどで、ユーザー入力が必要な項目はありません。ただし、iSCSI の設定を調整する場合は、iSCSI の構成についてはデフォルトに戻せないことに注意してください。これは、iSCSI の構成が失われるとオペレーティング・システムをブートできなくなる可能性があるため、それを回避するための措置です。

以下に、UEFI/POST エラー・コードおよび検出された問題を修正するための推奨アクションをリストします。

I.11002 [I.11002]

説明: システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800A [I.1800A]

説明: 複数のプロセッサ・パッケージで、QPI リンクに設定されている速度の不一致が検出されました。プロセッサのバス速度が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサを取り外し、Server Proven Web サイトにリストされているプロセッサを取り付けます。
2. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずシステム・ボードを交換します。

I.1800C [I.1800C]

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800D [I.1800D]

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。プロセッサの 1 つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800E [I.1800E]

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサの型式の不一致が検出されました。プロセッサの型式番号が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.1800F [I.1800F]

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。プロセッサのファミリーが一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.18010 [I.18010]

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました。同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.2018002 [I.2018002]

説明: リソース制約のために、バス %、デバイス %、機能 % で検出されたデバイスを構成できませんでした。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 セットアップ、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用して、未使用のオプション ROM を使用不可にする必要がある場合があります。
3. アダプターを別のスロットに移動します。スロットが利用不能であるか、エラーが再発する場合は、アダプターを交換します。
4. アダプターが別のスロットに移動され、エラーが再発しなかった場合、これがシステムの制限でないことを確認します。次にシステム・ボードを交換します。また、これが初回のインストールではなく、アダプターの交換後もエラーが続く場合も、システム・ボードを交換します。

I.2018003 [I.2018003]

説明: バス %、デバイス %、機能 % でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.ROM チェックサム・エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
4. アダプターを交換します。

I.3808004 [I.3808004]

説明: IMM システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再始動します。

I.3818001 [I.3818001]

説明: 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。1 次 UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818002 [I.3818002]

説明: ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. バックアップ UEFI イメージを更新します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは不要です。
3. エラーが続く場合、およびブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818003 [I.3818003]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクを 1 次にリセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートできない場合、またはファームウェアの更新が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

I.3818009 [I.3818009]

説明: TPM を正しく初期化できませんでした。TPMINIT: TPM チップを初期化できません。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。
3. エラーが解決しない場合は、システム・ボード・アセンブリーを交換します (『システム・ボード・アセンブリーの取り外し』および『システム・ボード・アセンブリーの取り付け』を参照)。

I.3868000 [I.3868000]

説明: IFM: アダプターをリセットするためのシステム・リセットが実行されました。IFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

I.3868003 [I.3868003]

説明: IFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。IFM: 互換モードには構成が大規模すぎです。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

I.5100B [I.5100B]

説明: 適格でない DIMM シリアル番号が検出されました: シリアル番号 %, スロット %, メモリー・カード %。適格でない DIMM シリアル番号が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. この通知イベントが IMM イベント・ログに記録されている場合、サーバーに適格なメモリーが取り付けられていません。
2. 取り付けられているメモリーは、保証の対象にならない場合があります。
3. 適格なメモリーがない場合、業界標準を超えてサポートされている速度は使用可能になりません。
4. 貴社担当の営業担当員または Authorized Business Partner に連絡して、適格なメモリーを発注し、適格でない DIMM を交換してください。
5. 適格なメモリーを取り付けてサーバーの電源を入れた後、この通知イベントがログに再び記録されないことを確認してください。

I.58015 [I.58015]

説明: メモリーのスペア・コピーが開始されました。スペア・コピーが開始されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 通知メッセージ。操作は不要です。

I.580A4 [I.580A4]

説明: メモリー装着の変化が検出されました。DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A5 [I.580A5]

説明: ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM number % has failed over to the mirrored copy. DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

I.580A6 [I.580A6]

説明: メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。スペア・コピーが完了しました。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで訂正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

S.1100B [S.1100B]

説明: CATERR(IERR) がプロセッサ % で表明されました。プロセッサ CATERR(IERR) が表明されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

S.1100C [S.1100C]

説明: プロセッサ % で訂正不能エラーが検出されました。訂正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

S.2011001 [S.2011001]

説明: 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.PCI SERR が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバ、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバ、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b. デバイス・ドライバを再ロードします。c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.2018001 [S.2018001]

説明: 訂正不能 PCIe エラーがバス % デバイス % 機能 % で発生しました。The Vendor ID for the device is % and the Device ID is %.PCIe 訂正不能エラーが検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバ、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバ、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合 a. アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。b. デバイス・ドライバを再ロードします。c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System

Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。

3. 問題が続く場合は、アダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリブートする場合は、カードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.3020007 [S.3020007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3028002 [S.3028002]

説明: ブート許可のタイムアウトが検出されました。ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。

S.3030007 [S.3030007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3040007 [S.3040007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3050007 [S.3050007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3058004 [S.3058004]

説明: 三振 (Three Strike) ブート障害が発生しました。The system has booted with default UEFI settings.POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このイベントは、次のブートで UEFI をデフォルト設定にリセットします。成功すると、Setup ユーティリティが表示されます。オリジナルの UEFI 設定はまだ残っています。
2. 意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。最近行ったシステム変更がない場合は、すべてのオプションを取り外した後、CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を

消去します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に 1 つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。

4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. UEFI ファームウェアを更新します。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3060007 [S.3060007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3070007 [S.3070007]

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

S.3108007 [S.3108007]

説明: デフォルトのシステム設定が復元されました。システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、該当する service bulletin あるいはこのエラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。

S.3818004 [S.3818004]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーステージング域を正常にフラッシュできませんでした。A failure occurred.CRTM 更新が失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. エラーが続く場合には、システムのブートを続行し、UEFI イメージを更新します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.3818007 [S.3818007]

説明: 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージを更新し、バンクを 1 次リセットします (必要な場合)。システムがエラーなくブートする場合は、リカバリーは完了です。追加アクションは不要です。
3. システムがブートできない場合、またはファームウェアの更新が失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

S.51003 [S.51003]

説明: 訂正不能メモリー・エラーがランク % の DIMM スロット % で検出されました。[S.51003] An uncorrectable memory error was detected on processor % channel %.The failing DIMM within the channel could not be determined.[S.51003] 訂正不能なメモリー・エラーが検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクタに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに交換します。<!--(check service information for this product/Install guide for population requirements for sparing/paring modes). -->別のメモリー・チャンネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサを交換します。
6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

S.51006 [S.51006]

説明: メモリーの不一致が検出されました。Please verify that the memory configuration is valid.1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 訂正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいは処置によって使用不可になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを使用不可にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート・サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. DIMM を交換します。
6. プロセッサを交換します。

S.51009 [S.51009]

説明: システム・メモリーが検出されませんでした。メモリーが検出されませんでした。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. これ以外にログに記録されているメモリー・エラーがある場合は、それらのコードで示されているアクションを最初に実行してください。
 2. 他のメモリー診断コードがログに表示されていない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクタが使用可能になっていることを確認します。
 3. 問題が解決しない場合は、ノードをシャットダウンしてシャーシから取り外し、1 つ以上の DIMM が取り付けられていること、およびすべての DIMM が正しい装着順序で取り付けられていることを物理的に確認してください。
 4. DIMM が存在しており、適切に取り付けられている場合は、点灯している DIMM コネクタ LED がいないかを確認し、ある場合は、その DIMM を取り付け直します。
 5. ノードをシャーシに再取り付けして電源をオンにし、ログでメモリー診断コードを確認します。
 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合は、プロセッサを交換します。
 7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します。
-

S.58008 [S.58008]

説明: DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクタを再度使用可能にするか、あるいは Setup ユーティリティを使用して、手動で対象の DIMM コネクタを再度使用可能にします。
2. このコンピュート・ノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. 問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が繰り返す場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ異なるメモリー・チャンネルまたはプロセッサに交換します。別のメモリー・チャンネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
5. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサを交換します。
7. 元の DIMM コネクタで問題が続く場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

S.68005 [S.68005]

説明: バス % で IIO コア・ロジックによってエラーが検出されました。The Global Fatal Error Status register contains %.The Global Non-Fatal Error Status register contains %.Please check error logs for the presence of additional downstream device error data.クリティカル IOH-PCI エラー

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを解決します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. 入出力装置または PCIe アダプターを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが報告されたシステム・ボードを交換します。

S.680B8 [S.680B8]

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

S.680B9 [S.680B9]

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを確認します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. (トレーニングを受けた技術員のみ) エラーが再発生した場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、システム・ボードを交換します。

W.11004 [W.11004]

説明: システム内のプロセッサが BIST に失敗しました。プロセッサ自己診断テストの失敗が検出されました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. プロセッサまたはファームウェアを更新したばかりの場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合、あるいはこれがシングル・プロセッサのシステムである場合は、そのプロセッサを交換します。プロセッサを取り外すたびに、プロセッサ・ソケットを検査し、プロセッサ・ソケットが損傷している場合や位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを取り外すたびにプロセッサ・ソケットを検査し、損傷したピンや位置がずれているピンが見つかった場合は、まずシステム・ボードを交換します。システム・ボードを交換します。

W.3048006 [W.3048006]

説明: 自動ブート・リカバリー (ABR) イベントのため、UEFI はバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 1 次 UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305000A [W.305000A]

説明: 無効な日時が検出されました。RTC 日時が誤っています。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて解決します。
2. F1 Setup を使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発生する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3058009 [W.3058009]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。Requires Change Settings From F1. ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 「F1 Setup」>「System Settings」>「Settings」>「Driver Health Status List」に進み、構成が必要な状況を報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再始動します。

W.305800A [W.305800A]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 障害状態のコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI に切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800B [W.305800B]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: リポートが必要なコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リポート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリポートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800C [W.305800C]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: システム・シャットダウンが必要なコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリポートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800D [W.305800D]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。Requires 'Reboot'. ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リポート」が必要です。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリポートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.305800E [W.305800E]

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス状況のドライバーが報告されました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. アクションは不要です。POST の最後にシステムがリポートします。
2. 問題が解決しない場合は、バックアップ UEFI イメージに切り替えるか、現在の UEFI イメージを更新します。
3. システム・ボードを交換します。

W.3808000 [W.3808000]

説明: IMM 通信障害が発生しました。IMM 通信に失敗しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. CMM から IMM をリセットします。
2. CMM を使用して、コンピュート・ノードから補助電源を除去します。これにより、コンピュート・ノードがリポートします。
3. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. UEFI ファームウェアを更新します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808002 [W.3808002]

説明: IMM への UEFI 設定の保存中にエラーが発生しました。IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. Setup ユーティリティを使用して、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、コンピュート・ノードから補助電源を除去します。これにより、コンピュート・ノードがリポートします。

4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS クリア・ジャンパーを使用して CMOS をクリアします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3808003 [W.3808003]

説明: IMM からシステム構成を取得できません。IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. Setup ユーティリティを使用し、この設定を確認および保存します (設定がリカバリーされます)。
2. CMM から IMM をリセットします。
3. CMM を使用して、コンピュート・ノードから補助電源を除去します。これにより、コンピュート・ノードがリブートします。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを更新します。
6. CMOS クリア・ジャンパーを使用して CMOS をクリアします。
7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3818005 [W.3818005]

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が異常終了しました。CRTM 更新が異常終了しました。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー処置は不要です。
3. イベントが解決されない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの更新を続行します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.3868001 [W.3868001]

説明: IFM: リセット・ループが回避されました。複数回のリセットは実行できません。IFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3868002 [W.3868002]

説明: IFM: IMM との通信中にエラーが発生しました。IFM が正しくデプロイされていない可能性があります。IFM: IMM との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

W.3938002 [W.3938002]

説明: ブート構成エラーが検出されました。ブート構成エラー。

重大度: 警告

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 「F1 Setup」->「Save Settings」
2. OOB 構成の更新を再試行します。

W.50001 [W.50001]

説明: POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が使用不可になりました。DIMM が使用不可です。

重大度: 通知

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メモリー障害によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、

Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再度使用可能にします。

3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからコンピュート・ノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを更新します。
7. 使用不可になったスロットからの DIMM を、一致する DIMM と交換/再取り付けします。スロットが使用不可のままである場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

W.58001 [W.58001]

説明: PFA しきい値限界 (訂正可能エラー・ロギング限界) を、アドレス % の DIMM 番号 % で超えました。MC5 Status contains % and MC5 Misc contains %.DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. このコンピュート・ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネル上の DIMM コネクターに異物が入っていないことを目視で確認してください。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポート・サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。
3. 上記のステップを実行しても問題が解決しない場合は、次の保守の機会に、同じメモリー・チャンネル上の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に 1 つずつスワップします。<!--(check service information for this product/Install guide for population requirements for sparing/paring modes). -->PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。
4. DIMM コネクター上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Light Path あるいはイベント・ログ・エントリー (またはその両方) で示された DIMM を交換します。

5. 同じ DIMM コネクターで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を 1 回に 1 つずつ別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに交換します。<!--(check service information for this product/Install guide for population requirements for sparing/paring modes). -->別のメモリー・チャンネルに移動した DIMM に問題が付随する場合は、その DIMM を交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、またはアップグレード・プロセッサの場合には、システム・ボードを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題がエラーが生じたプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、エラーが生じたプロセッサを交換します。
7. (トレーニングを受けた技術員のみ) 元の DIMM コネクターで問題が続く場合は、DIMM コネクターに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクターが損傷している場合は、システム・ボードを交換します。

W.58007 [W.58007]

説明: 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。Please verify memory configuration is valid.サポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報にあるガイドラインに従って装着されていることを確認します。
2. uEFI セットアップ・メニューですべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
3. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。

W.580A1 [W.580A1]

説明: ミラー・モードに無効なメモリー構成。Please correct memory configuration.ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.580A2 [W.580A2]

説明: スペアリング・モードに無効なメモリー構成。
Please correct memory configuration.スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DIMM コネクターのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. DIMM コネクターが、この製品のサービス情報に従って、スペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

W.68002 [W.68002]

説明: CMOS バッテリー・エラーが検出されました。
CMOS バッテリー障害。

重大度: エラー

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの取り付け、移動、または保守が最近行われた場合、バッテリーが正しく取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

付録 C. DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

405-000-000 BRCM:TestControlRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-001-000 BRCM:TestMIRegisters Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-002-000 BRCM:TestEEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-003-000 BRCM:TestInternalMemory Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-004-000 BRCM:TestInterrupt Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-005-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-006-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-007-000 BRCM:TestLEDs Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-800-000 BRCM:TestControlRegisters Test Aborted

説明: 制御レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-801-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Aborted

説明: MII レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-802-000 BRCM:TestEEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-803-000 BRCM:TestInternalMemory Test Aborted

説明: 内部メモリー・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-804-000 BRCM:TestInterrupt Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-805-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-806-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-807-000 BRCM:TestLEDs Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-900-000 BRCM:TestControlRegisters Test Failed

説明: 内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-901-000 BRCM:TestMIIRegisters Test Failed

説明: 内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-902-000 BRCM:TestEEPROM Test Failed

説明: 不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要の場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-903-000 BRCM:TestInternalMemory Test Failed

説明: 内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要の場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-904-000 BRCM:TestInterrupt Test Failed

説明: 割り込みのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要の場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-905-000 BRCM:TestLoopbackMAC Test Failed

説明: BRCM:TestLoopbackMAC テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要の場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-906-000 BRCM:TestLoopbackPhysical Test Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

405-907-000 BRCM:TestLEDs Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

218-000-000 Brocade:MemoryTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-001-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-002-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-003-000 Brocade:PCILoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-004-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-005-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-006-000 Brocade:InternalLoopbackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-800-000 Brocade:MemoryTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-801-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

218-802-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

218-803-000 Brocade:PCILoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

218-804-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

218-805-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

218-806-000 Brocade:InternalLoopbackTest Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

218-900-000 Brocade:MemoryTest Failed

説明: アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

218-901-000 Brocade:ExternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-902-000 Brocade:SerdesLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-903-000 Brocade:PCILoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-904-000 Brocade:ExternalEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-905-000 Brocade:SerdesEthLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。

3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

218-906-000 Brocade:InternalLoopbackTest Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

180-000-000 Check-point Panel Test Passed

説明: チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

3. テストを再実行してください。

4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

180-901-000 Check-point Panel Test Failed

説明: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいた、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行してください。

- オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
- テストを再実行してください。
- 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

089-000-000 CPU Stress Test Passed

説明: CPU ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- テストを再実行してください。

- システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。

- 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-801-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

- システムの電源をオフにして、再始動してください。
- DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- テストを再実行してください。
- システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、IBM サポート Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。

089-802-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

- システムの電源をオフにして、再始動してください。
- DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- テストを再実行してください。
- システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
- テストを再実行してください。

6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-803-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-804-000 CPU Stress Test Aborted

説明: CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

089-901-000 CPU Stress Test Failed

説明: CPU ストレス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再始動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

516-000-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

516-001-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-002-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-800-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Aborted

説明: MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-801-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Aborted

説明: 物理層でのループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-802-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Aborted

説明: 状況 LED の確認は取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-900-000 ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest Failed

説明: MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要の場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-901-000 ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest Failed

説明: 物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

401-000-000 EXA Port Ping Test Passed

説明: EXA ポート ping テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

516-902-000 ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test Failed

説明: 状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

401-801-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。装置基底アドレスを取得できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。

2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

401-802-000 EXA Port Ping Test Aborted

説明: EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

401-901-001 EXA Port Ping Test Failed

説明: EXA ポート ping テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA ハード・ディスク・テスト結果

ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

217-000-000 HDD Test Passed

説明: HDD ストレス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

217-800-000 HDD Test Aborted

説明: HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。

- ハード・ディスクが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
- 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

217-900-000 HDD Test Failed

説明: HDD テストが失敗しました。ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

- ケーブルの接続を確認します。
- テストを再実行します。
- ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
- テストを再実行します。
- 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

406-000-000 IANet:Registers Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-002-000 IANet:FIFO Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-001-000 IANet:EEPROM Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-003-000 IANet:Interrupts Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-004-000 IANet:Loopback Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-800-000 IANet:Registers Test Aborted

説明: レジスター・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-801-000 IANet:EEPROM Test Aborted

説明: EEPROM テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-802-000 IANet:FIFO Test Aborted

説明: FIFO テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-803-000 IANet:Interrupts Test Aborted

説明: 割り込みテストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-804-000 IANet:Loopback Test Aborted

説明: ループバック・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-900-000 IANet:Registers Test Failed

説明: レジスター・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-901-000 IANet:EEPROM Test Failed

説明: EEPROM テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-902-000 IANet:FIFO Test Failed

説明: FIFO テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

2. テストを再実行します。

3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-903-000 IANet:Interrupts Test Failed

説明: 割り込みテスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネット装置が割り込みを共用している場合は、可能であれば、F1 を使用して割り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをその装置に割り当てます。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

406-904-000 IANet:Loopback Test Failed

説明: ループバック・テスト中に障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。

4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA LSI ハード・ディスク・テスト結果

LSI ハード・ディスク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

407-000-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

- 最新レベルの BMC/IMM

407-900-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Failed

説明: ハード・ディスク自己診断テストで障害が検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

407-800-000 LSIESG:DiskDefaultDiagnostic Test Aborted

説明: テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

408-000-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-001-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Passed

説明: ポート・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-800-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-801-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Aborted

説明: ポート・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-900-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

408-901-000 MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort Test Failed

説明: ポート・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

• 最新レベルの DSA

• 最新レベルの BMC/IMM

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

201-000-000 Standalone Memory Test Passed

説明: すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-003 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-001 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-004 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-000-002 Standalone Memory Test Passed

説明: CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-811-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-812-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-813-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-814-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を使用不可にできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-815-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-816-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-818-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-819-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-820-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-821-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-822-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: MTRR サービス要求が無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-824-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを使用不可にしてから、テストを再実行します。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-826-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: メモリー・コントローラーが使用不可になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-827-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: ECC 機能が BIOS によって使用不可になっています。セットアップに進み、ECC 生成を使用可能にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-844-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-845-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-859-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: 無効な XSECSRAT タイプ。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-860-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-861-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: SRAT タイプ 1 が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-862-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-863-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-864-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM1 に GAS が見つかりません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-865-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-866-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI-SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-867-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-868-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-869-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: EFI/SAL GetMemoryMap 関数からの無効なパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-870-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-871-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: データの比較誤りが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-877-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスベアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スベアリングを使用不可にします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: スベアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スベアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: スベアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スベアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-878-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。

4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-885-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-886-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリーの上限は、16 MB 未満です。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-000 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-001 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-002 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-899-003 Standalone Memory Test Aborted

説明: メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-000 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-001 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-002 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

201-901-003 Standalone Memory Test Failed

説明: メモリー診断テストが失敗しました。

重大度: エラー

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

202-000-000 MemStr Test Passed

説明: テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1 つずつ交換します。
6. Configuration/Setup ユーティリティ・プログラムで、すべての DIMM が使用可能になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-801-000 MemStr Test Aborted

説明: 内部プログラム・エラー

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムの電源をオフにして、再始動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。

3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-802-000 MemStr Test Aborted

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-803-000 MemStr Test Aborted

説明: ユーザーが Ctrl-C を押しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-901-000 MemStr Test Failed

説明: テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行してください。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

202-902-000 MemStr Test Failed

説明: テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが使用可能であることを確認します。

- 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup ユーティリティー・プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを使用可能にします。
- DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
- テストを再実行してください。
- 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。

- 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

409-000-000 NVIDIA User Diagnostic Test Passed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-003-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Passed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-005-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Passed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-006-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Passed

説明: Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-800-000 NVIDIA User Diagnostic Test Aborted

説明: NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-803-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Aborted

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-804-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Aborted

説明: Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-805-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Aborted

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-806-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Aborted

説明: Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

重大度: 警告

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-900-000 NVIDIA User Diagnostic Test Failed

説明: NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

重大度: イベント

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-903-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth Test Failed

説明: Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-904-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query Test Failed

説明: Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-905-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix Test Failed

説明: Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. nvidia-smi -q を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

409-906-000 Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial Test Failed

説明: Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。

2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

215-000-000 Optical Drive Test Passed

説明: 光学式ドライブ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-801-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバと通信できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行してください。

215-802-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたたり、接続が外れていたたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-803-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システム・アクティビティーが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再始動してください。
4. テストを再実行してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-804-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行してください。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたたり、接続が外れていたたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行してください。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-901-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたたり、接続が外れていたたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

215-902-000 Optical Drive Test Failed

説明: 光学式ドライブ・テストが失敗しました。読み取りの不一致。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

215-903-000 Optical Drive Test Aborted

説明: 光学式ドライブ・テストが異常終了しました。装

置にアクセスできませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行してください。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行してください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

166-000-001 IMM I2C Test Passed

説明: IMM I2C テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA

- 最新レベルの BMC/IMM

166-801-001 IMM I2C Test Aborted

説明: IMM が誤った応答長を返しました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-802-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 不明な理由によりテストが完了できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-803-001 IMM I2C Test Aborted

説明: ノードは使用中です。後で試行してください。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-804-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 無効なコマンド。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-805-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定された LUN に無効なコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-806-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実

行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-807-001 IMM I2C Test Aborted

説明: スペース不足。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-808-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 予約が取り消されたか、または予約 ID が無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト

- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-809-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データが切り捨てられました。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-810-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データの長さが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-811-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求データ・フィールド長の限度を超えています。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-812-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 範囲外のパラメーター。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-813-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。

2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-814-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-815-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 要求のデータ・フィールドが無効です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-816-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

166-817-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

166-818-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 重複した要求は実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

166-819-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリは更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
 - 最新レベルの DSA
 - 最新レベルの BMC/IMM
-

166-820-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。装置はファームウェア更新モードです。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-821-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドに対する応答を提供できませんでした。
BMC の初期化が進行中です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-822-001 IMM I2C Test Aborted

説明: 宛先が使用不可です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-823-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-824-001 IMM I2C Test Aborted

説明: コマンドを実行できません。

重大度: 警告

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-901-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が H8S 2117 バス (BUS 0) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-904-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9543 (2 チャネル I2C スイッチ) バス (BUS 3) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-905-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が MAX7319 (I2C ポート・エキスパンダー) バス (BUS 4) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-907-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が LM75 (温度センサー) バス (BUS 6) の障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

166-908-001 IMM I2C Test Failed

説明: IMM が PCA9557 バス (BUS 7) での障害を示しています。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 挙げられたアクションを 1 つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。

2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行してください。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

264-000-000 Tape Test Passed

説明: テープ・テストに合格しました。

重大度: イベント

保守可能: いいえ

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-901-000 Tape Test Failed

説明: テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. エラー・ログをクリアします。
4. テストを再実行してください。

264-902-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。

4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-903-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-904-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んでいたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行してください。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-905-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー。要求が無効です。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行してください。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再始動します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-906-000 Tape Test Failed

説明: テープ・テストが失敗しました。認識されないエラー。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行してください。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行してください。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行してください。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの「インストールとサービスのガイド」内の『現象別トラブルシューティング』を参照してください。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-907-000 Tape Test Failed

説明: ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

264-908-000 Tape Test Failed

説明: テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

重大度: エラー

保守可能: はい

リカバリー可能: いいえ

サポートへの自動通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行します。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク:

- IBM Support Web サイト
- 最新レベルの DSA
- 最新レベルの BMC/IMM

付録 D. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が 必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供 しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手、ご使用の Lenovo システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注: このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただくと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないか確認してください。Lenovo の保証条件では、製品に関わるすべてのソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新は、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で行っていただくとしています (ただし、追加の保守契約で保証される場合を除きます)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.ibm.com/supportportal> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン ID)

- 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - その他の関連情報 (エラー・メッセージおよびログなど)
- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が 迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプション装置に関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.ibm.com/supportportal>に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手可能です。

WWW 上の <http://www.ibm.com/supportportal> では、Lenovo システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

Flex System 製品:

<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp>

System x 製品:

<http://www.ibm.com/systems/x>

NeXtScale System 製品:

<http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/nxtscale/documentation/index.jsp>

DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、Lenovo へ診断データを送信できます。

診断データを Lenovo に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

- 標準アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

Lenovo サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは Lenovo から受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld> にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用 いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から 午後 6 時までご利用いただけます。

Taiwan product service

Use this information to contact IBM Taiwan product service.

台灣 IBM 產品服務聯絡方式：
台灣國際商業機器股份有限公司
台北市松仁路 7 號 3 樓
電話：0800-016-888

IBM Taiwan product service contact information:

IBM Taiwan Corporation 3F, No 7, Song Ren Rd. Taipei, Taiwan 電話番号: 0800-016-888

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、または サービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の 製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が 禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、 改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の稼働環境では、結果が異なる場合があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、 自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、NeXtScale System、および x Architecture は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、Lenovo から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW)と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります。ユーザー・マニュアル またはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

リサイクル情報

Lenovo では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って 機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者による IT 製品の リサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.lenovo.com/recycling>

粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 48. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	• 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。 • データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 • 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。 • 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	• 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³ • 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

This product may not be certified in your country for connection by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks. Further certification may be required by law prior to making any such connection. Contact a Lenovo representative or reseller for any questions.

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Lenovo is not responsible for any radio or television interference

caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln Dieses Produkt entspricht dem „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln“ EMVG (früher „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten“). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG (früher 89/336/EWG) in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EG Richtlinie 2004/108/EC (früher 89/336/EWG), für Geräte der Klasse A.

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Gropiusplatz 10, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4: **Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.**

Nach der EN 55022: „Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen.“

Nach dem EMVG: „Geräte dürfen an Orten, für die sie nicht ausreichend entstört sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministers für Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes für Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Störungen zu erwarten sind.“ (Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs. 4). Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den Handbüchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

<!--この製品は、クラス A 製品であり、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) が設定した規格に準拠しています。この装置を家庭環境で使用する場合、電波干渉が発生することがあります。そのような問題が発生した場合、ユーザーは修正処置をとる必要があります。-->

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А. В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声 明
此为 A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

電源コードの安全上の注意

重要: No. 26 AWG 以上の UL 登録または CSA 認定の通信回線コードを使用してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

アウト・オブ・バンド 122
アダプター
 再取り付け 208
 取り外し 206
安全と注意 8
安全に関する注意書き vii, viii
イーサネット 14
 コントローラー 116
イーサネット活動
 LED 23
イーサネット・コントローラーの構成 40
イーサネット・サポート 14
一般
 問題 93
イベント・ログ 83
 消去 86
 表示 84
イベント・ログ、システム 83
イベント・ログ、表示の方式 85
イベント・ログ、POST 83
イベント・ログの表示 85
インバンド
 自動ブート・リカバリー方式 122
 手動リカバリー方式 120
インフォメーション・センター 662
エア・バッフル
 再取り付け 148
 取り外し 148
エラー
 書式、DSA コード 90
エラー現象
 一般 93
 オプション装置 105
 キーボード 97
 偶発的 96
 シリアル・ポート 112
 ソフトウェア 114
 電源 106
 ネットワーク接続 104
 ハード・ディスク 93
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置 96
 ビデオ 101, 115

エラー現象 (続き)
 マイクロプロセッサ 101
 マウス 97
 メモリー 99
 モニター 101
 DVD ドライブ 92
 ServerGuide 113
 USB デバイス 97
 USB ポート 114
エラー・コードとメッセージ
 IMM2.1 315
エラー・メッセージ 91
汚染、粒子およびガス 667
オプション装置
 取り付け 139
オプション装置の問題 105
オペレーター情報パネル
 コントロールおよび LED 23
 再取り付け 280
オペレーター情報パネル・アセンブリー
 取り外し 277
オペレーター情報パネル・リリース・ラッチ 21
オペレーティング・システム・イベント・ログ 83, 85
オンライン資料 1, 6

【カ行】

ガイドライン
 オプションの取り付け 140
 システム信頼性 142
外部コネクタ 31
概要 1
ガス汚染 667
カスタム・サポート Web ページ 663
カバー
 再取り付け 146
 取り外し 145
可用性、サーバー 18
管理、システム 14
管理者
 パスワード 52
機械コードのご使用条件 6
危険の注記 8
機能 8
 ServerGuide 43
偶発的
 問題 96
組み込みハイパーバイザー
 使用 58

グリース、熱伝導 305
検索
 更新された資料 6
コール・ホーム機能
 Electronic Service Agent 91
コール・ホーム・ツール 91
交換可能なサーバー・コンポーネント 125
更新
 サーバー構成 144
 汎用固有 ID (UUID) 62
 ファームウェア 39
 DMI/SMBIOS データ 65
 Systems Director 61
構成
 情報 39
 手順 39
 Nx 回ブート失敗 123
 RAID アレイ 60
 ServerGuide Setup and Installation CD 39
 ServerGuide で 43
 Setup ユーティリティ 39
構成プログラム 40
構造部品 135
コネクタ
 外部 31
 内部 30
 ビデオ
 前面 21
 USB 21
個別設定したサポート Web ページの作成 663
コントローラー
 イーサネット 59
コントロール、LED、および電源 21
コントロールおよび LED
 オペレーター情報パネル 23
コンポーネント
 サーバー 29, 125

【サ行】

サーバー
 オンにする 35
 提供 14
 電源オフ 36
 電源機能 35
サーバー、バックアップ・ファームウェア
 始動 53
サーバーが提供する機能 14

サーバー構成	再取り付け (続き)	自動ブート・リカバリー (ABR) 123
更新 144	PCI ライザー・カード・アセンブリー 199	ジャンパー
サーバーの構成 39	RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール 153	システム・ボード 32
サーバーのコントロール、LED、および電源 21	RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール・ホルダー 158	UEFI ブート・リカバリー 120
サーバーのシャットダウン 36	RAID アダプター・バッテリー 153	重要な注 8
サーバーの電源をオフにする 36	RAID アダプター・バッテリー・ホルダー 158	重要な注記 8, 666
サーバー・コンポーネント 29, 125	RAID コントローラー 217	取得 56
サーバー・ファームウェアのリカバリー 120	SAS/SATA コントローラー 217	仕様 8
サービスおよびサポート	SD アダプター 195	使用
依頼する前に 661	ServeRAID アダプター 217	組み込みハイパーバイザー 58
ソフトウェア 663	ServeRAID アダプター・メモリー・モジュール 223	統合管理モジュール 54
ハードウェア 663	Tier 1 CRU 162	リモート・プレゼンス機能 55
サーマル・キット、ホット・スワップ・ファン	Tier 2 CRU 292	Setup ユーティリティ 44
再取り付け 225	USB コネクタ・アセンブリー、前面 271	使用可能化
取り外し 224	USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 258	Features on Demand
サイズ 8	作業、サーバー内部	Ethernet ソフトウェア 59
再取り付け	電源オン 143	RAID ソフトウェア 59
アダプター 208	サポート Web ページ、カスタム 663	冗長
エアー・バッフル 148	サポート、入手 661	イーサネット機能 18
オペレーター情報パネル 280	事項、重要 666	イーサネット接続 14
カバー 146	システム	ホット・スワップ電源機構 18
構造部品 145	エラー LED (前面) 23	冷却 14
コンポーネント 139	情報 LED 23	NIC 14
サーバー・コンポーネント 145	ロケーター 23	商標 666
サーマル・キット、ホット・スワップ・ファン 225	システム管理 14	シリアル番号 1
システム・ボード 310	システム管理ツール	ロケーション 119
シンプル・スワップ・ハード・ディスク 166	Systems Director 20	シリアル・ポートの問題 112
シンプル・スワップ・ハード・ディスク・バックプレート 253	システムの信頼性に関するガイドライン 142	資料 6
セキュリティ・ベゼル 290	システム・イベント・ログ 83, 84	オンライン (online) 1
バッテリー、システム 262	システム・イベント・ログ、Assertion イベント 83	更新 1
パワー・サプライ (power supply) 232	システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 83	使用 662
ヒートシンク 297	システム・パルス LED 81	プロダクト・データ 1
ビデオ・コネクタ・アセンブリー、前面 275	システム・ボード	CD 5
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 232	外部コネクタ 31	Documentation Browser 5
ホット・スワップ・ハード・ディスク 163	再取り付け 310	資料、更新された
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バックプレーン 244	始動パスワード・スイッチ 51	検索 6
マイクロプロセッサ 297	ジャンパー 32	診断
メモリー・モジュール 193	スイッチ 32	オンボード・プログラム、開始 88, 89
2.5 型ホット・スワップ 後部ハード・ディスク・キット 170	取り外し 306	ツール、概要 75
COM ポート・ブラケット 287	内部コネクタ 30	プログラムの概要 87
DVD ドライブ 176	ボタン 32	診断コードおよびメッセージ
DVD ドライブ・ケーブル 183	LED 34	POST/UEFI 573
EIA ブラケット 161	質量 8	診断データの送信 663
LCD システム情報表示パネル 284	始動	診断プログラム
	バックアップ・ファームウェア 53	DSA Preboot 14
	Setup ユーティリティ 45	シンプル・スワップ・ハード・ディスク

寸法 8
静電気に弱い装置
 取り扱い 143
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い
 143
セキュリティ・ベゼル
 再取り付け 290
 取り外し 289
セキュリティ・ベゼル、交換 290
セキュリティ・ベゼル、取り外し 289
前面
 図 21
前面図
 コネクタ 21
 LED の位置 21
装置、静電気の影響を受けやすい
 取り扱い 143
ソフトウェア
 要件 5
ソフトウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 663
ソフトウェアの問題 114

【タ行】

対称多重処理 14
チェックアウト手順 72
 実行 74
注 8
注意の注記 8
注記 8, 665
 electronic emission 668
 FCC, Class A 668
ツール、コール・ホーム 91
ツール、診断 75
通信規制の注記 668
粒子汚染 667
データ収集 69
データの収集 69
ディスプレイの問題 101
手順
 ビジネス・パートナー 144
手順、チェックアウト 74
テスト・ログ、表示 90
デバイス・ドライバー 54
電源
 電源制御ボタン 23
電源機能
 サーバー 35
電源コード 136
電源の問題 106, 115
電源をオンにする、サーバーの 35
電子情報技術産業協会表示 671
電磁波放出 Class A の注記 668
電話番号 663

統合管理モジュール
 概要 14
 使用 54
統合管理モジュール 2.1
 エラー・メッセージ 315
統合管理モジュール II
 イベント・ログ 83, 85
 プログラム 40
トラブルシューティング 69
 現象 91
取り外し
 アダプター 206
 エアー・バッフル 148
 オペレーター情報パネル・アセンブリ
 ー 277
 カバー 145
 コンポーネント 139
 サーマル・キット、ホット・スワッ
 プ・ファン 224
 システム・ボード 306
 シンプル・スワップ・ハード・ディス
 ク 164
 シンプル・スワップ・ハード・ディス
 ク・バックプレート 251
 セキュリティ・ベゼル 289
 バッテリー、システム 259
 パワー・サブライ (power supply) 227
 ヒートシンク 292
 ビデオ・コネクタ・アセンブリ、
 前面 273
 ホット・スワップ AC パワー・サブラ
 イ 227
 ホット・スワップ DC パワー・サブラ
 イ 229
 ホット・スワップ・ハード・ディスク
 162
 ホット・スワップ・ハード・ディス
 ク・バックプレーン 242
 マイクロプロセッサ 292
 メディア・ケージ 264
 メモリー・モジュール 185
2.5 型ホット・スワップ 後部ハード・
 ディスク・キット 167
COM ポート・ブラケット 286
DIMM 185
DVD ドライブ 173
DVD ドライブ・ケーブル 180
EIA ブラケット 159
LCD システム情報表示パネル 282
PCI ライザー・カード・アセンブリー
 197
RAID アダプターのフラッシュ電源モ
 ジュール 149
RAID アダプターのフラッシュ電源モ
 ジュール・ホルダー 157
RAID アダプター・バッテリー 149

取り外し (続き)
 RAID アダプター・バッテリー・ホル
 ダー 157
 RAID コントローラー 216
 SAS/SATA コントローラー 216
 SD アダプター 194
 ServeRAID アダプター 216
 ServeRAID アダプター・メモリー・モ
 ジュール 222
 USB コネクタ・アセンブリ、前面
 269
 USB ハイパーバイザー・フラッシュ・
 デバイス 257
取り付け
 オプション装置 139
 ガイドライン 140
 ホット・スワップ DC パワー・サブラ
 イ 235
 メディア・ケージ 267
 メモリー・モジュール 186
 DIMM 186
取り付けのガイドライン 140

【ナ行】

内部コネクタ 30
熱伝導グリース 305

【ハ行】

ハードウェア
 要件 5
ハードウェア、構成 40
ハードウェアの構成 40
ハードウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 663
ハード・ディスク
 活動 LED 21
 状況 LED 21
 問題 93
ハイパーバイザー・フラッシュ装置
 問題 96
背面
 図 26
背面図
 コネクタ 26
 LED の位置 26
パスワード 50
 管理者 50
 パワーオン 50
パスワード、始動
 スイッチ、システム・ボード上の 51
バックアップ・ファームウェア
 始動 53

バッテリー、システム
 再取り付け 262
 取り外し 259
バッテリー、RAID アダプター
 再取り付け 153
 取り外し 149
バッテリー・ホルダー、RAID アダプター
 再取り付け 158
 取り外し 157
パワーオン LED 23, 35
パワー・サプライ
 LED 79
パワー・サプライ LED 79
パワー・サプライ (power supply)
 再取り付け 232
 取り外し 227
ヒートシンク
 再取り付け 297
 取り外し 292
ビデオ・コネクタ
 前面 21
ビデオ・コネクタ・アセンブリ、前面
 再取り付け 275
 取り外し 273
表明イベント、システム・イベント・ログ
 83
表明解除イベント、システム・イベント・
 ログ 83
ブート・マネージャー・プログラム 40
ファームウェア
 更新 1
ファームウェア、更新 39
ファームウェア、サーバー、リカバリー
 120
ファームウェアの更新 1
ファン 14
部品、構造 135
部品リスト 125
フラッシュ電源モジュール、RAID アダプ
 ター
 再取り付け 153
 取り外し 149
フラッシュ電源モジュール・ホルダー、
 RAID アダプター
 再取り付け 158
 取り外し 157
ブルー・スクリーン機能 55
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
 概要 55
プレゼンス検出ボタン 23
文書化されていない問題 72
米国 FCC Class A の注記 668
ヘルプ
 診断データの送信 663
 ソース 661
 WWW から 662

返却
 コンポーネント 145
 装置 145
方式 122
方式、イベント・ログの表示 85
放出音響ノイズ 8
保守容易性、サーバー 18
ボタン
 システム・ボード 32
ボタン、プレゼンス検出 23
ホット・スワップ AC パワー・サプライ
 再取り付け 232
 取り外し 227
ホット・スワップ DC パワー・サプライ
 取り付け 235
ホット・スワップ・ハード・ディスク
 再取り付け 163
 取り外し 162
ホット・スワップ・ハード・ディスク・バ
 ックプレーン
 再取り付け 244
 取り外し 242

[マ行]

マイクロプロセッサ 14
 再取り付け 297
 取り外し 292
 問題 101
未解決問題 118
ミラーリング・チャンネル・モード 190
メッセージ、診断
 POST/UEFI 573
メディア・ケージ
 取り外し 264
 取り付け 267
メニュー選択
 Setup ユーティリティ 45
メモリー 14
メモリー・サポート 14
メモリー・ミラーリング・チャンネル
 説明 190
 DIMM 取り付け順序 190
メモリー・モジュール
 再取り付け 193
 取り外し 185
 取り付け 186
メモリー・ランク・スペアリング
 説明 191
モデル名
 ロケーション 119
問題
 イーサネット・コントローラー 116
 一般 93
 オプション装置 105
 キーボード 97

問題 (続き)
 偶発的 96
 シリアル・ポート 112
 ソフトウェア 114
 電源 106, 115
 ネットワーク接続 104
 ハード・ディスク 93
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置
 96
 ビデオ 101, 115
 マイクロプロセッサ 101
 マウス 97
 未解決 118
 メモリー 99
 モニター 101
 DVD ドライブ 92
 IMM2.1 315
 ServerGuide 113
 USB ポート 114

[ヤ行]

ユーティリティ、セットアップ 40
 始動 45
 使用 44
ユーティリティ・プログラム
 IBM Advanced Settings 60

[ラ行]

ラック・リリース・ラッチ 21
ランク・スペアリング
 DIMM 取り付け順序 191
ランク・スペアリング・モード 191
リモート・プレゼンス機能
 使用 55
冷却 14
レガシー・オペレーティング・システム
 要件 43
レガシー・オペレーティング・システムを
 インストールする前に 43
ローカル・エリア・ネットワーク
 (LAN) 14
ログオン 57

[数字]

2.5 型ホット・スワップ 後部ハード・デ
 ィスク・キット
 再取り付け 170
 取り外し 167

A

ABR、自動ブート・リカバリー 123

AC パワー・サプライ

LED 79

AC パワー・サプライ LED 79

Active Energy Manager プラグイン 14

Active Memory 14

Advanced Settings ユーティリティー・プログラム

概要 60

ASM イベント・ログ 85

Australia Class A statement 669

B

Boot Manager 53

C

Canada Class A electronic emission statement 669

China Class A electronic emission statement 671

Class A 電磁波放出の注記 668

COM ポート・ブラケット

再取り付け 287

取り外し 286

COM ポート・ブラケット、交換 287

COM ポート・ブラケット、取り外し 286

D

DIMM

取り外し 185

取り付け 186

メモリー

two-DIMM-per-channel (2DPC) 186

two-DIMM-per-channel (2DPC)

要件 186

DIMM の取り付け順序 189

メモリー・ミラーリング・チャネル 190

ランク・スペアリング 191

DSA

テキスト・メッセージ書式 90

テスト・ログ、表示 90

プログラム、概要 87

DSA Portable 75, 88

DSA Preboot 75, 88

DSA データ

Lenovo への送信方法 144

DSA データの送信

Lenovo へ 144

DSA のエディション 88

DSA ログ 83, 85

DSA、データの送信 663

DVD

イジェクト・ボタン 21

ドライブ活動 LED 21

DVD ドライブ

再取り付け 176

取り外し 173

問題 92

DVD ドライブ・ケーブル

再取り付け 183

取り外し 180

Dynamic System Analysis

エディション 88

DSA Portable 88

DSA Preboot 88

Dynamic System Analysis (DSA) Preboot

診断プログラム 14

E

EIA ブラケット

再取り付け 161

取り外し 159

Electronic Service Agent 91

Enterprise X-Architecture テクノロジー 14

European Union EMC Directive

conformance statement 669

F

FCC Class A notice 668

Features on Demand 14

FPGA ハートビート

LED 81

G

Germany Class A statement 669

I

IMM web インターフェース 57

IMM ハートビート

LED 81

IMM ホスト名 56

IMM 用の IP アドレス 56

IMM2 40

IMM2.1

エラー・メッセージ 315

IPMI イベント・ログ 83, 85

IPMItool 85

J

JEITA 表示 671

K

Korea Class A electronic emission statement 671

L

LCD システム情報表示パネル

再取り付け 284

取り外し 282

LCD 操作パネル・アセンブリー 24

LED

イーサネット活動 23

システム情報 23

システム・エラー 23

システム・ボード 34

システム・ロケーター 23

ハード・ディスク活動 21

ハード・ディスク状況 21

パワーオン 23

パワー・サプライ 79

AC パワー・サプライ 79

DVD ドライブ活動 21

FPGA ハートビート 81

IMM ハートビート 81

PCI ライザー・カード 82

Lenovo への DSA データの送信方法 144

Licenses and Attributions Documents 6

Light Path 診断 14, 77

N

New Zealand Class A statement 669

NMI ボタン 26

NOS インストール

ServerGuide で 44

ServerGuide を使用しないで 44

Nx 回ブート失敗 123

P

PCI

ライザー・カード・アセンブリー 197, 199

PCI ライザー・カード

LED の位置 82

PCI ライザー・カード・アセンブリー

再取り付け 199

取り外し 197

PCI ライザー・スロット
 サポートされる構成 208
 取り付け構成 208
People's Republic of China Class A
 electronic emission statement 671
POST 87
 イベント・ログ 84
POST イベント・ログ 83
POST/UEFI
 診断コード 573
product service, Taiwan 664

R

RAID アダプター
 バッテリー
 再取り付け 153
 取り外し 149
 バッテリー・ホルダー
 再取り付け 158
 取り外し 157
 フラッシュ電源モジュール
 再取り付け 153
 取り外し 149, 157
 フラッシュ電源モジュール・ホルダー
 再取り付け 158
RAID アレイ
 構成 60
RAID コントローラー
 再取り付け 217
 取り外し 216
RAS 機能、サーバー 18
Russia Class A electronic emission
 statement 671

S

safety vii
Safety Information 8
SAS/SATA コントローラー
 再取り付け 217
 取り外し 216
SD アダプター
 取り外し 194
ServeRAID アダプター
 再取り付け 217
 取り外し 216
ServeRAID アダプター・メモリー・モジ
 ュール
 再取り付け 223
 取り外し 222
ServeRAID サポート 14
ServerGuide 14
 機能 43
 使用 42

ServerGuide (続き)
 セットアップ 43
 NOS インストール 44
 Setup and Installation CD 39
ServerGuide CD 1
Service Bulletin 72
Setup ユーティリティー 39, 40
 始動 45
 使用 44
 メニュー選択 45
SMP 14
Systems Director 14
 更新 61
 システム管理ツール 20

T

Taiwan Class A electronic emission
 statement 672
Taiwan product service 664

U

UEFI
 ブート・リカバリー・ジャンパー 120
Universal Serial Bus (USB) の問題 114
UpdateXpress 39, 54
USB
 コネクタ 21
USB コネクタ・アセンブリー、前面
 再取り付け 271
 取り外し 269
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デ
 バイス
 再取り付け 258
 取り外し 257

V

VCCI クラス A 情報技術装置 670
VMware ハイパーバイザーのサポート
 40

W

Wake on LAN 機能 35

X

X-Architecture テクノロジー 14



部品番号: 00KC065

Printed in Japan

(1P) P/N: 00KC065

